

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第273集

川越市／桶川市

川越城／小在家Ⅱ

県立川越高等学校・桶川西高等学校関係埋蔵文化財発掘調査報告

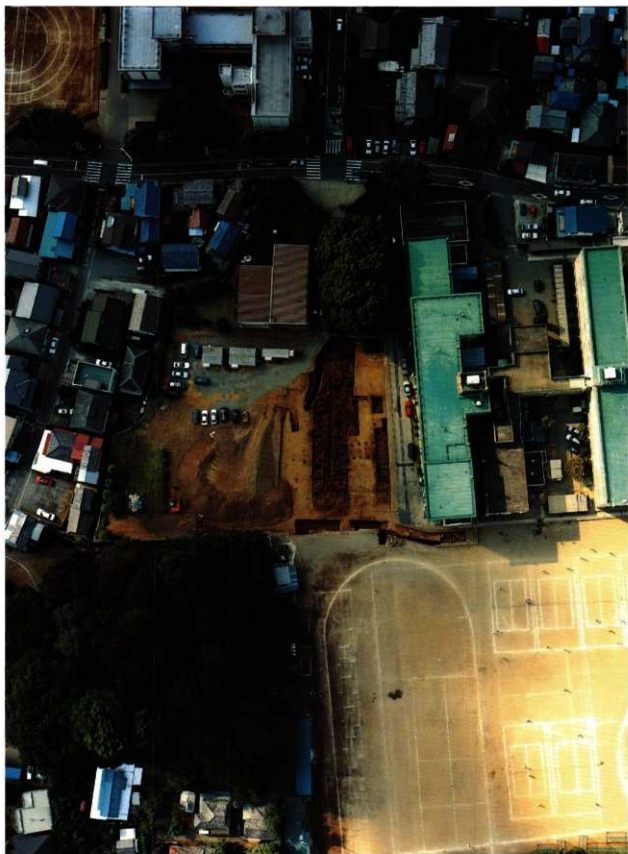
2 0 0 1

埼 玉 県

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団



昭和20年代川崎市上空



第9次調査区全景



第9次調査区遠景（南から）



川越城遠景（東から）



第52号土坑出土 狽



第2号麻栗溝出土 西行法師



第1号堀出土 土釜



第5号土壙出土 火消壺

序

埼玉県は大小河川の集中する地域で、かつて何度となく洪水による大きな被害を受けてまいりました。また、さきの阪神・淡路大震災における被災地の惨状や、各地で繰り返される集中豪雨の被害を目のあたりにして、防災意識も大きく変化し、大規模災害対策の必要性が改めて認識されてまいりました。

本県では、近年の開発に伴い、予想される災害も複雑、多様化しております。このような現状を踏まえ、県民の安全を確保するため、広域的な災害活動拠点としての防災基地の整備が進められております。その一環として、災害時に活用できるよう県立高等学校に耐震化を施し、また、防災拠点としての整備も施して、災害に強いまちづくりが進められているところです。

県立川越高等学校体育館の改築もその一端ですが、高校の敷地が史跡川越城跡地内であることは周知の事実であります。

これらの遺跡の取り扱いについては、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が各関係機関と慎重に協議を重ねた結果、やむを得ず記録保存の措置を講ずることになり、当事業団が埼玉県教育局管理部財務課の委託を受け、発掘調査を実施することとなりました。

その結果、従来不明であった戦国時代末の堀跡や掘立柱建物跡などの川越城築城当時の様子、江戸時代に改築された時の堀割や、古地図で未確認の堀跡が発見されるなど、まさに「小江戸」と呼ばれた川越城の往時の姿が明らかにされてまいりました。

その成果をまとめたものが、本書であります。本書が埋蔵文化財の保護、教育普及、学術研究の資料として広く活用していただければ幸いです。

本書の刊行にあたり、発掘調査に関する諸調整に御尽力いただきました埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課をはじめ、埼玉県教育局管理部財務課、さらに、川越市教育委員会、川越市立博物館、桶川市教育委員会、ならびに地元関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成13年 9 月

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
理 事 長 中 野 健 一

例 言

1. 本書は、埼玉県川越市内に所在する川越城跡の第9次、第12次、及び桶川市に所在する小在家Ⅱ遺跡の発掘調査報告書である。

2. 遺跡の略称と代表地番、および発掘調査区に対する指示通知は、以下の通りである。

・川越城跡 (KWGEJ)

埼玉県川越市郭町2-6他

平成9年8月6日付け教文第2-97号

平成10年4月28日付け教文第2-15号

・小在家Ⅱ遺跡 (KZIK)

埼玉県桶川市川田谷1531-2

昭和56年11月24日付け委保第5の2239号

3. 発掘調査は、県立川越高等学校体育館及び図書館改築工事、県立桶川西高等学校建築工事に伴う事前調査であり、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課の調整のもと、埼玉県教育局管理部財務課の委託を受け、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

委託事業者

埼玉県教育局管理部財務課

受託事業者

(財) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

埼玉県大里郡大里村船木台4-4-1

4. 本事業は、第I章の組織により実施した。

5. 発掘調査は、次の者が次の期間で実施した。

・川越城跡

第9次調査 金子直行 佐々木健策

平成9年8月1日～平成9年11月10日

第12次調査 金子直行 若松良一

平成10年4月1日～平成10年5月20日

平成10年7月21日～平成10年8月31日

・小在家Ⅱ遺跡

谷井彪 金子直行 樋口誠司

昭和56年11月20～昭和56年12月25日

6. 整理・報告書作成作業は、大谷徹が平成11年1月4日～平成11年3月31日、金子直行が平成13年5月14日～平成13年11月30日の期間で実施した。

7. 遺跡の基準点測量は、川越城跡を株式会社大宮測技、小在家Ⅱ遺跡を中央航業株式会社が行った。

8. 発掘調査における写真撮影は、各担当者が行い、遺物写真の撮影は大屋道則、野中仁、金子直行が行った。また、巻頭写真の一部を小川忠博氏に委託した。

9. 出土品の整理および実測、図版の作成は、旧石器を西井幸雄が、縄文土器、古代・中・近世の土器、須恵器、陶磁器、石器類を金子直行、山田洋子が、金属器を龍嶺芳之が、瓦を大谷徹がそれぞれ行った。

10. 本書の執筆はI-1を埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が、N-3を大谷徹、N-4を佐々木健策、それ以外を金子が行った。

11. 本書の編集は、金子が担当した。

12. 本書に掲載した資料は平成14年度以降、埼玉県立埋蔵文化財センターが管理・保管する。

13. 本書の作成にあたり以下の機関・諸氏からご指示・ご指導を賜った。記して、感謝の意を表します。
(敬称略)

川越市教育委員会 城近憲一 田中 信 天々嶋岳

川越市立博物館 岡田賢治

桶川市教育委員会 書上元博 関根 訪

浅野晴樹 栗岡真理子 小林康幸 成田涼子

樋口定志 堀内秀樹

凡 例

1. 本書挿図中におけるX・Yの座標数値は、国十標準平面直角座標第Ⅱ系（原点北緯36度00分00秒、東経139度50分00秒）に基づき各座標値を示す。また、各挿図における方位は、すべて座標北を表す。
2. 遺跡におけるグリッドの設置は、国家標準直角座標に基づいて設置しており、10m×10mの方眼である。なお、小在家遺跡のグリッドは、3m×6mの変則グリッドを設定している。
3. グリッドの名称は、川越城跡、小在家Ⅱ遺跡とも北西杭を基準として、東西南北から東へ1～、南北方向北から南へA～、と番号を付けている。
4. 挿図の縮尺は、各図版中に指示した。全体図等は縮尺率の異なるものも使用している。

遺構図	1/80
	1/60
	1/30

遺物

須恵器・土師器実測図	1/3
須恵器・土師器実測図	1/4
陶磁器碗・皿	1/3
陶磁器甕・瓦器	1/4
古銭拓本	1/2
鉄器実測図	1/3
縄文土器拓本・石器	1/3

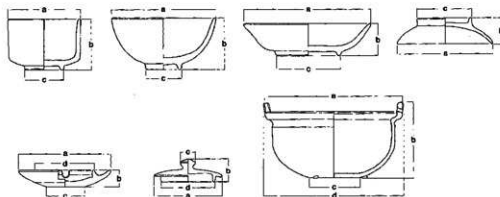
須恵器拓本 1/4

5. 遺構の表記記号は、以下のとおりである。

S J……住居跡	S B……掘立柱建物跡
S A……掘列	S I……堅穴状遺構
S L……地下式墳	S K……土墳
S E……井戸	P……ビット状遺構
S Z……堀跡	S D……溝跡
S X……廃棄遺構	
6. 遺構断面図に表記した水準の数値は、海抜標高である。
7. 遺物観察表は次のとおりである。
 - ・口径、器高、底径はcmを単位とする。（下図参照）
 - ・（ ）内の数値は推定値である。
 - ・胎土は肉眼で観察できるものを次の様に示した。

A-白色粒子	B-角閃石	C-石英
D-雲母	E-長石	F-赤色粒子

 針-白色針状物質 片-片岩
 - ・焼成は良好、普通、不良の三段階に分けた。
 - ・残存率は図示した器形に対し、10%単位で示した。ただし、残存率20%以下のものについては、「破片」として処理した。
8. 本書に使用した地図は、建設省国土地理院発行の1/25000を、また、川越市発行都市計画図の1/2500、桶川市発行都市計画図1/2500を使用した。



目 次

口絵

序

例 言

凡 例

目 次

I 発掘調査の概要

1 発掘調査に至る経過	2
2 発掘調査・報告書作成の経過	3
3 発掘調査・整理・報告書刊行の組織	4

II 川越城跡の調査

1 川越城跡の立地と環境	6
2 調査の概要	14
3 発見された遺構と遺物	20
(1) 住居跡	20
(2) 掘立柱建物跡	33
(3) 柵列	41
(4) 竪穴状遺構	47
(5) 地下式墳	48
(6) 土壇	54
(7) 土器埋納遺構	76
(8) 門跡	85
(9) 井戸跡	86
(10) ビット状遺構	95
(11) 堀跡	109
(12) 溝跡	109
(13) 瓦敷遺構	119
(14) 廃棄遺構	131
(15) グリッド出土遺物	168

a) 旧石器時代の遺物	168
b) 縄文時代の遺物	168
c) 古墳時代後期の遺物	168
d) 奈良・平安時代の遺物	168
e) 中・近世の遺物	168

III 小在家Ⅱ遺跡の調査

1 小在家Ⅱ遺跡の立地と環境	214
2 調査の概要	218
3 発見された遺構と遺物	221
(1) 掘立柱建物跡	221
(2) 土壇	221
(3) 井戸跡	230
(4) 溝跡	230
(5) ビット状遺構	233
(6) グリッド出土遺物	240
a) 縄文時代の遺物	240
b) 近世の遺物	240

IV 発掘の成果と提起する諸問題

1 川越城の発掘成果について	242
2 川越城出土の中世かわらけについて	250
3 川越城出土の土人形について	253
4 川越城出土の近世瓦について	257

挿図目次

第1図	川越城の位置図	6	第36図	地下式城(2)	50
第2図	川越城周辺の遺跡(1)	7	第37図	地下式城出土遺物(1)	51
第3図	川越城周辺の遺跡(中・近世)	8	第38図	地下式城出土遺物(2)	52
第4図	調査区グリッド配置図	14	第39図	土壌(1)	55
第5図	遺跡周辺の地形図(1)	15	第40図	土壌(2)	56
第6図	地形図と古地図の合成図	15	第41図	土壌(3)	57
第7図	調査区全体図	16	第42図	土壌(4)	62
第8図	第12次調査区全体図	17	第43図	土壌(5)	63
第9図	掘立柱建物跡配置図	18	第44図	土壌(6)	66
第10図	第9次調査区基本土層図	19	第45図	土壌(7)	67
第11図	第1号住居跡と出土遺物	21	第46図	土壌(8)	70
第12図	第2号住居跡(1)	22	第47図	土壌(9)	71
第13図	第2号住居跡(2)と出土遺物(1)	23	第48図	土壌(10)(墓・埋納土壌)	75
第14図	第2号住居跡出土遺物(2)	24	第49図	土壌(11)(門跡)	76
第15図	第3号・第4号住居跡	25	第50図	土壌出土遺物(1)	77
第16図	第3号・第4号住居跡出土遺物	26	第51図	土壌出土遺物(2)	78
第17図	第5号住居跡と出土遺物	28	第52図	土壌出土遺物(3)	79
第18図	第6号住居跡と出土遺物	29	第53図	土壌出土遺物(4)	80
第19図	第7号住居跡と出土遺物	30	第54図	土壌出土遺物(5)	81
第20図	第8号住居跡と出土遺物	31	第55図	井戸跡(1)	87
第21図	第9号住居跡	32	第56図	井戸跡(2)	88
第22図	第1号掘立柱建物跡	33	第57図	井戸跡出土遺物(1)	90
第23図	第2号掘立柱建物跡	34	第58図	井戸跡出土遺物(2)	91
第24図	第3号掘立柱建物跡	35	第59図	井戸跡出土遺物(3)	92
第25図	第4号掘立柱建物跡	37	第60図	ビット状遺構(1)	94
第26図	第5号掘立柱建物跡	38	第61図	ビット状遺構(2)	95
第27図	第6号・第7号掘立柱建物跡	39	第62図	ビット状遺構(3)	96
第28図	第8号・第9号掘立柱建物跡	40	第63図	ビット状遺構(4)	97
第29図	第1号・第2号櫓列	41	第64図	ビット状遺構(5)	98
第30図	第3号・第4号櫓列	42	第65図	ビット状遺構(6)	99
第31図	第5号・第6号・第8号櫓列	43	第66図	ビット状遺構(7)	100
第32図	第7号・第9号・第10号・第11号櫓列	44	第67図	ビット状遺構(8)	101
第33図	掘立柱建物跡・櫓列出土遺物	45	第68図	ビット状遺構(9)	102
第34図	堅穴状遺構	47	第69図	ビット状遺構(10)	103
第35図	地下式城(1)	49	第70図	ビット状遺構(11)	104

第71図	ビット状遺構 (12)	105
第72図	ビット状遺構 (13)	106
第73図	ビット遺構出土遺物	107
第74図	第1号・第2号堀跡	110
第75図	溝跡断面図	112
第76図	堀跡出土遺物	115
第77図	溝跡出土遺物 (1)	116
第78図	溝跡出土遺物 (2)	117
第79図	瓦葺遺構	120
第80図	瓦葺遺構出土遺物 (1)	121
第81図	瓦葺遺構出土遺物 (2)	122
第82図	瓦葺遺構出土遺物 (3)	123
第83図	瓦葺遺構出土遺物 (4)	124
第84図	瓦葺遺構出土遺物 (5)	125
第85図	瓦葺遺構出土遺物 (6)	126
第86図	瓦葺遺構出土遺物 (7)	127
第87図	瓦葺遺構出土遺物 (8)	128
第88図	瓦葺遺構出土遺物 (9)	129
第89図	廃棄遺構 (1)	132
第90図	廃棄遺構 (2)	133
第91図	第1号廃棄遺構出土遺物 (1)	134
第92図	第1号廃棄遺構出土遺物 (2)	135
第93図	第1号廃棄遺構出土遺物 (3)	136
第94図	第2号廃棄遺構出土遺物 (1)	137
第95図	第2号廃棄遺構出土遺物 (2)	138
第96図	第2号廃棄遺構出土遺物 (3)	139
第97図	第2号廃棄遺構出土遺物 (4)	140
第98図	第2号廃棄遺構出土遺物 (5)	141
第99図	第2号廃棄遺構出土遺物 (6)	142
第100図	第2号廃棄遺構出土遺物 (7)	143
第101図	第2号廃棄遺構出土遺物 (8)	144
第102図	第2号廃棄遺構出土遺物 (9)	145
第103図	第2号廃棄遺構出土遺物 (10)	146
第104図	第2号廃棄遺構出土遺物 (11)	147
第105図	第2号廃棄遺構出土遺物 (12)	148
第106図	第2号廃棄遺構出土遺物 (13)	149
第107図	第2号廃棄遺構出土遺物 (14)	150

第108図	第3号廃棄遺構出土遺物 (1)	151
第109図	第3号廃棄遺構出土遺物 (2)	152
第110図	第3号廃棄遺構出土遺物 (3)	153
第111図	第3号廃棄遺構出土遺物 (4)	154
第112図	第4号廃棄遺構出土遺物	155
第113図	グリッド出土遺物 (1)	169
第114図	グリッド出土遺物 (2)	170
第115図	グリッド出土遺物 (3)	171
第116図	グリッド出土遺物 (4)	172
第117図	グリッド出土遺物 (5)	173
第118図	グリッド出土遺物 (6)	174
第119図	グリッド出土遺物 (7)	175
第120図	グリッド出土遺物 (8)	176
第121図	グリッド出土遺物 (9)	177
第122図	グリッド出土遺物 (10)	178
第123図	グリッド出土遺物 (11)	179
第124図	グリッド出土遺物 (12)	180
第125図	グリッド出土遺物 (13)	181
第126図	桶川市小在家Ⅱ遺跡の位置図	214
第127図	小在家Ⅱ遺跡周辺の遺跡	215
第128図	グリッド配置図	218
第129図	遺跡周辺の地形図	219
第130図	遺跡全体図	220
第131図	第1号掘立柱建物跡	222
第132図	第1号・第2号掘立柱建物跡	223
第133図	土壌 (1)	227
第134図	土壌 (2)	228
第135図	土壌 (3)・井戸跡	229
第136図	溝跡 (1)	231
第137図	溝跡 (2)	232
第138図	ビット状遺構	233
第139図	出土遺物 (1)	234
第140図	出土遺物 (2)	235
第141図	出土遺物 (3)	236
第142図	出土遺物 (4)	238
第143図	出土遺物 (5)	239

写真図版

- | | |
|--|--|
| 図版1 川越城跡第9次調査区遠景
川越城跡第12次調査区遠景 | 図版17 調査区中央区の掘立柱建物跡群
調査区東側区の掘立柱建物跡群 |
| 図版2 第9次調査区東端部遠景
第9次調査区中央部東側遠景 | 図版18 調査区西端の掘立柱建物跡群
調査区東端の掘立柱建物跡群 |
| 図版3 第9次調査区中央部西側遠景
第9次調査区西端部遠景 | 図版19 第1号・第2号竪穴状遺構
第5号竪穴状遺構 |
| 図版4 D-5区南北トレンチ土層断面
D-5区南北トレンチ第Ⅵ層調査面
D-5区南北トレンチ最下層調査面 | 図版20 第3号竪穴状遺構
第3号竪穴状遺構土層断面 |
| 図版5 E-5区第Ⅵ層調査面（北から）
E-5区第Ⅵ層調査面（西から） | 図版21 第1号地下式竈
第1号地下式竈遺物出土状態 |
| 図版6 E-6区第Ⅵ層調査面（北から）
E-5～6区完掘面（北から） | 図版22 第4号地下式竈
第4号地下式竈遺物出土状態 |
| 図版7 E-5区完掘面（北から）・第5号溝
E-5区完掘面（西から）・第5号溝 | 図版23 各土壌及び遺物出土状態（1）
図版24 各土壌及び遺物出土状態（2） |
| 図版8 D-7～9区Ⅵ層調査面（東から）
D-7～9区Ⅵ層・完掘面（西から）
D-7～9区Ⅵ層・完掘面（東から） | 図版25 各井戸跡
図版26 瓦敷遺構
瓦敷遺構遺物出土状態 |
| 図版9 D-7区完掘面（西から）・第2号地下式竈
A～C-10区完掘面 | 図版27 第1号堀跡全景
第1号堀跡（北から）
第1号堀跡（南から） |
| 図版10 G～J区第4号堀検出状況（北から）
G～J区第4号堀検出状況（西から） | 図版28 各堀跡
図版29 第4号・第5号・第6号溝跡
各溝跡 |
| 図版11 I～J-7～8区第3号堀検出状況（近景）
I～J-7～8区第3号堀検出状況（東から） | 図版30 第1号廃棄遺構（ゴミ穴）
図版31 第2号廃棄遺構（ゴミ穴） |
| 図版12 第1号住居跡（北から）
第3号住居跡（南から） | 図版32 第2号・第3号廃棄遺構（ゴミ穴）
図版33 各遺構出土遺物
各遺物集合写真 |
| 図版13 第2号住居跡（南から）
各住居跡遺物出土状況 | 図版34 古代の出土遺物（1）
図版35 古代の出土遺物（2） |
| 図版14 第4号住居跡（西から）
第5号・第6号住居跡（南から） | 図版36 中世のかむらけ（1）
図版37 中世のかむらけ（2） |
| 図版15 第7号住居跡（南から）
第8号住居跡（西から） | 図版38 中世のかむらけ（3）
図版39 近世のかむらけ（1） |
| 図版16 検出された掘立柱建物跡群
調査区西側区の掘立柱建物跡群 | 図版40 近世のかむらけ（2） |

図版41	磁器茶碗類 (1)
図版42	磁器茶碗類 (2)
図版43	磁器茶碗類 (3)
図版44	磁器茶碗類 (4)・仏飯具
図版45	磁器皿類
図版46	磁器蓋・徳利・紅猪口 陶器茶碗類 (1)
図版47	陶器茶碗類 (2)
図版48	陶器皿類 (1) 磁器・陶器灯明皿・灯明受皿
図版49	陶器皿類 (2)
図版50	陶器香炉 陶器鉢類・釜
図版51	青磁製品 焼塩壺・高台付灯明受皿・泥人形

図版52	焙烙・火鉢
図版53	播鉢・壺・甕
図版54	瓦類
図版55	板碑類・石臼
図版56	青銅製品・鉄製品
図版57	小在家Ⅱ遺跡渡廊下調査区 調査区全景 (西から)
図版58	西側調査区全景 調査区中央部全景
図版59	第1・2号掘立柱建物跡 第1号井戸・第1号溝
図版60	東側調査区全景 (南から) 第2号溝
図版61	出土遺物 (1)
図版62	出土遺物 (2)

表目次

第1表	遺跡地名表	10	第11表	川越城跡一覽表	195
第2表	川越城跡 新旧対照表	190	第12表	川越城跡溝跡一覽表	195
第3表	川越城跡 土壌新旧対照表	191	第13表	川越城廃棄遺構一覽表	195
第4表	川越城跡住居跡一覽表	192	第14表	川越城跡ビット一覽表	196
第5表	川越城跡掘立柱建物跡一覽表	192	第15表	小在家Ⅱ遺跡周辺の遺跡地名表	216
第6表	川越城跡堀／竈一覽表	193	第16表	小在家Ⅱ遺跡第1号掘立柱建物跡一覽表	224
第7表	川越城跡竪穴状遺構一覽表	194	第17表	小在家Ⅱ遺跡第2号掘立柱建物跡一覽表	225
第8表	川越城跡地下式塋跡一覽表	194	第18表	小在家Ⅱ遺跡ビット一覽表	225
第9表	川越城跡土壌一覽表	194	第19表	小在家Ⅱ遺跡土壌一覽表	226
第10表	川越城跡井戸跡一覽表	195	第20表	小在家Ⅱ遺跡井戸跡一覽表	238

遺物観察表

川越城跡		井戸跡出土遺物観察表	92
第1号住居跡出土遺物観察表	20	ビット出土遺物観察表	108
第2号住居跡出土遺物観察表	24	堀跡出土遺物観察表	117
第3号・第4号住居跡出土遺物観察表	27	溝跡出土遺物観察表	118
第5号住居跡出土遺物観察表	28	瓦葺遺構出土遺物観察表	122
第6号住居跡出土遺物観察表	29	廃棄遺構出土遺物観察表	156
第7号住居跡出土遺物観察表	30	廃棄遺構出土瓦観察表	166
第8号住居跡出土遺物観察表	31	グリッド出土遺物観察表	182
掘立柱建物跡・櫓列出土遺物観察表	45		
地下式城出土遺物観察表	52	小在家Ⅱ遺跡	
土城出土遺物観察表	82	出土遺物観察表	237

I 発掘調査の概要



1 発掘調査に至る経過

埼玉県では、「環境優先・生活重視」、「埼玉の新しいくづくり」を基本理念として、豊かな彩の国づくりを推進するため、種々の政策を講じている。阪神・淡路大震災の教訓を生かすため、まち・安全彩の国構想の一環として、災害時に高齢者や障害者が優先的に避難できるよう、県立高等学校を利用した防災拠点の整備を積極的に進めている。

また、県立高等学校の教育施設を建設・改修・改築し、学習環境を改善するなどの施策も行われている。

県立高等学校に計画された防災拠点施設整備事業や、図書館施設整備事業及び県立桶川西高等学校建設事業もその一つである。

県教育局生涯学習部文化財保護課では、このような施策の推進と文化財の保護について、従前から関係部局との事前協議を重ね、整備を図ってきたところである。

防災拠点施設整備事業については、平成8年3月26日付け教財第995号で、図書館施設整備事業については、平成9年12月5日付け教財625号で、桶川西高等学校建設事業についても財務課長より事業予定地内における埋蔵文化財の所在及び取扱いについて照会があった。

文化財保護課では、確認調査を実施した上で、それぞれ平成8年7月2日付け教文478号、平成10年1月19日付け教文第1338a号等で川越城跡及び小在家Ⅱ遺跡の取扱いについて次のように回答した。

1 埋蔵文化財の所在

工事予定地内には以下の埋蔵文化財包蔵地が所在する。

名称 (No.)	種別	時代	所在地
川越城跡 (No19-089)	城館跡	縄文 奈良 平安 戦国 江戸	川越市郭町2-6
小在家Ⅱ遺跡 (No15-053)	集落跡	縄文 古墳	桶川市川田谷 小在家1531-2 他

2 取扱い

上記の埋蔵文化財包蔵地は、現状保存することが望ましいが、事業計画上やむを得ず現状を変更する場合は、事前に文化財保護法第57条の3の規定に基づく文化庁長官への発掘通知を提出し、記録保存のための発掘調査を実施すること。

発掘調査については、実施機関である財団法人埋蔵文化財調査事業団と財務課及び文化財保護課の三者により調査方法、期間、経費などを中心に協議が行われた。その結果、川越城跡については、平成9年8月1日から同11月10日及び平成10年7月21日から同8月31日までの期間で実施し、小在家Ⅱ遺跡については、昭和56年11月20日から12月25日まで実施することとなった。

埼玉県知事から文化財保護法第57条の3の規定による埋蔵文化財発掘通知が提出され、調査に先立ち、第57条1項の規定による発掘調査届が、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団理事長から提出された。発掘調査にかかる通知は以下のとおりである。

・川越城

平成9年8月6日付け 教文第2-97号

平成10年4月28日付け 教文第2-15号

・小在家Ⅱ遺跡

昭和56年11月24日付け 委保第5の2239号

2 発掘調査・報告書作成の経過

(1) 発掘調査

川越城跡の調査は、第9次調査が平成9年8月1日から11月10日、第12次調査が平成10年4月1日から5月12日、平成10年7月21日から8月31日までの期間で、都合3回に分けて行った。

第9次調査区は面積が最も大きく、8月初旬に表土を除去したが、体育館本体部分に基礎工事の攪乱が著しく、壊滅状態であるのが発覚した。従って、本体以外での新設工事部分が対象となった。体制を整えて、8月の中旬からトレンチ調査に入るが、正門に近い調査区の西側では、台地の肩部を造成する形で、戦国時代末以降の整地面が何面も確認された。中でも顕著な整地面3面を鍵層として調査を進め、大きくは遺跡全体を2面に分けて調査を開始した。17世紀末から18世紀前葉と思われる整地面の下に多くの遺構が検出され、掘立柱建物跡数棟を含む建物跡群が検出された。また、この整地面にバックされるように、廃棄遺構(ゴミ穴)が検出され、多量の陶磁器と、瓦が出土した。9月から10月にかけて遺構の細部を整地面に合わせながら調査を進め、掘立柱建物跡の柱穴を含め、ビット1000余基、土壌多数、溝、堀跡を検出、確認した。11月初旬に、図面作成を終え、中旬までに写真撮影を終了して、調査を終了した。

第12次調査区の前半調査は、旧図書館の南側に当たる部分、後半は図書館本体に当たる部分で、いずれも調査区内において堀跡の肩部が確認された。調査区内は台地の肩部に当たり、奈良・平安時代の住居跡が検出され、台地上においては、第9次調査よりもやや古い中世末段階の遺構が多く検出されている。前半部分、後半部分とも攪乱を受けている部分が多く、全体像を明らかにし得ない部分も多かった。8月の中旬までに遺構の実測を終え、下旬に写真撮影を終了させて、調査を完了した。

小在家Ⅱ遺跡の発掘調査は、昭和56年11月20日から

昭和56年12月25日までの約1ヶ月間で実施した。11月初旬、重機による表土除去後、渡り廊下部分より調査を開始する。渡り廊下部分は面積も少なく、遺構も少ないため、調査終了後、図面作成を完了する。本体部分の調査は、校舎を取り巻いたL字形を呈するため、校舎の前に当たる北側部分を先に調査する。攪乱がかなり受けているが、東西方向に走る溝と、クランク部分に掘立柱建物跡を2軒検出する。掘立柱建物跡は柱穴数も多く、雑然としていたが、それぞれ半載して土層の堆積状態を確認した結果、およそ、2棟が何回か立て直されて存在していた可能性が窺われた。その後、校舎の西側を調査したが、土壌が散在するものの、遺構の密度は低くなってきた。12月の中旬以降に調査を終了し、実測図を作成した。霜が強く、遺構の清掃に難航したが、12月下旬に写真撮影を完了して、調査を完了した。

(2) 整理・報告書作成

川越城跡の整理作業は平成11年1月4日から3月31日までと、平成13年5月14日から11月30日までの期間で実施した。小在家Ⅱ遺跡は平成13年度の川越城跡の整理と合わせて実施した。

5月中旬から第12次調査の遺跡出土遺物の水洗・注記を行い、同時に現場の平面図・写真の整理を行った。遺物の復元は、小在家Ⅱ遺跡も合わせて、5月中旬から7月にかけて、接合などの作業と同時進行した。復元された遺物は、順次図化を行い、8月末にはトレースなどの墨入れを行った。図面類も5月から9月にかけて整理を行い、図面、遺物合わせて9月中には図版組を終了させ、同時に原稿執筆も開始した。9月の下旬には遺物の写真撮影を行い、10月初旬には報告書の暫付けを終了させた。原稿は、9月の中旬より執筆を開始し、10月の下旬に終了させた。報告書は、11月初旬より校正を開始し、下旬までに校正を終え、11月末日に印刷を終了して、刊行した。

3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織

主体者 財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

(1) 発掘調査(昭和56年度)

理 事 長	長井 五郎	〈調査部〉	
副 理 事 長	沼尻 和也	理 事 兼 調 査 部 長	(平成9)梅沢太久夫
常 務 理 事	渡辺 澄夫	調 査 部 長	(平成10)谷井 彪
〈管理部〉		調 査 部 副 部 長	(平成9)今泉 泰之
管 理 部 長	伊藤 悦光		(平成10)水村 孝行
主 任	関野 栄一	調 査 第 二 課 長	浅野 晴樹
主 事	福田 浩	統 括 調 査 員	金子 直行
主 事	本庄 朗人	統 括 調 査 員	(平成10)若松 良一
		調 査 員	(平成9)佐々木健策

〈調査研究部〉

調 査 研 究 部 長	横川 好富
調 査 研 究 第 三 課 長	谷井 彪
調 査 員	金子 直行
	樋口 誠司

(平成9年度、10年度)

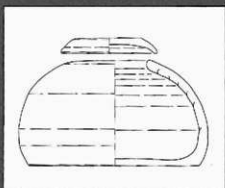
理 事 長	荒井 桂	〈管理部〉	
副 理 事 長	(平成9)富田 真也	専 門 調 査 員 兼 経 理 課 長	(平成10)関野 栄一
	(平成10)飯塚誠一郎	庶 務 課 長	(平成10)金子 隆
常務理事兼管理部長	(平成9)稲葉 文夫	管 理 幹 事	(平成13)持田 紀男
	(平成10)鈴木 進	主 査	(平成10)田中 祐二

〈管理部〉

専 門 調 査 員 兼 経 理 課 長	関野 栄一	主 任	江田 和美
庶 務 課 長	(平成9)依田 透	主 任	長滝美智子
	(平成10)金子 隆	主 任	福田 昭美
主 査	(平成9)西沢 信行	主 任	飯塚 雄二
	(平成10)田中 祐二	主 任	菊池 久

主 任	長滝美智子	資 料 部 長	(平成10)増田 逸朗
主 任	飯塚 雄二	調 査 部 長	(平成13)高橋 一夫
主 任	江田 和美	主幹兼資料副部長	(平成10)小久保 徹
主 任	福田 昭美	資料整理第二課長	(平成10)市川 修
主 任	菊池 久	主査調査員(資料整理担当)	(平成13)磯崎 一
		統 括 調 査 員	(平成13)金子 直行
		主 任 調 査 員	(平成10)大谷 徹

II 川越城跡の調査



1 川越城の立地と環境

川越城(1)は、東武東上線川越駅の北北東約2kmの地点に当たり、川越市第Ⅱ2-6番地他に所在する。

川越市は武蔵野台地の北縁に当たる川越台地、秩父山地から北東へ連なる扇状地性の入間台地、入間川が形成した肥沃な沖積地からなり、北方向に突出した台地縁辺部を新河岸川が取り囲む様に流下する。川越城は、この北に張り出した標高15~16m前後の仙波台地と呼ばれる、武蔵野台地北東端のほぼ先端部東側に位置している。

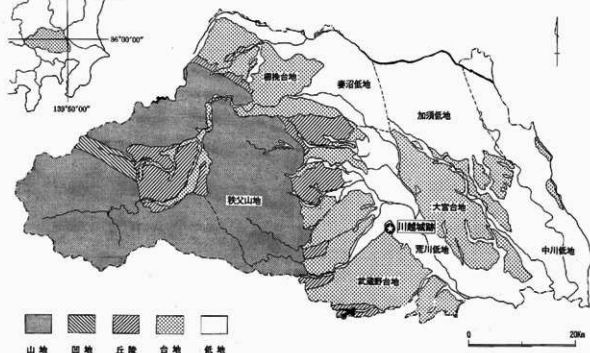
川越市を取り囲むこれらの地形的条件は、埼玉県の地形に大きく影響されたもので、荒川より以西の地形的条件と合致する。埼玉県は西北部の山地を源流とする河川が大きくは東流し、荒川との合流付近から南流を開始する特徴があり、西が高く東が低い地形を呈している。

武蔵野台地と入間台地を分ける入間川は、外秩父山地の妻坂峠付近に端を発し、やや南下しながら東流して、飯能市付近からやや北東へ流路を変える。さらに、

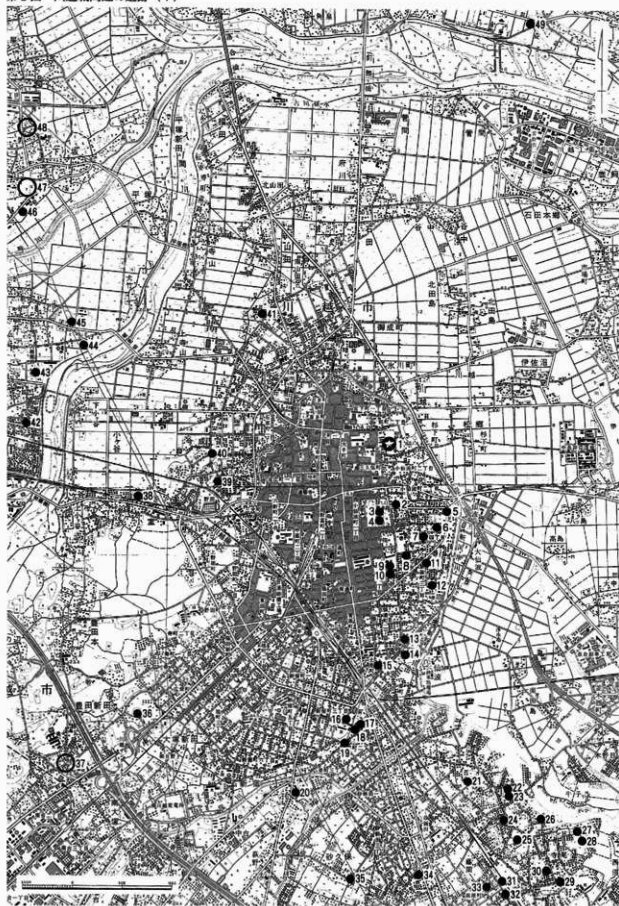
川島町付近で越辺川と合流し、南流を開始して荒川と出会い、その氾濫源に広大な沖積地である荒川低地を形成する。

一方、突出した台地先端部を取り巻く新河岸川は、江戸時代から明治時代にかけて江戸と川越の舟運に供されていたが、もとは狭山市付近に端を発し、武蔵野台地縁辺部沿いに仙波台地を迂回して伊佐沼に流れ込んでいた赤間川が、近代の河川改修で新河岸川と結ばれたものである。本来の新河岸川は仙波町滝ノ下付近を水源としていたが、1638(寛永15)年の川越城焼失復興資材の運搬ため、城南側の低地部を流れる「七つ釜」と呼ばれた湧水池を持つ遊女川と連結されて可航川となり、その後、赤間川と結ばれて今日の流路である新河岸川となったものである。遊女川自体も、川越城の外堀としての役割を果たしていたものと考えられている。新河岸川は、その後流下の途中で柳瀬川や黒目川と合流し、やがて隅田川となって東京湾へ注ぐが、河川改修以前は和光市付近で荒川と合流していた。

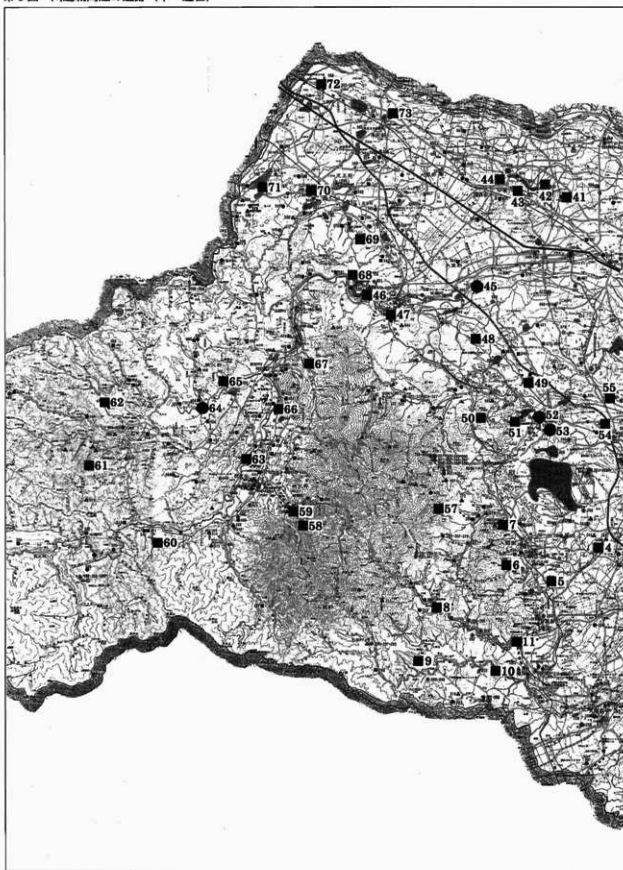
第1図 川越城の位置図



第2図 川越城周辺の遺跡(1)



第3図 川越城周辺の遺跡（中・近世）





第1表 遺跡地名表

川越城跡周辺の遺跡

市町村	番号	遺跡名	時代
川越市	1	川越城	
	2	多宝塔古墳	古墳
	3	慈眼堂古墳	古墳
	4	小仙波堀ノ内	中世
	5	小仙波貝塚	縄文
	6	小仙波4丁目遺跡	縄文・古墳・奈良・平安
	7	三安稲荷神社古墳	古墳
	8	弁天西遺跡	古墳・奈良・平安・中世
	9	仙波古代集落遺跡	古墳・奈良・平安
	10	彈正屋敷	中世
	11	弁天南遺跡	縄文・古墳
	12	仙波氏館	中世
	13	水川神社古墳	古墳
	14	愛宕神社古墳	古墳
	15	浅間神社古墳	古墳
	16	熊野神社西遺跡	古墳・奈良・平安
	17	岸町1～4号横穴墓	古墳
	18	岸町の一横穴	古墳
	19	岸町山下の横穴	古墳
	20	八雲神社古墳	古墳
	21	鎌谷遺跡	奈良・平安
	22	寺尾城	中世
	23	寺尾庵寺	縄文・平安
	24	河岸原遺跡	縄文・平安
	25	原遺跡	縄文

市町村	番号	遺跡名	時代
	26	河岸遺跡	縄文・平安・近世
	27	寺尾貝塚	縄文・奈良・平安
	28	後原寺鎮座跡	縄文・奈良・平安
	29	多成遺跡	縄文・平安・中世
	30	中原遺跡	縄文・古墳
	31	藤原町遺跡	縄文
	32	掃部町遺跡	縄文
	33	藤原町西遺跡	縄文・奈良・平安
	34	吉田神社古墳	古墳
	35	妙久保陣場	中世
	36	山王塚古墳	古墳
	37	南大塚古墳群	古墳
	38	水野屋敷	近世
	39	月古屋敷	中世
	40	今成屋敷	中世
	41	南山田遺跡	弥生・古墳
	42	霞ヶ関遺跡	弥生・古墳
	43	河越氏館	中世
	44	浅間下遺跡	古墳・平安
	45	会下遺跡	古墳・中世
	46	登戸遺跡	弥生・古墳
坂戸市	47	下小坂古墳群	古墳
	48	天王山古墳群	古墳
川島町	49	浅間塚古墳	古墳

埼玉県の城館跡

番号	遺跡名
1	川越城
2	河越氏館
3	大塚山
4	浅羽城
5	田沼目城
6	竜ヶ谷城
7	高取城
8	岡部城
9	リュウガイ城
10	大河原城
11	岡城
12	根占屋城
13	山口城
14	滝の城
15	難波田氏館
16	柏の城
17	戸田城
18	藤城
19	赤山城

番号	遺跡名
20	戸塚城
21	代山城
22	寿能城
23	伊奈氏館跡
24	菅谷北城
25	武城
26	石戸城
27	岩付城
28	太田陣屋
29	江ヶ崎城
30	萬壽城
31	足利政氏館
32	高野城
33	天神島城
34	幸手城
35	栗原城
36	花崎城
37	私市城
38	忍城

番号	遺跡名
39	黒尾城
40	東城
41	別府城
42	東方城
43	序鼻和城
44	深谷城
45	島山城
46	花園城
47	鉢形城
48	高見城
49	杉山城
50	青山城
51	小倉城
52	菅谷館
53	大蔵館
54	青島城
55	羽尾城
56	松山城
57	大森城

番号	遺跡名
58	古御岳城
59	根占屋城
60	熊倉城
61	塩沢城
62	日尾城
63	水田城
64	秩父氏館
65	竜ヶ谷城
66	諏訪城
67	竜ヶ谷城
68	円良田城
69	白石城
70	堀ヶ岡城
71	池田城
72	南城
73	本庄城

川越城下は西、北、東側を新河岸川で、その外側を入間川と荒川で囲まれる自然の要害としての地形を持ち、新河岸川の角通に恵まれ、江戸城の北の守りとして繁栄してきたが、川越城を含む台地周辺部には原始、古代からの遺跡も多数存在している。今回の調査でも、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代の遺構遺物が発見されている。

旧石器時代では明確な遺跡はないが、フレイク、製品が単品で散見されている程度である。

縄文時代では台地東縁部に存在する、早期末から前期にかけての貝塚として著名な小仙波貝塚(5)や寺尾貝塚(27)が存在する。台地の縁辺部には、前期と後期の海進に合わせるように、小仙波4丁目遺跡(6)、弁天南遺跡(11)、河岸原遺跡(24)、原遺跡(25)、川岸遺跡(26)、後原寺側遺跡(28)等の早期末から前期、中期、後期の土器片を散布する遺跡が散見される。特に、小仙波4丁目遺跡では、前期黒浜式から諸磯a式にかけての集落跡が調査され、第15号住居跡からは黒浜式古段階の良好な土器群が出土している。また、川越市の南部地域となるが、藤原町地区の藤原町遺跡では中期勝坂式から加曾利E式期にかけての集落跡が調査されており、住居跡24軒が検出されている。後期では、老袋地区の入間川河床から丸木舟が出土していることも著名である。小仙波4丁目遺跡では、称名寺式期の遺構も検出されている。

弥生時代は、現時点では遺跡の不毛地帯となるが、現在埋没している入間川、荒川筋の自然堤防上に遺跡の存在する可能性は極めて高いと言えよう。

古墳時代では多宝塔古墳(2)、慈眼堂古墳(3)、三変稲荷神社古墳(7)、氷川神社古墳(13)、愛宕神社古墳(14)、浅間神社古墳(15)等の古墳が存在する。集落跡では小仙波4丁目遺跡から、古墳時代前期と中期の住居跡が発見されており、第12号住居跡からはヘケ目を持つ壺、甕の他に、肩部に縄文を施す壺が伴っている。小仙波4丁目遺跡は古墳時代後期から奈良・平安時代にかけての集落も調査されており、拠点的な複合遺跡であることが理解される。第3号住居跡からは、

6世紀末葉に位置付けられる完形の須恵器ハソウが出土している。また、底部周辺ヘラ削りを施す須恵器杯を持つ住居跡も検出されている。

さらに、熊野神社西遺跡(16)では、古墳時代末から奈良時代にかけての集落が調査されている。奈良時代から平安時代では、弁天西遺跡(8)で底部全面ヘラ削りを施す須恵器杯を持つ住居跡と、底部周辺ヘラ削りを施す須恵器杯を出土する住居跡等が調査されている。

平安時代の終末以降、川越市を中心とした入間郡市周辺は歴史の舞台として注目を浴びてくる。川越周辺と関係深い事項を抜粋してみる。

律令制の衰退のもとで班田収没制が解体し、荘園の増大が図られてくると、国司趣は任期終了後土着化し、荘園を背景とした富と武力をもとに土豪として成長していった。935(承平5)年平将門の乱等を契機として治安が乱れ始めると、各地で武士団が形成され、埼玉県では秩父氏、足立氏、比企氏をはじめとする、武蔵七党などの中小武士団が台頭してきた。武士団たちは平安時代末期から様々な紛争に巻き込まれながらも、源平両氏のいずれかに就き所領を安堵されてきた。

坂東八平氏である秩父氏からは、畠山氏や河越氏が出ており、河越氏は1180(治承4)年の源頼朝挙兵、関東進出の際に頼朝側に就いた。その後、有力御家人として活躍したが、1185(文治元)年河越重頼は源義経の縁者という理由で領地を没収され失脚した。また、頼朝の死後、比企能員は1203(建仁2)年、畠山重忠は1205(元久2)年に、それぞれ謀反及びその疑いで討たれるなど、有力御家人の台頭は抑えられてきた。

1333(元弘3)年には、関東の武士を率いた足利尊氏が上洛し、京都の六波羅探題を攻め、新田義貞が上野で挙兵して鎌倉に攻め込み、幕府を滅ぼすなどの戦いがあり、武蔵武士たちは、幕府の御家人としてまたは足利氏や新田氏に従い、敵味方に分かれて戦っていた。1335(建武2)年には、北条時行が鎌倉幕府の復興をかけて蜂起し、新田氏と戦ってこれを破り、さらに南下して女影原、小手指原などで足利直義軍を破り、鎌倉を攻略するが、足利尊氏によって討たれてしまう。

南北朝分裂後、優遇されてきた足利氏と新田氏の対立は深まり、1338(暦応元)年尊氏が征夷大將軍となって勢力を増すと、さらに直義との間にも兄弟抗争が激化していった。尊氏が1351(觀応2)年に直義を討ち、兄弟抗争は終わったが、以後、関東の争乱は激しくなるばかりであった。翌年の1352(觀応3)年新田義興が上野で挙兵し、足利直義に就いて北武藏の武士たちを従えて鎌倉に向かったが、これを尊氏が小手指原、笛吹峠で向い討ち、笛吹峠にて新田勢を撃破した。これを機に尊氏は、鎌倉の守りと越後にいた新田氏に備えるため、基氏を入間川御所に配置し、畠山國清を関東管領に命じた。これ以降、新田氏に従っていた北武藏武士たちは、足利氏に就くようになった。

その後、鎌倉府に対する所領安堵等の不満から、1368(応安元)年には、宇都宮氏等と共に、河越氏を中心とする一揆が河越館で蜂起したが、河越氏は敗れて伊勢へ逃げ落ちている。河越氏は秩父氏の出であるが、重隆が入間郡の荘官となって河越に移り住み、その子能隆が河越氏を名乗ったもので、重隆の時に頼朝に領地を没収されるが、河越三郎重員は1226(嘉禄2)年武藏国留守所惣検校職についており、1260(文応元)年には河越次郎経重が新日吉山王社に鐘鐺を寄進する等、約200年に亘って栄えた一族である。

平安時代末から南北朝時代にかけて活躍した、この河越氏の館跡が、川越城の西方約3.5km、入間川対岸の上戸地区に位置する国指定史跡の河越館跡と考えられている。河越館跡から北北西約3.5kmの地点の下広谷地区には、著名な大堀山館跡が存在し、河越館跡とこの大堀山館跡の間及び周辺の平地には中世の館跡が集中して存在している。近年、国史道関連の調査で、さらに幾つかの館跡が見つかり、この地域が川越城築造以前の中心地であったことを物語っている。

南北朝統一後、室町幕府と鎌倉府の対立や、関東管領と鎌倉府、上杉氏内部の対立は深刻化してきた。関東管領上杉氏憲と鎌倉公方足利持氏との争いの際に、氏憲に就いた別府氏や北武藏の武士たちは厳しい処分を受け、その後衰退していった。上杉憲実が1438(永

享10)年に幕府の命を受けて対立していた足利持氏を討ち、1454(享徳3)年鎌倉公方となった持氏の子足利成氏は、関東管領上杉憲忠を殺害した。その翌年の1455年には、成氏は幕府の討伐の命を受けた今川氏に攻められ、鎌倉から古河に逃げ落ち、そこを本拠地とした。成氏は初代古河公方となって勢力を強めていき、以後古河公方は東国において大きな影響力を持つようになっていった。

古河公方の脅威に接し、これに対抗するため、関東管領扇谷上杉持朝は、1457(長禄元)年家臣の太田道真・道灌に命じて川越城を築城させた。古河公方足利成氏は栗橋、騎西、菖蒲、関宿などの諸城に家臣を配置し、現在の元荒川より東側の地域を次第に掌握していったが、山内・扇谷上杉は荒川沿いにある深谷、松山、川越、岩付、江戸の諸城を補修または新たに築城して、これに対抗していった。太田道真・道灌は川越城の他に、岩付城、江戸城を築城したといわれており、父子の築城した城は非常に堅固な造りであることが知られていた。これらの城は、江戸城が鎌倉との中間にあたるとともに、北下総方面に対する防禦基地としての役割を果たし、岩付城が古河、関宿、騎西方面に対する防禦基地となり、その要の部分に川越城が位置する配置になっていたと考えられている。

古河公方と上杉氏は県内各地で攻防を繰り返していたが、1457(長禄元)年、1466(寛正7)年、1473(文明5)年の三度にわたる五十子の戦いは有名である。古河公方は足利成氏の後、政氏、高基、晴氏、義氏へと五代続くが、四代目の晴氏は1545年(天文14)年に上杉憲政と組んで川越城を攻め込み敗れている。世に言う川越夜戦である。

古河公方と上杉氏の対立が複雑になるころ、山内上杉顕定の家老長尾景春は家督問題の継れから、1473(文明5)年顕定に背いて古河公方の足利成氏に就いた。同時に、景春に就いていた武藏・相模の武士たちも足利に従い、成氏と顕定の対立は激しさを増していったが、1478(文明10)年には両者の間に和議が成立した。しかし、今度は上杉氏の山内と扇谷の対立が深まり、

扇内上杉定正に使えていた太田道灌は、景春と五十子、用土原などで戦い、1480(文明12)年に秩父日野城で景春を降伏させた。以後、両上杉の関係は平穏となるが、道灌は1486(文明18)年願定に不義を企てているという理由から定正によって謀殺された。その後、太田氏は山内上杉に、長尾景春は扇谷上杉に就くようになり、両上杉の対立はなお続いた。

この頃より、関東進出を目論んでいた北条早雲(後北条氏)は1495(明応4)年に扇内上杉の小田原城を攻め、関東進出の足掛かりとした。

両上杉の対立は1505(永正2)年川越城主扇谷上杉定正の養子朝良が山内上杉願定に降伏して和平となるが、朝良の後を受けた朝興は北条氏綱に江戸城を追われて川越城に落ち逃れた。しかし、川越城も攻められて1537(天文6)年に落城する。その後城主となった上杉朝定は松山城に逃げ落ちている。ここに、持朝、政真、定正、朝良、朝興、朝定の六代約60年間に亘る扇内上杉の川越領支配が終わりを告げる。

上杉の後を受けた北条は、川越領を支配していくが、川越城奪回を目論む上杉朝定、憲政は古河公方足利晴氏と組み、1545(文明14)年川越城を囲み込むが、1546(文明15)年に川越城を守る福島綱成は、北条氏綱の子氏康の援軍と組んで上杉軍に夜襲をかけ、上杉連合軍を打ち破った。これが川越夜戦であり、朝定は戦死、憲政は藤岡へ落ち、足利春氏は古河へ退き、これより完全に後北条が川越を領有することになる。北条氏は氏綱、氏康、氏政の三代に亘って川越城主となり、北条氏の譜代の重臣大寺寺氏を城代とし、盛昌、周勝、政繁の三代(周勝のあとに政勝、直繁の四代とする考えもある)に亘って治めさせている。

川越城奪回に敗れた上杉憲政は越後の長尾景虎のもとへ逃げ落ち、上杉の名跡・系図を景虎に譲った。その後、上杉景虎は武蔵への進出を何度も試みており、北条氏綱は1560(永禄3)年に景虎に対するために出陣し、翌年1561(永禄4)年には今川氏の援軍と共に川越城に籠城して、上杉景虎と戦っている。

全国統一を目指す豊臣秀吉は、1590(天正18)年に小田原城を攻略し、関東進出の足掛かりとした。前田利家、浅野長吉、石田三成等の関東にむかった秀吉軍は、松山城、岩付城を攻め落とし、忍城を水攻めにして、鉢形城等も落城させていった。武田の進出に備えて造られた秩父の諸城や、深谷、菅沼の諸城も落城し、北条の支配から徳川の支配へと変わっていった。

同年の1590(天正18)年、川越城は大寺寺氏の家臣大寺寺半人が守っていたが、前田利家に囲まれ無血開城となった。徳川家康の関東入国に伴って、酒井重忠が一万石で川越城主となり、以後、忠利、忠勝の三代に渡って酒井家が城主を務めた。以降、堀田氏一代、松平氏三代、柳沢氏一代、秋元氏四代、再び松平氏九代と続き、廃城となったが、何度もなく城内の火事に見舞われ、補修、改築が行われている。

川越城の沿革は、詳細は考案で検討するとして、1639年(寛永16)年の松平信綱の増改築を最も大きなものとするが、上杉氏支配の頃には現在の本丸、二の丸が城内となり、後北条の頃から信綱の改築の間に三の丸、八幡曲輪が増築され、信綱の外曲輪、田曲輪、新曲輪の増設によって、今日知る川越城の輪郭が形成されたものと考えられている。また、『江戸図屏風』は現在まで資料が少なくその実態が読み難いとしていて、信綱の増築以前の丸と二の丸の様子が窺える貴重な資料となっている。さらに、信綱以降の城内の様子は、何種類かの絵図面によって窺うことができる。

川越城二の丸については、すでに調査報告書が刊行されている。今回の発掘調査区は八幡曲輪に相当し、出土遺物や遺構も上杉、後北条時代から、江戸前期のものを主体としている。

参考文献(詳細は巻末に掲載)

- 『川越城本丸御殿修理報告書』川越市教育委員会
- 『川越城一失われた遺構を探る』川越市立博物館
- 『川越城二の丸』川越市立博物館
- 『埼玉の中世城館跡』埼玉県教育委員会
- 『復元日本大観1 城と館』世界文化社

2 調査の概要

今回の川越城関係の発掘調査は、平成9年度から平成10年にかけて、都合3回に分け、2670㎡について行った。第9次調査である体育館部分の調査は、平成9年8月1日から平成9年11月10にかけて、2000㎡について行った。第12次調査となる図書館部分の調査は、平成10年4月1日から平成10年5月20日までと、平成10年7月21日から平成10年8月31日にかけての2回に分けて、670㎡を調査した。

本来、第9次調査に相当する部分は体育館の敷地全体を対象としていたが、体育館部分は基礎工事の撤去等により壊滅しており、付属施設の部分が対象となった。従って、調査区も非常に複雑な形状を呈している。また、第12次調査区も同様に基礎工事の攪乱を受けていたが、基礎工事が浅く、遺構面に達していない部分もあり、半分以上の面積に遺構が残されていた。

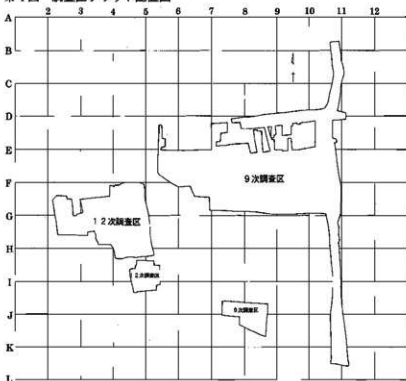
第9次調査区と第12次調査区は隣接しているにもかかわらず、土層の堆積状態が異なっていた。第12次調査区は台地肩部分に相当し、第9次調査区からなら

かに傾斜していたため、調査区第9次調査の西端部分の土層堆積と連続する良好な土層堆積状態が期待された。しかし、近年の攪乱と、江戸時代及びそれ以前と思われる造成の攪乱を受けており、層序の対応は困難であった。

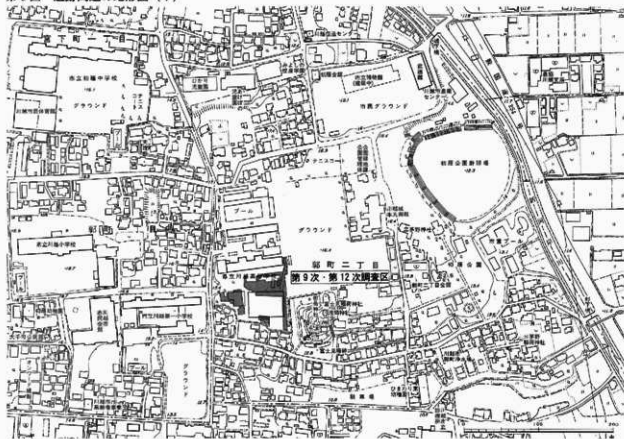
従って、第9次調査の西端部の土層堆積状態を説明して、把握された遺跡の形成過程を示して置きたい。なお、調査区中央部より東は包含層が削平されており、表土の下にローム面が露呈していた部分も多かった。

第10図に示した土層を基本土層とするが、第12次調査区とは一致しない。第Ⅲ層は整地層で、薄く締まっており、出土遺物からおおよそ19世紀中頃の整地面であると推定された。第Ⅳ層も広く遺跡を覆っている整地層と考えられ、遺物は少ないが、おおよそ18世紀代の遺物が出土している。17世紀の遺物を含む廃棄遺構(ゴミ穴)が、第Ⅳ層にベックされている。第Ⅴ層は部分的に第Ⅳ層と分層される。第Ⅵ層は固い整地層で、出土遺物から17世紀前半の整地層と推定され、第Ⅴ・

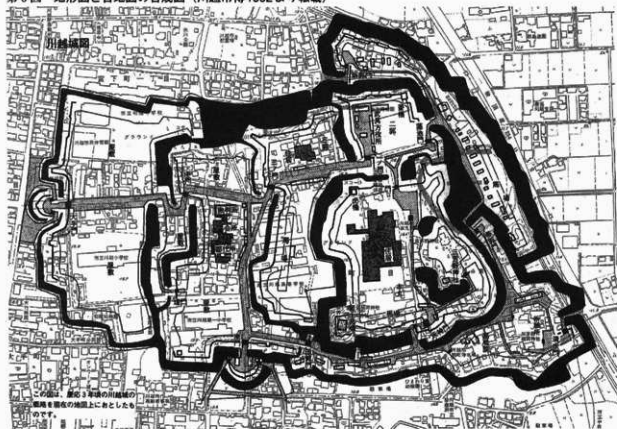
第4図 調査区グリッド配置図



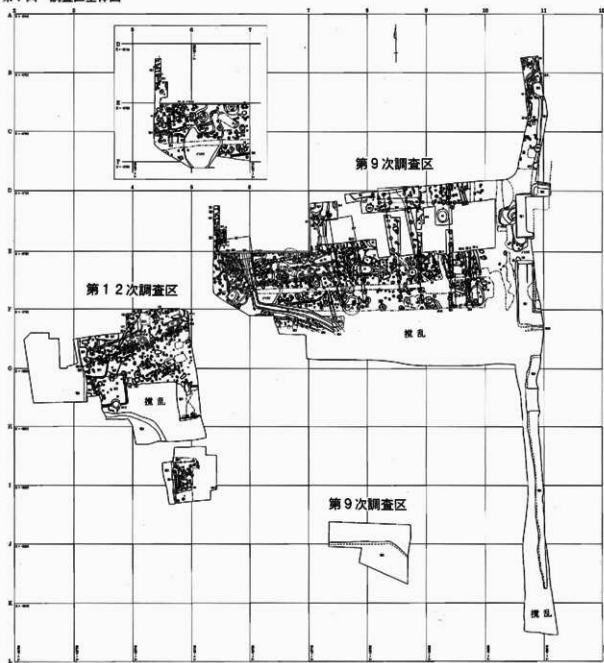
第5図 遺跡周辺の地形図(1)



第6図 地形図と古地図の合成図(川越市博1992より転載)



第7図 調査区全体図



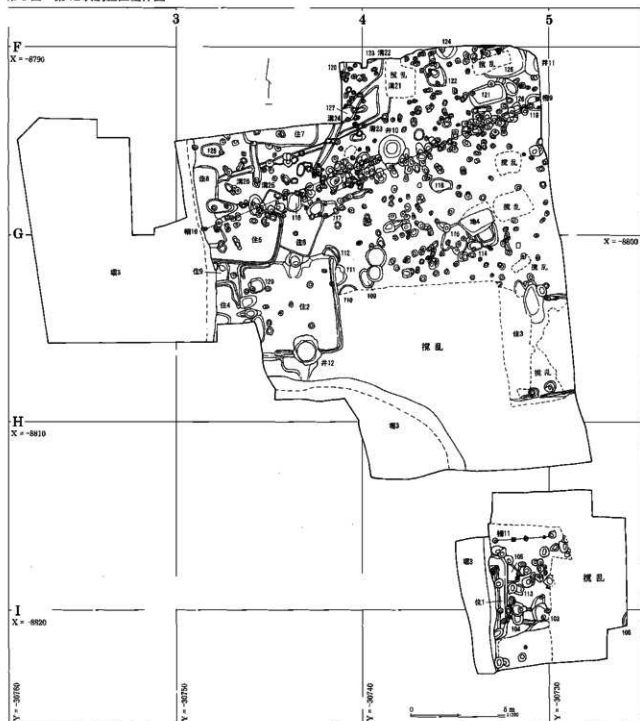
V'層からはおよそ17世紀代の遺物が出土している。第Ⅶ～Ⅷ層にかけては部分的に細かな整地面が互層を成すが、16世紀から17世紀初頭にかけての遺物が出土する。

検出された遺構は、奈良・平安時代の住居跡9軒、その他の遺構は中世末から近世の所産で、明瞭に時期区分されるものが少ないが、掘立柱建物跡9棟、柵列11列、堅穴状遺構5基、地下式墳4基、土壇130基(土

壇の中には墓壇・土器埋納遺構・門跡等を含む)、井戸12基、堀4本、溝26本、各時期のビット1629基、瓦敷遺構1基、廃棄遺構(ゴミ穴)5基であった。

古代の住居跡は、第12次調査区の台地肩部に集中して構築されていた。第12次調査区からは近世の遺物は殆ど出土していないため、検出された遺構は殆どが中世段階のものと推定される。また、第9次調査区の西側では第Ⅵ層下に多量の遺構が検出されており、大半

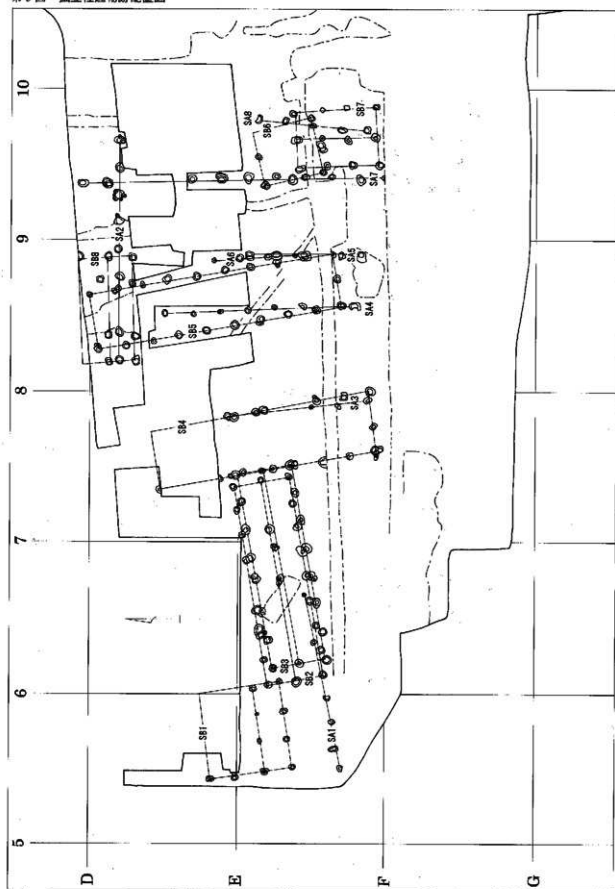
第8図 第12次調査区全体図

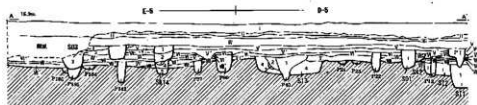


が中世末から近世初頭と推定される。中世段階と近世初頭段階の遺構が混在するが、明瞭に区分し得ない。なお、第Ⅵ層検出段階でも遺構確認を行っているが、掘立柱建物跡の大半は確認されず、第Ⅵ層以下の構築であることを物語っている。

堀・溝に関しては、現存する絵図で確認されないものも検出されており、出土遺物から明らかに中世段階のものも存在している。今回の調査では、従来不明とされていた、上杉氏時代、後北条氏時代、酒井氏時代の遺構も検出されているものと推定される。

第9図 掘立柱建物跡配置図





- SD3
1 黄褐色土 ロームブロックを多く含む。
2 暗黄灰色土 灰、炭化物を多く含む。
3 灰褐色土 灰、焼土粒を多く含む。

- SK14
1 灰褐色土 ローム粒子を少量含む。
2 暗黄褐色土 ローム粒子を多く含む。
3 黄褐色土 粘土、礫を多く含む。
4 暗褐色土 ロームを少量含む。
5 褐色土 ロームブロックを少量含む。

- SD1
1 暗褐色土 炭化物を少量含む。

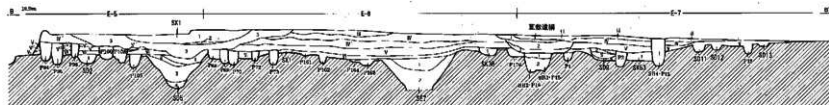
- SI1
1 黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。しりや強い。

- SI2
1 暗黄褐色土 ロームブロックを多く含む。しりや強い。

- SI3
1 灰褐色土 ロームブロック、炭化物を多く含む。
2 灰白色土 灰、炭を多量に含む。
3 暗褐色土 灰を少量含む。非常に強い。
4 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。強い。

基本土層

- I 赤土
II 赤褐色土 ローム粒、焼土粒、炭化物を多く含む。
III 赤褐色土 小礫及び焼土まじりの暗褐色。ローム粒、焼土粒を多く含む。しりや非常に強い。
IV 暗褐色土 炭化物、焼土粒を少量含む。しりや強い。
IV' 暗褐色土 中間で暗褐色が一帯隆起され、上下に分層される。上がIV、下がIV'。厚、しかし両所には分層不可。
V 暗褐色土 灰、及び炭化物を多く含む。しりやや強い。
V' 暗褐色土 ロームブロック及び、炭化物、灰等を多く含む。強い硬地層を形成する。
VI 灰褐色土 ロームブロックを断る。硬地層。
VI' 暗褐色土 IV層と共に貼り束されたもので、しりやの強い部分。
VII 暗褐色土 ロームブロック、炭化物、焼土ブロックを少量含む。しりやの強い層。
VIII 灰褐色土 瓦層に含まれるロームブロックが層状になっている部分。
IX 暗褐色土 ロームブロック、炭化物を少量含む。しりや非常に強い。



- SD2
1 褐色土 ローム粒を多量に、ロームブロックを部分的に含む。

- SK1
1 褐色土 炭化物、焼土を少量含む。しりや強い。
2 暗褐色土 ロームを多量に含む。
3 暗褐色土 炭化物、焼土を少量含む。礫を混入。しりや強い。

- SD5
1 褐色土 焼土、炭化物を少量含む。しりや強く、粘性強い。
2 暗褐色土 焼土、炭化物を多量に含む。しりや強く、粘性強い。
3 暗褐色土 ロームブロックを多量に、焼土を僅かに含む。やや強い。
4 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。しりや強い。

- SK7
1 暗褐色土 ローム粒、焼土を少量含む。礫混入。しりや強い。
2 褐色土 ローム粒を多量、ロームブロックを少量含む。焼土、炭化物を多く含む。

- SK36
1 褐色土 ローム粒を少量含む。焼土を僅かに含む。

瓦取層

- 1 褐色土 瓦層下にある粘り土。
2 暗褐色土 焼土粒、炭化物、小礫、ロームを僅かに含む。互気含層。
3 褐色土 ロームを僅かに含む。焼土粒、炭化物を少量含む。

- SH2 P15-16
1 褐色土 ローム粒を少量含む。強い。
2 黄褐色土 ロームブロックを多く含む。

- SD9
1 暗褐色土 ローム粒を少量含む。
2 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。
3 褐色土 焼土、炭化物を少量含む。
4 灰褐色土 ローム粒を多量に含む。

- SK53
1 褐色土 ローム粒、ロームブロックを多く含む。

- SB4 P12
1 褐色土 灰、焼土粒、炭化物を僅かに含む。

3 発見された遺構と遺物

(1) 住居跡

発見された住居跡は9軒で、全て奈良・平安時代のものであった。遺構は第12調査区のF～G-3区に集中して、重複しながら構築されていた。しかし、H-3区に奈良時代の住居跡1軒、F-4区の調査区東端に貯蔵穴と思われる古墳時代後期の土坑が存在し、また、第9次調査区内からも古墳時代前期や後期の土器片、平安時代の須恵器片が出土していることを考慮すると、台地縁辺部に沿った広範囲に、古墳時代から平安時代にかけての住居跡を中心とした遺構が存在していたものと推定される。

第1号住居跡 (第11図)

H～I-4区にまたがって位置する。長径4.50m、短径0.98m、深さ0.25mを測る。主軸はほぼ北方向を示す。住居跡西側の大半が、近世の第3号堀によって攪乱を受けている。住居跡の覆土の大半が、切り込んでいる堀の覆土であり、本来の覆土は三角状の堆積が堀肩部に残っていたに過ぎなかった。従って、住居跡は東側の壁と壁溝、北東、南東コーナーを現存するのみである。壁溝は0.5m前後をはかり、全周するものと思われる、比較的幅広く構築されている。住居跡の所属時期は、出土遺物から8世紀の前半期が推定される。

遺物は壁溝内から、底部全面へ削りと周辺へ削りの須恵器片、比企型の崩れた土器器片が出土している。いずれも破片からの復元である。

第2号住居跡 (第12図～第14図)

G-3区に位置する。長径、短径とも5.18m、深さ0.17mを測る方形を呈し、主軸はほぼ北を示す。竈の先端部で第6号住居跡と、北西壁で第5号住居跡と、西壁で第4号住居跡と重複し、南壁中央部で第12号井戸と重複し、それぞれの攪乱を受けている。壁溝はほぼ全周するものと思われるが、北東壁の部分では不明瞭である。柱穴は4本確認され、深さはP1=0.35m、P2=0.49m、P3=0.28m、P4=0.47mを測る。それぞれのビット間隔は、P1～P2が2.18m、P2～P3が2.24m、P3～P4が2.30m、P4～P1が2.24mの間隔を持つ。竈は北壁中央部やや東寄りに構築されており、作り付けの袖の両芯に土器の甕を倒置で使用している。住居跡の所属時期は、出土遺物から8世紀の前半期が推定される。

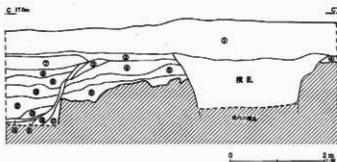
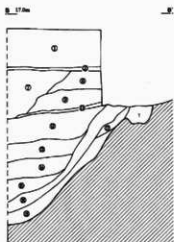
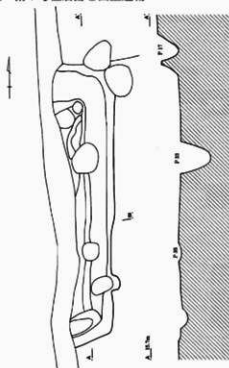
遺物は南壁の壁溝上から第13図1、2が重なって出土しており、覆瓦土内や、住居跡の覆土内からも須恵器、土器が出土している。住居跡が多くの遺構と重複するため、遺物にも混じりが認められるが、本住居跡が最も古い住居跡である。須恵器片は底部全面へ削りと、糸切り後未調整のものが混じっている。土器はハケ目をもつ古式土器の破片が混入していたが、グリッド遺物へ含めた。また、比企型や口径の大きい鉢が出土しており、器面の整形が非常に丁寧であった。また瓶と思われる口縁部破片も存在し、この時期としてはやや古相を帯びていると思われるものを含んでいる。しかし、袖芯に使用されている甕は口縁部が広く字状に屈曲するもので、この住居跡の時期を

第1号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
11	1	坏	(15.0)	3.6	(10.0)	A E 針	普通	灰褐色	30	南北企産
	2	坏		(2.0)	(9.8)	A C E 針	良好	灰オリーブ色	20	南北企産
	3	坏		(1.9)	(9.2)	A B E 針	良好	灰色	破片	南北企産
	4	坏	(12.4)	(3.0)		A C	普通	明赤褐色	破片	内面全面・外面口縁部赤彩
	5	坏	(14.6)	(3.0)		A C	普通	明赤褐色	破片	
	6	坏	(16.0)	(2.2)		A C	普通	にがい赤褐色	破片	内面赤彩

第11図 第1号住居跡と出土遺物

SJ1



SJ1

1 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土・炭化物粒子を多く含む。しまり強い。

第12次調査区土層

① 黄 土

② 暗褐色土 ロームブロックを多量に含み、白色粘土ブロックを少量含み、しまり強い。

③ 暗黄褐色土 ローム粒子を大量に含み、炭・焼土粒を少量含む。しまり強い。

④ 黄褐色土 ロームブロックを主体とし、黒色土ブロックを含む。炭化物、焼土粒子を多量に含む。

⑤ 黒褐色土 ロームブロックを少量含み、焼土・炭化物粒子を微量に含む。

⑥ 暗灰褐色土 ロームブロックを多量に含み、焼土・炭化物を多量に含む。

⑦ 灰褐色土 白色粘土ブロックを大量、小礫を少量含む、しまり強い。

⑧ 暗褐色土 粘土ブロックをまばらに含む。

⑨ 赤褐色土 同色の粘土ブロックを主体とし、小礫を少量含む。しまり強い。

⑩ 暗茶褐色土 同色の粘土ブロックを主体とし、小礫を少量含む。しまり強い。

⑪ 暗褐色土 粘土ブロックが層状に堆積するが、ブロックの厚は小さい。

⑫ 暗褐色土 赤味を帯びた黄褐色粘土ブロックと白色粘土ブロックを大量に含む。しまり強い。

⑬ 暗褐色土 ロームブロックを大量に、炭化物・焼土粒子を少量含む。しまり極めて強い。

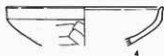
⑭ 暗褐色土 13層よりボソボソの土を多く含み、しまり強い。

⑮ 暗褐色土 赤味を帯びたロームブロックを主体とする。粘性極めて強いがしまりは弱い。

⑯ 灰黄褐色土 ローム粒子和白色粘土粒子を多量に、炭化物・焼土粒子を少量含む。しまり強い。

⑰ 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含む。しまり強い。

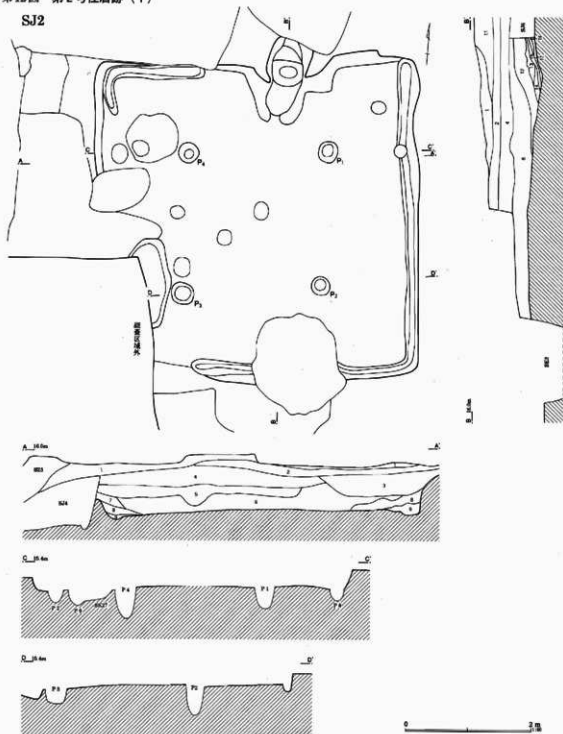
⑱ 灰褐色土 白色粘土粒子を多量に含む。しまり強い。



0 10m

第12図 第2号住居跡(1)

SJ2



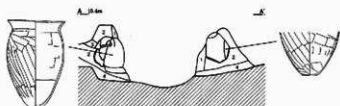
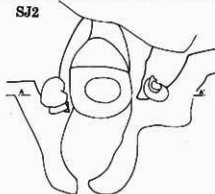
SJ2

- 1 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、しまりやや強い。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、固くしまる。
- 3 灰褐色土 ローム小ブロック粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、粘性強く、固い土。
- 5 暗黒褐色土 ローム粒子・粘土粒子を少量含む。
- 6 暗黄褐色土 ロームブロック粒子を多量に含み、しまり強く、粘性弱い。
- 7 暗褐色土 粘土粒子を多量に含む。
- 8 暗黄褐色土 ロームブロックを少量含み、しまり弱い。
- 9 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、しまり弱い。

- 10 黄褐色土 ローム粒子・ブロックを多量に含む、しまり強い。
- 11 暗褐色土 ローム粒子・粘土粒子を含む、しまり弱い。
- 12 淡黄褐色土 白色粘土とローム土を主体とする。黒褐色土と粘土を少量含む。腐落カマド天井部である。
- 13 黒色土 カマドの天井から落ちた粘土と灰・土のたまり。
- 14 白灰色土 ワラ灰のような軟らかい灰層。
- 15 赤褐色土 カマド床面。良く焼けてしまっている。
- 16 灰色土 灰を含む粘土層で、粘性強い。
- 17 暗黄褐色土 白色粘土とロームの混合粘土をカマド南方の直上に貼った物。粘性強く、しまりやや強い。

第13図 第2号住居跡(2)と出土遺物(1)

SJ2



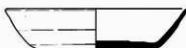
SJ2 カマド

- 1 赤褐色土 カマドの内壁。
- 2 灰褐色土 白色の粘土で、よく叩きしめられる。
- 3 暗褐色土 しまり面。
- 4 黒褐色土 ロームブロックを含む粘り床。

0 1m



1



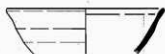
2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



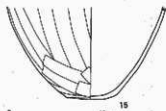
16



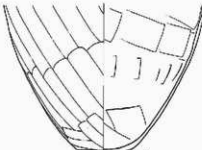
17



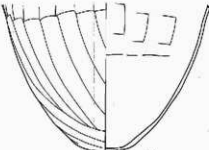
18



19



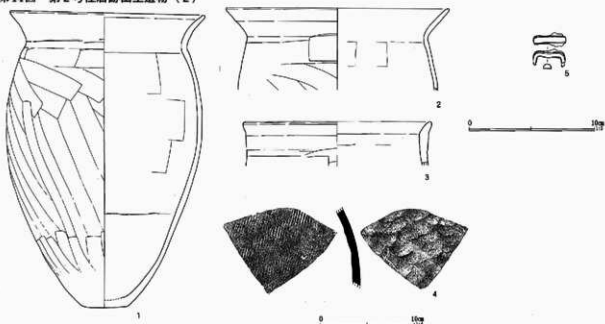
20



21

0 1m

第14図 第2号住居跡出土遺物(2)



第2号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
13	1	坏	13.9	3.3	8.2	ACE針	良好	青灰色	95	南比企産
	2	坏	14.4	3.3	9.2	ACE針	良好	青灰色	95	南比企産
	3	坏		(1.2)	(10.6)	ACE針	良好	青灰色	破片	南比企産
	4	坏	(12.4)	4.5	(6.0)	ABCEF	普通	灰白色	20	東金子産
	5	坏	(12.3)	(3.6)		ABCE針	良好	青灰色	破片	南比企産
	6	坏	(14.1)	(2.7)		ACE針	普通	黄灰色	破片	南比企産
	7	坏		(2.4)	(8.0)	ACE	良好	暗青灰色	破片	東金子産
	8	坏	(12.2)	(2.8)		ACE針	普通	灰オリーブ色	破片	南比企産
	9	坏	(12.3)	(3.0)		ACE針	普通	灰黄色	破片	南比企産
	10	坏		(1.6)	(6.5)	ACE	普通	灰黄色	40	東金子産
	11	坏	(11.2)	(2.3)		ABCE	普通	赤褐色	破片	内面全面・外面口唇部赤彩
	12	坏	(13.8)	(2.5)		ABCE	普通	にぶい黄褐色	破片	
	13	鉢	(23.1)	(11.9)	(9.7)	ABCD	普通	暗褐色	20	
14	14	鉢	(29.6)	(4.0)		ABC	普通	暗褐色	破片	
	15	甕		(9.8)	5.2	ABCE	普通	にぶい赤褐色	70	
	16	甕		(15.7)	5.5	ABCE	普通	明赤褐色	70	
	17	甕		(15.7)	(6.0)	ABCE	普通	にぶい赤褐色	40	
	1	甕	(20.5)	26.7	4.9	ABCE	普通	明褐色	50	
	2	甕	(23.6)	(8.5)		ABCE	普通	赤褐色	破片	
	3	甕	(19.8)	(4.7)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片	
	4	甕				ABCE	良好	暗青灰色	破片	
	5	甕?	幅0.6、長さ26cm						鉄製	

示している。鉄器は、後世のものが混入したものとと思われる。

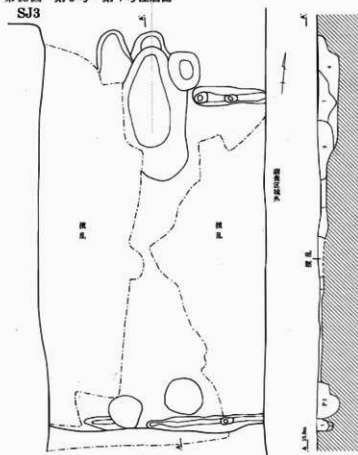
第3号住居跡(第15図、第16図)

G-4~5区にかけて位置する。長径5.48m、短径

3.0m、深さ0.06mを測るが、長方形に近いプランを呈するものと思われる。主軸はほぼ北方向を示す。竈と北壁、南壁の一部を現すのみで、大半が攪乱による欠損を受けていた。竈は北壁の中央部のやや東寄りに構築されているものと思われ、東西に並列重複して

第15図 第3号・第4号住居跡

SJ3

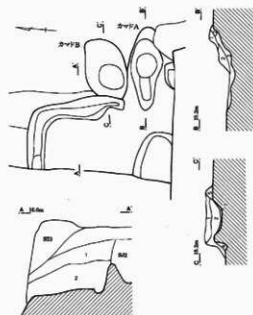


SJ3

- 1 黒褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を多く含む。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を多く含み、しまり固く、粘性強い。
- 3 暗褐色土 ロームブロック、焼土ブロックを多く含み、脆い。
- 4 赤褐色土 焼土ブロックを多量に含み、脆い。

0 2m

SJ4



SJ4

- 1 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子を若干含み、しまり固い。
- 2 暗褐色土 ロームブロック粒子を多く含み、しまり固く、粘性強い。

SJ4 カマダA

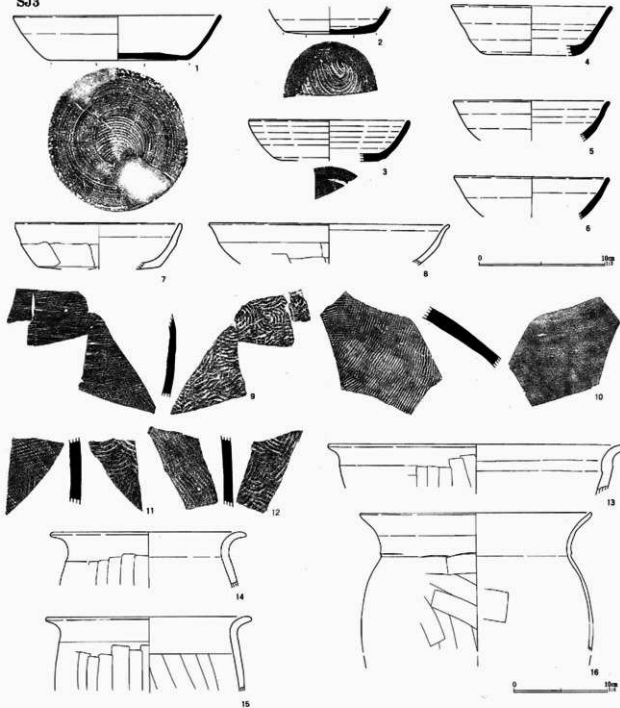
- 1 赤褐色土 焼土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土 焼土粒子、ローム粒子を少量含む。
- 3 暗黒褐色土 灰を多く含み、しまり固い。

SJ4 カマダB

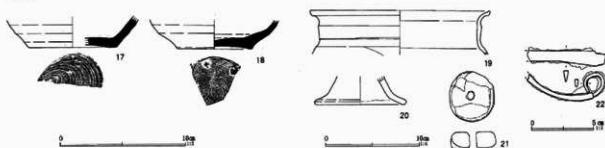
- 1 赤褐色土 焼土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、しまり固い。
- 3 黒褐色土 炭化物・焼土粒子を少量含み、灰を若干含む。
- 4 灰褐色土 焼土粒子を多く含む。
- 5 暗黄褐色土 ロームブロックを多く含み、しまり強い。

0 2m

第16図 第3号・第4号住居跡出土遺物
SJ3



SJ4



第3号・第4号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備	考
SJ3											
16	1	坏	16.3	3.5	10.9	ABCE針	普通	灰白色	80	南北企産	
	2	坏		(21)	7.2	AE	良好	暗青灰色	30	東金子産	
	3	坏	(12.6)	3.2	(7.9)	ABC	良好	青灰色	20		
	4	坏	(12.6)	3.8	(7.0)	AE	普通	褐灰色	20		
	5	坏	(12.2)	(3.1)		ACE	良好	青灰色	20		
	6	坏	12.0	(3.2)		ACE	良好	灰白色	50		
	7	坏	(13.0)	(3.7)		ACE	普通	褐色	30		
	8	坏	(19.0)	(3.2)		ABC	普通	明赤褐色	破片	内面赤彩	
	9	甕				AE片	良好	青灰色	破片	末野産	
	10	甕				ABCE	普通	灰白色	破片		
	11	甕				ACE片	良好	青灰色	破片	末野産	
	12	甕				ACE片	良好	青灰色	破片	末野産	
	13	飯	(31.0)	(5.3)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片		
	14	甕	(20.0)	(5.8)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片		
	15	甕	(21.4)	(7.9)		ABCE	普通	明赤褐色	破片		
	16	甕	(24.4)	(14.7)		ABC	普通	にぶい赤褐色	破片		
SJ4											
16	17	坏		(2.5)	(7.0)	ACE	普通	にぶい黄褐色	20		
	18	坏		(2.3)	(5.8)	ACE	良好	暗青灰色	20		
	19	甕	(19.0)	(4.6)		ABCD	普通	明赤褐色	破片		
	20	台付甕		(3.0)	(9.3)	ABCE	普通	にぶい褐色	20		
	21	紡錘車	大径4.7、小径4.2、厚さ1.8、孔径0.7cm							土製	
	22	刀子	現存長6.2、刃幅1.2、背幅0.3cm							鉄製	故意に折り曲げている

2ヶ所が存在する。西側の竈の方が古く、浅い。壁溝は現存する壁際に存在し、ほぼ全周するものと思われる。その他の、付属施設は攪乱のため、不明となっている。住居跡の所属時期は、出土遺物から8世紀の後半期が推定される。

遺物は、かろうじて現存する壁溝付近の覆土内と、竈の覆土内から出土している。須恵器は底部周辺へラ削り坏と、甕の胴部破片が出土している。土師器坏は、器高が高く、底部付近に横位の削りを施すものと、口縁部の外反する比企型坏の系統が出土しており、混在の可能性がある。土師器甕は口縁部の外反度が強いものと、やや緩く立ち上がるものがあり、これ等の時期差が竈の時間差を示している可能性が高い。

第4号住居跡（第15図、第16図）

G-3区に位置する。長径2.26m、短径1.18m、深さ0.37mを測る。主軸は、ほぼ東を示す。住居跡西側半分を第3号堀、南半分が調査区外に当たり、竈が第

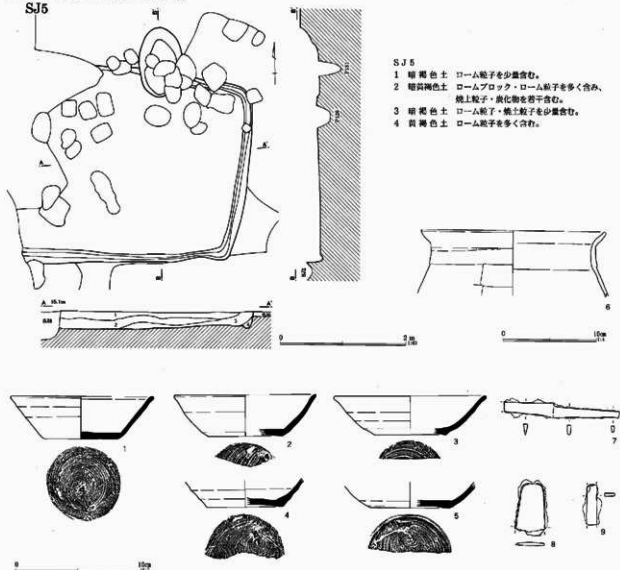
2号住居跡と重複する。本住居跡の方が新しい。住居跡の北東コーナーと、竈が現存する。竈は東壁のほぼ中央部と思われる所に、南北に並列して2ヶ所設けられている。南側の竈の方が新しい。壁溝は現存する壁際に存在することから、全周するものと思われる。柱穴は確認されなかった。出土遺物から、住居跡の所属時期は9世紀の後半と推定される。

遺物は、底部糸切り後未調整の須恵器坏や、「コ」字状口縁を持つ土師器甕、台付甕の脚部が出土しており、陶製の紡錘車も出土している。また、端部を丸く曲げられた刀子も出土している。

第5号住居跡（第17図）

F~G-3区にまたがって位置する。長径3.55m、短径3.10m、深さ0.53mを測る。主軸はおおむね北を示す。住居跡西側で第8号住居跡と第3号堀と、北東コーナーで第6号住居跡と重複する。また、住居跡内を第10号柵列が攪乱する。本住居跡は、第6号住居跡より

第17図 第5号住居跡と出土遺物
SJ5



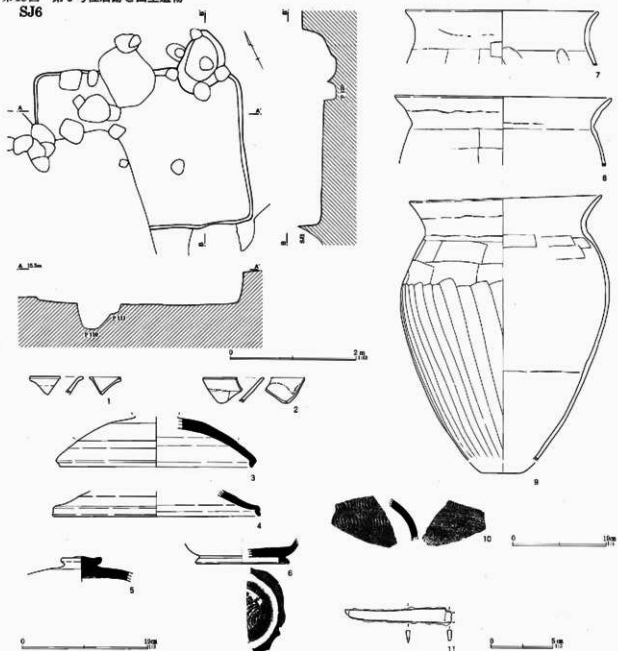
第5号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器 種	口径	器高	底径	胎 土	焼成	色 調	残存率	備 考
17	1	坏	11.3	2.9	5.9	ABCE	普通	にぶい 橙 色	100	南比企産 南比企産
	2	坏	(11.2)	3.2	(6.0)	ACE	良好	暗 青 灰 色	20	
	3	坏	(12.0)	3.1	(5.7)	ACE	普通	にぶい 橙 色	20	
	4	坏		(2.2)	(6.0)	ABCE針	普通	灰 白 色	30	
	5	坏		(2.1)	(6.4)	ACE針	普通	にぶい 橙 色	20	
	6	类	(19.6)	(6.9)		ABCE	普通	にぶい 橙 色	破片	
7	刀	子	現存長 9.3、刃幅 1.2、背幅 0.3cm							鉄製 切先・茎先欠失 小札状鉄製品 棒状鉄製品
8	不	明	幅 2.3、現存長 4.2cm							
9	不	明	幅 0.9、現存長 3.1cm							

新しく、第8号住居跡より古い。竈は北壁中央部より東寄りに設けられている。壁溝はおおむね全周するものと思われる。柱穴は確認されなかった。出土遺物から、

住居跡の所属時期は、9世紀の中頃が推定される。

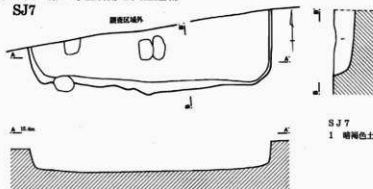
遺物は底部回転糸切り後未調整の須恵器杯、「コ」字状口縁のやや緩い土師器鉢、刀子等が出土している。

第18図 第6号住居跡と出土遺物
SJ6

第6号住居跡出土遺物観察表

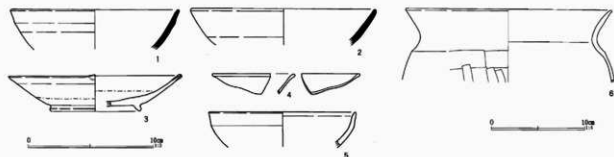
図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
18	1	坏				A	良好	灰 色	破片	灰釉陶器 9c後半
	2	坏				A	良好	灰 白 色	破片	灰釉陶器 9c後半
	3	蓋	(15.2)	(4.1)		ABCE	普通	黄 灰 色	20	
	4	蓋	(16.4)	(2.0)		AC	良好	青 灰 色	破片	東金子産
	5	蓋		(2.0)		AC	普通	灰 白 色	破片	
	6	高台付坏		(1.9)	(7.3)	A	良好	青 灰 色	30	東金子産・転用硯
	7	甕	(20.4)	(5.6)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片	
	8	甕	(22.9)	(7.2)		ABCE	普通	明 褐 色	破片	
	9	甕	20.3	(28.5)		ABCE	普通	褐 色	80	
	10	壺				AE	普通	黄 灰 色	破片	東金子産
	11	刀子	現存長8.5、刃幅1.1、背幅0.3cm							鉄製 茎欠失

第19図 第7号住居跡と出土遺物
SJ7



SJ7

1 暗褐色土層 ロームブロックを多数に含み、焼土粒子を少量含む。
粘性、しまり具合や強い。



第7号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
19	1	坏	(13.3)	(3.2)		ABC針	良好	灰褐色	破片	南北産
	2	坏	(14.7)	(2.9)		ACE	普通	灰黄色	破片	
	3	皿	(13.6)	2.9	(7.0)	ACE	良好	灰白色	20	灰釉陶器
	4	坏				A	良好	灰白色	破片	灰釉陶器
	5	坏	(11.5)	(2.8)		ABE	普通	暗赤褐色	破片	全面赤彩
	6	甕	(21.8)	(7.8)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片	

第6号住居跡 (第18図)

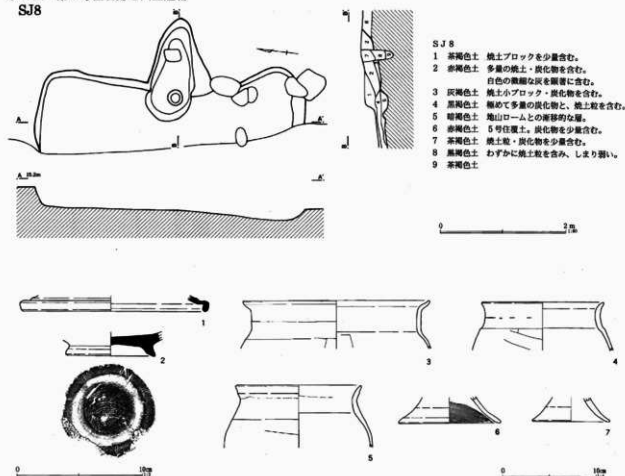
F～G-3区にまたがって位置する。長径3.40m、短径2.50m、深さ0.43mを測る。プランは東西方向に細長い長方形で、住居跡の主軸は北東方向を示す。第5号住居跡と南西コーナーで重複し、本住居跡の方が古い。竈は北壁の北東コーナー寄りに設置されており、土壌等によって攪乱を受けている。壁溝と柱穴は確認されなかった。住居跡の所属時期は、出土遺物から8世紀前半と推定される。

遺物は須恵器の蓋、高台付坏、甕の胴部破片、土師器では甕の口縁部、やや大形の破片等が出土している。

また、覆土内に9世紀代の灰釉陶器の破片や、底部回転糸切り後未調整の須恵器坏の破片等が混在していた。

第7号住居跡 (第19図)

F-3区に位置する。長径4.00m、短径1.10m、深さ0.35mを測る。プランは長方形を呈するものと思われるが不明で、竈が検出されなかったため住居跡の主軸方向も不明である。住居跡の大半が調査区外に当たり、住居跡の南壁近くが現存するのみで、詳細は不明である。壁溝は存在しない。柱穴は確認されなかったが、床面は凹凸が著しかった。出土遺物には混在が多く認められ、所属時期を決定し得ないが、9世紀後半

第20図 第8号住居跡と出土遺物
SJ8

SJ8

- 1 赤褐色土 焼土ブロックを少量含む。
- 2 赤褐色土 多量の焼土・炭化物を含む。
白色の微細な灰を顕著に含む。
- 3 灰褐色土 焼土小ブロック・炭化物を含む。
- 4 黒褐色土 極めて多量の炭化物と、焼土粒を含む。
- 5 暗褐色土 地山ロームとの間接的な層。
- 6 赤褐色土 5号住居土。炭化物を少量含む。
- 7 赤褐色土 焼土粒・炭化物を少量含む。
- 8 黒褐色土 わずかに焼土粒を含み、しりぞい。
- 9 赤褐色土

第8号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
20	1	蓋	(14.4)	(1.2)		ACE	良好	灰 色	破片	東金子産
	2	高台付杯		(2.0)	7.0	ABCE	普通	青 灰 色	80	
	3	甕	(20.7)	(5.1)		ABCE	普通	にぶい褐色	破片	
	4	台付甕	(12.7)	(5.1)		ABCE	普通	にぶい褐色	破片	
	5	台付甕	(13.2)	(5.6)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片	
	6	台付甕		(2.8)	(10.7)	ABCE	普通	赤 褐色	20	
	7	台付甕		(2.6)	(8.2)	ABCE	普通	にぶい橙 色	破片	

代を推定して置きたい。

遺物は灰粘陶器の皿の破片や、須恵器杯の口縁部破片、土師器杯、土師器甕が出土している。

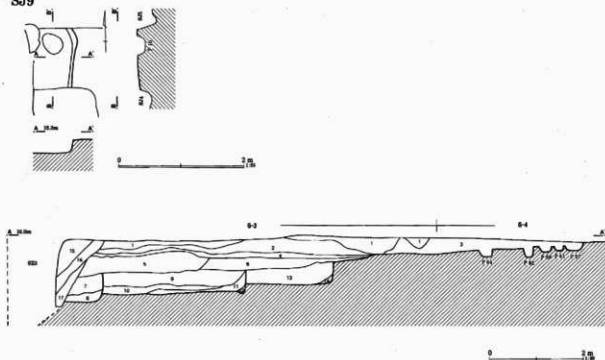
第8号住居跡 (第20図)

F～G-3区にまたがって位置する。長径4.25m、短径1.14m、深さ0.29mを測る。住居跡の主軸はほぼ東方向を示している。プランは長方形を呈するものと

思われるが、住居跡西側半分に第3号溝による攪乱を受ける。また、竈から南東コーナーにかけてが第6号住居跡と重複するが、本住居跡の方が新しい。竈は東壁のおお中央部に設置されており、やや細長い煙道部を持つ。壁溝は存在せず、柱穴も確認されなかった。出土遺物から、住居跡の所属時期は9世紀の後半段階が想定される。

遺物は須恵器蓋、高台付杯、「コ」字状口縁を持つ土

第21図 第9号住居跡
SJ9



基本土層

- 1 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、しまりやや弱い。
- 2 暗褐色土 2層上に堆積した土で、ローム粒子、焼土粒子などを含む。しまり強い。
- 3 黒色土 ローム粒子を少量含み、しまり、粘性強い。中世段階の覆土。
- 4 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、非常に堅くしまる。遺構の東半分を覆っている土。
- 5 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物等を少量含み、しまり強い。カワラが多く出土。
- 6 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、しまり、粘性強い。
- 7 茶褐色土 焼土ブロックを少量含み、しまりやや強い。(SJ8)
- 8 黒褐色土 極めて多量の炭化物と、焼土粒子を含む。(SJ8)
- 9 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。(SJ5)
- 10 暗黄褐色土 ロームブロック、ローム粒子を多く含み、焼土粒子、炭化物を若干含む。(SJ5)
- 11 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。(SJ5)
- 12 黄褐色土 ローム粒子を多く含む。(SJ5)
- 13 暗褐色土 ローム小粒子を多量に、焼土と炭化物を少量含む。しまり強い。(SJ6)
- 14 黄褐色土 ロームブロック主体の硬面礫土。粘性やや強く、しまり強い。(SJ6)
- 15 茶褐色土 焼土ブロック、焼土ブロックなどを含み、しまり強い。(SZ3)
- 16 灰白色土 焼土粒子、ロームブロックを多く含み、しまり非常に強い。(SZ3)
- 17 暗褐色土 焼土粒子を多く含み、しまり強い。(SZ3)

部器臺、台付臺の脚部が出土している。

第9号住居跡 (第21図)

G-3区に位置する。長径0.9m、短径0.7m、深さ0.18mを測る。東壁の一部のみ存在し、北側で第5号住居跡、南側で第4号住居跡、西側で第3号堀で擾乱されている。本住居跡は何れの遺構よりも古いものと考えられる。図示可能な遺物は出土しておらず、各時期の小片が出土しているのみで、遺構の所属時期を決

定し得ないが、9世紀代の住居跡より古いことを想定すると、8世紀代所産の可能性が高くなる。

また、第21図には東西グリッドラインの土層断面図を掲載した。5、6層以上が中世の包含層で、遺構状の落込みも見られる。近世の第3号堀の覆土は15~17層で、中世の包含層を切り込んでいることが理解される。さらに、古代の第5号、第6号、第8号住居跡の切り合い関係も明らかである。

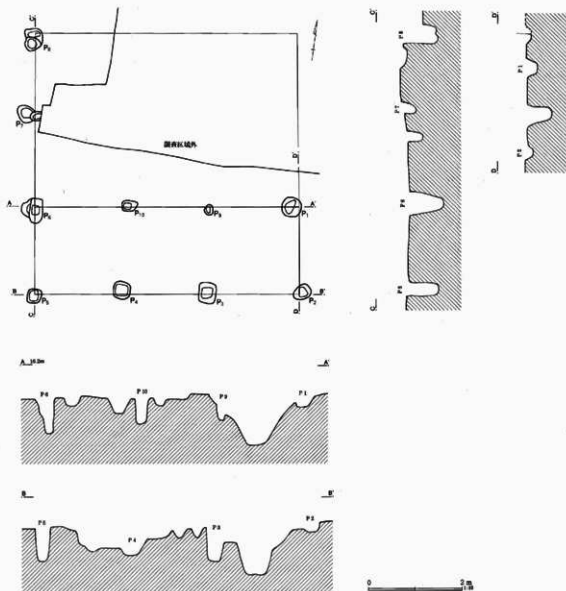
(2) 掘立柱建物跡

調査区全体に亘って多数の柱穴状ビットが存在しており、それ等全てを確実に遺構としての繋がりで認識することは不可能であった。それでも、可能な限りの組み合わせを抽出し、合計9棟を掘立柱建物跡と認識した。しかし、夥しい数の柱穴状ビットを考慮すると、中世末から、近世終末にかけて全体でどれほどの建物があり、また、何時の時期にどれだけの建物が存在していたか、推測すら不可能であることを認識せざるを得ない状況であった。

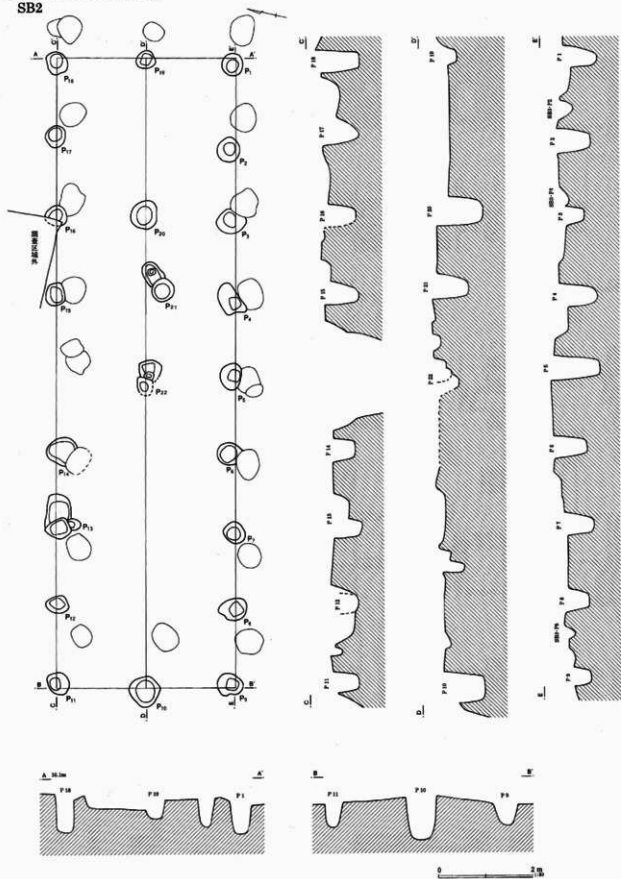
その中において、第9次調査区の西側半分で、層位的な調査が可能な部分については、掘立柱建物群の構築面が把握されるものも存在した。しかし、これについても厳密なものではなく、出土遺物が殆どないことから、時期比定は慎重に成らざるを得ない状況であった。

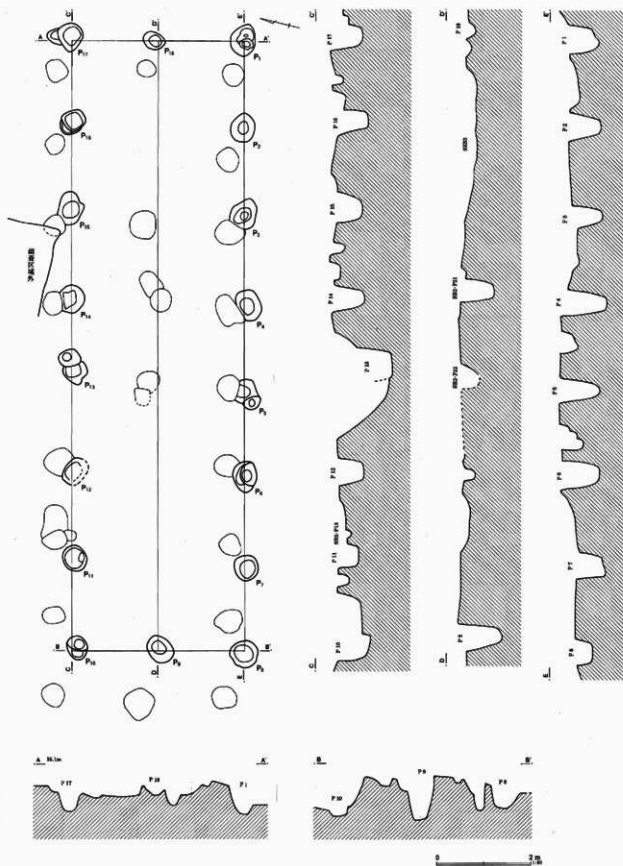
掘立柱建物跡は、大きくは東西方向のものと、南北方向のものが存在し、同じような場所に何度となく建て替えている場合が多い。さらに、東西の隣接する掘立柱建物跡が組み合って、1棟を構成していることも

第22図 第1号掘立柱建物跡
SB1



第23图 第2号掘立柱建物跡
SB2



第24図 第3号掘立柱建物跡
SB3

可能性としてある。また、後述するが、布掘りを持つ柵列との区別も難しく、誤認している部分もある可能性がある。

第1号掘立柱建物跡（第22図）

D～E-5～6区に位置する。北東コーナーにかけて調査区外となるため全柱穴を抽出できないが、建物規模は3間(5.86m)×3間(5.68m)の総柱建物と思われ、梁間1.95m、桁間1.89mである。主軸方位はN-8°-Wである。南東部分が第2号掘立柱建物跡と重複する。

第2号掘立柱建物跡（第23図）

D～E-6～7区に位置する。南西方向にややずれてほぼ重なるように、第3号掘立柱建物跡と重複する。建物規模は2間(3.84m)×8間(13.44m)の側柱建物と思われ、梁間1.92m、桁間1.68mである。主軸方位はN-80°-Eである。

第3号掘立柱建物跡（第24図）

D～E-6～7区に位置する。北東方向にややずれてほぼ重なるように、第2号掘立柱建物跡と重複する。建物規模は2間(3.68m)×7間(12.96m)の側柱建物と思われ、梁間1.84m、桁間1.85mである。主軸方位はN-80°-Eである。

第4号掘立柱建物跡（第25図、第33図）

D～E-7～8区に位置する。北側2間分が未調査区内にあるため詳細は不明であるが、北西端のビットから全体を推定した。第5号掘立柱建物跡と並行して存在することから、桁行が延びる可能性がある。桁行の間隔が不揃いの部分もあるが、建物規模は2間(4.00m)×8間(14.72m)の側柱建物と思われ、梁間2.00m、桁間1.84mである。主軸方位はN-10°-Wである。遺物はP14からかわらけが、P5から板碑が出土している。

第5号掘立柱建物跡（第26図、第33図）

D～E-8区に位置する。建物規模は2間(3.68m)×9間(16.56m)の側柱建物と思われ、梁間1.84m、桁間1.84mである。北側部分の桁行が調査区外にあり、10間となる可能性もある。主軸方位はN-10°-Wである。遺物はP15から、鉄釘が3点出土している。

第6号掘立柱建物跡（第27図）

E-9区に位置する。東の桁側が遺構の攪乱により未検出であるが、建物規模は2間(3.76m)×2間(4.00m)の側柱建物と思われ、梁間1.88m、桁間2.00mである。方形の掘り方を持つ柱穴で構成されている。主軸方位はN-13°-Wである。

第7号掘立柱建物跡（第27図）

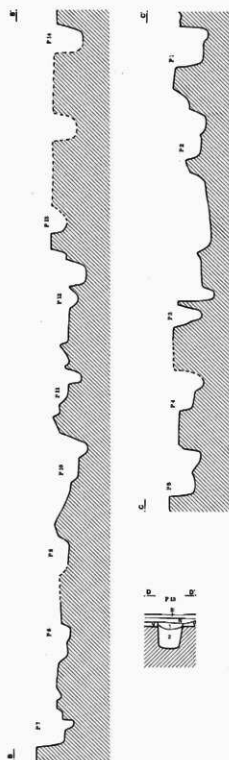
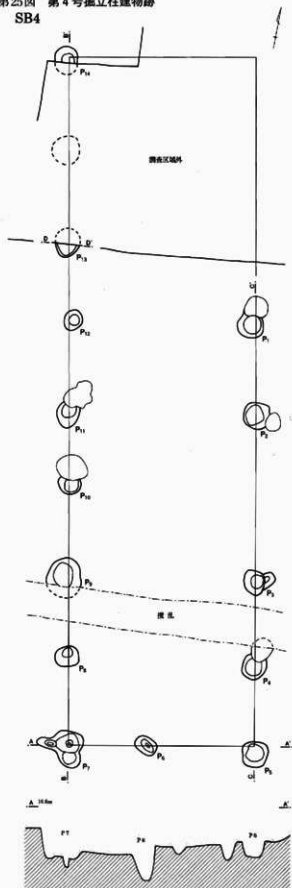
E-9区に位置する。東の桁側の中央部2本、P2、P3は柱穴の底部のみ確認されている。南梁側が攪乱内に延びていた可能性もあるが、現存部分の建物規模は2間(3.76m)×3間(5.60m)の総柱建物と思われ、梁間1.88m、桁間1.87mである。方形の掘り方を持つ柱穴で構成されている。主軸方位はN-1°-Wである。

第8号掘立柱建物跡（第28図）

C～D-8区に位置する。北側が未調査区内にあるため詳細は不明である。桁行の間隔が不揃いの部分もあるが、建物規模は2間(3.52m)×4間(7.04m)の総柱建物と思われ、梁間1.76m、桁間1.76mである。柱穴の掘り方は方形を呈する。主軸方位はN-88°-Eである。

第9号掘立柱建物跡（第28図）

A～B-10～11区に位置する。北東部分が調査区外に当たり、詳細は不明である。現存部分の建物規模は2間(3.52m)×2間(3.76m)の側柱建物と思われ、梁間1.76m、桁間1.88mである。柱穴の掘り方は方形を呈する。主軸方位はN-23°-Eである。

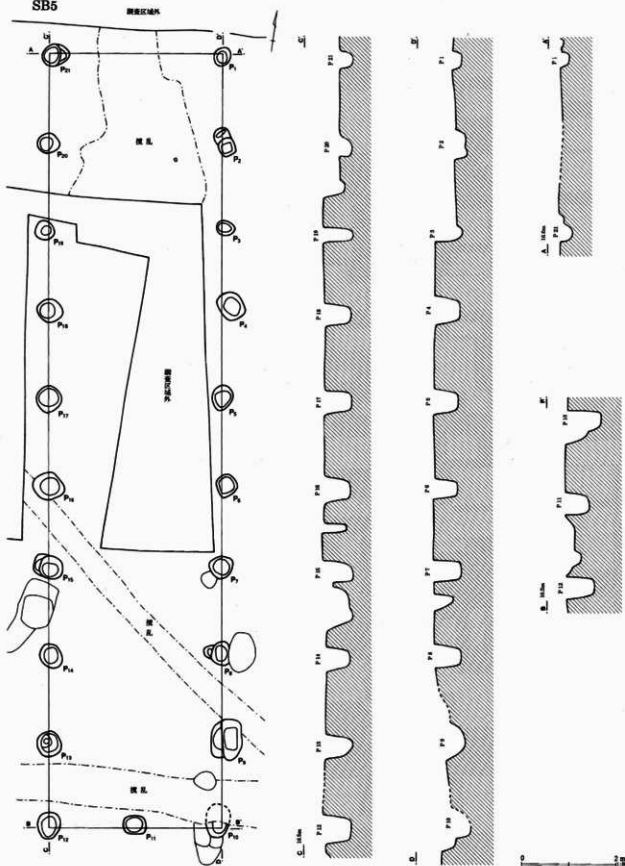
第25図 第4号掘立柱建物跡
SB4

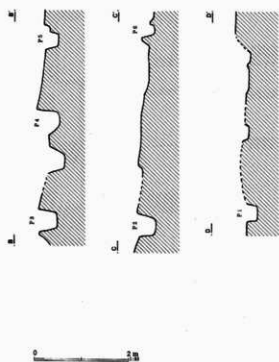
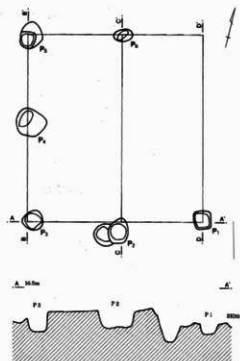
P 13

- 1 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を多く含む。しまり強い。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを含み、しまりやや弱い。

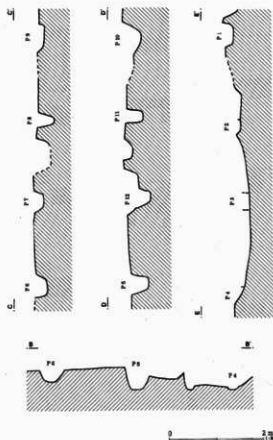
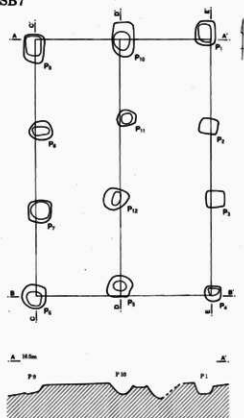
0 2m

第26图 第5号掘立柱建物跡
SB5



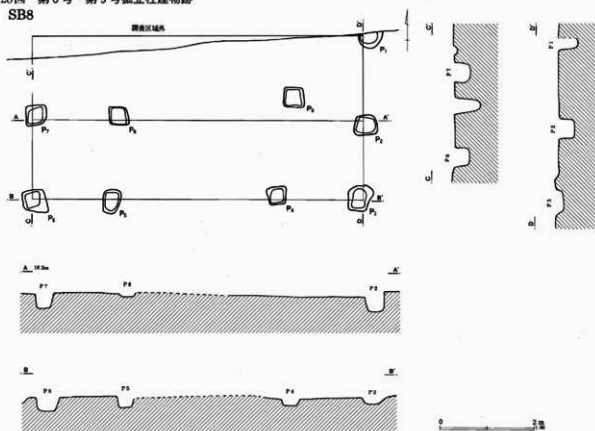
第27図 第6号・第7号掘立柱建物跡
SB6

SB7

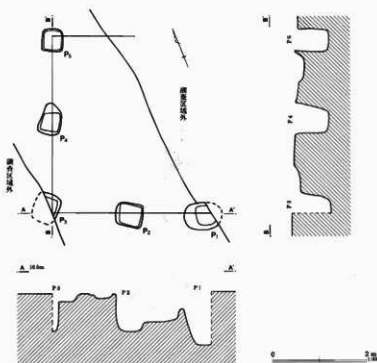


第28图 第8号·第9号掘立柱建物跡

SB8



SB9



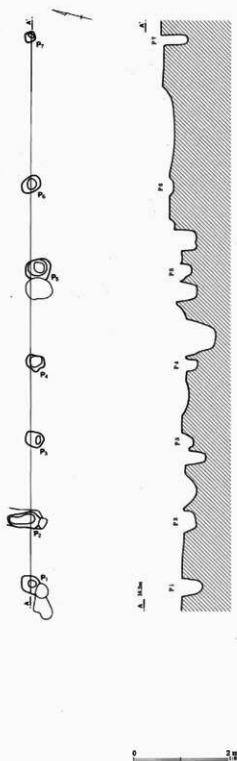
(3) 柵列

調査区内からは、掘立柱建物跡のように組み合う柱

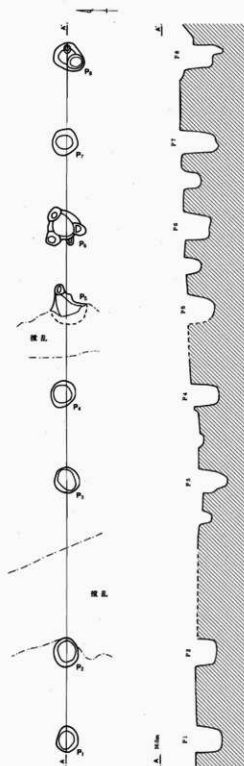
穴のない柱穴列が多数存在した。これ等についても、掘立柱建物跡を認識して柵列にしている可能性もある

第29図 第1号・第2号柵列

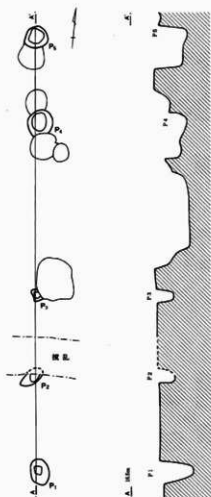
SA1



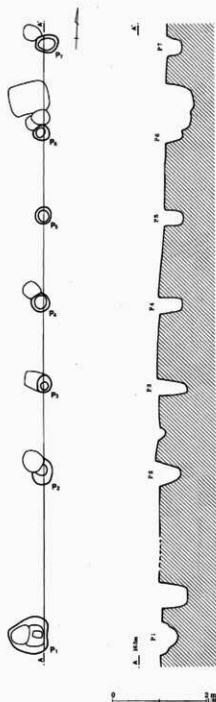
SA2



第30図 第3号・第4号櫓列
SA3



SA4



が、比較的長い柱穴列と認識されるものを抽出し、櫓列とした。

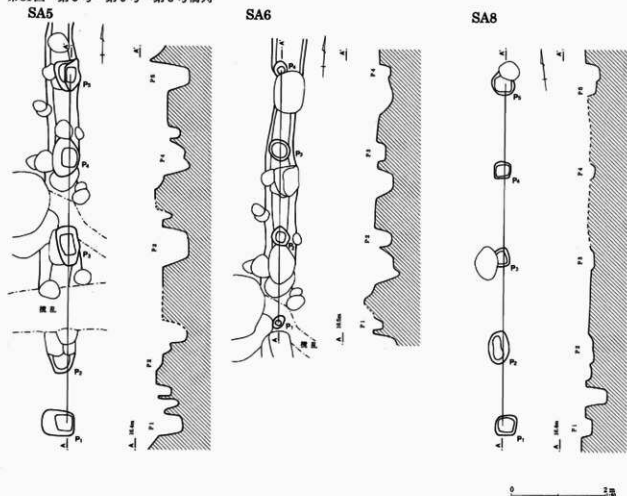
第1号櫓列 (第29図)

E-5～6区にかけて位置する。第1号掘立柱建物跡の梁行に並行して南側に位置し、第2号、第3号掘立柱建物跡と一部重複する。櫓列の規模は11.76mで、

6間分の柱穴が確認された。P6とP7の間隔がやや開くので、P1～P6(8.64m)で構成されていた可能性もある。P1～P7までの平均間尺は1.96m、P1～P5までの平均間尺は1.73mとなる。主軸方位はN-78°-Eである。

第2号櫓列 (第29図)

第31図 第5号・第6号・第8号櫓列



D-8～9区にかけて位置する。第5号、第8号掘立柱建物跡、第7号櫓列と重複する。第7号櫓列とは梁行が並行している。櫓列の規模は14.72mで、P2とP3の間の1本を攪乱で欠損するが、8間分で構成されていたものと思われる。P1～P8までの平均間尺は1.84mとなる。第2号櫓列は掘立柱建物跡になる可能性もあるが、明瞭に対応する柱穴を抽出できなかった。主軸方位はN-91°-Wである。

第3号櫓列 (第30図)

D-E-7区にかけて位置する。第4号掘立柱建物跡の東桁行とややずれながら一部重複して存在する。櫓列の規模は9.36mで、P3とP4の間の1本を攪乱で欠損するが、5間分で構成されていたものと思われる。P1～P5までの平均間尺は1.87mとなる。主軸

方位はN-6°-Eである。

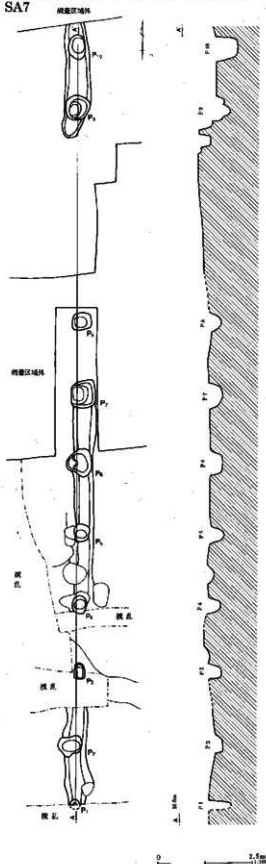
第4号櫓列 (第30図、第33図)

D-E-8区にかけて位置する。第5号掘立柱建物跡の西桁行と交差しながら存在する。櫓列の規模は確定できないが、12.64mで、P1とP2の間の1本を攪乱で欠損するが、7間分、もしくはそれ以上で構成されていたものと推定される。P1～P7までの平均間尺は1.81mとなる。第5号櫓列と組んで掘立柱建物跡になる可能性もあるが、桁行は平行しても柱穴が明瞭に対応しなかった。主軸はN-2°-Wである。櫓列を構成するP7から、宋銭が出土している。

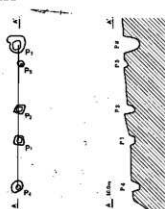
第5号櫓列 (第31図)

E-8区に位置する。第5号掘立柱建物跡の東桁行

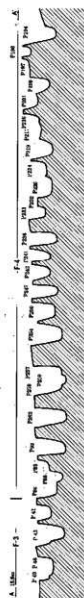
第32图 第7号·第9号·第10号·第11号槽列
SA7



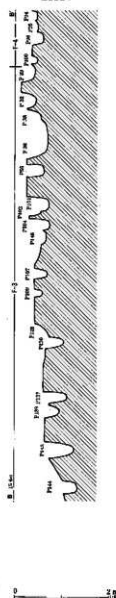
SA11



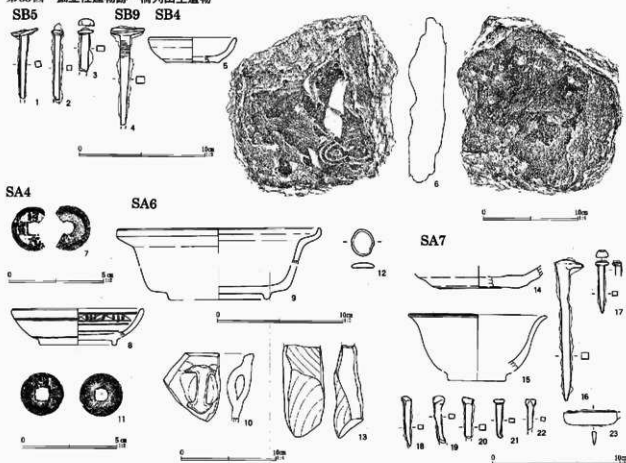
SA9



SA10



第33図 掘立柱建物跡・櫓列出土遺物



掘立柱建物跡・櫓列出土遺物観察表

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産地	備 考	
				a	b	c	d		外面	内面			
SB5													
33	1	鉄	頭巻釘	頭幅 2.1、現存長 5.5cm									
	2	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 5.5cm									
	3	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 3.3cm									
SB4													
33	5	土器	かわらけ	(7.0)	2.0	(4.0)					在地系		
	6	石	板 碑	残存長 17.5、幅 14.9、厚さ 3.8cm									
SB9													
33	4	鉄	頭巻釘	頭幅 2.7、現存長 7.7cm									
SA4													
33	7	占 銭	紹聖元寶	銭径 23.8、内径 19.1、銭厚 1.50mm、量目 1.47g								北宋 1094 年	
SA6													
33	8	磁 器	小 皿	(10.5)	(2.3)			丸 形	横 線		16c 青磁釉 在地系		
	9	磁 器	五 寸 皿	(16.1)	(3.0)			横 風 形					
	10	土 器	土 鍋		(7.3)								
	11	古 銭	不 明	銭径 22.9、内径 19.8、銭厚 1.51mm、量目 2.10g									
	12	石	碁 石	長径 2.1、短径 1.8、厚さ 0.5cm									
33	13	石	砥 石	残存長 9.9、幅 4.5、厚さ 3.0cm									
SA7													
33	14	土 器	かわらけ		(1.8)	(6.1)					在地系		
	15	磁 器	小 碗	(10.9)	(4.5)			端 反 形			中国	口紅	

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
33	16	鉄	頭巻釘	頭幅 2.1、長さ 11.5cm								
	17	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 42cm								
	18	鉄	頭巻釘	頭幅 0.6、長さ 4.1cm								
	19	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 38cm								
	20	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 32cm								
	21	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 3.1cm								
	22	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 24cm								
	23	鉄	刀	現存長 42、刃幅 1.1、背幅 0.3cm								
			物									

と交差しながら、また、第6号櫛列とはほぼ重複しながら存在する。櫛列の規模は確定できないが布掘を持つ櫛列で、7.52mの4間分、もしくはそれ以上で構成されていたものと推定される。P1～P5までの平均間尺は1.88mとなる。第6号櫛列と布掘を共有しており、同一場所に何回か建て替えている可能性が高い。主軸はN-1°-Wである。

第6号櫛列 (第31図、第33図)

D～E-8区にかけて位置する。第5号掘立柱建物跡の東桁行と交差し、また、第5号櫛列とはほぼ重複しながら存在する。やはり、櫛列の規模は確定できないが第5号櫛列と共通する布掘を持ち、5.44mの3間分を確認したが、それ以上で構成されていたものと推定される。P1～P4までの平均間尺は1.81mとなる。主軸はN-4°-Wである。布掘の中より、染付の磁器、青磁皿、土鍋、古銭、基石、砥石が出土している。

第7号櫛列 (第32図、第33図)

C～E-9区にかけて位置する。第7号掘立柱建物跡の桁行と平行し、その東側に位置し、また、第6号掘立柱建物跡と一部重複しながら存在する。櫛列の規模は確定できないが第5号櫛列と同様な布掘を持ち、20.20mの推定を含む11間分を確認したが、それ以上で構成されていたものと推定される。P8～P9の間に柱穴を確認できなかったが、門状の施設も考えられる。P1～P10までの平均間尺は1.84mとなる。主軸はN-1°-Wである。布掘の中よりかわらけの底部破片、磁器の端反茶碗、刀子、鉄釘が出土している。

第8号櫛列 (第31図)

E-9区に位置する。第6号、第7号掘立柱建物跡、第15号溝と重複する。櫛列の規模は確定できないが7.36mの4間分を確認したが、それ以上で構成されていたか、もしくは掘立柱建物跡を構成していた可能性もある。P1～P4までの平均間尺は1.84mとなる。主軸はN-5°-Eである。

第9号櫛列 (第32図)

F-3～4区にかけて位置する。明確に列としての柱穴列を指摘し得ないが、何重にも重複するビット群列を櫛列として認識した。何回もの建て替えを行っているもので、その都度の柱穴の組み合わせは限定し得ない。円形を基本とし、比較的深くてしっかりとした大きな柱穴が多く、櫛列といっても堅固な構築物が考えられる。さらに、西方向に延びるものであるが、ローム面が傾斜していることや、第3号堀などに擾乱される等、全体構成は不明点が多い。第10号井戸と重複する部分で、比較的大きくしっかりとしたビットが軸からはずれて、軸を取り囲むように配置されている部分がある。門などの施設が想定される。約12m程を認定したが、堀まで続くとなると19mを測る。主軸方位はN-66°-Eである。

第10号櫛列 (第32図)

F-3～4区にかけて位置する。第9号櫛列と、軸を同じくし若干離れて重複する。第10号櫛列と同一の

可能性もある。約10mを認識した。主軸方位はN-67°-Eである。

第11号構列（第32図）

H-4～5区にかけて位置する。間隔は不揃いであ

（4）竪穴状遺構

方形の竪穴で、他に特別の付属施設が認められないものを竪穴状遺構とした。明瞭な出土遺物はないが、構築面等の検討から、中世段階の遺構であることが理解される。

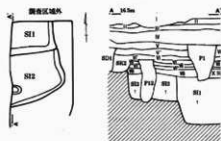
るが、櫓列の規模として約3.04mを認識した。第11号櫓列の南側には、4本柱穴を組み合わせたもので、明確にはし得ないが竪状の建物跡が検出されている。主軸方位はN-85°-Eである。

第1号竪穴状遺構（第34図）

D-5区に位置する。第2号竪穴状遺構と重複し、本遺構の方が新しい。プランは方形を呈するものと思われ、長径0.70m、短径0.53m、深さ0.79mを調査した。基本土層のⅧ層でバックされており、追認できる遺構の中で最も古い遺構の一つである。しかし、出

第34図 竪穴状遺構

SI1・2



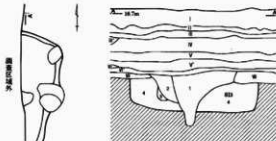
SI1

1 黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、しまりやや強い。

SI2

1 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、しまり強い。

SI3



SI3

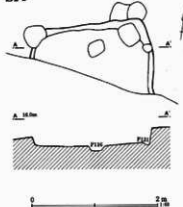
1 茶褐色土 ロームブロック、炭化物を多く含み、やや強い。

2 灰白色土 灰・炭を多量に含む。

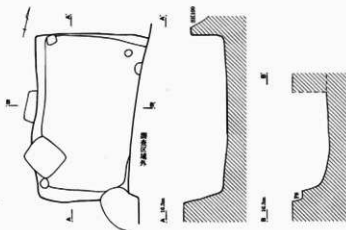
3 暗茶褐色土 灰を少量含み、非常に強い。

4 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、強い。

SI4



SI5



土遺物が無く、実際の時期は不明である。遺構の覆土は分層することができず、1層で構成されている。一度に埋められているものと思われる。

第2号堅穴状遺構 (第34図)

D-5区に位置する。第1号堅穴状遺構と重複し、本遺構の方が古い。プランは方形を呈するものと思われ、長径0.82m、短径0.78m、深さ0.31mを調査した。基本土層のⅧ層でバックされており、追認できる遺構の中で最も古い遺構の一つである。しかし、出土遺物が無いのは第1号堅穴状遺構と同じであり、実際の時期は不明である。遺構の覆土は同様に分層することができず、1層で構成されている。一度に埋められているものと思われる。床面の南側にピットが存在するが、土層断面で理解されるようにⅧ層段階からの掘り込みピットである。

第3号堅穴状遺構 (第34図)

D-5区に位置する。南北とトレンチの断面にかかっている遺構であるが、プランは方形を呈するものと思われ、長径2.02m、短径0.66m、深さ0.48mを調査した。床面はやや皿状を呈するが、壁は直に立ち上がる。基本土層の第Ⅷ層でバックされており、第1

(5) 地下式墳

入口が付き、横穴状の主体部を持つ遺構を地下式墳として認定した。土層断面で把握されるように基本土層Ⅷ下に構築されているものが多い。

第1号地下式墳 (第35図、第37図)

D-7～8区にかけて位置する。主体部の大半が調査区外にあるため、全体の形状を確定できないが、方形の主体部を持つものと思われる。しかし、入口部の西側の辺が斜め方向に走っていることから、他の遺構と重複している可能性がある。長径4.00m、短径1.70m、深さ2.07mを測る。約1m弱の方形の入口が付き、約1.8m程下がった底面からさらに0.25m程

号、第2号堅穴状遺構よりも新しい。出土遺物が無く、遺構の覆土が分層できない点等が類似する。中央部にはⅧ層から掘り込まれたピットや、それに伴う新しい土層が観察される。さらに、東壁中央部で、第1号掘立柱建物跡と重複するが、掘立柱建物の方が新しいものと半断された。

第4号堅穴状遺構 (第34図)

E-6区に位置する。第5号溝によって遺構南半分を欠損する。また、第6号溝とも重複するが、本遺構の方が古い。プランは方形を呈するものと思われ、長径1.92m、短径1.18m、深さ0.29mを調査した。出土遺物は無く、実際の時期は不明である。床面は比較的平坦で、壁は直に立ち上がる。

第5号堅穴状遺構 (第34図)

B-10区に位置する。遺構東半分が調査区外に当たり、第9号掘立柱建物跡や第1号堀と重複するが、本遺構の方が古いと半断された。プランは方形を呈するものと思われ、長径2.66m、短径1.72m、深さ0.64mを調査した。出土遺物は無く、実際の時期は不明である。

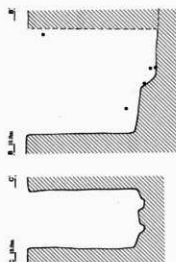
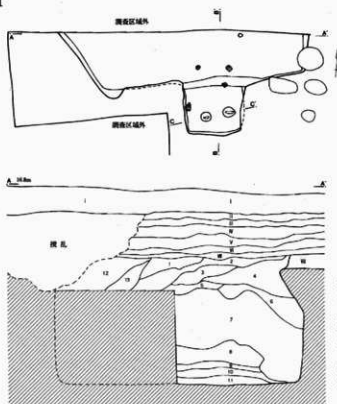
の段が付いて主体部底面となる。入口部底面には小ピットが2ヶ所に付き、階段の足場を想起させる。底面は平坦で、壁は直に立ち上がり、1.2m程上からドーム状にハングし始める。第Ⅷ層にバックされており、開口部付近には天井部の崩落土が層上に堆積していた。遺物は入口部の底部付近からかわらけ、鐏鉢、陶器の深皿、鉄釘、板磚の破片が出土しており、上の方からも鐏鉢の破片が出土している。

第2号地下式墳 (第35図、第37図)

D-7区に位置する。主体部の半分が調査区外にあるため、全体の形状を確定できないが、やや隅丸の方形の底部を持つものと思われる。そして、調査時

第35図 地下式墳(1)

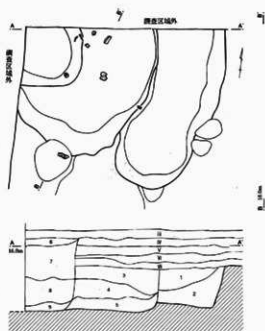
SL1



SL1

- 1 黒褐色土 ロームを主体とし褐色土少量混入。白色砂をブロック状に含む。しまりよし。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを主体とし褐色土混入。
- 3 暗褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロックおよび黒褐色土ブロックを混入。しまり悪い。
- 5 黒褐色土 ローム粒子を少量、炭化物・焼土粒子を微量に含む。
- 6 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。しまりなく悪い。
- 7 黒褐色土 ローム大ブロックを主体とし、暗褐色土充填。しまりなし。
- 8 黒褐色土 ローム粒子・ローム大ブロック混入。
- 9 暗褐色土 ロームを主体とし、黒褐色土混入。粘性あり。
- 10 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。粘性あり。
- 11 黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。粘性あり。
- 12 黒褐色土 焼土をわずかに含む。しまりなし。
- 13 暗褐色土 黄褐色砂質土ブロックを少量含む。炭化物を微量に含む。しまりよし。

SL2

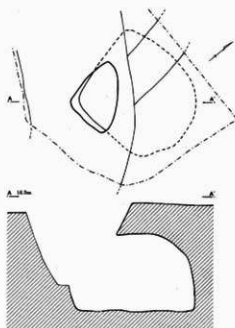


SL2

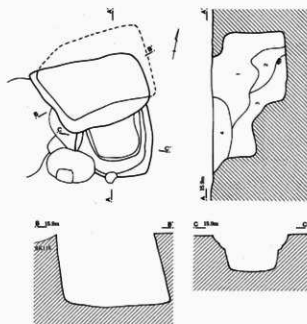
- 1 暗褐色土 炭化材(やや大きめ)を含み、しまりよし。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを多く含む。粘性あり。
- 3 黒褐色土 炭化物、焼土粒子を多く含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 5 暗褐色土 炭化物を少量含む。
- 6 黒褐色土 炭化物、焼土粒子を多めに含む。
- 7 暗褐色土 小礫をやや多く含む。炭化物を少量含む。
- 8 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。しまりよし。
- 9 暗褐色土 白色粘土ブロックを多く含む。

0 1m

第36図 地下式墳(2)
SL3



SL4



SL4

- 1 暗褐色土 白色粘土を主体、暗褐色土を客体とする埋土。粘性強く、しまりやや強い。
- 2 黄褐色土 ハードローム。落盤した天井部。粘性・しまり共に強い。
- 3 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。粘性・しまり共に強い。
- 4 暗褐色土 白色粘土ブロックを多量に含む。粘性・しまり共に強い。

点では同一と思われていたが、終了時には中央の主体部の他に、東側に長楕円形の土塊が、西側に不整形の土塊が重複していることが判明した。従って、遺物等混在して判別のつかないものが存在するため、全体を第2号地下式墳として、区分し得る遺物は区分した。第2地下式墳は3つの遺構の重複状態として認識されるが、中央と東側の2つの遺構は第Ⅵ層下に構築されており、西側の遺構は第Ⅲ層下に構築され時間差は歴然としていた。長径3.20m、短径2.56m、深さ0.77mを測る。図示した遺物の分布は、この西端の遺構に伴うものと判断され、近世の遺物が集中する。遺物は第37図に図示したが、12～20は東端の遺構出土で、21～29は混在しているが中央と西端の遺構からの出土である。内、青磁水差し23、陶器皿24、染付磁器25、青銅製釘30、31、板碑破片29は実測図内に分布を示したものである。これ等は寛永通寶47や多くの鉄器類と同様に、共に近世段階で廃棄されたものと判断される。また、21、22のかわらけはその器形から中世段階のもの

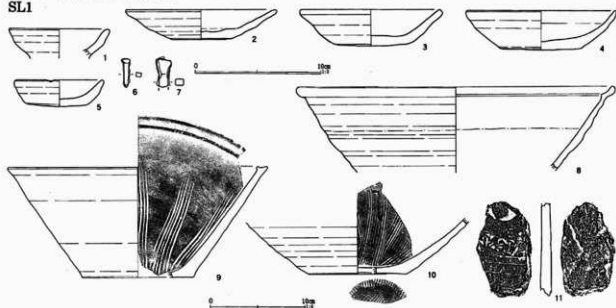
のと判断され、中央の地下式墳から出土したと思われる。

第3号地下式墳(第36図、第38図)

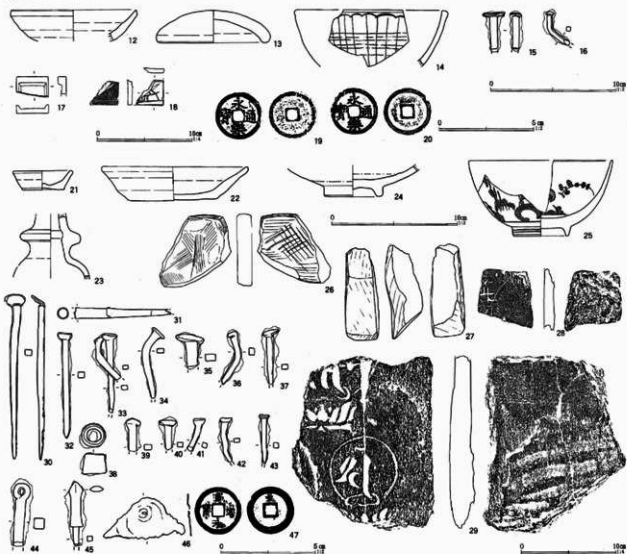
F-7区に位置する。第5号溝と重複関係にあり、溝の壁面に開口部が存在するような形態である。入口部が他の部分に存在していたかは不明であるが、溝壁面の開口部以外は天井部分が存在していた。この地下式墳の入口部が、第5号溝の壁面に存在するとすれば、大変珍しい事例となる。主体部は方形状を呈するもので、長径0.80m、短径0.73m、深さ1.27mを測る。遺物は底部付近の柔らかい覆土の中から、第38図1～4のかわらけが出土している。1～3はやや小形のかわらけで、2は口縁部に灯芯を出す部分と思われる刻みが施されており、灯明皿と推定される。全体的に底部の造りが厚く、高い器高で、内面の底部と体部の立ち上がり部分に、強い凹線状の整形を施しているのが特徴的である。また、口唇部にやや外側状の強い整形を

第37図 地下式墳出土遺物 (1)

SL1



SL2

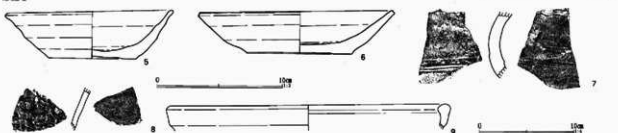


第38図 地下式墳出土遺物(2)

SL3



SL4



地下式墳出土遺物観察表

図版番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考	
			a	b	c	d		外 面	内 面			
SL1												
37	1	土 器	かわらけ	(7.0)	(2.4)					在地系	15c 後 口灰釉 15c 後 15c 後 鉄釉	
	2	土 器	かわらけ	(12.0)	2.4	4.6				在地系		
	3	土 器	かわらけ	(11.3)	2.8	(5.6)				在地系		
	4	土 器	かわらけ	(12.0)	3.1	(6.4)				在地系		
	5	土 器	かわらけ	7.1	2.1	4.0				在地系		
	6	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、長さ 2.3cm								
	7	鉄	頭 巻 釘	現存長 2.2cm								
	8	陶 器	深 皿	(33.8)	(15.0)		折 線 形			瀬 戸		
	9	炆 器	播 鉢	(27.7)	11.7	(11.7)				在地系		
	10	炆 器	播 鉢		(6.0)	(10.0)				瀬戸美濃		
	11	石	板 碑	残存長 9.8、幅 5.3、厚さ 1.1cm								
SL2												
37	12	土 器	かわらけ	(10.0)	(2.5)					在地系	焼き塩釜の蓋？ 16c 前 青磁釉 B4類 <	

国版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
37	32	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、長さ 8.3cm							2 本付着	
	33	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 6.2cm								
	34	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 5.6cm								
	35	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.2、現存長 2.8cm								
	36	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、現存長 4.2cm								
	37	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 4.4cm								
	38	鉄	不 明	幅 1.9、長さ 1.6cm								
	39	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 2.5cm								
	40	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.4、現存長 2.3cm								
	41	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 2.8cm								
	42	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 3.6cm								
	43	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、現存長 3.9cm								
	44	鉄	不 明	先端部幅 1.4、現存長 5.1cm								
	45	鉄	鉄 線	線身部幅 1.2、現存長 5.0、厚さ 0.5cm								
	46	銅	不 明	幅 3.3、長さ 6.5cm								
	47	古 銭	寛永通寶	銭径 25.2、内径 20.3、銭厚 1.30mm、重量 2.17g						銅版破片 文銭 1668 年		
SL3												
38	1	土 器	かわらけ	7.4	2.1	4.4					在地系	
	2	土 器	灯 明 皿	7.7	2.2	5.0					在地系	
	3	土 器	かわらけ	6.7	2.7	4.2					在地系	
	4	土 器	かわらけ	11.4	4.7	6.3					在地系	
SL4												
38	5	土 器	かわらけ	(13.0)	3.9	7.0					在地系	14c 後
	6	土 器	かわらけ	15.2	3.6	8.4					在地系	14c 後
	7	土 器	薬 罎								常 滑	14c 後
	8	土 器	鍋								在地系	
	9	土 器	鍋	(30.4)	(2.6)						在地系	

施すのも特徴的である。

第 4 号地下式墳 (第36図、第38図)

F～G-4 区にかけて位置する。約 0.9m 程度の方形形状の入口部から、台形状に開く主体部に繋がっており、開口部底面から主体部底面までにかけて緩やかな段差を持つ。開口部から主体部までの長径 2.30m、短径 1.87m、深さ 1.21m を測る。主体部の天井部は崩落していたが、壁面近くは残存しており、残存天井部までの高さは約 1m を測る。底面は平坦であり、壁面への遺構は緩いが、壁は直に立つ。壁から天井部への遺構も緩い。遺物は床面近くから大形のかわらけが 2 点

出土しており、覆土から甕の破片も出土している。第 28 図 5、6 はかわらけで、5 はやや器高の高いもので、底部が厚く、底部糸切り後未調整で、体部に轆轤成形痕を強く残すのを特徴とする。内面底部には回転ケズリを施し、同心円状または螺旋状の削り痕が残る。非常に特徴的な成形痕を残す。6 は口径が大きくて器高の低い皿状を呈し、外面の成形痕はナデによって丁寧に消されている。やはり、底部が厚く、内面に回転ケズリを施した螺旋状の削り痕を残している。口唇端部は面取りを施している。両者とも赤褐色を呈する特徴的なかわらけである。

(6) 土壌

土壌は調査区全体にわたって満遍なく存在しており、全て通し番号を付けて処理した。従って、墓域、埋納遺構、門などを構成する遺構も土壌としたが、機能が明瞭なものについては別項目で取り扱うことにする。しかし、墓域については必ずしも明確な半断根拠がないものも存在するため、本項で扱い、その可能性を指摘することにする。

第1号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは円形で、やや大きなビット状を呈するものと思われる。長径0.41m、短径0.22m、深さ0.45mを測る。遺構北側半分が調査区外にある。底面は小さく、やや尖り気味となる。遺物は出土していない。

第2号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは楕円形を呈するものと思われ、底面は丸底状を呈する。遺構の4分の1程を調査した。長径0.44m、短径0.37m、深さ0.22mを測る。遺物は出土していない。

第3号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは不整円形で、一部が調査区外に当たる。底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径0.54m、短径0.40m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

第4号土壌 (第39図、第50図)

D-5区に位置する。遺構のプランはおおむね円形で、一部が調査区外に当たる。底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.42m、短径0.38m、深さ0.18mを測る。遺物は中国製染付磁器皿と、キセルの雁首が出土している。

第5号土壌 (第39図、第50図)

D-5区に位置する。第10・11・12号土壌と重複す

る。遺構のプランは円形で底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径0.78m、短径0.57m、深さ0.44mを測る。遺物は土壌上面を被り様に火消壺の破片と、その蓋、宋銭が出土している。火消壺は完形に復元された。

第6号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは長方形に近い楕円形で、一部が第3号壁穴状遺構と重複する。底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径0.63m、短径0.46m、深さ0.08mを測る。遺物は出土していない。

第7号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。第10号土壌、中央部でグリッドビットと重複する。遺構のプランは不整楕円形で、底面は皿状を呈し、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.64m、短径0.42m、深さ0.53mを測る。遺物は出土していない。

第8号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは不整円形で、底面はやや凹凸があり、壁は緩く立ち上がる。長径0.48m、短径0.42m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

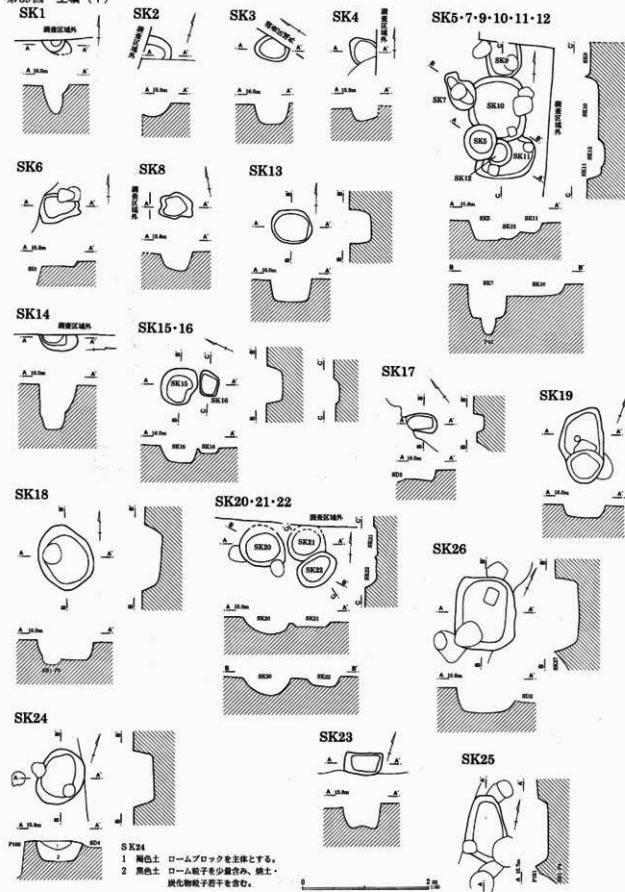
第9号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。第10号土壌、グリッドビットと重複し、一部が調査区外に当たる。遺構のプランは楕円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.54m、短径0.56m、深さ0.07mを測る。遺物は出土していない。

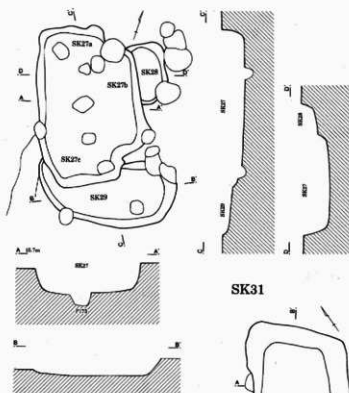
第10号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。第5・7・9・11・12号土壌、グリッドビットと重複する。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径1.01m、短径0.90m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していないが、第10号土壌の確認面付近で良く焼けた焼土跡と灰

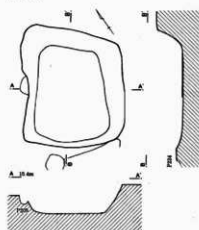
第39圖 土墳(1)



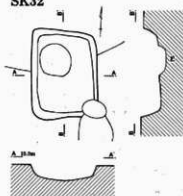
第40図 土壇 (2)
SK27a・27b・27c・28・29



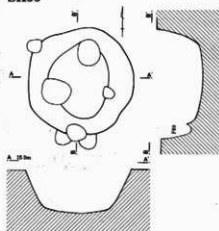
SK31



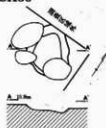
SK32



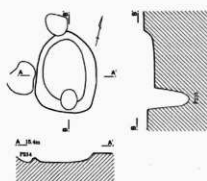
SK33



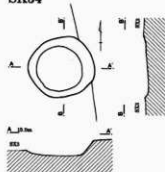
SK36



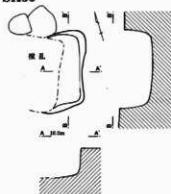
SK30



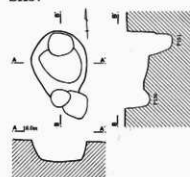
SK34



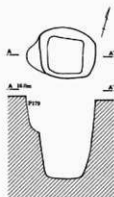
SK35



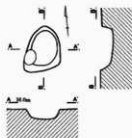
SK37



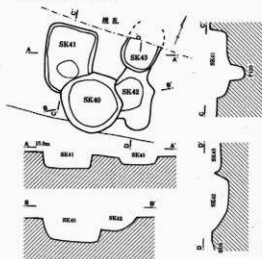
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

第41図 土壇(3)
SK38

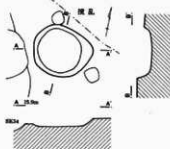
SK39



SK40・41・42・43



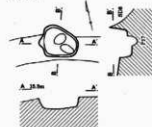
SK44



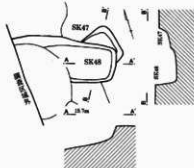
SK45



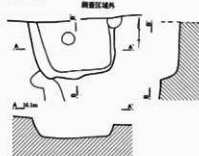
SK46



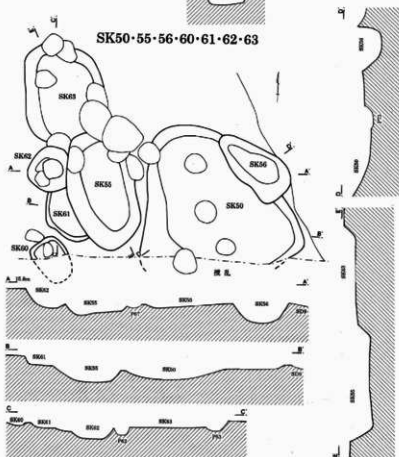
SK47・48



SK49



SK50・55・56・60・61・62・63



0 2m

が、1 m 位の範囲で確認された(第60図参照)。

第11号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。第5・10・12号土壌、グリッドビットと重複する。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径1.00 m、短径0.58 m、深さ0.15 mを測る。遺物は出土していない。

第12号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。第5・10・11号土壌、グリッドビットと重複する。遺構のプランはおぼろ円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.43 m、短径0.35 m、深さ0.28 mを測る。遺物は出土していない。

第13号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦であり、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.64 m、短径0.52 m、深さ0.35 mを測る。遺物は出土していない。

第14号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。ビット状の土壌で、半分程が調査区外に当たる。プランは不整形である。底面は小さく平坦であるが、壁は直に立ち上がり、上部でやや開く。長径0.60 m、短径0.28 m、深さ0.70 mを測る。遺物は出土していない。

第15号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。第16号土壌と隣接する。遺構のプランは楕円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.65 m、短径0.56 m、深さ0.26 mを測る。遺物は出土していない。

第16号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。第15号土壌と隣接する。遺構のプランは不整形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く

立ち上がる。長径0.40 m、短径0.29 m、深さ0.08 mを測る。遺物は出土していない。

第17号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。第3号溝と重複する。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦であり、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.48 m、短径0.30 m、深さ0.16 mを測る。遺物は出土していない。

第18号土壌 (第39図、第50図)

E-5区に位置する。第1号掘立柱建物跡のビットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.98 m、短径0.83 m、深さ0.28 mを測る。遺物は、大・中・小のかわけと陶器緑釉小皿、刀子、砥石が出土している。

第19号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.15 m、短径0.68 m、深さ0.14 mを測る。遺物は出土していない。

第20号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。グリッドビットと重複し、第21・22号土壌と隣接する。遺構のプランは楕円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.78 m、短径0.60 m、深さ0.28 mを測る。遺物は出土していない。

第21号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。第22号土壌と重複し、第20号土壌と隣接する。遺構のプランはおぼろ円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.59 m、短径0.57 m、深さ0.07 mを測る。遺物は出土していない。

第22号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。第21号土壌と重複し、第20号土壌と隣接する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.65m、短径0.45m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

第23号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。第3号溝と重複する。遺構のプランはほぼ長方形を呈し、底面は凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.59m、短径0.35m、深さ0.39mを測る。遺物は出土していない。

第24号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。第4号溝、グリッドビットと重複する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.92m、短径0.68m、深さ0.31mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壌であり、墓墳の可能性が高い。

第25号土壌 (第39図、第48図、第50図)

E-5区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランは台形状を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.06m、短径0.66m、深さ0.26mを測る。第Ⅵ層より下から確認された土壌で、人骨が埋葬されていた。墓墳である。遺物は宋銭が出土している。

第26号土壌 (第39図)

E-5区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランはほぼ長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.16m、短径0.94m、深さ0.38mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壌であり、墓墳の可能性が高い。

第27a・b・c号土壌 (第40図)

E-5区に位置する。第28・29号土壌、グリッドビットと重複するが、本遺構自体3基の土壌の重複と思われる。遺構のプランはそれぞれ長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。全体で長径2.52m、短径1.77m、深さ0.43mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壌で、重複する墓墳の可能性が高い。

第28号土壌 (第40図)

E-5区に位置する。第27号土壌、グリッドビットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面はやや皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.97m、短径0.51m、深さ0.38mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壌であり、墓墳の可能性が高い。

第29号土壌 (第40図)

E-5区に位置する。第27号土壌、グリッドビットと重複する。遺構のプランは不整長方形を呈し、底面はやや皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径2.18m、短径1.20m、深さ0.26mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壌であり、重複した墓墳の可能性が高い。

第30号土壌 (第40図)

E-5区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.26m、短径0.95m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壌であり、墓墳の可能性が高い。

第31号土壌 (第40図)

E-5区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面はやや皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.88m、短径1.59m、深さ0.40mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壌であり墓墳の可能性もある。し

かし、形状等から堅穴状遺構の可能性も考えられる。

第32号土墳（第40図）

E-6区に位置する。掘立柱建物跡の柱穴や、グリッドビット等と重複し、第5号溝の上に構築されていた。遺構のプランは長方形を呈し、底面はやや皿状凹凸があり、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.42m、短径1.05m、深さ0.32mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層段階で確認された遺構である。

第33号土墳（第40図、第50図）

E-6区に位置する。掘立柱建物跡の柱穴や、グリッドビット等と重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.68m、短径1.66m、深さ0.64mを測る。遺物はかわらけの底部破片が出土している。底部の形態は、近世以前のかかわらけの特徴を持つ。

第34号土墳（第40図）

E-6区に位置する。第3号廃棄遺構と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランはおぼろ円形を呈し、底面は皿状凹凸で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.05m、短径0.96m、深さ0.23mを測る。遺物は出土していない。

第35号土墳（第40図）

E-6区に位置する。西側半分に擾乱を受ける。遺構のプランは長方形を呈するものと思われ、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.29m、短径0.42m、深さ0.48mを測る。遺物は出土していない。

第36号土墳（第40図）

E-6区に位置する。グリッドビットと重複し、一部調査区外に当たる。遺構のプランは楕円形を呈し、底面には凹凸が認められ、壁は緩く立ち上がる。長径0.79m、短径0.68m、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

第37号土墳（第40図）

E-6区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面はやや凹凸があり、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.96m、短径0.87m、深さ0.32mを測る。遺物は出土していない。

第38号土墳（第41図）

E-6区に位置する。遺構のプランはおぼろ方形を呈し、底面は皿状凹凸で、壁は比較的直に立ち上がる深い土墳である。長径0.88m、短径0.78m、深さ1.22mを測る。遺物は出土していない。

第39号土墳（第41図）

E-6区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は皿状となり、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.70m、短径0.57m、深さ0.16mを測る。遺物は出土していない。

第40号土墳（第41図）

E-6区に位置する。第41・42号土墳と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランはおぼろ円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.97m、短径0.93m、深さ0.34mを測る。遺物は出土していない。

第41号土墳（第41図）

E-6区に位置する。第40号土墳と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランはおぼろ長方形を呈し、底面は平坦である。壁は比較的直に立ち上がる。長径1.05m、短径0.79m、深さ0.24mを測る。遺物は青銅製の釘が出土した。

第42号土墳（第41図、第50図）

E-6区に位置する。第40・43号土墳と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は皿状を呈する。壁は緩やかに立ち上がる。長径0.92m、短径0.64m、深さ0.24mを測る。遺物は

陶器の香炉が出土している。

第43号土壌（第41図）

E-6区に位置する。第42号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構の北半分が攪乱されている。プランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.48m、短径0.45m、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

第44号土壌（第41図）

E-6区に位置する。グリッドピットと一部重複する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は皿状を呈する。壁は緩やかに立ち上がる。長径0.94m、短径0.83m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

第45号土壌（第41図）

E-5～6区にかけて位置する。第5号溝と重複するが、本土壌の方が新しい。また、本土壌の第2廃棄遺構が構築されていた。遺構のプランは偶丸長方形を呈し、底面は皿状を呈する。壁は比較的直に立ち上がる。長径1.02m、短径0.78m、深さ0.55mを測る。遺物は出土していない。

第47号土壌（第41図、第50図）

D-7区に位置する。第48号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは方形・長方形を呈し、底面は皿状を呈する。壁は緩やかに立ち上がる。長径0.60m、短径0.36m、深さ0.17mを測る。遺物は常滑産の甕口縁部破片が出土している。

第48号土壌（第41図）

D-7区に位置する。第47号土壌、第3号井戸と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.33m、短径0.92m、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。

第49号土壌（第41図）

D-7区に位置する。グリッドピットと重複する。北半分が調査区外に当たる。遺構のプランは方形・長方形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.60m、短径0.65m、深さ0.33mを測る。遺物は出土していない。

第50号土壌（第41図、第50図）

E-7区に位置する。第56号土壌、グリッドピット等と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは不整形を呈し、底面は皿状で凹凸を有する。壁は緩やかに立ち上がる。長径2.56m、短径2.08m、深さ0.15mを測る。遺物はかわらけ、鉄絵陶器皿、石臼の上臼の破片が出土している。出土遺物から中世段階の土壌と思われる。

第51号土壌（第41図、第51図）

E-7区に位置する。第79号土壌、門跡とした第102号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径3.58m、短径2.12m、深さ0.65mを測る。遺物は播鉢の口縁部破片、磁石、鉄釘が出土している。

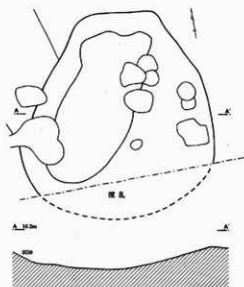
第52号土壌（第42図、第48図、第51図）

E-7区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.91m、短径0.76m、深さ0.55mを測る。遺物は上製の玩具である狝、猿、鳥、かわらけのミニチュア、陶器茶碗のミニチュア、播鉢のミニチュア、陶器釜が、遺構の上面から出土した。

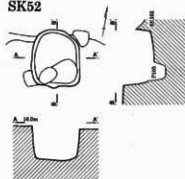
第53号土壌（第42図）

E-7区に位置する。第9号溝、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径4.15m、短径1.61m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

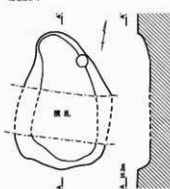
第42図 土坑 (4)
SK54



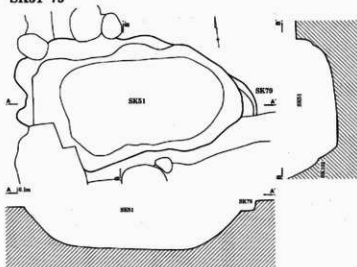
SK52



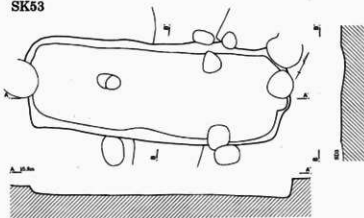
SK57



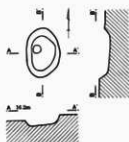
SK51・79



SK53



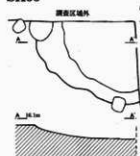
SK58



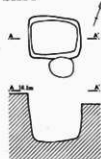
SK59



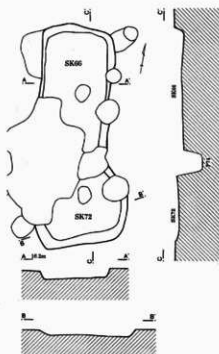
SK65



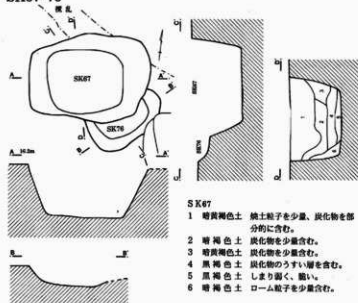
SK64



0 2m

第43図 土壇 (5)
SK66・72

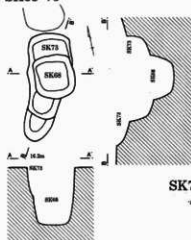
SK67・76



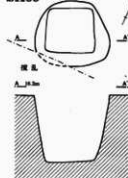
SK67

- 1 暗黄褐色土 焼土粒子を少量、炭化物を部分的に含む。
- 2 暗褐色土 炭化物を少量含む。
- 3 暗黄褐色土 炭化物を少量含む。
- 4 黒褐色土 炭化物のうすい層を含む。
- 5 黒褐色土 しまり弱く、脆い。
- 6 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。

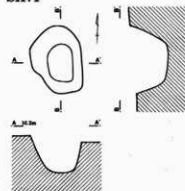
SK68・73



SK69



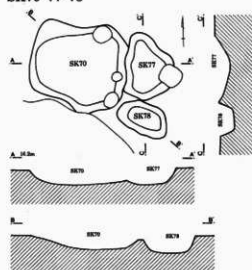
SK71



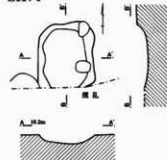
SK75



SK70・77・78



SK74



0 10.0m

第54号土壌 (第42図、第52図)

E-7区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構南側に攪乱を受けるが、不整円形を呈し、底面は皿状でやや凹凸を持ち、壁は緩やかに立ち上がる。長径3.10m、短径2.64m、深さ0.18mを測る。遺物はかわらけ、陶器皿、磁器茶碗、磁器段重蓋、挿鉢等が出土したが、第52図1～3は中世段階の遺物であり、混在と認識される。遺構自体は近世の所産と思われる。

第55号土壌 (第41図)

E-7区に位置する。第61・62・63号土壌、グリッドビットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長楕円形を呈し、底面はやや凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.90m、短径1.09m、深さ0.22mを測る。遺物は出土していない。

第56号土壌 (第41図)

E-7～8区にかけて位置する。第50号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は不整楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.32m、短径0.66m、深さ0.32mを測る。遺物は出土していない。

第57号土壌 (第42図、第52図)

E-7区に位置する。中央部に東西の溝状の攪乱を受けるが、遺構は不整楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径2.15m、短径1.43m、深さ0.20mを測る。遺物は石臼の破片のみ、3点出土した。第52図9は下臼に受けの縁がけられている茶臼と思われる。

第58号土壌 (第42図)

E-7区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.78m、短径0.53m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

第59号土壌 (第42図)

E-7区に位置する。ビット状の土壌で、不整円形を呈し、底面は平坦である。壁は比較的直に立ち上がる。長径0.42m、短径0.38m、深さ0.26mを測る。遺物は出土していない。

第60号土壌 (第41図)

E-7区に位置する。遺構の大半に攪乱を受けるが、長方形を呈するものと思われ、底面は皿状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.54m、短径0.36m、深さ0.05mを測る。遺物は出土していない。

第61号土壌 (第41図)

E-7区に位置する。第55・62号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は楕円形を呈し、底面は皿状でやや凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.95m、短径0.46m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

第62号土壌 (第41図)

E-7区に位置する。第55・61号土壌、グリッドビットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構はビット状の楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.72m、短径0.62m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

第63号土壌 (第41図)

E-7区に位置する。第55号土壌、グリッドビットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.58m、短径1.23m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

第64号土壌 (第42図)

D-8区に位置する。第4号柵列と重複する。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.82m、短径0.66m、深さ0.58mを測る。

遺物は出土していない。

第65号土壌（第42図）

D-8区に位置する。大半が調査区域外に相当するが、遺構は不整な円形を呈するものと思われる。底面は皿状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.60m、短径1.30m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

第66号土壌（第43図）

E-8区に位置する。第72号土壌、門跡とした第102号土壌、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.98m、短径1.18m、深さ0.15mを測る。遺物は出土していない。

第67号土壌（第43図、第52図）

E-8区に位置する。第76号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩やかに立ち上がる。長径1.92m、短径1.37m、深さ0.76mを測る。遺物にかわらけ、播鉢の口縁部破片、刀子、鉄釘、砥石、板碑破片が出土している。出土遺物から本遺構は中世段階の所産と思われる。

第68号土壌（第43図）

E-8区に位置する。第73号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構はほぼ方形のピット状を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.70m、短径0.65m、深さ0.90mを測る。遺物は出土していない。

第69号土壌（第43図、第53図）

E-8区に位置する。一部覆乱を受けるが、プランはほぼ方形を呈し、底面は平坦で、壁は直に立ち上がる。長径1.20m、短径1.03m、深さ1.04mを測る。遺物にかわらけ、陶器緑釉皿、甕の底部、播鉢が出土し

ている。出土遺物から、本遺構は中世段階の所産と思われる。

第70号土壌（第43図）

E-7～8区にかけて位置する。第77号土壌、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は不整長方形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.54m、短径1.37m、深さ0.16mを測る。遺物にかわらけ、陶器緑釉小皿、播鉢、土鍋の口縁部破片、石臼が出土している。

第71号土壌（第43図）

E-8区に位置する。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩やかに立ち上がる。長径1.08m、短径0.80m、深さ0.59mを測る。遺物は出土していない。

第72号土壌（第43図、第53図）

E-8区に位置する。第66号土壌、門跡とした第102号土壌、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.50m、短径1.00m、深さ0.12mを測る。遺物は鉄釘が出土している。

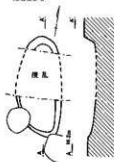
第73号土壌（第43図）

E-8区に位置する。第68号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は凹凸を持ち、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.70m、短径0.68m、深さ0.46mを測る。遺物は出土していない。

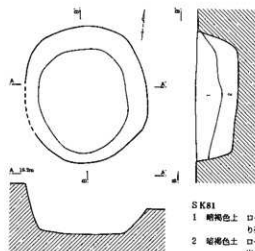
第74号土壌（第43図）

E-8区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構は長方形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.03m、短径0.90m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

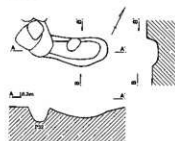
第44図 土壌 (6)
SK80



SK81



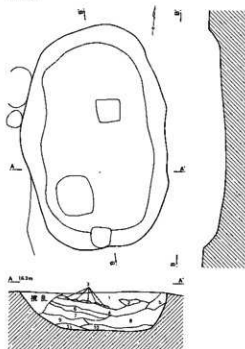
SK85



SK81

- 1 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物を若干含む。しまり強く、粘性強い。
- 2 暗褐色土 ローム粒子及びロームブロックを均等に多く含み、焼土粒子、炭化物を若干含む。しまり強く、粘性強い。

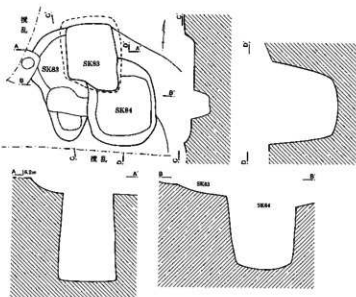
SK82



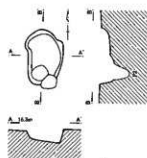
SK82

- 1 褐色土 焼土粒子、炭化物をやや多く含み、灰を部分的に含む。
- 2 褐色土 炭化物を集中的に含み、焼土粒子を少量含む。
- 3 褐色土 灰を集中的に含む。
- 4 褐色土 焼土粒子、炭化物を少量含む。
- 5 褐色土 焼土を若干含む。
- 6 暗褐色土 焼土、炭化物を若干含み、灰を部分的に多く含む。
- 7 暗褐色土 焼土、炭化物、灰をやや多く含む。
- 8 暗褐色土 焼土、炭化物を若干含む。
- 9 暗褐色土 焼土、炭化物、灰を少量含む。
- 10 暗褐色土 焼土、炭化物を僅かに含む。
- 11 暗褐色土 焼土、炭化物を若干含む。

SK83・84

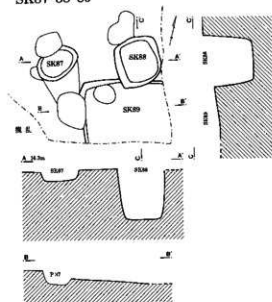


SK86

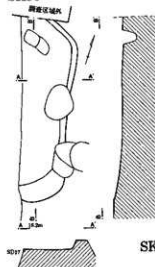


0 2m

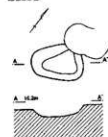
第45図 土壇 (7)
SK87・88・89



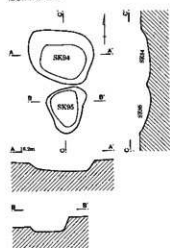
SK90



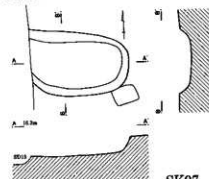
SK92



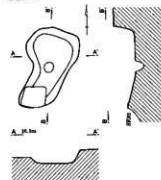
SK94・95



SK91



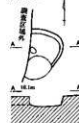
SK93



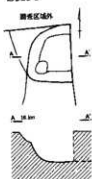
SK98



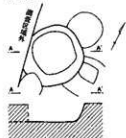
SK99



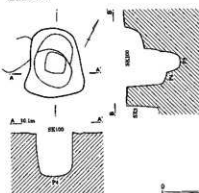
SK96



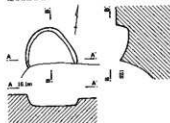
SK97



SK100



SK101



第75号土壌 (第43図)

E-8区に位置する。グリッドピットと重複し、南側に攪乱を受けている。遺構は楕円形で、底面は二段掘り状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、長径1.05m、短径0.87m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

第76号土壌 (第43図、第53図)

E-8区に位置する。第67号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈するものと思われ、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.24m、短径0.48m、深さ0.17mを測る。遺物は宋銭が出土している。

第77号土壌 (第43図)

E-8区に位置する。第70号土壌、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は不整形円を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.08m、短径0.78m、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。

第78号土壌 (第43図、第53図)

E-8区に位置する。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.83m、短径0.50m、深さ0.27mを測る。遺物は宋銭が出土している。

第79号土壌 (第42図)

E-8区に位置する。第51号土壌、門跡とした第102号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は一部のみ現存するため形状は不明であり、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.65m、短径0.20m、深さ0.15mを測る。遺物は出土していない。

第80号土壌 (第44図)

E-8区に位置する。グリッドピットと重複し、中央部に攪乱を受けている。遺構は長楕円形を呈し、底

面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.60m、短径0.73m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

第81号土壌 (第44図、第53図)

D-9区に位置する。遺構はほぼ円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径2.16m、短径1.95m、深さ0.76mを測る。遺物は陶器鍋、常滑産甕の底部破片、板碑の破片が出土している。

第82号土壌 (第44図)

E-9区に位置する。第7号掘立柱建物跡、グリッドピットと重複する。土壌底面に掘立柱の柱頭部のみ、の圧痕が見られたことから、本土壌の方が古い。遺構は長楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径3.50m、短径2.32m、深さ0.32mを測る。遺物は出土していないが、覆土から馬の歯が出土している。従って、馬の墓域であった可能性が高い。

第83号土壌 (第44図、第53図)

E-8～9区にかけて位置する。第84号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。本土壌は、本来方形と楕円形の土壌が重複しているものと思われる。方形土壌部分は開口部がややハングしており、長径1.21m、短径0.97m、深さ1.60mを測る。楕円形土壌部分は長径1.81m、深さ0.27mを測る。遺物は方形土壌内からかわらけ、陶器緑釉小皿、砥石、鉄釘が出土している。出土遺物から、本遺構は中世段階の所産と判断される。

第84号土壌 (第44図、第54図)

E-9区に位置する。第83号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、長径1.38m、短径1.10m、深さ1.08mを測る。遺物はかわらけの底部、板碑の大形破片が出土している。出土遺物から、本遺構は中世段階の所産と判断される。

第85号土壌 (第44図)

E-8~9区にかけて位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.88m、短径0.43m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

第86号土壌 (第44図)

E-9区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランは不整形長方形を呈し、底面は皿状でやや傾斜し、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.87m、短径0.61m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していない。

第87号土壌 (第45図)

E-9区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.66m、短径0.44m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

第88号土壌 (第45図)

E-9区に位置する。第89号土壌、グリッドビット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.78m、短径0.72m、深さ0.80mを測る。遺物は出土していない。

第89号土壌 (第45図)

E-9区に位置する。第88号土壌、グリッドビット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈するものと思われるが、大半に擾乱を受けている。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.37m、短径1.00m、深さ0.08mを測る。遺物は出土していない。

第90号土壌 (第45図、第53図)

E-9区に位置する。第17号溝、グリッドビット等と重複するが、新田関係は不明である。遺構のプランは長楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は大変緩く立ち上がる。長径2.87m、短径0.91m、深さ0.17mを測る。遺物はかわらけが出土している。出土遺物から、本遺

構は中世段階の所産と思われる。

第91号土壌 (第45図)

E-9区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.55m、短径1.02m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していない。

第92号土壌 (第45図)

E-9区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.88m、短径0.57m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

第93号土壌 (第45図)

E-9区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランは不整形を呈し、底面はやや凹凸が存在する。壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.33m、短径0.83m、深さ0.34mを測る。遺物は出土していない。

第94号土壌 (第45図)

E-9区に位置する。第95号土壌と隣接する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は大変緩く立ち上がる。長径1.06m、短径0.82m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

第95号土壌 (第45図)

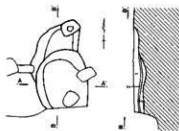
E-9区に位置する。第94号土壌と隣接する。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は皿状で、壁は緩く立ち上がる。長径0.61m、短径0.52m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していない。

第96号土壌 (第45図)

A-10区に位置する。グリッドビット等と重複し、東半分が調査区外に当たる。遺構のプランは長方形と思われる。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.88m、短径0.62m、深さ0.39mを測る。遺物は

第46図 土墳 (8)

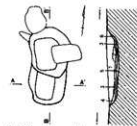
SK103



SK103

- 1 暗褐色土 焼土粒子、炭化物を少量含む。
- 2 灰褐色土 白色灰を少量含む。
- 3 赤褐色土 ロームブロックの焼残層。
- 4 暗黄褐色土 ロームブロックを多く含む、ボソボソの土。

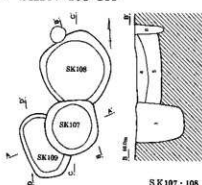
SK104



SK104

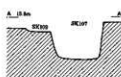
- 1 暗黄褐色土 炭化物・焼土を少量含む。
- 2 暗灰褐色土 灰褐色粘土・ロームブロック・焼土を多量に含む。
- 3 灰褐色土 灰層。
- 4 赤褐色土 焼熱ローム。
- 5 明褐色土 焼熱ローム。
- 6 暗黄褐色土 焼土を多量に含む。

SK107・108・109

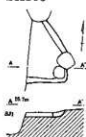


SK107・108

- 1 暗褐色土 ローム粒子、粘土を少量含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3 暗黄褐色土 ローム粒子を多く含む。(SK107)
- 4 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。(SK108)
- 5 黒黄褐色土 ローム粒子を多く含む。(SK108)
- 6 暗褐色土 ローム粒子を多く含む。(P53)



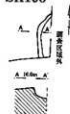
SK105



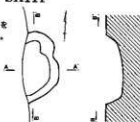
SK105

- 1 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

SK106



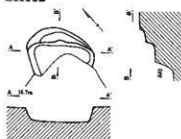
SK111



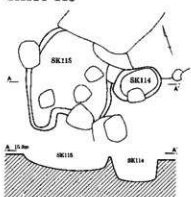
SK110



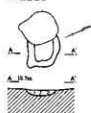
SK112



SK114・115



SK113



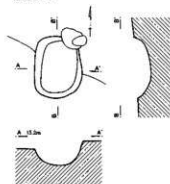
SK113

- 1 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 2 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。

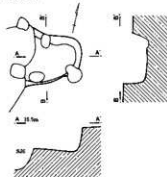
0 10m

第47図 土坑 (9)

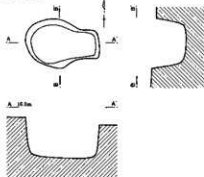
SK116



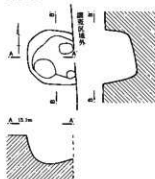
SK117



SK118

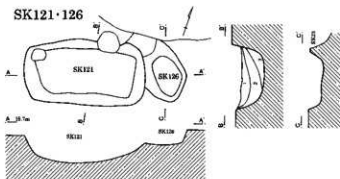
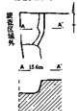


SK119



SK121・126

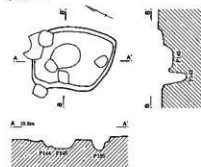
SK120



SK121

- 1 灰赤褐色土 炭化物と白色粘土を少量に層状に含む。
- 2 増成褐色土 炭、粘土小ブロックを少量、粘土を層状に含む。
- 3 増成褐色土 ロームブロックを多量に含む。

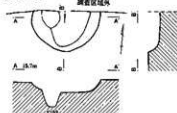
SK122



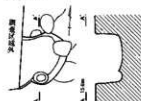
SK123



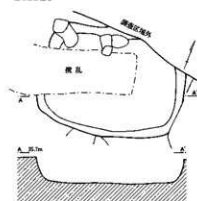
SK124



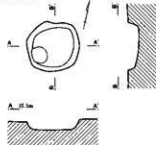
SK127



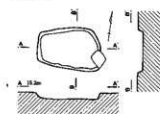
SK125



SK129



SK128



0 1 2 m

出土していない。

第97号土墳（第45図）

A-10区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.98m、短径0.93m、深さ0.34mを測る。遺物は出土していない。

第98号土墳（第45図）

B-10区に位置する。第19号溝、グリッドビット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.69m、短径0.48m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

第99号土墳（第45図）

B-10区に位置する。グリッドビット等と重複する。西半分が調査区外に当たる。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.55m、短径0.52m、深さ0.15mを測る。遺物は出土していない。

第100号土墳（第45図）

E-9区に位置する。グリッドビット等と重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.09m、短径0.96m、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。

第101号土墳（第45図）

E-10区に位置する。第1号堀と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは楕円形を呈するものと思われる。底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.80m、短径0.56m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

第103号土墳（第46図）

H-I-4区にかけて位置する。第104号土墳と隣接し、グリッドビット等と重複する。南側部分に攪乱

を受けるが、遺構のプランは二段掘状の楕円形を呈し、底面は凹凸を持つ。壁は比較的緩く立ち上がっている。床面は被熱し、覆土中に灰層を含むなど、火を燃していることは確実であるが、用途は不明である。長径1.30m、短径0.48m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

第104号土墳（第46図）

H-I-4区にかけて位置する。第103号土墳と並列して存在し、グリッドビット等と重複する。2基の土墳が重複したような二段掘状の楕円形を呈し、底面は比較的平坦で、壁は緩く立ち上がっている。床面は被熱し、覆土中に灰層を含むなど、火を燃していることは確実であるが、用途は不明である。長径1.18m、短径0.58m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

第105号土墳（第46図）

H-4区に位置する。遺構の大半が調査区外にあるものと思われ、グリッドビット等と重複する。遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.96m、短径0.62m、深さ0.13mを測る。遺物は出土していない。

第106号土墳（第46図）

I-5区に位置する。遺構の大半が調査区外にあるものと思われ、遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.70m、短径0.21m、深さ0.13mを測る。遺物は出土していない。

第107号土墳（第46図）

G-4区に位置する。第108・109号土墳と重複するが新旧関係は不明である。遺構のプランはほぼ円形で、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.86m、短径0.82m、深さ0.59mを測る。遺物は出土していないが、座棺の人骨が埋葬されており、人骨の遺存

状態は比較的良好であった。墓域である。

第108号土壌（第46図）

G-4区に位置する。第107号土壌、グリッドビットと重複するが新旧関係は不明である。遺構のプランはほぼ円形で、底面は平坦であり、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.12m、短径1.10m、深さ0.39mを測る。遺物は出土していないが、墓域の可能性が高い。

第109号土壌（第46図、第54図）

G-3～4区にかけて位置する。第107号土壌と重複するが新旧関係は不明である。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦であり、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.04m、短径0.62m、深さ0.10mを測る。遺物はかわらけが出土している。第54図5は厚い底部を持ち、外面底部付近に強くて幅広いケズリ整形を施している。本土域は、中世段階の所産と思われる。

第110号土壌（第46図）

G-3区に位置する。遺構の南半分は攪乱を受ける。遺構のプランはほぼ円形を呈するものと思われ、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.92m、短径0.40m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していないが、墓域の可能性が高い。

第111号土壌（第46図）

G-3区に位置する。第2号住居跡と重複するが、本遺構の方が新しい。遺構のプランは不整形形であるが、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.10m、短径0.59m、深さ0.33mを測る。遺物は出土していないが、墓域の可能性が高い。

第112号土壌（第46図）

G-3区に位置する。第2号住居跡の北東コーナーと重複するが本遺構の方が新しい。2基の遺構が重複しているようであるが、遺構のプランは楕円形で、底面は段を持つ。壁は比較的直に立ち上がる。長径1.09

m、短径0.76m、深さ0.24mを測る。遺物は出土していない。

第113号土壌（第46図）

H-4区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランは不整形を呈し、底面は皿状で、壁は緩く立ち上がる。長径0.50m、短径0.40m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

第114号土壌（第46図、第54図）

G-4区に位置する。第4号地下式塼の入口部と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.78m、短径0.56m、深さ0.38mを測る。遺物はかわらけが出土している。出土遺物から、本土域は中世段階の所産と思われる。

第115号土壌（第46図）

F～G-4区に位置する。第4号地下式塼と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは不整形を呈するが、長方形のプランに、ビットが重複しているものと判断される。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.38m、短径1.35m、深さ0.24mを測る。遺物は出土していない。

第116号土壌（第47図）

F-3区に位置する。第6号住居跡と重複するが、本遺構の方が新しい。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.96m、短径0.75m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していないが、墓域の可能性が高い。

第117号土壌（第47図）

F-3区に位置する。第6号住居跡の竈、グリッドビットと重複するが、本遺構の方が新しい。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.91m、短径0.89m、深さ0.36mを

測る。

第118号土壌（第47図）

F-4区に位置する。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.16m、短径0.76m、深さ0.52mを測る。遺物は出土していない。

第119号土壌（第47図、第54図）

F-4区に位置する。東側の一部が調査区外にあり、グリッドビットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈するものと思われ、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.84m、短径0.76m、深さ0.48mを測る。遺物は、古墳時代後期の土師器壺の口縁部が出土している。古墳時代後期の住居跡の貯蔵穴の可能性が高い。

第120号土壌（第47図、第54図）

F-3区に位置する。調査区のコーナーに当たり、遺構の大半が調査区外にある。遺構のプランは不明であるが、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.49m、短径0.37m、深さ0.21mを測る。遺物は須恵器蓋が出土している。

第121号土壌（第47図、第54図）

F-4区に位置する。第126号土壌と一部重複し、グリッドビットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.93m、短径1.02m、深さ0.44mを測る。遺物はかわかけの底部破片、鐙鉢の破片、甕の破片が出土している。出土遺物から、本遺構は中世段階の所産と思われる。

第122号土壌（第47図、第54図）

F-4区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.28m、短径1.02m、深さ

0.09mを測る。遺物は土師器杯が出土している。

第123号土壌（第47図）

F-4区に位置する。遺構の大半が調査区外にあり、プランは不明である。底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.52m、短径0.16m、深さ0.23mを測る。遺物は出土していない。

第124号土壌（第47図）

F-4区に位置する。遺構の北半分が調査区外にあり、グリッドビットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.06m、短径0.63m、深さ0.19mを測る。遺物は出土していない。

第125号土壌（第47図）

F-4区に位置する。西壁から中央部にかけて攪乱を受け、グリッドビットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径2.35m、短径1.14m、深さ0.46mを測る。遺物は出土していない。

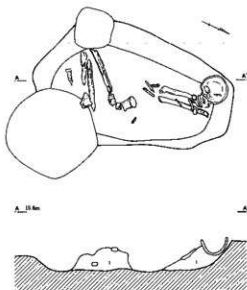
第126号土壌（第47図、第54図）

F-4区に位置する。第121号土壌と一部重複し、グリッドビットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面はやや凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.76m、短径0.68m、深さ0.20mを測る。遺物は土師器杯の破片が出土している。出土遺物から、本遺構は古墳時代後期住居跡の貯蔵穴の可能性もある。

第127号土壌（第47図、第54図）

F-3区に位置する。遺構西側が攪乱を受けており、第24号溝と重複するが、新旧関係は不明である。プランは不整形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.74m、短径0.71m、深さ0.34mを測る。遺物はかわかけが出土している。出土遺物から、

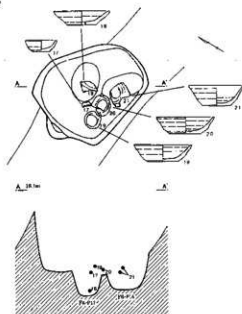
第48図 土坑 (10) (墓坑・埋納土坑)
SK25



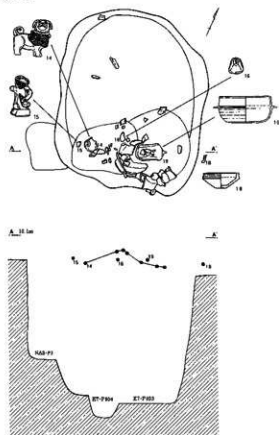
SK25 (人骨出土)

1 褐色土 ローム殻子を多く含む。しまり固く、粘性なし。部分的にロームが集中する。

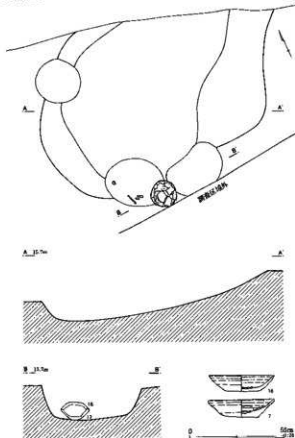
SK46



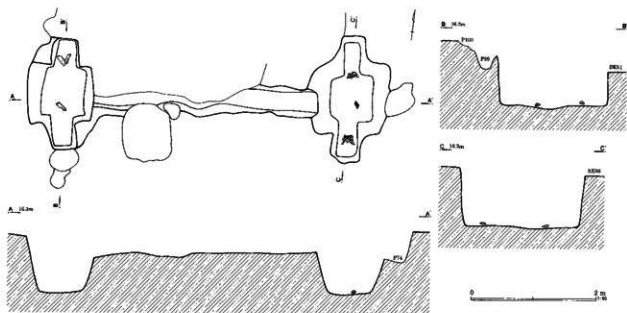
SK52



SK130



第49図 土溝 (11) (門跡)
SK102



本遺構は中世段階の所産と思われる。

第128号土溝 (第47図)

F-3区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.00m、短径0.66m、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

(7) 土器埋納遺構

明らかに何らかの意図を持って、かわらけを遺構内に設置したものについて、土器埋納遺構と認識した。合計3遺構存在するが、1つについては土器のみ集中しており、遺構は検出されなかった。

第46号土溝 (第48図、第50図17~21)

F-6区に位置する。第8号溝、グリッドビットと重複するが、新旧関係は不明である。土器が遺構内の底面付近から出土していることから、溝の方が新しいとしても遺物が現存したものと思われる。また、グリッドビットとの関係は、ビット内に遺物が落ち込んだのか、ビット廃棄と同時期にビット内を含めて遺物を

第129号土溝 (第47図)

G-3区に位置する。グリッドビットと重複する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.81m、短径0.79m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

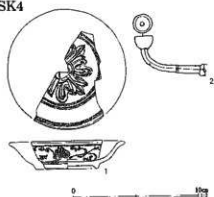
埋納したのかのいずれかと思われる。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は平坦である。壁は比較的緩く開きながら立ち上がる。長径0.62m、短径0.48m、深さ0.18mを測る。かわらけは5個体が埋納されていた。17のみ小さく、他は比較的大きいもので、器高のやや低いもの、外面整形が強いもの、器高の高いもの等、同時期のパリエーションが見られる。いずれにしても、中世段階のもので、遺構もその時期に比定されるものと思われる。

第130号土溝 (第48図、第54図16、17)

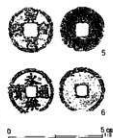
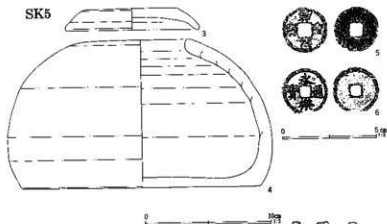
E~F-6区に位置する。第5号溝、グリッドビットと重複するが、新旧関係は不明である。調査区外の

第50図 土壇出土遺物(1)

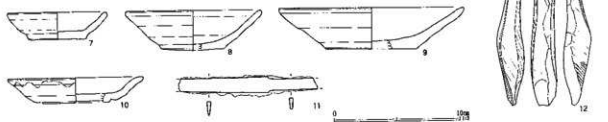
SK4



SK5



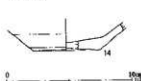
SK18



SK25



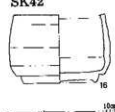
SK33



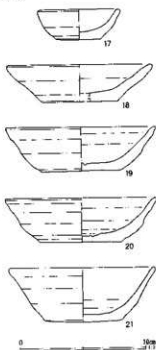
SK41



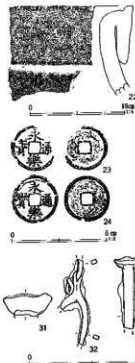
SK42



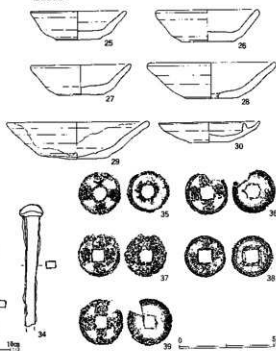
SK46



SK47

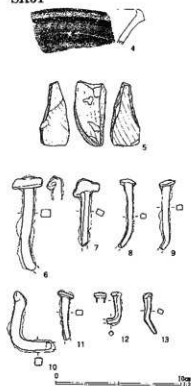


SK82

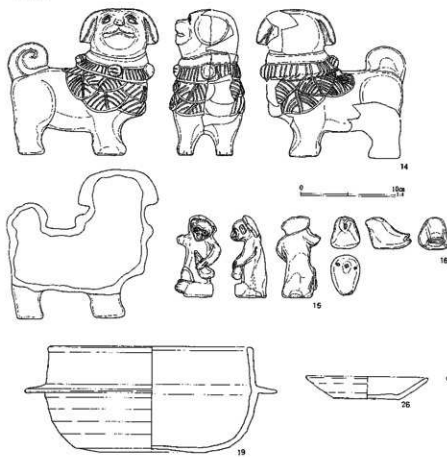


第51図 土壌出土遺物(2)

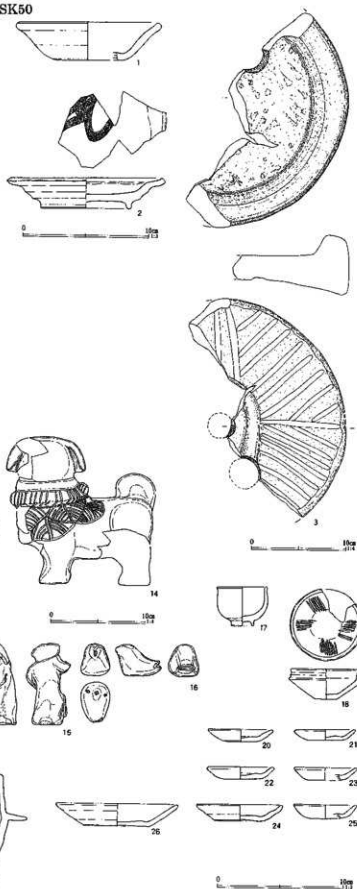
SK51



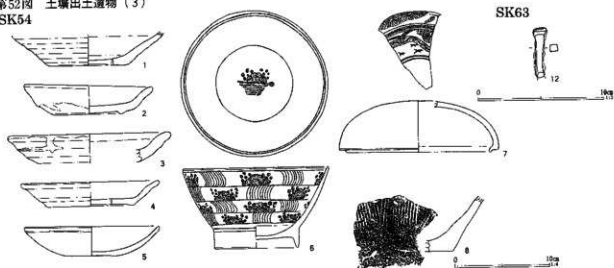
SK52



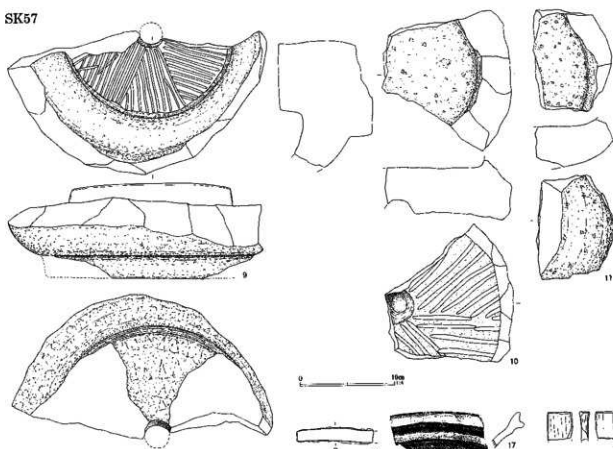
SK50



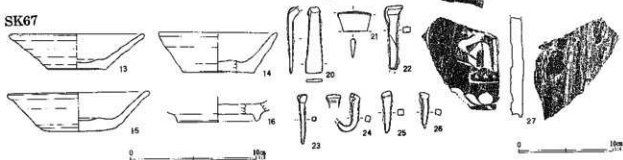
第52図 土壇出土遺物 (3)
SK54



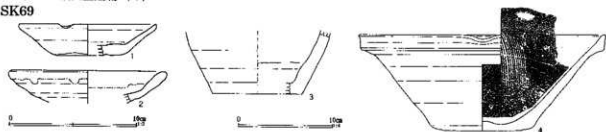
SK57



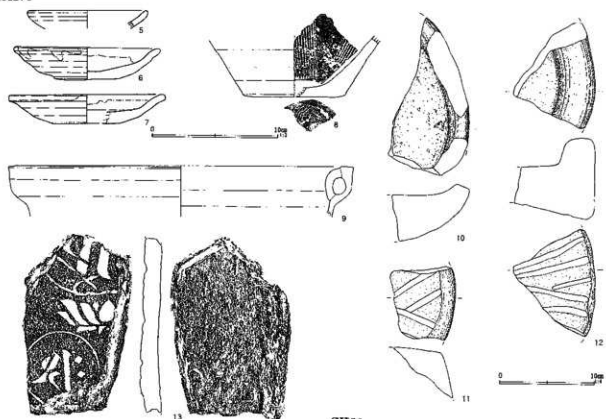
SK67



第53図 土壇出土遺物(4)
SK69



SK70

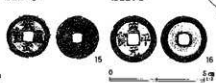


SK81

SK72



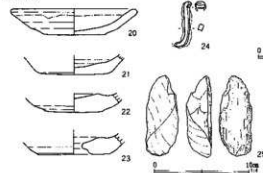
SK76



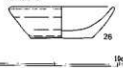
SK78



SK83



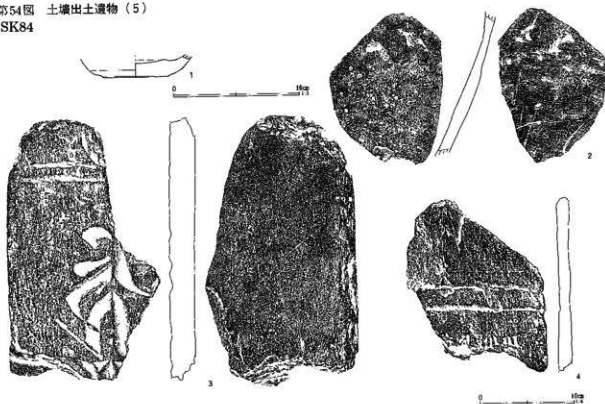
SK90



SK102



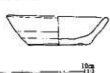
第54図 土壇出土遺物 (5)
SK84



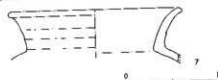
SK109



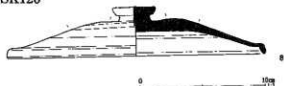
SK114



SK119



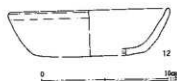
SK120



SK121



SK122



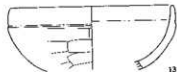
SK127



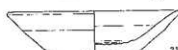
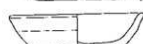
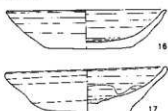
F4区埋納



SK126



SK130



土壌出土遺物観察表 (第50図～第54図)

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考		
				a	b	c	d		外 面	内 面				
SK4														
50	1	磁 器	小 皿	(94)	22	50		端 反 形	花唐草	十字花文	京都府京	16c		
	2	銅	煙管摩片	火皿径15、現存長5.4cm										
SK5														
50	3	土 器	蓋	143	24	97					在地系	火消蓋 在地系 北宋 1068 年 篆書 明 1408 年		
	4	土 器	火 消 蓋	100	156	252					在地系			
	5	古 銭	熙寧元宝	銭径24.2、内径20.0、銭厚1.50mm、量目2.15g										
	6	占 銭	永樂通宝	銭径24.7、内径21.1、銭径1.60mm、量目2.04g										
SK18														
50	7	土 器	かわらけ	78	22	45					在地系	15c 後 灰釉 瀬 戸		
	8	土 器	かわらけ	108	32	50					在地系			
	9	土 器	かわらけ	(146)	33	(72)					在地系			
	10	陶 器	縁 輪 皿	(108)	(21)	(52)		端 反 形			在地系			
	11	鉄	小 柄	現存長109、刃幅13、背幅0.3cm										
	12	石	砥 石	残存長139、幅29、厚さ2.8cm										
SK25														
50	13	古 銭	朝鮮通寶	銭径23.2、内径20.0、銭厚1.72mm、量目2.37g								朝鮮 1423 年		
SK33														
50	14	土 器	かわらけ		(22)	(54)					在地系			
SK41														
50	15	銅	鉄	頭幅1.0、長さ1.8cm										
SK42														
50	16	陶 器	香 炉	(72)	54	53		半 筒 形			瀬戸美濃	18c 鉄釉		
SK46														
50	17	土 器	かわらけ	65	24	34					在地系	在地系 在地系 在地系 在地系 在地系		
	18	土 器	かわらけ	117	30	60					在地系			
	19	土 器	かわらけ	120	35	63					在地系			
	20	土 器	かわらけ	121	35	64					在地系			
	21	土 器	かわらけ	115	43	61					在地系			
	SK47													
50	22	石 器	壺	(420)	(95)						常 滑	16c 自然釉付着 明 1408 年 明 1408 年		
	23	古 銭	永樂通宝	銭径24.2、内径21.1、銭厚1.40mm、量目1.44g										
	24	古 銭	永樂通宝	銭径24.7、内径20.8、銭径1.70mm、量目1.82g										
SK82														
50	25	土 器	かわらけ	76	23	35					在地系	内外面黒色物付着 18c 後 鉄釉 北宋 1068 年 篆書 新 無背		
	26	土 器	かわらけ	(82)	25	42					在地系			
	27	土 器	かわらけ	80	24	36					在地系			
	28	土 器	かわらけ	103	29	30					在地系			
	29	土 器	かわらけ	113	30	54					在地系			
	30	陶 器	灯明受皿	80	16	33					瀬戸美濃			
	31	鉄	頭巻釘?	頭幅3.9cm										
	32	鉄	不 明	幅2.1、現存長6.8cm										
	33	鉄	頭 巻 釘	頭幅2.1、現存長5.7cm										
	34	鉄	頭 巻 釘	頭幅1.9、現存長9.6cm										
	35	占 銭	不 明	銭径23.2、銭厚1.10mm、量目1.81g										
	36	古 銭	熙寧元宝	銭径23.2、内径19.4、銭厚1.50mm、量目1.73g										
	37	古 銭	不 明	銭径23.2、銭厚1.70mm、量目2.75g										
	38	占 銭	寛永通寶	銭径22.1、内径18.6、銭厚1.10mm、量目1.60g										
	39	古 銭	不 明	銭径25.2、内径20.3、銭厚1.65mm、量目1.77g										
	SK50													
	51	1	土 器	かわらけ	(116)	30	(55)						在地系	

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
51	2	陶 器	小 皿	(12.0)	2.4	(7.2)		折 縁 形		草 文	瀬戸美濃	17c初 志野襷 鉄絵文皿	
	3	石	石 臼	残存長 22.8、高 6.4、推定孔 2.9cm									
SK51													
51	4	灰 器	播 鉢		(3.8)						瀬戸美濃	15c後 鉄鉢	
	5	石	紙 石	残存長 6.9、幅 3.4、厚さ 3.5cm									
	6	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.4、現存長 7.5cm									
	7	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.1、現存長 5.3cm									
	8	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 5.5cm									
	9	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 5.6cm									
	10	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 4.7cm									
	11	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 3.8cm									
	12	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 2.5cm									
	13	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、長さ 3.2cm									
SK52													
51	14	土 器	弁 形	残存高 16.0、幅 15.6、厚さ 8.2cm							在地系	19c前 小坏 19c前 招鉢 19c前 鉄軸・灰釉	
	15	土 器	環 形	残存高 6.5、幅 3.5、厚さ 2.9cm							在地系		
	16	土 器	鳥 形	残存高 2.5、幅 2.3、厚さ 3.6cm							在地系		
	17	陶 器	ミニチュア	4.0	3.1	1.8				瀬戸美濃			
	18	陶 器	ミニチュア	5.6	2.4	1.6				在地系			
	19	陶 器	釜	16.2	8.4	12.4	22.0			在地系			
	20	土 器	かわらけ	(5.2)	1.0	2.6				在地系			
	21	土 器	かわらけ	4.8	0.9	2.8				在地系			
	22	土 器	かわらけ	(5.4)	1.0	2.4				在地系			
	23	土 器	かわらけ	5.0	1.0	(2.3)				在地系			
	24	土 器	かわらけ	6.8	1.3	4.0				在地系			
	25	土 器	かわらけ	5.0	1.1	(2.3)				在地系			
	26	土 器	かわらけ	(9.6)	1.8	(5.0)				在地系			
SK54													
52	1	土 器	かわらけ	(2.5)	(6.2)						在地系	16c 鉄軸 15c後 灰軸 16c 輪トナ 19c前 無高台 19c初 18末～19c初 16c	
	2	陶 器	皿	10.2	2.5	5.4		端 反 形	鉄 軸	瀬戸美濃			
	3	陶 器	縁 軸 皿	(13.0)	(2.2)			端 反 形		瀬戸美濃			
	4	陶 器	皿	(11.1)	2.0	(6.8)		端 反 形		信 栄			
	5	陶 器	灯 明 皿	(10.7)	2.4	(3.6)		平 形		肥前系			
	6	磁 器	碗	11.5	6.4	6.5		広 東 形	南天・波文	南天・波文			
	7	磁 器	段 重 蓋	(11.4)	(4.0)					肥前系			
	8	灰 器	播 鉢	(5.8)						瀬戸美濃			
SK57													
52	9	石	石 臼	残存長 27.7、高 10.0、推定孔 2.3cm								茶臼	
	10	石	石 臼	残存長 14.9、高 6.5、孔 1.6cm									
	11	石	石 臼	残存長 10.9、高 5.0cm									
SK63													
52	12	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 3.9cm									
SK67													
52	13	土 器	かわらけ	10.8	2.8	4.5					在地系	青磁軸 16c前	
	14	土 器	かわらけ	9.5	3.2	3.7					在地系		
	15	土 器	かわらけ	11.3	3.0	6.0					在地系		
	16	磁 器	碗		(2.0)	(6.2)					肥 前		
	17	灰 器	播 鉢		(3.7)						瀬戸美濃		
	18	石	紙 石	残存長 3.0、幅 2.7、厚さ 1.0cm									
	19	鉄	不 明 品	幅 1.2、現存長 6.1cm									
	20	鉄	不 明 品	幅 1.3、現存長 5.3cm									

国庫	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
52	21	鉄	刀 物	現存長 2.6、刃幅 1.5、背幅 0.3cm									
	22	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.4、現存長 5.0cm									
	23	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、長さ 4.0cm									
	24	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 3.1cm									
	25	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、長さ 3.3cm									
	26	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、現存長 2.6cm									
	27	石	頭 巻 釘	残存長 10.5、幅 8.0、厚さ 1.4cm									
SK69													
53	1	土 器	かわらけ	(10.7)	2.5	(5.6)		丸 形			在地系		
	2	陶 器	緑 釉 皿	(12.0)	(2.6)					瀬 戸	15c後 灰釉		
	3	陶 器	甕		(6.9)	(9.6)					灰釉		
	4	炆 器	播 鉢	(26.2)	10.2	11.2				瀬戸美濃	16c前		
SK70													
53	5	陶 器	灯 明 皿	(9.2)	(1.4)			短 反 形 端 反 形			瀬戸美濃	鉄軸	
	6	陶 器	緑 釉 皿	11.3	2.5	5.2				瀬 戸	15c後 灰釉		
	7	陶 器	緑 釉 皿	(12.0)	2.3	(6.0)				瀬 戸	15c後 灰釉		
	8	炆 器	播 鉢		(6.5)	(11.0)				瀬戸美濃	鉄軸		
	9	土 器	土 鍋	(36.6)	(5.4)						在地系		
	10	石	石 臼	残存長 16.8、高 6.1cm									
	11	石	石 臼	残存長 8.0、高 5.6cm									
	12	石	石 臼	残存長 11.3、高 8.6cm									
	13	石	板 碑	残存長 18.5、幅 10.0、厚さ 2.1cm									
	SK72												
	53	14	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 4.1cm								
	SK76												
	53	15	古 銭	弘武通寶	銭径 23.1、内径 18.1、銭厚 1.20mm、重量 2.52g								明 1368年
SK78													
53	16	古 銭	咸平元寶	銭径 24.9、内径 18.9、銭厚 1.32mm、重量 2.50g								北宋 998年	
SK81													
53	17	陶 器	銅 甕			(8.8)					瀬戸美濃	19c前 鉄軸	
	18	炆 器	甕			(11.8)					常 滑	18c後	
	19	石	板 碑	残存長 13.3、幅 8.1、厚さ 1.0cm									
SK83													
53	20	陶 器	緑 釉 皿	(9.6)	2.1	(5.0)		丸 形			瀬 戸	15c後 灰釉	
	21	土 器	かわらけ		(1.6)	5.7					在 地 系		
	22	土 器	かわらけ		(1.6)	4.6					在 地 系		
	23	土 器	かわらけ		(1.7)	(5.6)					在 地 系	底部穿孔	
	24	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、現存長 3.5cm									
	25	石	灰 石	残存長 8.6、幅 3.5、厚さ 2.5cm									
SK90													
53	26	土 器	かわらけ	(8.3)	2.5	(5.0)					在地系		
SK102													
53	27	磁 器	小 碗	(7.6)	4.0	(3.0)		短 反 形	葵唐草		瀬戸美濃	19c前	
	28	鉄	鉤	幅 4.2、現存長 7.1、厚さ 0.6cm									
	29	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 3.8cm									
SK84													
54	1	土 器	かわらけ		(1.7)	5.4					在地系		
	2	炆 器	大 甕								常 滑		
	3	石	板 碑	残存長 28.0、幅 15.9、厚さ 2.3cm									
	4	石	板 碑	残存長 18.4、幅 14.5、厚さ 1.5cm									

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SK109												
54	5	土 器	かわらけ	(10.2)	3.8	(5.6)					在地系	
SK114												
54	6	土 器	灯明皿	(7.7)	2.5	5.0					在地系	
SK119												
54	7	炆 器	甕	(17.7)	(5.3)							
SK120												
54	8	土 器	蓋	20.4	3.9		3.4				南北金産	須恵器
SK121												
54	9	土 器	かわらけ		(1.5)	5.8					在地系	
	10	炆 器	甕								常 滑	13c後~14c前
	11	炆 器	播 鉢								在地系	14c?
SK122												
54	12	土 器	環	(12.6)	(3.7)	(9.0)						土師器
SK126												
54	13	土 器	環	(12.8)	(5.0)							土師器
	14	土 器	環	(15.0)	(3.7)							土師器・体部内面ミガキ
SK127												
54	15	土 器	かわらけ	(11.2)	(3.0)						在地系	
SK130(埋納遺構)												
54	16	土 器	かわらけ	12.9	3.4	7.1					在地系	
	17	土 器	かわらけ	12.8	3.1	7.0					在地系	
F4区埋納遺構												
54	18	土 器	かわらけ	10.4	3.2	5.8					在地系	
	19	土 器	かわらけ	10.4	2.8	6.4					在地系	
	20	土 器	かわらけ	10.1	2.8	6.3					在地系	
	21	土 器	かわらけ	13.4	3.3	7.0					在地系	

際で検出されており、グリッドピットの上に乗るよう
に埋納されていることから、第46号土壌と出土状態が
類似している。遺構のプランは不整形円形を呈し、底
面は皿状で、壁は緩く開きながら立ち上がる。長径
1.20m、短径0.85m、深さ0.16mを測る。かわらけは
2個体が上下に口を合わせて埋納されていた。えな埋
納説、地鎮説等の解釈があるが、機軸は不明である。
かわらけは中世段階のもので、遺構もその時期に比定
されよう。

(8) 門跡

第102号土壌 (第49図、第53図26~28)

E-7~8区にかけて位置する。東西に同形の土壌
を2基配し、それを布振状の溝で繋いでいる。土壌は
東側が長径2.06m、短径1.27m、深さ0.97m、西側が

F4区埋納遺構 (第54図18~21)

F-4区とF-3区の境界付近から、かわらけを4
枚重ねたものが出土した。遺構は検出できなかったが、
かわらけは全て完形で、4枚全てを重ねた状態で検出
された。第54図21が一番大きく、他はほぼ同じ大き
さで、器形、整形等異なるものが決伴という形で検出さ
れている。他の埋納遺構とかわらけの様相が少し異る
が、中世段階のものと思われる。

長径1.87m、短径1.06m、深さ0.91mを測る。土壌の
間隔は3.46m、溝幅が0.48mを測る。およそ、間口2
間の門跡となる。土壌内には、柱頭の根柢み部分が遺
存していた。遺物は染付端反茶碗と、鉄釘が出土して
いる。

(9) 井戸跡

井戸は調査区内に満遍なく検出されているが、中世段階のものは開口部が開く傾向にあり、近世段階のものは筒状で開口部が開かない傾向にある。また、井戸枠等の付属施設が検出されたものはない。

第1号井戸 (第55図)

D-5区に位置する。グリッドビットや第9号土壌等と重複するが、第1号井戸は第Ⅵ層段階の調査時点で検出されている。従って、遺物は出土していないが、近世の所産と考えられる。また、隣接する第10号土壌上の第Ⅵ層面には焼土と灰層の分布面が確認されており、さらに、火消壺などが第Ⅵ層面から出土していることから、この近辺がある時期の台所、炊事場等の機能を果たしていたことが想像される。井戸は東側約半分が調査区外にあたり、長径1.06m、短径0.51m、深さ0.48mまでを調査した。

第2号井戸 (第55図)

E-6区に位置する。第7号井戸が北西側に隣接する。プランはほぼ円形で、長径0.75m、短径0.70mを測り、深さは1.85mまでを調査した。筒状の井戸で、遺物は検出されなかった。

第3号井戸 (第55図、第57図1～11)

D-7区に位置する。遺構西半分が調査区外にあり、第48号土壌やグリッドビットと重複する。プランはほぼ円形を呈し、長径1.26m、短径0.69mで、深さは1.43mまでを調査した。遺物はかわらけ、陶器香炉、刀子、板碑の破片が出土している。第57図1のかわらけはやや器高が高く、薄手の造りで、中世的な造りと、近世的な造りの中間的な様相を示している。また、2は底部破片であり、混入の可能性もあるが、中世段階のかわらけである。3の香炉等が近世初頭期に位置付けられるものと思われる事等から、本井戸の所属を中世末から近世初頭と位置付けて置きたい。

第4号井戸 (第55図、第57図12～17)

D-7区に位置する。遺構開口部の北西コーナーの一部が調査区内に当たる。従って、全体構成は不明であるが、プラン開口部の開く漏斗状の井戸で、長径1.49m、短径0.80mで、深さは1.15mまでを調査した。本井戸は第Ⅵ層にバックされており、第Ⅵ層段階で機能していたものと推測される。遺物はかわらけ、播鉢の口縁部破片、鉄釘が出土している。第57図12、13のかわらけは、造りが厚く、口唇端部に面取り状の整形を施すなど、中世段階の特徴を持つ。出土遺物、及び井戸の形状から、本遺構は中世段階の所産と推測される。

第5号井戸 (第55図、第57図18～29)

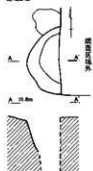
D-8区に位置する。グリッドビットと重複するが、ほぼ全体を調査した。プランはほぼ円形の筒状を呈し、長径1.14m、短径1.10mで、深さは2.40mまでを調査した。井戸内の覆土は一度に埋め戻された土が充填されており、開口部が貼床状に硬化面を成していた。D-7～9の調査区は、2面に互って調査を行っているが、本遺構は下面の2面目で検出されている。この、2面目はおよそ第Ⅵ層に相当することから、遺構自体も第Ⅵ層以前の中世段階の構築と推定される。遺物はかわらけ、陶器縁袖皿、火鉢、播鉢、刀子、砥石の破片が出土している。第57図18～20のかわらけはやや厚みがあるが、均一的な厚さを保ち、底部が大きく、丁寧な造りである。外面の轆轤成形も均一的で丁寧である。特に、白色がかった色調は特徴的で、胎土もきめ細かいものである。接合はしないが、27と25は胎土・焼成等類似し同一個体の可能性が高く、25のかきめが胴下半部にのみ施されている可能性が高い。出土遺物から、本井戸は中世段階の所産と考えられる。

第6号井戸 (第55図)

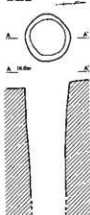
D-8区に位置する。遺構東半分が調査区外に当たるため、全体像は明らかにし得ないが、やや開口部の開く筒状の井戸と思われる。長径1.52m、短径0.81m

第55岡 井戸跡(1)

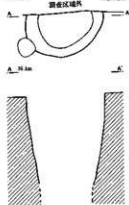
SE1



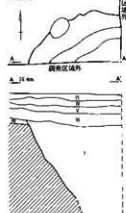
SE2



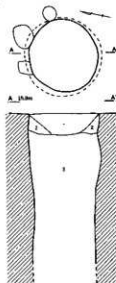
SE3



SE4



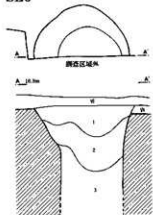
SE5



SE5

- 1 暗褐色土 焼土、粘土、小礫を多く含み、しまり密く、粘性強い。
- 2 暗褐色土 しまりやや弱い。
- 3 茶褐色土 ロームブロック等を多く含み、固くしまる。

SE6



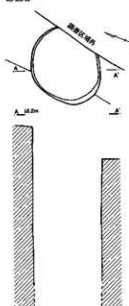
SE6

- 1 暗褐色土 焼土、炭化物をわずかに含み、粘性弱く、しまりやや強い。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土、炭化物を少量含む。粘性弱く、しまり強い。
- 3 黒褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土、炭化物を若干含む。粘性弱く、しまり強い。

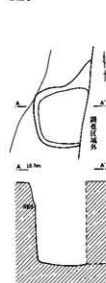
SE4

- 1 暗褐色土 小礫、ロームブロック、粘土ブロック、炭化物、焼土を少量含む埋土。

SE8

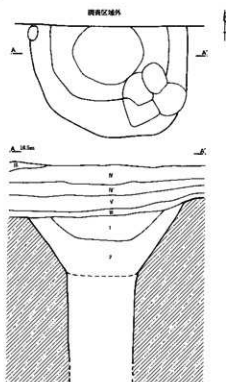


SE9

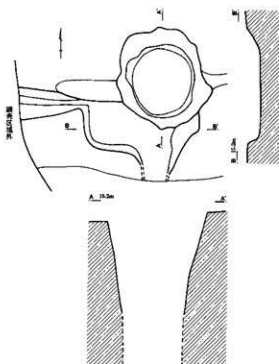


0 10m

第56図 井戸跡(2)
SE7



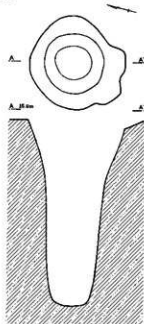
SE12



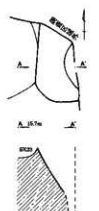
SE7

- 1 暗褐色土 ローム殻子、焼土を少量含む、面粗入。しまりよし。
2 褐色土 ローム殻子を多量、ロームブロックを少量含む。焼土、炭化物を若干含む。

SE10



SE11



で、深さは1.40mまでを調査した。遺物は出土していない。本井戸は第Ⅵ層にバックされていることから、第5号土塼と同様に、中世段階の所産の可能性が高い。

第7号井戸（第56図、第58図1～11）

E-6区に位置する。遺構北半分が調査区外にあり、第2・3号掘立柱建物跡と重複するが、本遺構の方が新しい。プランは開口部の開く漏斗状を呈し、長径2.48m、短径1.77mで、深さは2.56mまでを調査した。遺物は1、2の陶器志野皿、常滑産の甕の口縁部破片、甕の底部、砥石、石臼、石製円盤、鉄釘が出土している。当初、土塼として調査を始めていることから、第Ⅵ層調査時点で見え隠れしていたものと思われ、断面図では第Ⅵ層にバックされている。出土遺物から遺構所産時期を推定すると、中世最終末から近世初頭の位置付けが可能となる。

第8号井戸（第55図、第58図12～16）

C-10区に位置する。遺構東側の一部が調査区外にあり、第1号堀と重複するが、新旧関係は不明である。プランはほぼ円形の筒状を呈し、長径1.25m、短径0.96mで、深さは2.53mまでを調査した。遺物は中世段階のかわらけ、板碑の破片が出土している。土層断面での重複関係は把握されなかったが、出土遺物から第1号堀と前後する時期の所産と考えられる。

第9号井戸（第55図、第59図1）

C-10区に位置する。遺構東側一部が調査区外にあり、第1号堀と重複するが、新旧関係は不明である。第8号溝同様に、第1号溝と前後する時期か、あるいはやや古い段階の所産と思われる。プランは不整の円形で、長径1.35m、短径0.83mで、深さは0.92mを測る。遺物はかわらけの破片が出土している。深度が浅いため、他の遺構の可能性もあるが、井戸として認識

した。

第10号井戸（第56図）

F-4区に位置する。グリッドビットと重複するが、新旧関係は不明である。プランは漏斗状のほぼ円形を呈し、長径1.52m、短径1.47mで、深さは2.90mであった。今回の調査で、唯一完掘できた井戸であるが、残念ながら遺物は出土していない。遺物がなく時期判断が難しいが、本調査地点から近世の遺物が殆ど出土していない点や、井戸の形状から判断して、所産を中世段階に考えて置きたい。

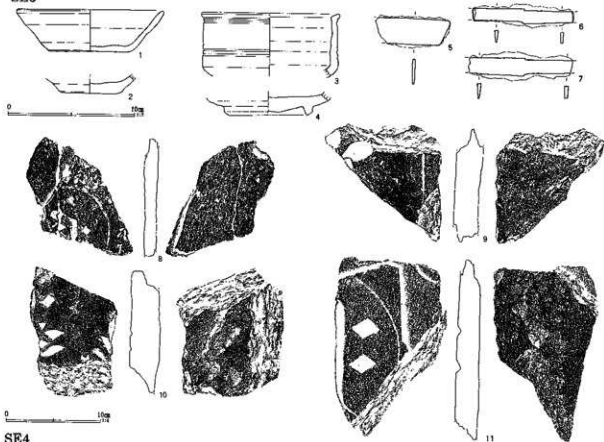
第11号井戸（第55図）

F-4区に位置する。調査区のコーナーに検出された井戸で、大半が調査区外に当たる。詳細は不明で、長径1.14m、短径0.67mで、深さは0.92mまでを調査した。

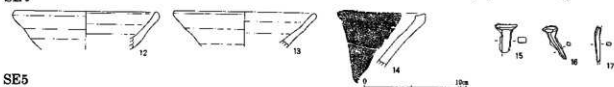
第12号井戸（第55図、第59図4～14）

G-3区に位置する。第2号住居跡と重複するが、本遺構の方が新しい。プランは緩い漏斗状を呈し、長径1.60m、短径1.48mで、深さは1.64mまでを調査した。この井戸の南側には、井戸から溝が続いており、この井戸の付属施設と考えられる。遺物はかわらけ、青磁碗、陶器瀬戸平碗、甕、土鍋の口縁部破片、鉄釘等が出土している。第59図4のかわらけは底部と胴部下半かやや厚い成形で、外面の轆轤調整は細かく丁寧なものとなっている。5は底部が厚い造りである。14は在地産の短頸甕で、外面の風化が著しく、器面の剥落がみられる。一括廃棄されていたもので、ほぼ完形である。およそ、14世紀代の年代が与えられ、今回の調査の中では、中世としては最も古い年代が与えられる一括遺物である。遺構としても、その年代が与えられよう。

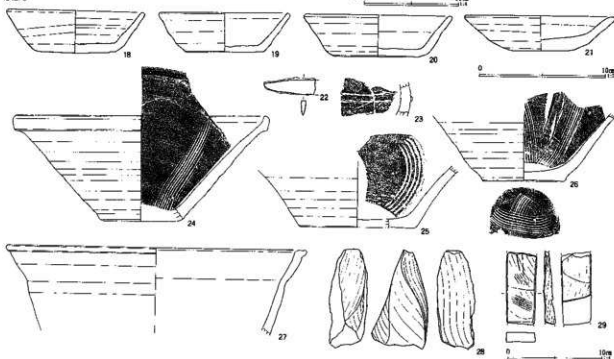
第57図 井戸跡出土物 (1)
SE3



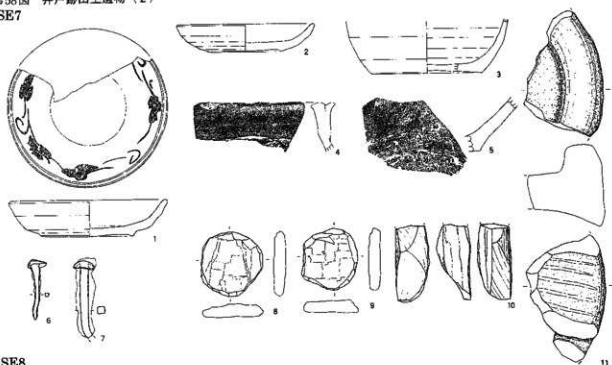
SE4



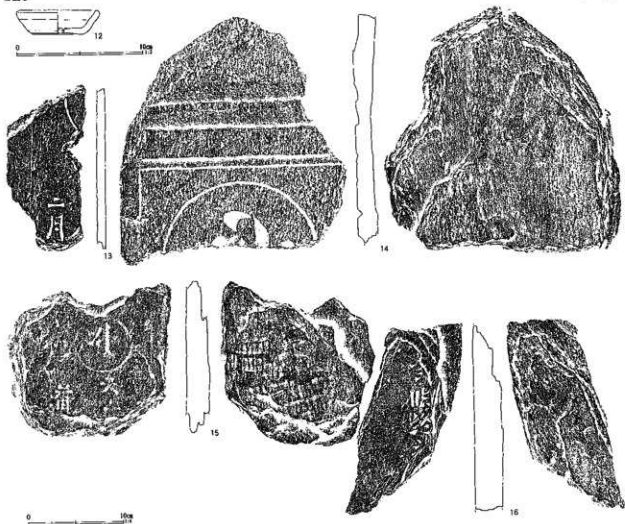
SE5



第58図 井戸跡出土遺物 (2)
SE7



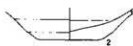
SE8



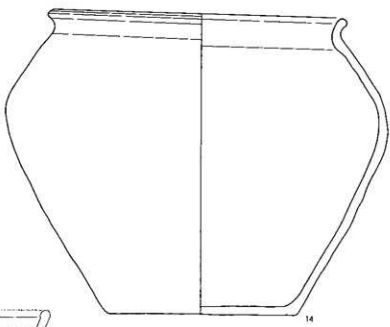
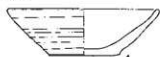
第59図 井戸跡出土遺物 (3)
SE9



SE11



SE12

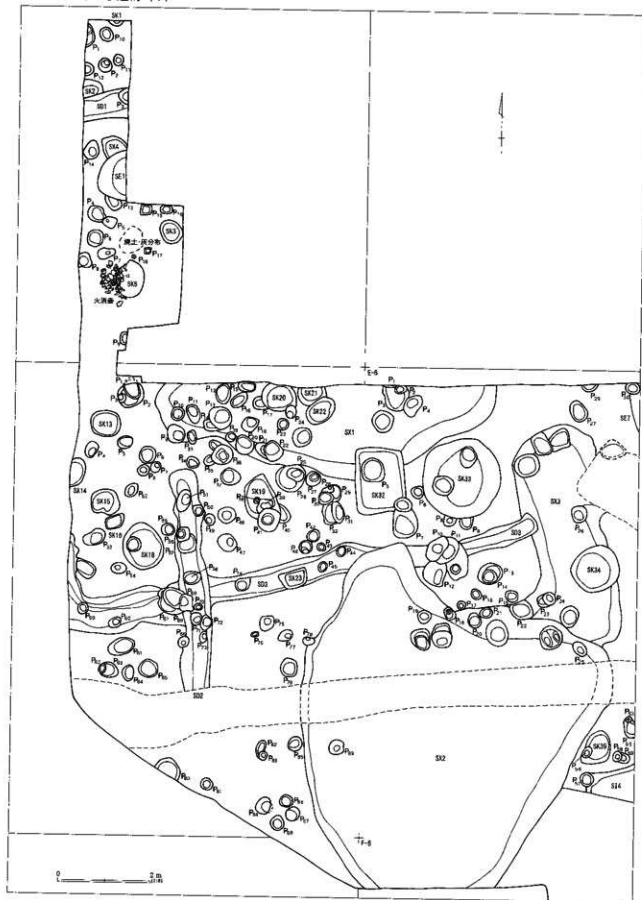


井戸跡出土遺物観察表 (第57図～第59図)

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産地	備 考		
				a	b	c	d		外 向	内 向				
SE3														
57	1	土 器	かわらけ	11.7	3.3	6.4	轆轤半筒形				在地系			
	2	土 器	かわらけ		(1.5)	4.6					在地系			
	3	陶 器	香 炉	(11.0)	(5.0)	瀬戸美濃					17c? 灰釉			
	4	陶 器	皿		(2.0)	(6.2)					瀬戸美濃		16c 青磁釉	
	5	鉄	不 明	現存長 5.9、幅 2.0 cm							切先・茎尻欠失 切先・茎尻欠失			
	6	鉄	刀 子	現存長 7.9、刀幅 1.2、背幅 0.3 cm										
	7	鉄	刀 子	現存長 8.1、刀幅 1.4、背幅 0.3 cm										
	8	石	板 碑	残存長 12.4、幅 11.3、厚さ 1.5 cm										
	9	石	板 碑	残存長 12.3、幅 8.7、厚さ 3.2 cm										
	10	石	板 碑	残存長 12.0、幅 12.3、厚さ 2.8 cm										
	11	石	板 碑	残存長 19.1、幅 11.0、厚さ 2.5 cm										
SE4														
57	12	土 器	かわらけ	(10.2)	(3.0)					在地系				
	13	土 器	かわらけ	(11.1)	(2.8)					在地系				

図版	番号	材質	器 種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
57	14	土 器	鉢		(5.8)						在地系	脚部片
	15	鉄 器	頭巻釘	頭幅1.7、現存長2.2cm								
	16	鉄 器	頭巻釘	頭幅1.3、現存長3.0cm								
	17	銅 器	針	現存長2.8cm								
	SE5											
57	18	土 器	かわらけ	10.7	3.4	6.4					在地系	15c後 灰釉
	19	土 器	かわらけ	(10.2)	3.1	(6.4)					在地系	
	20	土 器	かわらけ	(11.4)	3.3	(7.0)					在地系	
	21	陶 器	緑釉皿	12.0	3.0	5.2		丸 形			瀬 戸	
	22	鉄 器	刀 子	長さ4.2、刀幅1.2、背幅0.4cm								
	23	土 器	火 鉢								在地系	
	24	磁 器	桶 鉢	(27.6)	(11.2)	(9.0)					瀬戸美濃	
	25	磁 器	桶 鉢		(6.7)						在地系	
	26	磁 器	桶 鉢		(7.3)	8.8					瀬戸美濃	
	27	磁 器	桶 鉢	(32.2)	(9.3)						在地系	
	28	石 器	砥 石	残存長10.5、幅4.0、厚さ6.0cm								
	29	石 器	砥 石	残存長7.8、幅3.2、厚さ1.2cm								
SE7												
58	1	磁 器	小 皿	12.5	2.9	7.2		丸 形		寫 文	瀬戸美濃	17c初 長石釉(臥志野)
	2	陶 器	小 皿	10.9	2.2	5.6		丸 形			瀬戸美濃	17c初 長石釉(臥志野)
	3	陶 器	大 瓶		(5.6)	11.7		舟 徳 利			瀬戸美濃	鉄釉
	4	磁 器	甕		(5.3)						常 滑	16c後
	5	磁 器	甕		(4.5)							
	6	鉄 器	頭巻釘	頭幅1.5、長さ4.8cm								
	7	鉄 器	頭巻釘	頭幅1.2、現存長6.1cm								
	8	石 器	石製門釦	長さ6.9、短径6.5、厚さ1.5cm								
	9	石 器	石製門釦	長さ6.6、短径6.6、厚さ1.4cm								
	10	石 器	砥 石	残存長8.1、短径3.7、厚さ3.5cm								
	11	石 器	石 臼	残存長13.5、高8.7cm								
SE8												
58	12	土 器	かわらけ	(5.3)	1.9	(4.0)					在地系	16c
	13	石 器	板 碑	残存長17.0、幅8.2、厚さ0.9cm								「二月」
	14	石 器	板 碑	残存長24.8、幅23.9、厚さ2.1cm								
	15	石 器	板 碑	残存長16.1、幅15.0、厚さ2.5cm								
	16	石 器	板 碑	残存長19.6、幅11.0、厚さ3.1cm								
SE9												
59	1	土 器	坏		(3.0)	(5.6)					東金子産	須恵器
SE11												
59	2	土 器	かわらけ		(2.5)	(5.7)					在地系	14c
	3	磁 器	甕									
SE12												
59	4	土 器	かわらけ	(11.8)	3.7	5.7						13c後~14c前 青磁輪 B1類
	5	土 器	かわらけ		(2.8)	6.4						
	6	磁 器	碗		(5.0)						瀬戸	
	7	陶 器	平 碗	頭幅0.8、現存長5.3cm								
	8	鉄 器	不 明	現存長5.9、断面径0.6cm								
	9	土 器	甕		(3.3)	12.0					在地系	
	10	土 器	甕									
	11	土 器	甕									
	12	磁 器	甕								常 滑	
	13	土 器	土 鍋	(26.8)	(4.7)						在地系	
	14	土 器	短頸壺	30.8	33.2	19.7					在地系	

第60図 ビット状遺構 (1)



(10) ビット状遺構

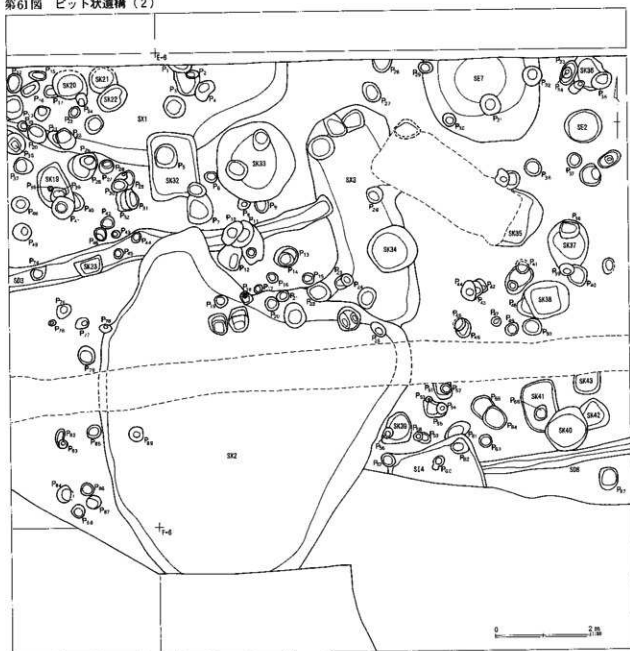
ビット状遺構は、調査区内全般に亘って、多数発見されており、グリッドビットとして番号をつけたものが1629個であった。 ROOM面にまで達しないビットも多数存在しており、実際の総数はかなりの数に昇るものと思われる。また、これらのビットが、基本的には何かの建物等を構成していたであろうことは明らかで、それ等の組み合わせを認識できなかったことが悔やまれる。さりとて、曖昧な組み合わせによる遺構の

推定も不可能であり、今後の調査による新たな知見との総合から遺構の断定が可能になるよう、全てのビット状遺構に対して計測値等の統計を残した。

これ等のビット状遺構は、ある程度の組み合わせが把握されているものも多く存在する。しかし、建物として確定されるにまで至らないものであり、ビットとして処理した。

全体の傾向を把握しておきたい。第12次調査区では柵列状のビットが多く、何度も立て直されたことが窺

第61図 ビット状遺構 (2)

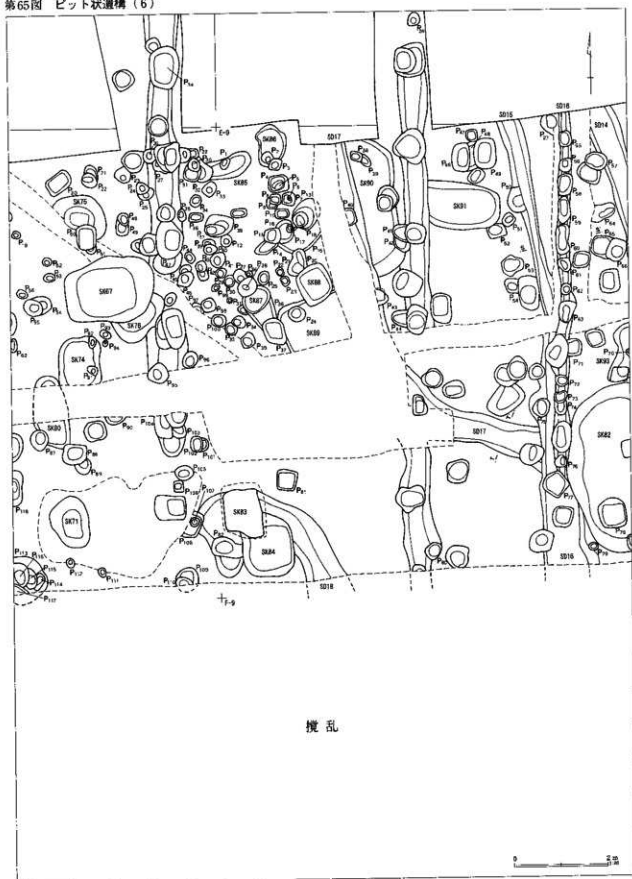


第62図 ビット状遺構 (3)

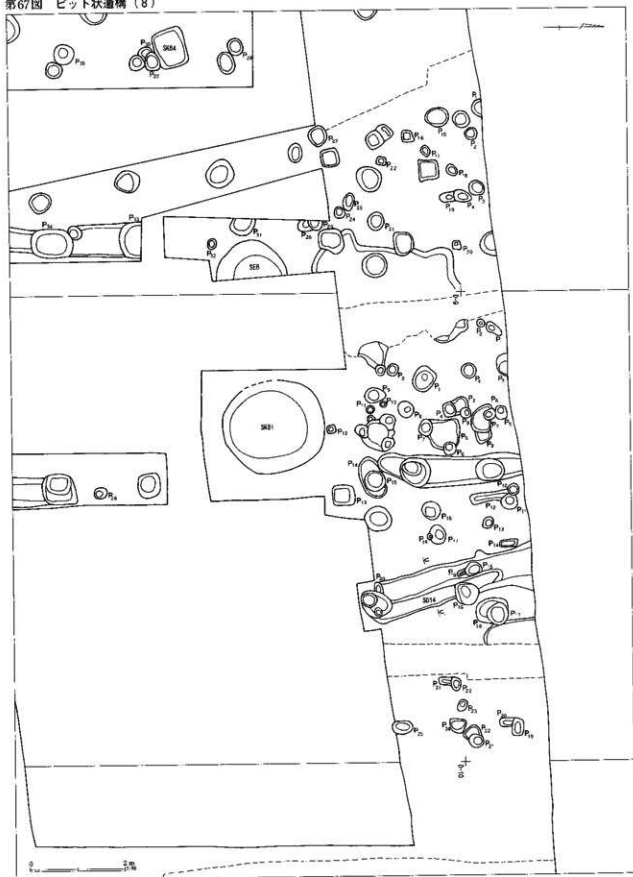


0 2 km

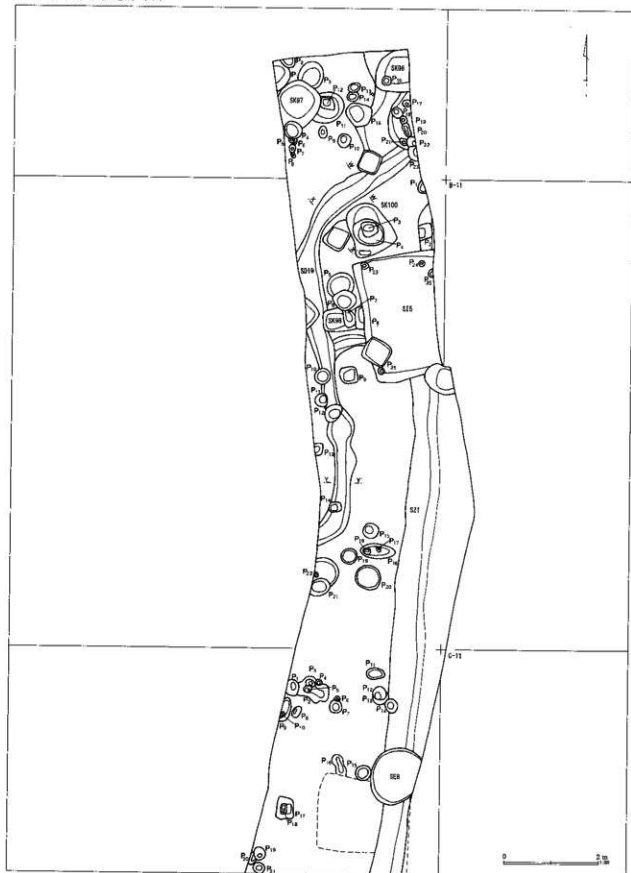
第65図 ピット状遺構 (6)



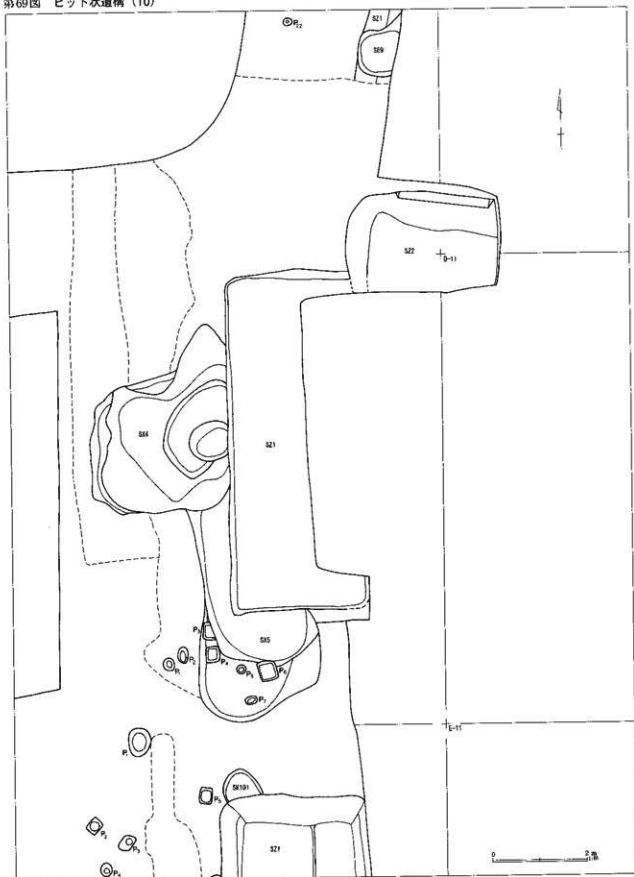
第67図 ビット状遺構 (8)



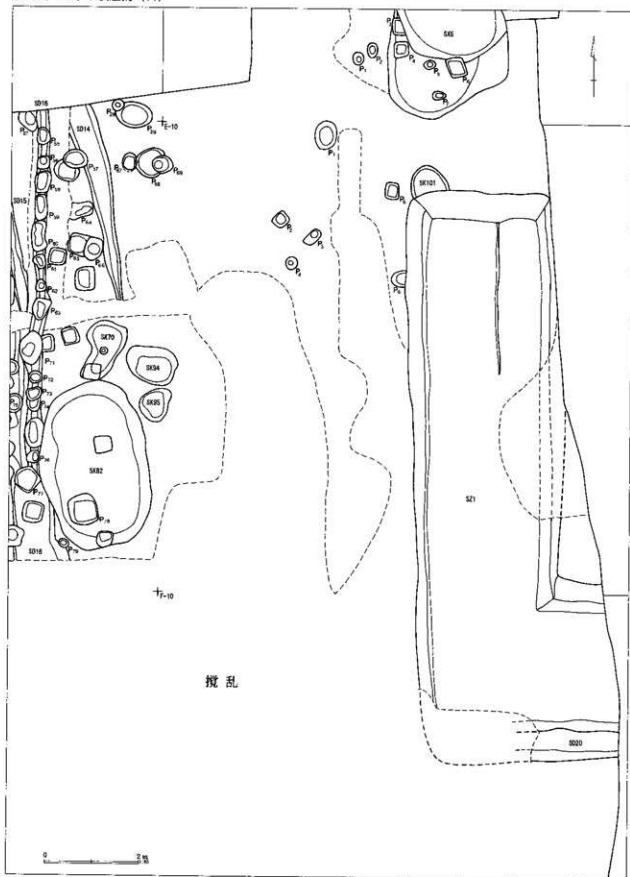
第68図 ビット状遺構 (9)



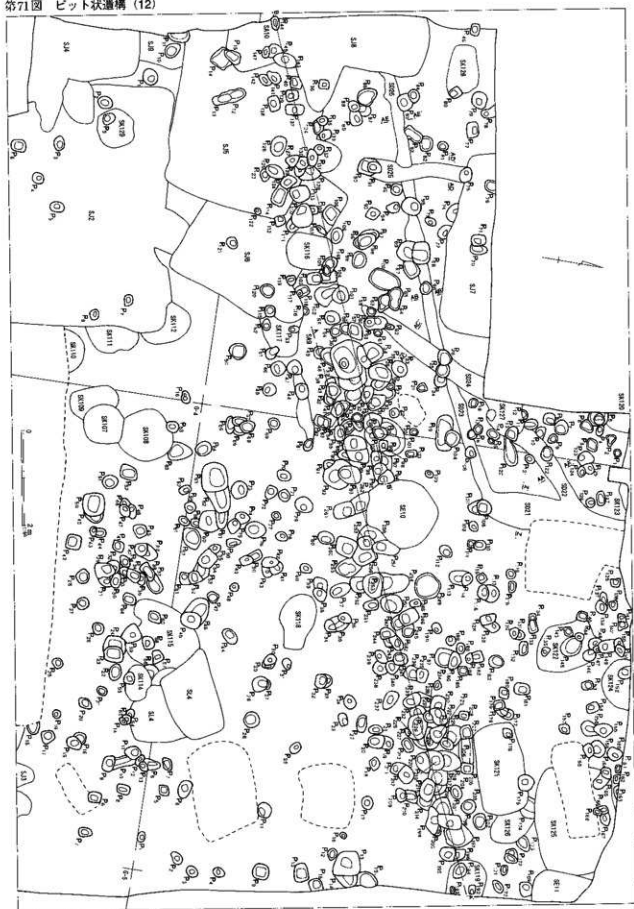
第69図 ビット状遺構 (10)



第70図 ビット状遺構 (11)



第71図 ビット状遺構 (12)



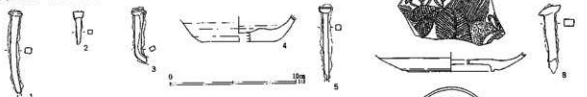
第73図 ビット遺構出土遺物

B10G-P3 C9G-P16 D5G-P8

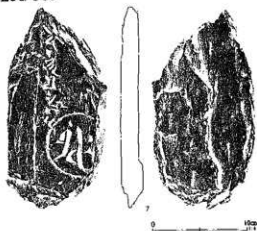
D5G-P14

D7G-P16

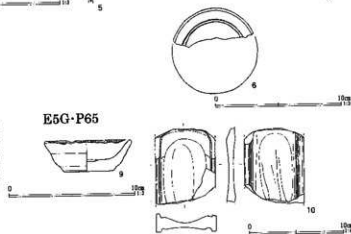
E5G-P50



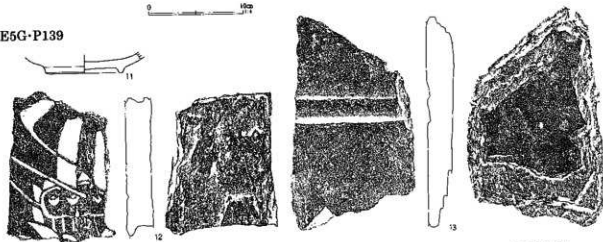
E5G-P33



E5G-P65



E5G-P139



E6G-P34

E7G-P106

E7G-P15



E8G-P24

E7G-P48



E9G-P19

E9G-P27

E9G-P79

E9G-P65

E7G-P134



E8G-P73

F4G-P220

E9G-P37



ビット出土遺物観察表

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
73	1	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 6.7cm								B10・P3
	2	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、長さ 2.6cm								C9・P16
	3	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 4.4cm								D5・P8
	4	土器	かわらけ	(2.0)	(6.0)						在地系	D5・P14
	5	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 5.8cm								
	6	磁器	皿	(1.5)	(6.7)			丸 形		雲 文	景徳鎮	D7・P16 16c後
	7	石板	碑	残存長 21.3、幅 9.8、厚さ 2.3cm								E5・P33
	8	鉄	頭巻釘	頭幅 1.8、現存長 5.4cm								E5・P50
	9	七部	灯明皿	6.9	2.4	3.9					在地系	E5・P65
	10	石	碇	残存長 8.0、幅 6.4、厚さ 1.9cm								
	11	陶器	皿	(1.5)	6.2			丸 形			瀬戸美濃	E5・P139 16c 長石軸
	12	石板	碑	残存長 14.6、幅 11.4、厚さ 2.9cm								
	13	石板	碑	残存長 22.3、幅 13.0、厚さ 2.9cm								
	14	陶器	五寸皿	(13.7)	3.1	(7.4)		丸 形			瀬戸美濃	E6・P34 17c後 灰軸
	15	古銭	熊掌元寶	銭径 2.26mm、重量 1.68g								E7・P15 北宋 1068年
	16	古銭	洪武通寶	銭径 23.3、内径 18.5、銭厚 1.90mm、重量 1.96g								E7・P18 明 1368年
	17	磁器	壺	3.7	1.7	1.2	2.7	花唐草			瀬戸美濃	E7・P106
	18	磁器	ミニチュア	(2.8)	2.4			丸 形			肥前系	19c後 小坏
	19	陶器	ミニチュア	5.8	(1.5)						瀬戸美濃	箱鉢
	20	陶器	灯明皿	10.0	1.9	6.0						18c後 鉄軸
	21	陶器	灯明受皿	11.1	(2.3)	(4.3)	(7.2)				信 楽	19c前 灰軸
	22	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 3.9cm								
	23	古銭	皇宋通寶	銭径 24.3、内径 20.0、銭厚 1.35mm、重量 2.24g								E7・P134 北宋 1038年
	24	陶器	皿	(1.5)	5.7							E8・P24
	25	古銭	犀首銭	銭径 長径 21.0、短径 15.6、銭厚 2.15mm、重量 1.35g								E8・P73
	26	鉄	頭巻釘	頭幅 1.6、現存長 6.2cm								E9・P19
	27	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 1.6cm								
	28	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 2.9cm								E9・P27
	29	古銭	不 明	銭径 24.1、内径 20.3、銭厚 1.80mm、重量 2.09g								E9・P37
	30	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、長さ 6.2cm								E9・P79
	31	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、現存長 3.7cm								E9・P65
	32	土器	かわらけ	(10.0)	3.5	(5.4)					在地系	F4・P220

える。また、権列より内側の南側では、四角形状のビットが多数存在し、掘立柱建物跡が存在していたことは確かなものと思われる。また、H-4区では4本柱の祠状建物が何度も改築された様子が窺われたが、不確実なため物跡とはしなかった。

さらに、D-E-5～7区にかけては一部層位的な調査が可能であったが、それぞれの時点で柱穴の並びを確定することは困難であった。第Ⅴ層面と、第Ⅵ層面が最終的な半断の調査面となったが、それでも第Ⅴ層面において、柱穴並びの認定は困難を極めた。これ等の調査区については、2面にわたる平面図を用意し

た。

D-7～9区にかけては、第Ⅴ面と第Ⅵ～Ⅷ層面にかけての面の、2面を調査した。しかし、同様に第Ⅴ層面で確認された遺構の配列は、不確定であった。

E-8～11区にかけては、層位的な調査は不可能であり、全時期の遺構を、ローマ面上で調査したことになる。遺構の重なり等、詳細な部分が不正確となってしまっている。

ビット出土遺物は少なく、図示し得るものは第73図に示した。総じて、近世段階の遺物が少ない傾向にある。

(11) 堀跡

今回の調査区からは、古絵図に記される堀や、新たに調査で発見された堀を含めて4条の堀が確認された。

第1号堀（第74図、第76図1～7）

B～F-10区にかけて位置する。第5号竪穴状遺構、第8・9号井戸、第2号堀と重複するが、第2号堀より古く、他の遺構より新しいものと判断された。馬出しと思われる部分がD～E-10区で、クランク状に西側へ張り出し、その中央部に土橋が存在する。土橋の間隔は約1.70mである。調査区際に検出されたため全体構成を把握しきれないが、堀の底は平坦で、2度程掘り直している。壁断面は台形状に直線的に広がり、底幅は約1.11mで、上幅を確認できる部分はなかった。張り出し部分の長さは10.59mで、クランク状に北側へ延びている。遺物は張り出し部の北側コーナーの覆土内からかわらけが、また、D-10区の埋土の中から、ほぼ完形の土釜、甕の破片、板碑の破片が出土した。かわらけから半断して、溝の構築時期は中世終末と判断した。

第2号堀（第74図、第76図8～10）

D～E-10～11区にかけて位置する。第1号堀と重複するが、本堀の方が新しい。第1号堀とはほぼ直角方向に存在し、堀幅も広く、深い。堀の形状は不明であるが、地表面から底面まで約3.04mを測る。近世段階

(12) 溝跡

調査区全体で、新旧合わせて合計26条の溝跡を検出した。堀との区別は、その規模の違いを基準とした。

第1号溝（第60図、第75図、第77図1、2）

D-5区に位置する。トレンチ掘りの中で、東西南方向に存在する。第Ⅵ層調査段階で検出されており、断面が箱状を呈し、幅0.56mを測る。遺物はかわらけ、天目茶碗の破片、石臼の破片が出土した。

の堀と思われるが、古絵図に相当しない堀と思われる。出土遺物は陶器灯明皿と、火鉢の破片、板碑の破片が出土した。

第3号堀（付図、第76図11～21）

第12次調査区と、第9次調査区のJ-7～8区にかけて、調査区内を南北東西にジグザグに区画する。ほぼ古絵図と一致する堀であるが、堀の肩部分のみ明らかにされており、F-2区では地表面より4～5m掘り下げて底面は現れなかった。堀は白色粘土等を含めた埋土で、何層にも互って人為的に埋められており、その埋土の中から遺物が出土している。遺物はかわらけの小破片や、鐏鉢、焙烙の破片等が出土している。堀の正確な時期を表すものは少ないと思われるが、第3号堀は位置、形状から近世段階の堀と判断される。

第4号堀（付図）

F～J-10区にかけて位置する。富士見橋に面する部分で、古絵図においても堀の存在が明らかにされている部分である。今回の調査では堀の肩部分を検出した。この堀はJ-10～11区位で西方向へ曲がるものと思われ、第3号堀と一つになる可能性が高い。遺物は出土していない。

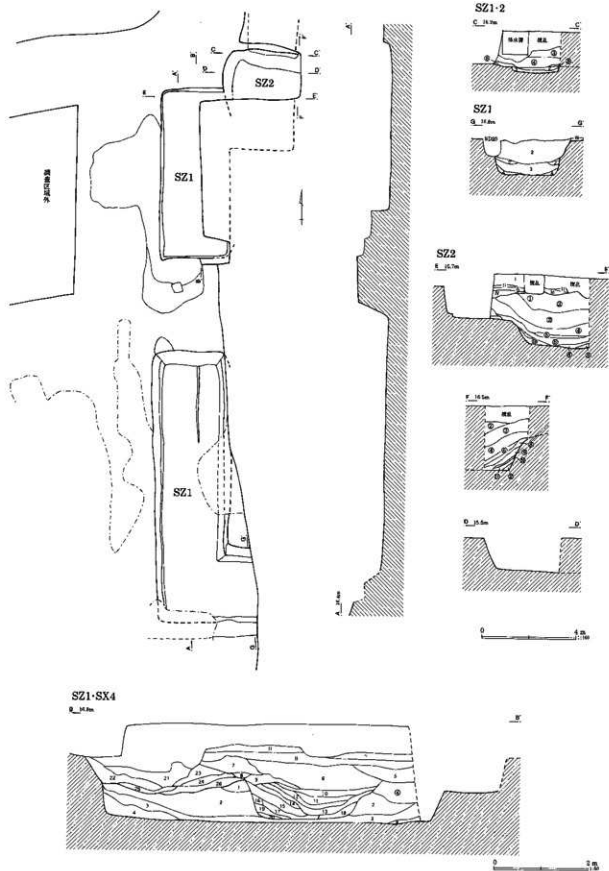
第2号溝（第60図、第75図、第77図3）

E-5区に位置する。南北方向に存在し、第3号溝と重複する。第1号溝と類似した溝で、やはり第Ⅵ層調査段階で検出されている。断面が箱状を呈し、幅0.56m、全長6.60mを調査した。遺物はかわらけ、鉄釘が出土した。

第3号溝（第60図、第75図、第77図6～11）

E-5～6区にかけて位置する。第2号溝と交差して東西方向に存在する。調査区西端で北方向に曲がり

第74图 第1号·第2号窑址
SZ1·2



SZ1・SX4

- 1 褐色土 ロームブロック、ローム粒子を多く含む。焼土、炭化物を僅かに含む。粘性、しまり共に強い。(SZ1)
- 2 褐色土 ローム粒子を多く含む。焼土、炭化物を僅かに含む。粘性強い。(SZ1)
- 3 暗褐色土 ローム粒子及びロームブロックを多量に含む。粘性、しまり共に強く、大変強い。(SZ1)
- 4 黄褐色土 ローム粒子と暗褐色土で構成される。部分的にロームブロックを含む。粘性強く、しまりに強い。(SZ1)
- 5 褐色土 ロームを主体とする肥地層で、褐色土とロームブロックが混在する。
- 6 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。焼土、炭化物を均等に少量含む。粘性、しまり共に強い。
- 7 褐色土 ローム粒子とロームブロックを少量含む。焼土、炭化物を均等に含む。小礫を混入し、粘性や強い。
- 8 暗褐色土 白色粘土ブロックを混入し、ロームブロック、焼土、炭化物を少量含む。しまり強く、粘性や強い。
- 9 暗褐色土 ローム粒子、白色粘土ブロックを少量。焼土、炭化物を部分的に多く含む。粘性強く、しまり強い。
- 10 暗褐色土 9層に類似するが、炭化物と焼土の含有量が少なくなる。
- 11 褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多く含む。白色粘土ブロックを少量含む。焼土、炭化物を僅かに含む。しまり強く、強い。
- 12 灰褐色土 粘質土で、焼土、炭化物を僅かに含む。粘性が強く、しまりや強い。
- 13 暗褐色土 12層の粘質土とロームブロック、炭化物層が互層を成し、焼土を少量含む。しまり強く、粘性も強い。
- 14 暗褐色土 炭化物を上体とする層で、焼土、ロームブロック、粘土を少量含む。しまり、粘性強く、非常に強い。
- 15 暗褐色土 白色粘土ブロックを部分的に多く含む。焼土、炭化物を少量含む。しまり強いが、粘性強い。
- 16 暗褐色土 白色粘土ブロックとロームブロックが均等に混入し、焼土、炭化物を少量含む。しまり強く、粘性や強い。
- 17 暗褐色土 15層に類似するが、粘性、しまり共に強くなる。
- 18 褐色土 ロームブロックとローム粒子を均等に含む。焼土、炭化物を少量含む。しまり強く、粘性も強い。
- 19 暗褐色土 炭化物を多く含む。焼土を少量含む。しまり強く、粘性も強い。

- 20 灰褐色土 白色粘土ブロックを多く含む。炭化物、焼土を少量含む。炭化物を多量に含む。ローム粒子、焼土を少量含む。しまり、粘性共に強い。
- 21 暗褐色土 ロームブロックを主体とし、炭化物、焼土を少量含む。しまり強く、粘性強い。
- 22 黄褐色土 炭化物を主体とする層で、焼土、ロームブロックを多く含む。
- 23 暗褐色土 粘質土で、ロームブロック、焼土、炭化物を多く含む。しまり強く、粘性も強い。
- 24 暗褐色土 ロームブロック、ローム粒子を多く含む。炭化物、焼土を僅かに含む。しまり、粘性強く、強い。

SZ2

- ① 暗褐色土 ローム粒子、焼土、炭化物を含む。小礫を混入し、しまり強い。
- ② 褐色土 焼土、炭化物を少量含む。小礫を混入し、しまり強く、粘性強い。
- ③ 褐色土 ②層に類似するが、礫の混入が多く、炭化物を多く含む。焼土、炭化物を②層よりも多く含む。小礫を混入し、しまり強く、粘性欠く。
- ④ 暗褐色土 ローム粒子を多く含む。焼土と炭化物を若干含む。しまり強く、粘性も強い。
- ⑤ 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。焼土、炭化物を僅かに含む。しまり強く、粘性も強い。
- ⑥ 暗褐色土 ⑤層に類似するが、ローム粒子の混入が少ない。
- ⑦ 暗褐色土 ローム粒子を極めて多く含む。他の混入物はほとんどなく、しまり強く、や強い。
- ⑧ 黄褐色土 ローム粒子を主体とする。⑤層土をブロック状に少量混入し、しまり強く、粘性強い。
- ⑨ 黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多く含む。しまり強く、粘性や強い。
- ⑩ 黄褐色土 ローム粒子を上体とする。⑤層土を少量混入し、粘性は強いが、しまりや強い。
- ⑪ 黄褐色土 ロームブロックを主体とし、炭化物を少量混入する。粘性強く、しまり強い。

かけている様子が窺える。第1・2号溝同様に断面が箱状を呈し、幅は0.57mを測り、全長10.15mを調査した。遺物は銅製品、鉄釘が出土した。

第4号溝 (第62図、第75図)

E-5区に位置する。北北西方向に存在する溝で、第5号溝と重複するが、新旧関係は不明である。第Ⅵ層下の調査段階で検出されており、中世段階に構築された可能性が高い。幅0.48m、全長5.70mを調査した。遺物は出土していない。

第5号溝 (第62～63図、第75図、第77図12～15)

E～F-5～7区にかけて位置する。第1号堀立建物跡、第4号堅穴状遺構、第45号土塊、第4・7・10号溝、第3号地下式塋等多くの遺構と重複するが、明確に新旧関係が把握されるのは第45号土塊より古いといえるだけである。E-5区では南北方向に、E-

6区東西方向に方向を変える。第Ⅵ層でバックされており、中世段階の所産と考えられる。断面の形状は台形状の箱型状を呈し、幅1.92mを測り、全長約24.00mを調査した。遺物は中国製磁器染付皿、鉄釘、板碑破片が出土した。

第6号溝 (第63図、第75図)

E-6～7区にかけて位置する。第4号堅穴状遺構等と重複するが、新旧関係は不明である。東西方向に存在する溝で、幅0.40mを測り、長さ5.60mを調査した。遺物は出土していない。

第7号溝 (第63図、第75図)

F-6区に位置する。第5号溝と重複するが、新旧関係は不明である。南北方向に存在する溝で、幅0.80mを測り、長さ1.34mを調査した。遺物は出土していない。

第75図 溝跡断面図

SD1



SD2



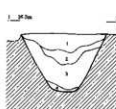
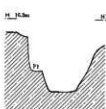
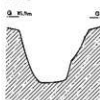
SD3



SD4



SD5



SD6



SD7



SD8



SD9



SD10



SD11・12



SD13



SD15・16



SD17



SD14



SD19



SD21



SD22



SD23



SD24



SD25



SD26



0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 180 190 200 210 220 230 240 250 260 270 280 290 300 310 320 330 340 350 360 370 380 390 400 410 420 430 440 450 460 470 480 490 500 510 520 530 540 550 560 570 580 590 600 610 620 630 640 650 660 670 680 690 700 710 720 730 740 750 760 770 780 790 800 810 820 830 840 850 860 870 880 890 900 910 920 930 940 950 960 970 980 990 1000

SD5

- 1 褐色土 ローム粒子を均等に多く含み、ロームブロックを部分的に含む。粘土、炭化物を少量含む。しまり強く、粘性強い。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を多く含み、粘土、炭化物を少量含む。しまり強く、粘性強い。
- 3 褐色土 ローム粒子及びロームブロックを多量に含み、粘土を固かに含む。しまり強く、脆い。
- 4 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多く含み、しまり、粘性共に強く、脆い。

SD9

- 1 暗褐色土 ローム粒了、小ブロックを多く含み、しまり強い。

SD10

- 1 暗褐色土 ローム粒子を多量に含み、しまり強い。

SD19

- 1 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土 ブラックバンドロームのブロックを含む。

第8号溝 (第63図、第75図)

F～E-7区にかけて位置する。第5号溝に沿う形で東西方向に平行して存在する。土器埋納遺構である第46号土壇、第7号溝等と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.32mを測り、長さ8.70mを調査した。遺物は出土していない。

第9号溝 (第63・64図、第66図、第75図)

D～E-7区にかけて位置する。北北西方向に存在し、第2・3・4号掘立柱建物跡、第2号地下式竈、第47・48・53・54号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。最下層に近い深い部分で検出された遺構で、出土遺物も中世段階のものである。幅1.04m前後を測り、長さ15.20mを調査した。遺物はかわらけが多く出土しており、各種のタイプを含んでいる。他に、播鉢、焙烙等の破片が出土している。

第10号溝 (第63図、第75図)

E～F-7区にかけて位置する。第50号土壇、第5号溝等と重複するが、新旧関係は不明である。第9号溝と平行するように西側に並列して存在するが、浅い部分に構築されているため、E-7区で断ち切れている。幅0.72m前後を測り、長さ5.40mを調査した。遺物は出土していない。

第11号溝 (第64図、第75図、第78図1)

D～E-7区にかけて位置する。南北方向に存在し、第49号土壇等と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.36mを測り、長さ4.30mを調査した。遺物は播鉢が出土している。

第12号溝 (第64図、第75図、第78図2～7)

E-7区に位置する。南北方向に存在し、第11号溝と平行して存在する。また、多数のグリッドビットと重複する。幅0.56m前後を測り、長さ4.36mを調査した。遺物はかわらけ、甕の底部、磁器茶碗、播鉢、鉄製品が出土している。

第13号溝 (第64図、第75図、第78図8)

D～E-7区にかけて位置する。南北方向に存在し、第11・12号溝と並列して存在する。第51号土壇等と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.40m前後を測り、長さ3.38mを調査した。遺物は鉄釘が出土している。

第14号溝 (第67・70図、第75図、第78図9、10)

C～E-9区にかけて位置する。一部調査区外を挟んで、南北方向に存在する。第2号櫓列等と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.72mを測り、長さ合計8.05mを調査した。遺物はかわらけの底部破片と、脚付火鉢の底部、寛永通寶が出土している。

第15号溝 (第65図、第75図、第78図15)

D～E-9区にかけて位置する。南北方向に存在し、第15号溝と重複するが、新旧関係は不明である。第14号溝とはほぼ同じ軸方向を採る。幅0.48mを測り、長さ4.24mを調査した。遺物は出土していない。

第16号溝 (第65図、第75図)

D～E-9区にかけて位置する。南北方向に存在し、布掘の溝状を呈する。グリッドビットとして処理したが、細かなビットを連続して持つ。第14号溝とはやや軸方向が異なり、本溝の方が南北方向に近い。幅0.32mを測り、長さ9.60mを調査した。遺物は出土していない。

第17号溝 (第65図、第75図、第78図14、15)

E-9区に位置する。南北方向に存在し、第16号溝に向って大きく弧を描くが、調査区際では第14・15号溝と並列方向に存在する。幅0.56mを測り、長さ8.30mを調査した。遺物は磁器紅猪口、茶碗のミニチュア鉢の底部破片が出土している。

第18号溝 (第65図)

E-9区に位置する。北西方向に弧を描きながら存

在し、第83・84号土城と重複するが、新旧関係は不明である。南側に攪乱を受けているため、全容は不明である。幅0.72mを測り、長さ2.10mを調査した。遺物は出土していない。

第19号溝（第68図、第75図）

A～B-10区にかけて位置する。第5号竪穴状遺構を回避するように、南北にS字状を描いて存在する。第9号掘立柱建物跡、グリッドビット等と重複するが新旧関係は不明である。幅0.50m前後を測り、長さ9.40mを調査した。遺物は出土していない。

第20号溝（第70図）

F-10区に位置する。第1号堀の南側の肩部分に沿うように重複する。本溝は東西方向に存在するが、第1号堀のコーナー部分から先が攪乱を受けていて、どの方向へ溝が向うかは不明である。しかし、第1号溝とは重複しているのみで、断面図の観察から付属施設ではないことは明らかである。幅0.92mを測り、長さ1.84mを調査した。遺物は出土していない。

第21号溝（第71図、第75図）

F-4区に位置する。南北方向に存在し、北側の調査区外へと続く。第22・23号溝と重複するが、新旧関係は不明である。また、第22・23号溝へと分岐している可能性もある。幅0.76mを測り、長さ3.12mを調査した。遺物は出土していない。

第22号溝（第71図、第75図）

F-3～4区にかけて位置する。北東方向に軸を採り、第21号溝と、南西側で第24号溝と重複するが、新旧関係は不明である。第24号溝とはほぼ同じ軸方向を採るため、本来は同一の溝の可能性もある。幅0.40m前後を測り、長さ1.92mを調査した。遺物は出土していない。

第23号溝（第71図、第75図）

F-3～4区にかけて位置する。東西方向に横たわる溝であるが、第24・25・26号溝と重複し、それらとの新旧関係は不明である。第21号溝から方向を変えた可能性もあるが、急に細くなるのも不自然である。第26号溝とは同じ軸方向を採るため、同一の溝の可能性が高い。幅0.24m前後を測り、長さ6.88mを調査した。遺物は出土していない。

第24号溝（第71図、第75図）

F-3区に位置する。北東方向に軸を採り、第22号溝とはやや軸方向が異なるが、同一の溝になる可能性もある。本溝は浅く、末端である南側は地山が傾斜するためグリッドビットP58の先で痕跡を留めなくなる。幅0.44m前後を測り、長さ4.20mを調査した。遺物は出土していない。

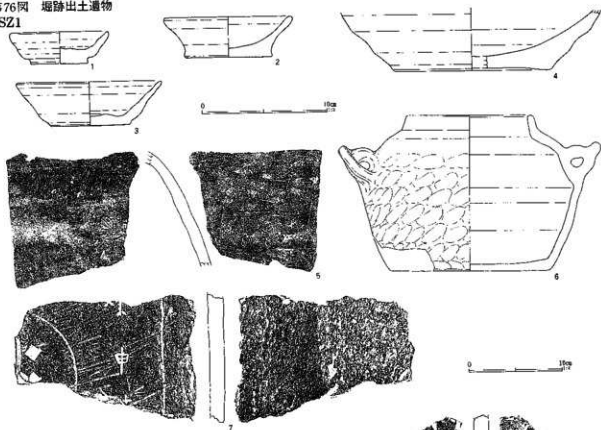
第25号溝（第71図、第75図）

F-3区に位置する。南北方向に存在し、第7号住居跡、第23号溝と重複するが、第7号住居跡より新しく、第23号溝との新旧関係は不明である。幅0.45m前後を測り、長さ2.48mを調査した。遺物は出土していない。

第26号溝（第71図、第75図）

F-3区に位置する。東西方向に存在し、第8号住居跡、第23・25号溝と重複するが、第8号溝より新しく、第23・25号溝との新旧関係は不明である。第23号溝とはほぼ同じ軸方向を採ることから、同一溝とも考えられるが、ローム面の傾斜に合わせて長い距離に亘って溝が存在することは、斜面の造成が進む前の比較的古い段階での溝である可能性を示している。幅0.25m前後を測り、長さ2.08mを調査した。遺物は出土していない。

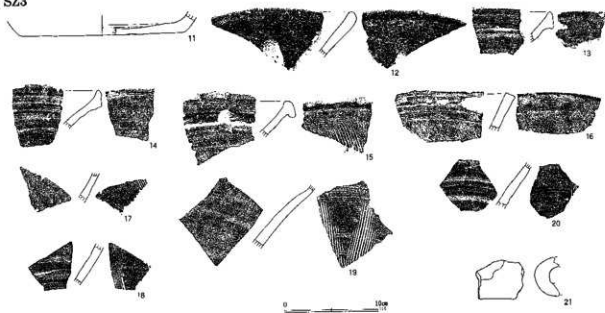
第76図 堀跡出土遺物
SZ1



SZ2

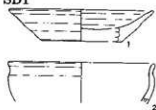


SZ3



第77回 漢跡出土遺物 (1)

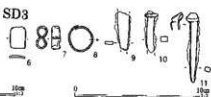
SD1



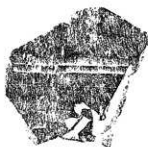
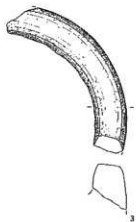
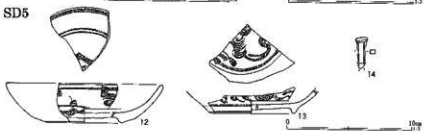
SD2



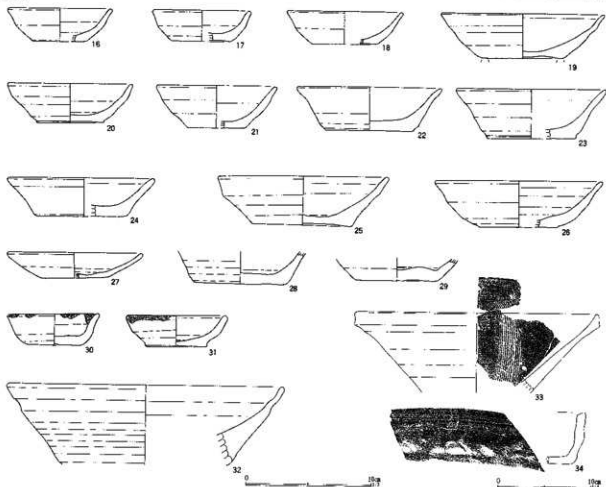
SD3



SD5

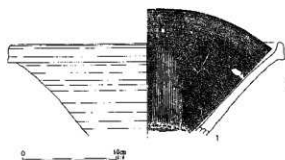


SD9

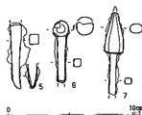
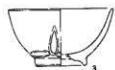
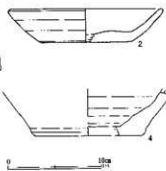


第78図 溝跡出土遺物(2)

SD11

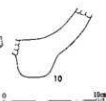


SD12



SD13

SD14



SD15

SD17



堀跡出土遺物観察表

法 量 (cm)												文 様		産 地	備 考
図版	番号	材 質	器 種	a	b	c	d	形状	外 面	内 面					
SZ1															
76	1	土 器	かわらけ	7.9	2.5	4.5					在地系	押印帯			
	2	土 器	かわらけ	(10.0)	3.2	7.0					在地系				
	3	土 器	かわらけ	(11.6)	3.5	6.4					在地系				
	4	土 器	かわらけ		(5.0)	(12.2)					在地系				
	5	土 器	甕								常 滑				
	6	土 器	釜	13.6	16.5	17.0	28.3				在地系				
	7	石	板 碑	残存長 13.6、幅 19.0、厚さ 1.6cm											
SZ2															
76	8	陶 器	灯 明 皿	(11.0)	2.0	(4.8)					瀬戸美濃	18c後 鉄軸			
	9	土 器	火 鉢		(5.7)						在地系	15c末～16c前			
	10	石	板 碑	残存長 12.1、幅 11.0、厚さ 1.6cm								「口」申口			
SZ3															
76	11	土 器	鉢		(2.3)	(18.0)					在地系	14c			
	12	土 器	鉢		(4.8)						在地系	14c～15c前			
	13	土 器	鉢		(3.2)						瀬戸美濃	15c後 鉄軸			
	14	土 器	鉢		(4.0)						瀬戸美濃	15c後			
	15	土 器	鉢		(3.8)						瀬戸美濃	16c前			
	16	土 器	鉢		(4.0)						常 滑	14c後～15c前			
	17	土 器	鉢								瀬戸美濃	15c後			
	18	土 器	鉢								瀬戸美濃	15c後			
	19	土 器	鉢								瀬戸美濃	16c前			
	20	土 器	鉢								瀬戸美濃	15c後			
	21	土 器	鉢								瀬戸美濃	15c後			
	推定径 4.2、残存厚 1.6、推定透風孔 1.6cm														

満路出土遺物観察表 (第77図～第78図)

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SD1												
77	1	土 器	かわらけ	(11.6)	25	(6.3)					在地系	瀬戸美濃 16c 鉄軸
	2	陶 器	中 碗	(11.8)	(3.2)			大 日 形				
	3	石	石 臼	残存長 18.7、高 4.9cm								
SD2												
77	4	土 器	かわらけ	10.9	3.6	6.0					在地系	
	5	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、現存長 2.4cm								
SD3												
	6	銅	不 明	幅 1.2、長さ 1.7、厚さ 0.2cm								
	7	銅	不 明	幅 0.7、長さ 1.8cm								
	8	銅	不 明	直径 2.0、断面径 0.1cm								
	9	鉄	不 明	幅 0.9、現存長 3.0cm								
	10	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 3.1cm								
	11	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、長さ 5.5cm								
SD5												
77	12	磁 器	小 皿	12.6	3.1	(6.0)		丸 形			景徳鎮	16c
	13	磁 器	小 皿		(2.0)	6.4		丸 形			王取獅子	16c
	14	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.9、現存長 2.4cm								
	15	石	板 碑	残存長 14.1、幅 15.2、厚さ 1.6cm								
SD9												
77	16	土 器	かわらけ	(8.0)	2.6	(4.4)					在地系	
	17	土 器	かわらけ	(7.6)	2.5	(4.6)					在地系	
	18	土 器	かわらけ	9.1	2.7	5.2					在地系	
	19	土 器	かわらけ	12.9	3.6	6.6					在地系	
	20	土 器	かわらけ	9.8	3.2	5.3					在地系	
	21	土 器	かわらけ	(9.5)	3.4	4.5					在地系	
	22	土 器	かわらけ	(11.4)	3.5	7.0					在地系	
	23	土 器	かわらけ	(11.8)	3.9	(7.0)					在地系	
	24	土 器	かわらけ	(11.6)	3.1	(7.5)					在地系	
	25	土 器	かわらけ	13.4	4.0	7.9					在地系	
	26	土 器	かわらけ	(13.2)	3.7	(6.4)					在地系	
	27	土 器	かわらけ	10.6	2.2	5.4					在地系	
	28	土 器	かわらけ	(2.6)	7.5						在地系	
	29	土 器	かわらけ	(1.8)	6.9						在地系	
	30	土 器	灯 明 皿	7.2	2.6	4.3					在地系	
	31	土 器	灯 明 皿	7.8	2.5	5.0					在地系	
	32	土 器	かわらけ	(21.9)	(6.5)						在地系	
	33	土 器	播 鉢	(25.5)	(8.5)						瀬戸美濃	15c後
	34	土 器	焙 焙	5.5							在地系	
SD11												
78	1	土 器	播 鉢	(29.0)	(9.8)						瀬戸美濃	16c前 鉄軸
SD12												
78	2	土 器	かわらけ	(12.3)	2.6	(7.2)					在地系	
	3	磁 器	小 碗	(8.4)	4.5	(4.0)		丸 形				19c後 クロム青磁
	4	土 器	麦 鉢	(5.0)	(11.5)							
	5	鉄	釘	長さ 5.2cm								
	6	鉄	不 明	端部幅 1.3、現存長 1.3cm								
	7	鉄	鉄 線	線身幅 1.5、長さ 6.6、厚さ 0.8cm								
SD13												
78	8	鉄	頭 巻 釘	長さ 2.9cm								

国版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SD14												
	78	9	土 器	かわらけ		(2.0)	(6.2)				在地系	古 1636~1657年
		10	土 器	火 鉢		(7.3)					在地系	
		11	古 銭	寛永通寶	銭径 24.4、内径 20.4、銭厚 1.40mm、量目 3.29g							
SD15												
	78	12	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 2.5cm							
		13	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、現存長 2.4cm							
SD17												
	78	14	磁 器	紅 猪 口	5.0	(1.5)	(1.2)	菊 花 形				19c初
		15	土 器	ミニチュア?		(2.5)	(3.6)				在地系	

(13) 瓦敷遺構

瓦敷遺構 (第79～88号)

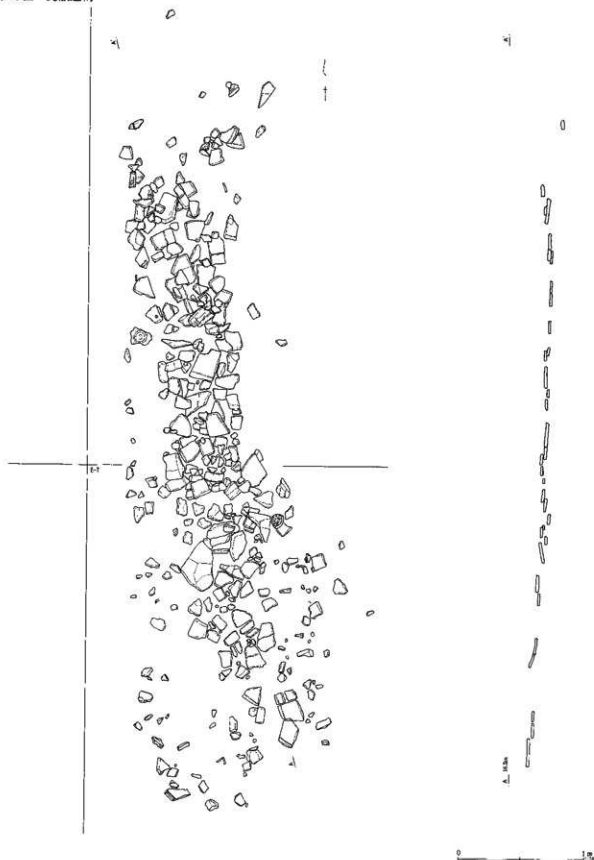
D～E-7区にかけて位置する。明確ではないが、第Ⅲ層より下層に構築されていたが、第Ⅳ層との関係は微妙で、前後する段階に構築されたものと思われる。約1.2mから1.5mの幅で、約6.0mに亘って瓦が敷かれていた。明らかに、平坦面を形成することを目的として南北方向に瓦が敷かれており、幅も一定の間隔を持っていた。瓦は平瓦を中心とするが、丸瓦、軒平、軒丸等も混じる。しかし、平瓦が圧倒的に多く、ほぼ完形に復元されるものも多数あり、道状に平瓦を中心とした瓦類を塙のように敷いたものと判断された。従って、通常の庭楽遺構とは性格の異なるものとして、瓦敷遺構として認識した。

この瓦敷遺構が単独で存在したのか、何かの施設と共に存在していたかは不明である。瓦敷遺構の延長上北側には、ちょうど第3号井戸が存在する。第3号井戸の出土遺物が中世末から近世初頭と推定されることから、若干年代的なずれも存在するが、井戸が継続的に使用されていたことを仮定すると、この井戸と瓦敷遺構との有機的な関係が想定される。

また、瓦敷の範囲内には第2・3号掘立柱建物跡が存在するが、重複関係からこれらに伴うものではないことも判断される。

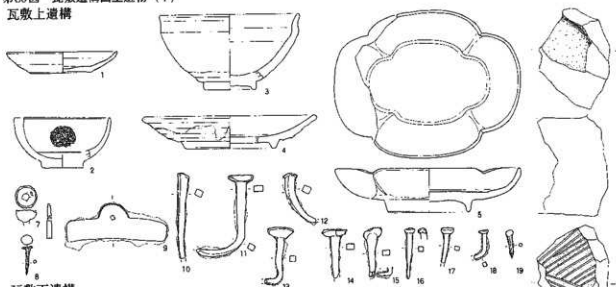
遺物は瓦敷面の直上から出土しているものと、瓦敷面及びその下部から出土しているものとに分けられた。しかし、下部出土遺物の中には道構、時期の異なるものが含まれている可能性がある。直上からは、かわらけ、磁器染付茶碗、陶器天目茶碗、陶器皿、石臼の破片、キセル、青銅釘、鉄釘等の鉄製品が出土している。また、遺構面及びその直下からは、かわらけ、磁器染付茶碗、陶器天目茶碗、焙烙、石臼、石製円盤、青銅釘、刀子、鉄釘等の鉄製品、軒丸瓦、丸瓦、軒平瓦、平瓦、鮎瓦、道具瓦、繋斗瓦等の各種の瓦類が出土している。上下で取り上げた遺物群はおおよそ17世紀の前半から、18世紀の前葉段階を含んでおり、陶器と磁器の間に時期的なばらつきがある。従って遺構の構築時期は、混じり等考慮して新しい磁器を代表とする18世紀の初頭前後を推定して置きたい。また、これ等の出土遺物の組み合わせは、位置的にも近い関係があるのか、第3号庭楽遺構と良く類似している。

第79図 瓦敷遺構

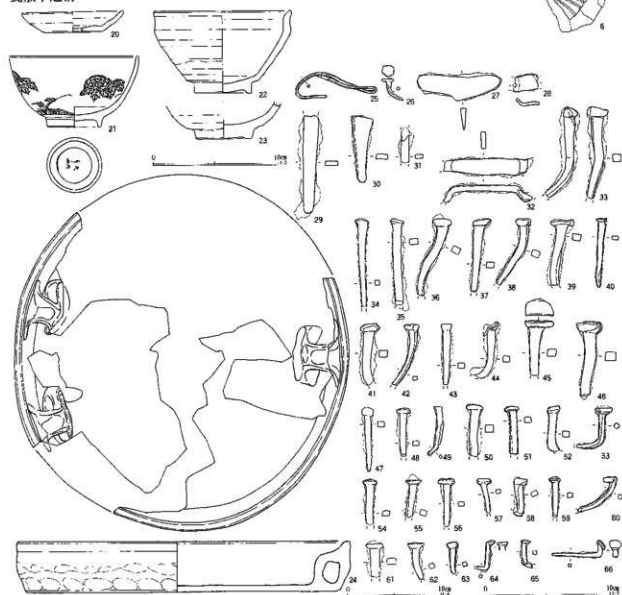


第80図 瓦敷遺構出土遺物(1)

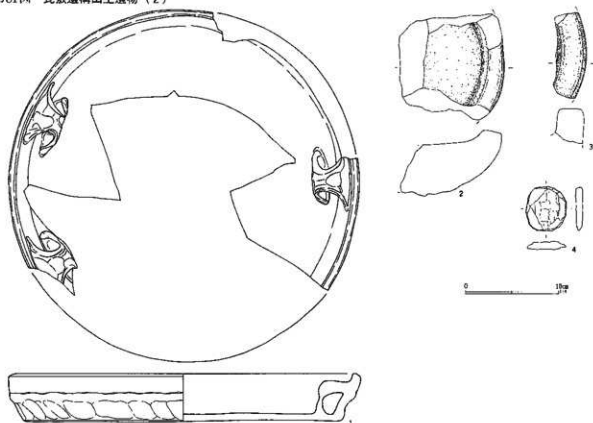
瓦敷上遺構



瓦敷下遺構



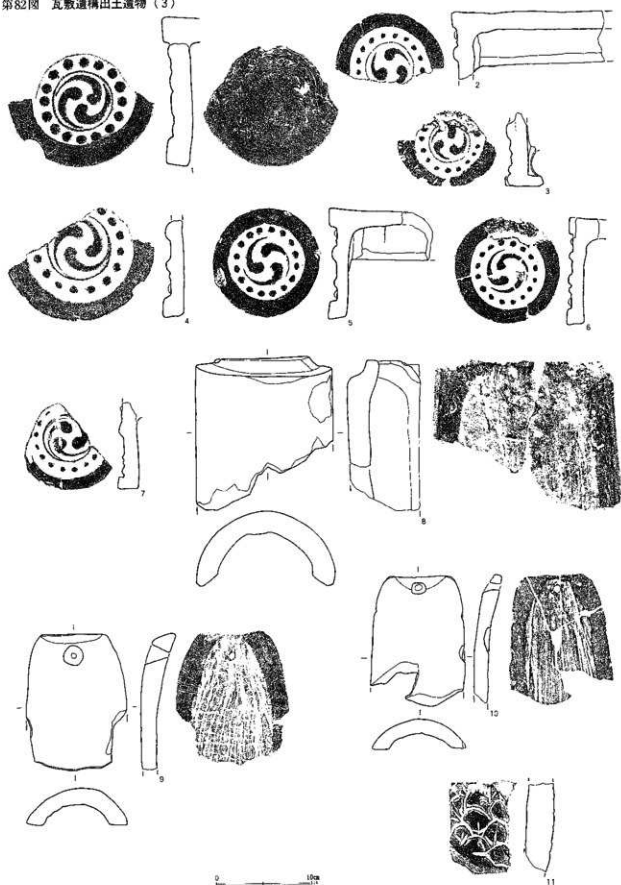
第81図 瓦敷遺構出土遺物 (2)



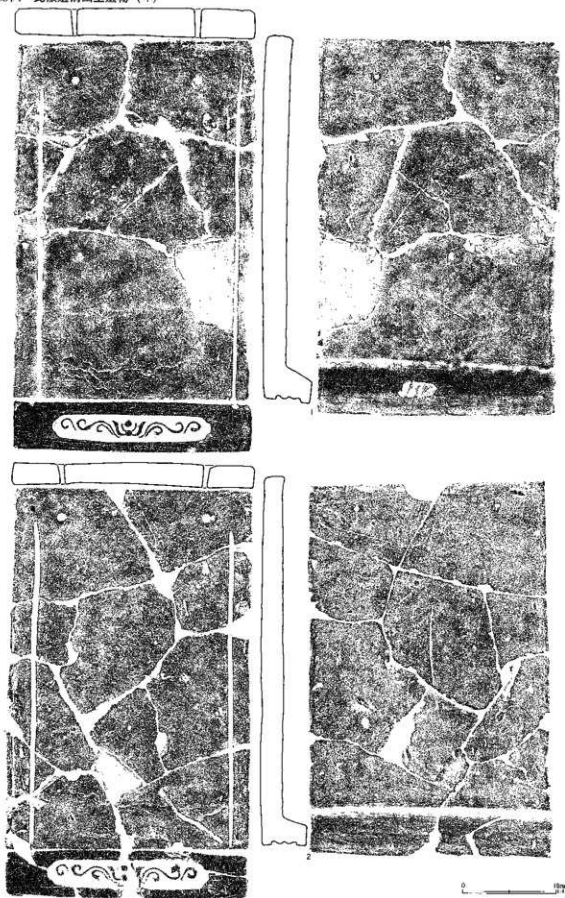
瓦敷遺構出土遺物観察表 (第80図～第81図)

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産地	備 考
				a	b	c	d		外面	内面		
瓦敷上遺構												
80	1	土器	かわらけ	8.8	1.7	4.8					在地系	
	2	磁器	小 碗	(7.7)	(4.0)			丸 形	丸 文		肥前系	18c前
	3	陶器	中 碗	(11.2)	(6.0)	(4.0)		天 日 形			瀬戸系	17c後 鉄軸
	4	陶器	皿	(13.6)	2.6	(7.2)		平 形			肥前系	17c後 御深井軸
	5	陶器	皿	14.7	3.5	6.5		木 瓜 形			肥前系	17c後 御深井軸
	6	石	石 臼	残存長 10.7、高 10.7 cm								
	7	銅	煙管摩音	火皿径 1.7 cm								
	8	銅	釘	頭幅 0.9、長さ 2.2 cm								
	9	鉄	火 打 金	長さ 8.1、幅 3.1 cm								
	10	鉄	角 釘	現存長 6.7 cm								
	11	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.1、現存長 6.3 cm								
	12	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 4.5 cm								
	13	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.0、現存長 4.1 cm								
	14	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.0、現存長 3.8 cm								
	15	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.5、現存長 3.9 cm								
	16	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、長さ 4.1 cm								
	17	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 2.8 cm								
	18	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、現存長 2.4 cm								
	19	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.6、長さ 2.2 cm								
瓦敷下遺構												
80	20	土 器	かわらけ	8.0	1.6	(4.5)					在地系	
	21	磁 器	中 碗	10.2	5.6	4.2		丸 形	草花文		肥前系	「太明年製」
	22	陶 器	中 碗	(11.0)	6.5	4.6		天 日 形			瀬戸系	17c前 鉄軸

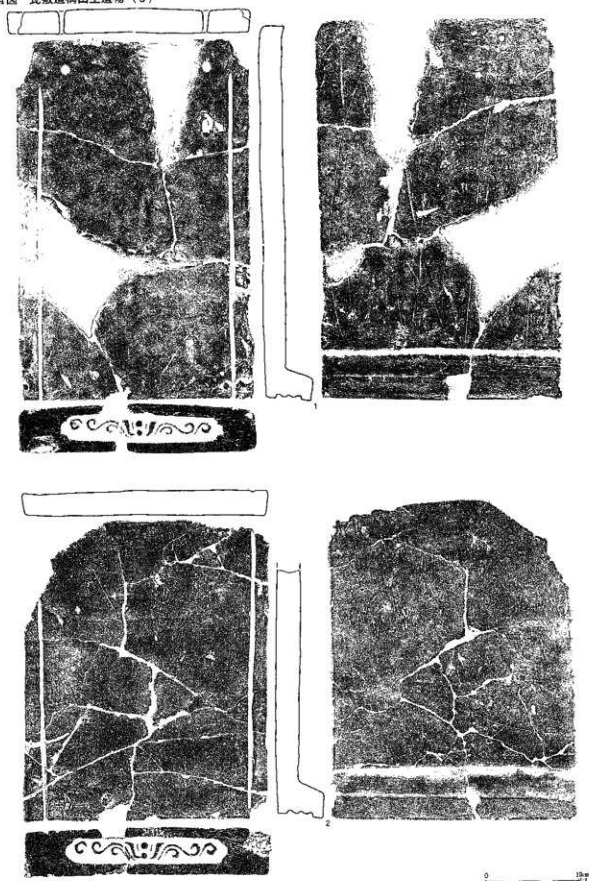
第82図 瓦敷遺構出土遺物(3)



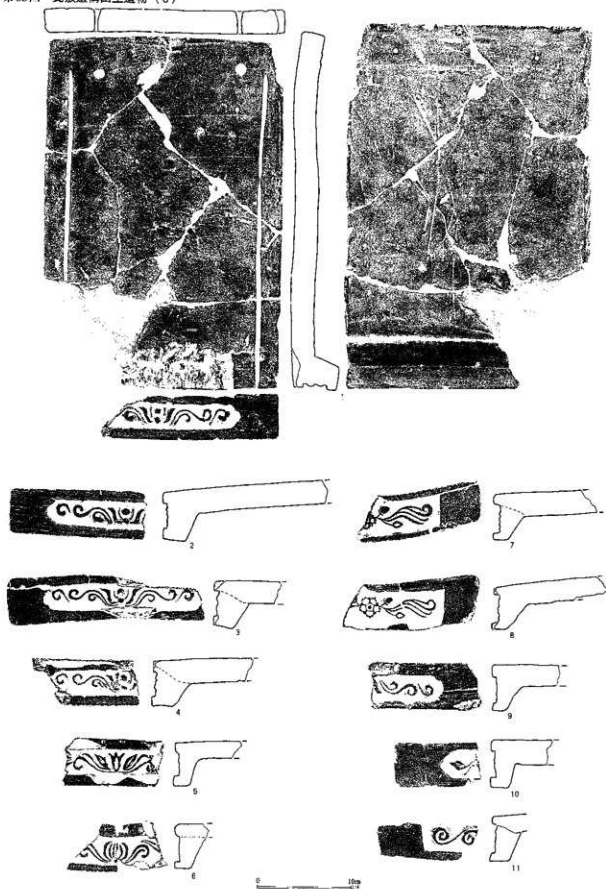
第83图 瓦敷遺構出土遺物 (4)



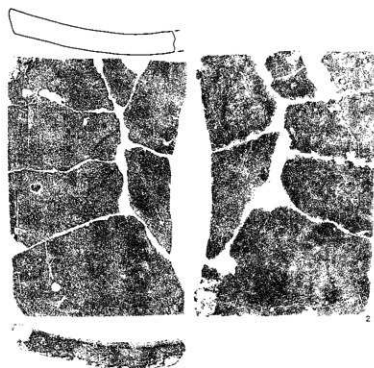
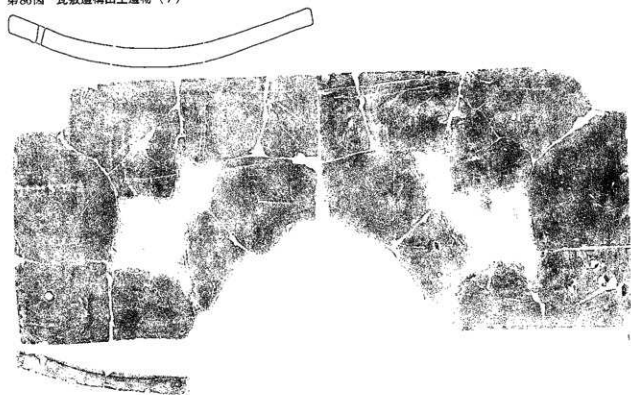
第84図 瓦敷遺構出土遺物 (5)



第85圖 瓦紋遺構出土遺物 (6)

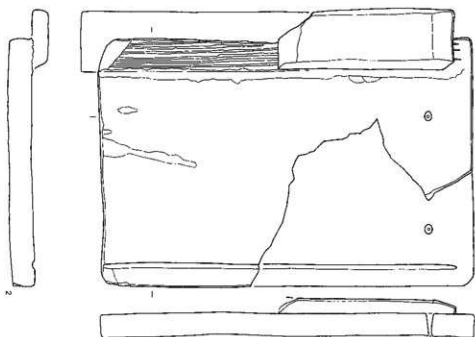
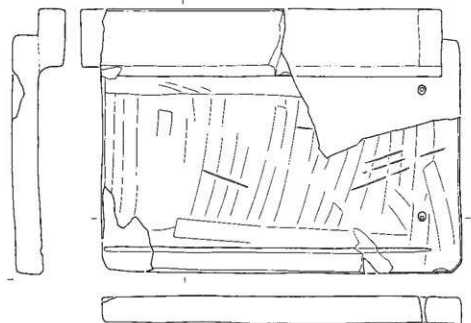


第86図 瓦敷遺構出土遺物（7）



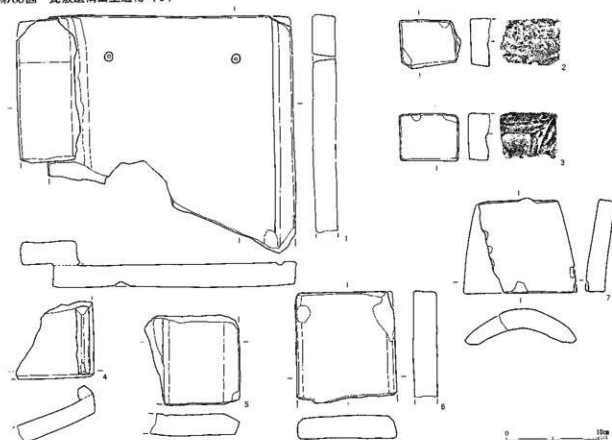
0 10cm

第87図 瓦敷遺構出土遺物（8）



0 10cm

第88図 瓦敷遺構出土遺物(9)



図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
80	23	陶	器	中	碗			天目形			瀬戸美濃 在地系	17c前 鉄軸
	24	土	器	楕	烙	35.6	5.4	33.4				
	25	銅	銅	線	径0.2、長さ6.6cm							
	26	銅	釘		頭幅1.0、長さ1.7cm							
	27	鉄	刀	物	全長6.7、刀幅2.2、背幅0.4cm							
	28	鉄	不	明	幅1.3、現存長2.1cm							
	29	鉄	不	明	幅1.2、現存長7.7cm							
	30	鉄	不	明	幅1.7、長さ5.3cm							
	31	鉄	不	明	幅0.9、現存長2.9cm							
	32	鉄	錠		幅1.3、現存長7.2、厚さ0.4cm							
	33	鉄	頭	卷釘	頭幅1.7、現存長7.3cm							
	34	鉄	頭	卷釘	現存長6.9cm							
	35	鉄	頭	卷釘	頭幅1.1、現存長6.8cm							
	36	鉄	頭	卷釘	頭幅1.4、現存長6.5cm							
	37	鉄	頭	卷釘	頭幅1.4、現存長5.8cm							
	38	鉄	頭	卷釘	頭幅1.2、現存長5.8cm							
	39	鉄	頭	卷釘	頭幅1.9、現存長5.4cm							
	40	鉄	頭	卷釘	頭幅0.9、長さ5.5cm							
	41	鉄	頭	卷釘	頭幅1.0、現存長4.8cm							
	42	鉄	頭	卷釘	頭幅1.2、現存長5.0cm							
	43	鉄	頭	卷釘	頭幅0.9、現存長2.6cm							
	44	鉄	頭	卷釘	頭幅1.6、現存長4.5cm							
	45	鉄	頭	卷釘	頭幅2.3、現存長4.3cm							

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
80	46	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.0、長さ 5.9cm								
	47	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、長さ 5.0cm								
	48	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 3.8cm								
	49	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、長さ 4.0cm								
	50	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 4.1cm								
	51	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 3.9cm								
	52	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 3.4cm								
	53	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.4、現存長 3.3cm								
	54	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 3.6cm								
	55	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 3.4cm								
	56	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 3.8cm								
	57	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 2.8cm								
	58	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 3.0cm								
	59	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 3.2cm								
	60	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 3.9cm								
	61	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.4、現存長 2.6cm								
	62	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 3.0cm								
	63	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.9、現存長 2.6cm								
	64	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、現存長 2.2cm								
	65	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、現存長 2.2cm								
	66	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、長さ 4.2cm								
81	1	瓦	質	36.3	5.1	34.0					在地系	
	2	石	白	残存長 9.1、高 3.7cm								
	3	石	白	残存長 11.3、高 5.0cm								
	4	石	石製円盤	長径 4.7、短径 4.4、厚さ 0.9cm								

瓦敷遺構出土瓦観察表

図版	番号	種類	瓦当径	瓦当厚	全長	全幅	高さ	厚み	胎 土	色 調	備 考
82	1	軒 瓦	(15.9)	2.6	-	-	-	-	砂 質	暗 灰	通珠三巴右巻16珠/副縁明/本文太さい
	2	軒 瓦	11.2	-	-	11.0	5.6	1.9	精 良	暗 灰	通珠三巴左巻16珠/副縁明/キラコ付着
	3	隅軒丸瓦	(10.7)	(4.1)	-	-	-	-	やや砂質	暗 灰	通珠三巴右巻16珠/副縁明/暗
	4	軒 瓦	(16.0)	2.2	-	-	-	-	砂 質	暗 灰	通珠三巴右巻16珠/副縁明/暗れ砂付着
	5	軒 瓦	11.8	1.9	-	-	5.2	1.7	精 良	黒 灰	通珠三巴左巻16珠/離れ砂付着
	6	軒 瓦	(11.3)	1.9	-	-	-	2.1	やや砂質	黒灰(腐状)	通珠三巴左巻16珠/離れ砂付着
	7	軒 瓦	-	2.2	-	-	-	-	精 良	銀 灰	通珠三巴右巻/副縁明/遺しによる黒化
	8	丸 瓦	-	-	-	14.8	7.8	2.2	やや砂質	模 灰 ~ 灰	玉縁長15cm/被熱による変色
	9	丸 瓦	-	-	-	10.8	-	1.7	やや砂質	灰	玉縁なし/釘孔
	10	丸 瓦	-	-	-	10.1	-	1.5	やや砂質	暗 灰	玉縁なし/釘孔
83	11	鉢 瓦	-	-	-	-	-	2.9	やや砂質	暗 灰	副縁無表現/内面指などで
	12	塀 瓦	-	4.9	39.2	26.1	-	2.4	やや砂質	灰 白	瓦逆水切り溝/無縁割り込み/釘孔2ヶ所
84	1	塀 瓦	-	5.1	39.9	(26.0)	-	2.5	やや砂質	黄 灰	瓦逆水切り溝/無縁割り込み/釘孔2ヶ所
	2	塀 瓦	-	5.0	-	26.5	-	2.6	やや砂質	模 灰	瓦逆水切り溝/無縁割り込み/被熱痕
85	1	塀 瓦	-	(5.0)	38.0	(25.8)	-	2.6	やや砂質	灰 ~ 黒 灰	瓦逆水切り溝/無縁割り込み/釘孔2ヶ所
	2	塀 瓦	-	5.3	-	-	-	2.5	やや砂質	模 灰	瓦逆水切り溝/無縁割り込み
	3	塀 瓦	-	5.1	-	-	-	2.4	やや砂質	黄 灰	瓦逆水切り溝
	4	塀 瓦	-	4.9	-	-	-	2.5	やや砂質	灰	瓦逆水切り溝/無縁割り込み/瓦割
	5	塀 瓦	-	4.6	-	-	-	1.8	精 良	暗 灰	瓦逆水切り溝/無縁割り込み/キラコ付着
	6	軒 平 瓦	-	4.8	-	-	-	1.5	やや砂質	灰	江戸式/1号地ド式坑と接合
	7	軒 平 瓦	-	4.9	-	-	-	2.5	やや砂質	灰	離れ砂付着
	8	軒 平 瓦	-	4.5	-	-	-	2.3	やや砂質	模 灰	離れ砂付着
	9	塀 瓦	-	4.9	-	-	-	2.3	やや砂質	灰 白	泡盛天地逆/瓦逆水切り溝
	10	塀 瓦	-	5.1	-	-	-	2.6	やや砂質	黒 灰	瓦逆水切り溝

図版番号	種類	瓦当径	瓦当厚	全長	全幅	高さ	厚み	粘土	色調	備考
86	11 軒平瓦	-	(4.8)	-	-	-	-	やや砂質	橙灰(線状)	接合部刻み目
	1 平瓦	-	-	28.0	32.7	-	1.9	やや砂質	暗灰	谷深さ2.9cm/釘孔
	2 平瓦	-	-	28.9	-	-	2.3	砂質	黄灰	谷深さ3.9cm/釘孔2ヵ所
87	1 榑瓦	-	-	38.5	28.0	5.6	2.9	精良	暗灰	右側縁水切り溝/釘孔2ヵ所
	2 榑瓦	-	-	40.0	(29.1)	4.0	2.4	精良	暗灰	右側縁水切り溝/釘孔2ヵ所
88	1 榑瓦	-	-	-	29.1	5.0	2.4	精良	暗灰	右側縁水切り溝/釘孔2ヵ所
	2 榑瓦	-	-	-	-	-	1.8	やや砂質	暗灰	瓦当部/裏面逆L字割縁後/割目H
	3 榑瓦	-	-	-	-	-	2.1	砂質	暗灰	瓦当部/裏面逆L字割縁後/割目H
	4 谷平瓦	-	-	-	-	-	1.9	精良	暗灰	垂れを接合/凸面H状圧痕
	5 道具瓦	-	-	-	-	-	2.2	やや砂質	灰	水切り溝
	6 熨斗瓦	-	-	-	10.7	-	2.6	やや砂質	灰	鉄釘付着
	7 輪造瓦	-	-	9.7	(12.1)	3.7	2.0	精良	灰	台形平面/円面市袋痕刺し履い

(14) 廃棄遺構

今回の調査区内からは、明瞭に遺構と判定されない比較的広い範囲から集中的に遺物が出土する場所が何箇所か存在した。調査の結果、明らかに掘り盛めて遺物を一括投棄しているものもあるが、ある程度の窪地に遺物を一括投棄するものも存在した。これ等に種々雑多な遺物が含まれていることから、ゴミ穴的な性格を想定し、廃棄遺構と認識した。合計5箇所の廃棄遺構を検出した。

第1号廃棄遺構(第89図、第91～93図)

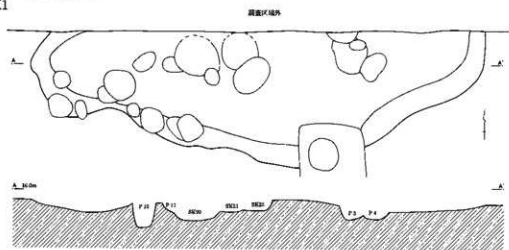
E～F～5～6区にかけて位置する。北側約半分が調査区外に当たり、各種のグリッドビットや第5号溝等と重複するが、最も新しい遺構である。土層断面では明確には捉えられなかったが、第Ⅲ層下、及第Ⅳ層と相前後して構築されたものと判断された。調査区の第Ⅲ層を剥がした時点で、多量の遺物が出現した。明確なプラン及び掘り込みは確認されなかったが、不整形の広い範囲の落ち込み内に、多量の遺物が詰まっていた。遺構底面の、ローム面への掘り込みは浅いが、範囲は長径7.25m、短径2.15mで、確認面からの最も深いところの深さは0.68mを測る。遺物はかわらけ、泥面子、磁製鉢口猪口、磁器蓋、陶器皿、播鉢、硯、砥石、石臼、青銅釘、キセル、刀子、鉄製鍵、鉄釘、軒丸瓦、丸瓦、軒平瓦、熨斗瓦、道具瓦等が出土している。出土遺物は第91図4のかわらけと、14の播鉢が中世段階で、他は近世のものである。6のかわらけの底部には

穿孔が見られ、底部外面には放射状の沈線が施される。また、最も新しいと思われる遺物は8の紅猪口で、19世紀初頭の可能性が高い。この紅猪口が混じりであるとするれば、この廃棄遺構は17世紀後半から18世紀初頭にかけての所産と思われるが、遺構の構築面との関係を考慮すると、19世紀初頭まで下る可能性もなくなる。

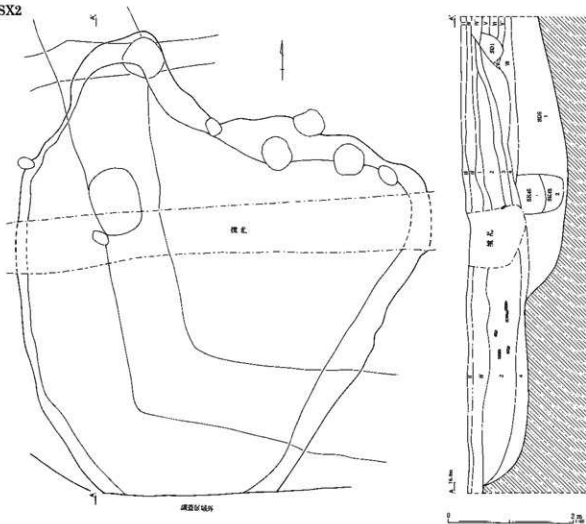
第2号廃棄遺構(第89図、第94～107図)

E～F～5～6区にかけて位置する。広い範囲に亘って比較的深く掘り込まれた窪地に、大量の遺物が投棄されていた。一部調査区外にあると思われるが、大半を調査できたものと思われる。北東部分で第3号廃棄遺構と重複するが、新旧関係は掴めず、一連の遺構の可能性が高い。プランは不整の楕円形を呈し、長径7.30m、短径6.50m、深さは約0.90mを測る。第5号溝、第45号土壕等と重複するが、本遺構の方が新しい。本遺構は調査確認時では、第Ⅳ層にバックされた状態で検出された。覆土は4層に分層できたが、いずれも焼土や灰層の互層を成し、埋め戻し状を呈していた。遺物はかわらけ、猪口から茶碗を含めた各種の磁器碗類、皿類、德利、蓋、仏飯具、陶器茶碗類、皿類、鉢類、壺類、香炉、青磁鉢、青磁香炉、播鉢、各種焙烙、甕類、焼塩壺、火鉢類、火消室と蓋、碁石、砥石、板碑片、西行法師の土人形、土人形、刀子、キセル、青銅製吊金具、青銅釘、宋銭、寛永通寶、鉄火箸、鉄鍵、鉄錠、鉄釘、軒丸瓦、丸瓦、軒平瓦、平瓦、道具瓦、

第89図 廃棄遺構 (1)
SX1



SX2



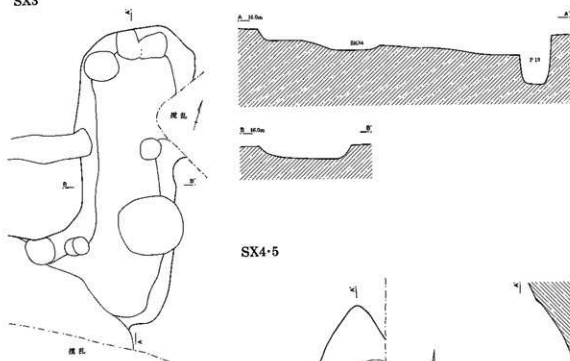
SX2

- 1 褐色土 ロームブロックを多く含み、炭化物を散かに含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを殆ど含まず、炭土・炭化物を少量含む。線を掘出し、遺物を多く含む。
- 3 褐色土 ロームブロックを少量含み、炭土・炭化物を少量含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロックを少量含み、部分的に炭化物を多く含む。

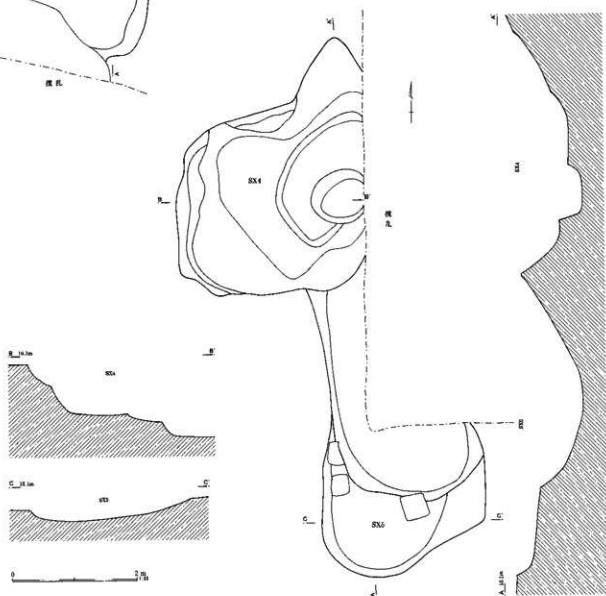
SX45

- 1 褐色土 ロームブロックを多く含み、しまり強い。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を散かに含み、砂片を含み、しまり強い。
- SD1
- 1 褐色土 ローム粒、炭化物、炭土を少量含む。
- SD5
- 1 褐色土 ロームブロックを多く含み、炭化物を部分的に多く含む。

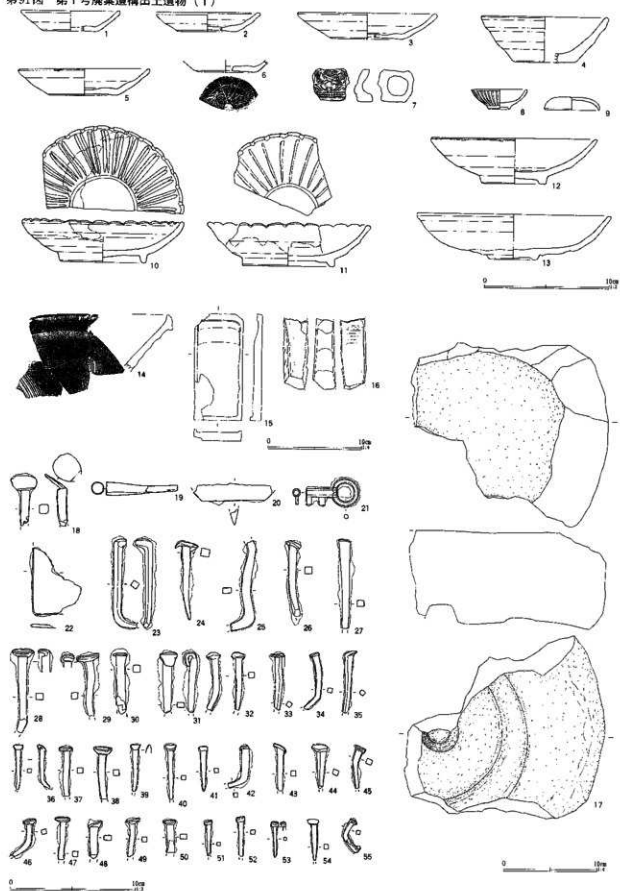
第90図 廃棄遺構(2)
SX3

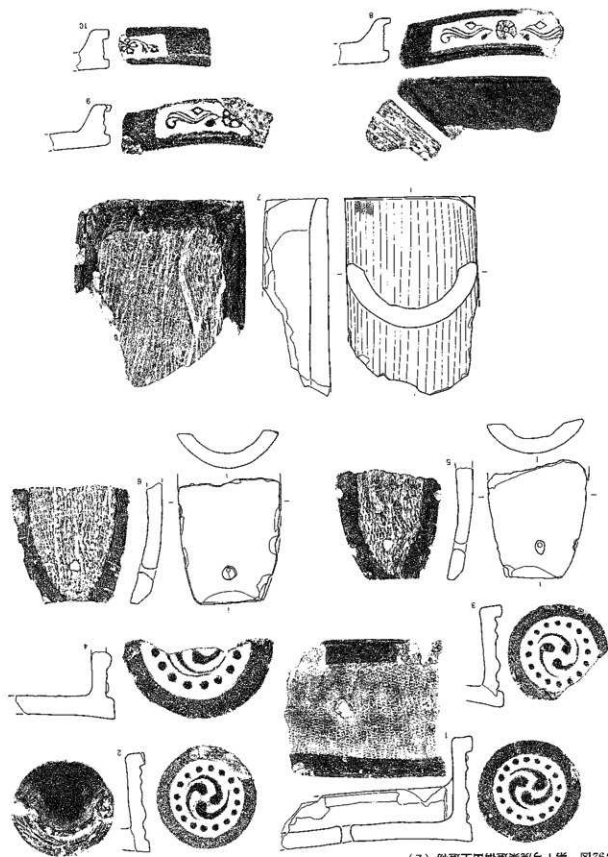


SX4-5



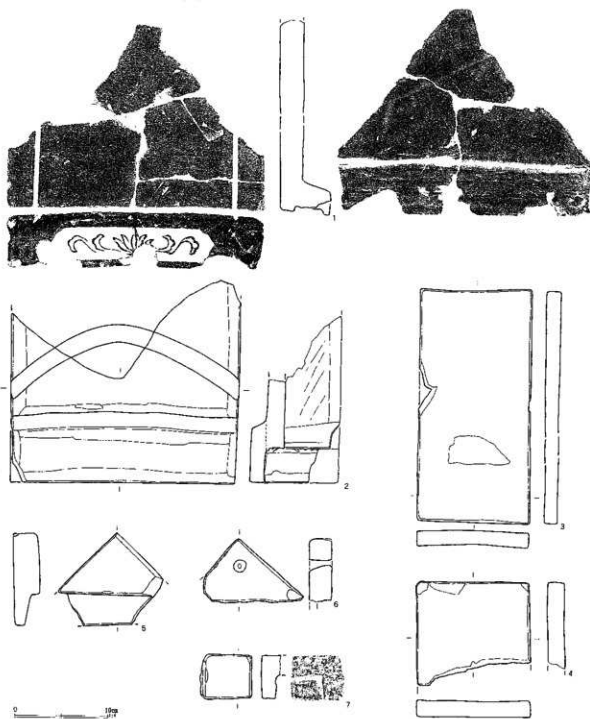
第91図 第1号廃棄遺構出土遺物 (1)





第92图 第1号炭素遺構出土遺物(2)

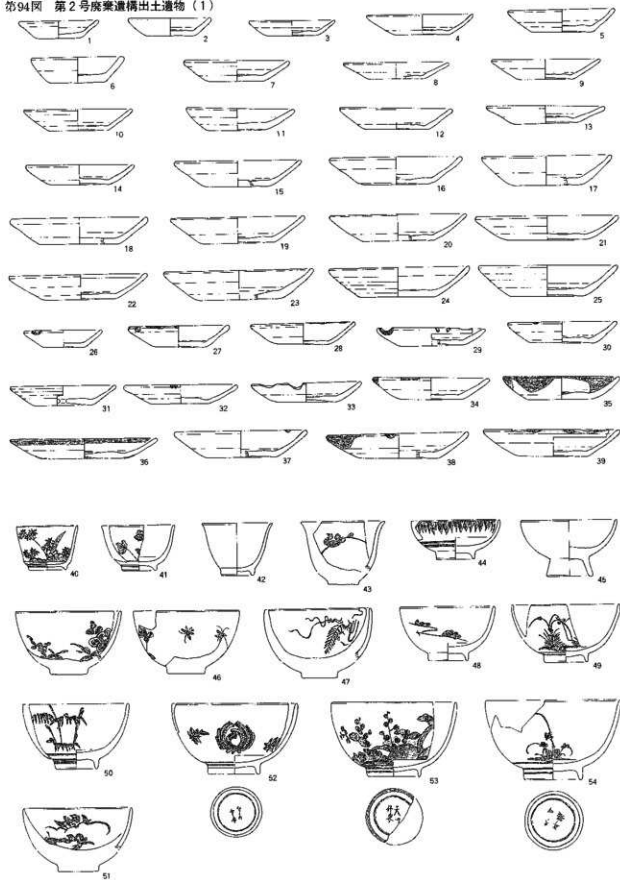
第93図 第1号廃棄遺構出土遺物（3）



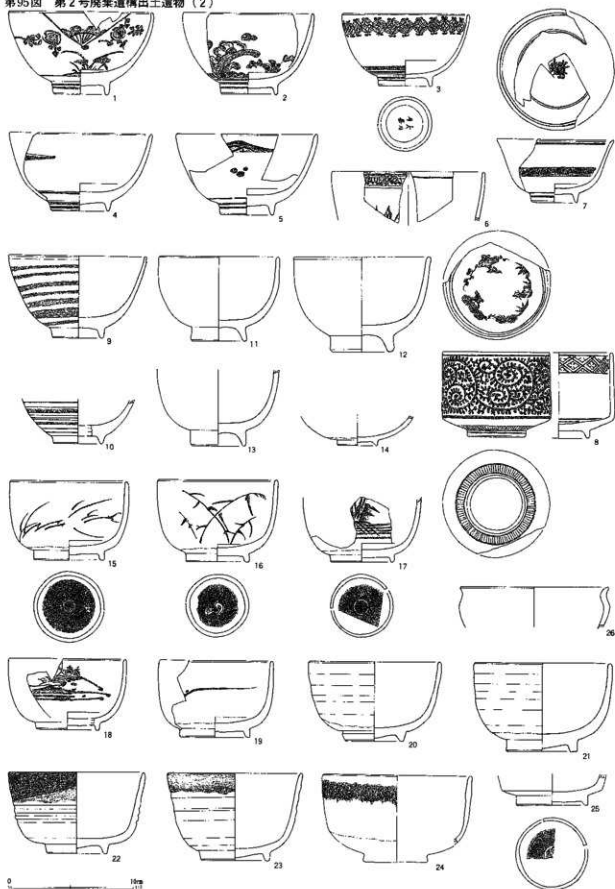
鯉瓦等種々雑多な遺物が多量に出土している。特に、瓦類は大量に出土しており、図化したものはほんの一部である。特に注目されるのは、灯明皿として使用されているかわらけが多いこと、第94図46、47、第97図9の様な比較的古い段階の赤絵が、良好に遺存してい

ること、第96図5の中国景德鎮産の磁器皿が出土していること等である。遺物は中世段階の混じりのものも存在するが、17世紀前半から18世紀前葉にかけてのものが存在する。従って、遺構の構築時期もほぼ18世紀の前葉に前後する時期と推定される。

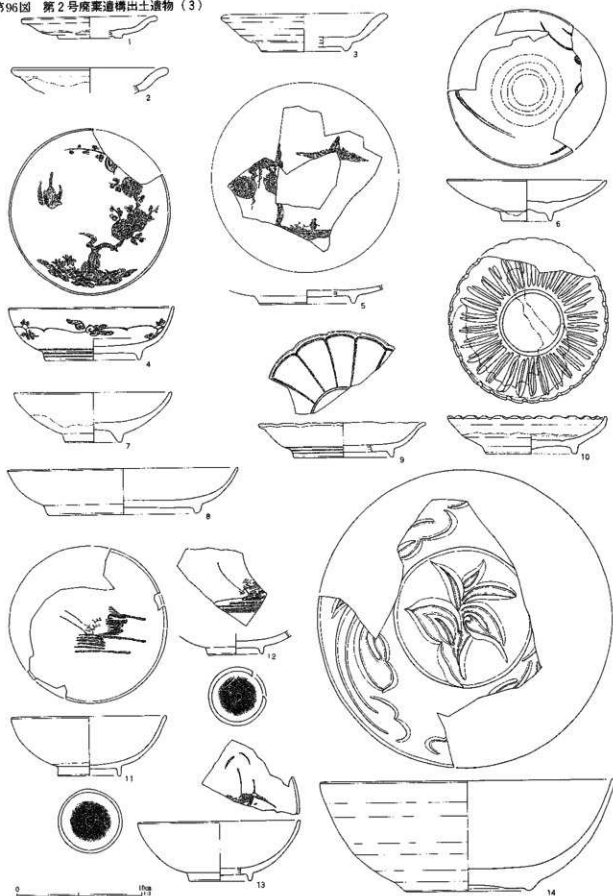
第94図 第2号廃棄遺構出土物(1)



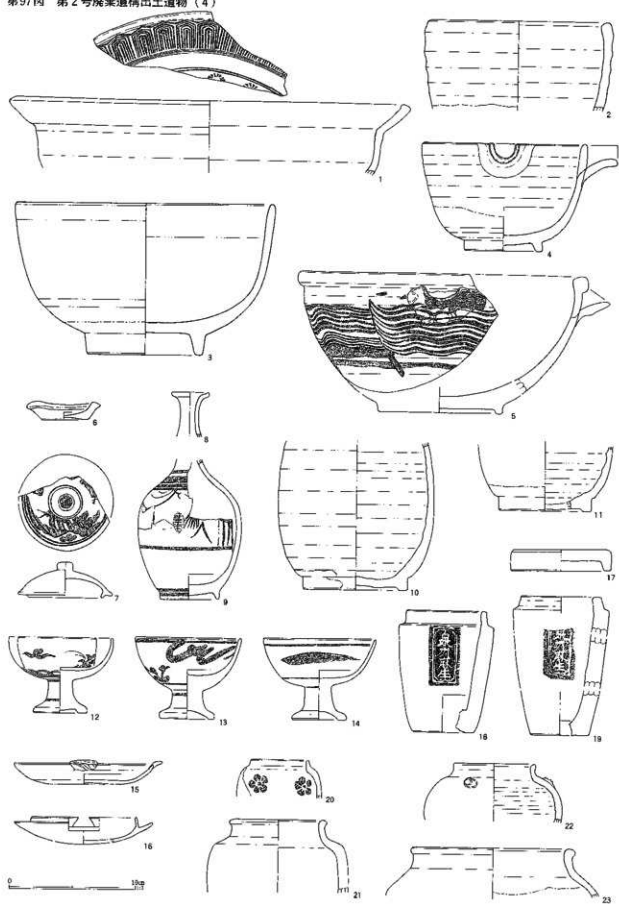
第95図 第2号廃棄遺構出土遺物(2)



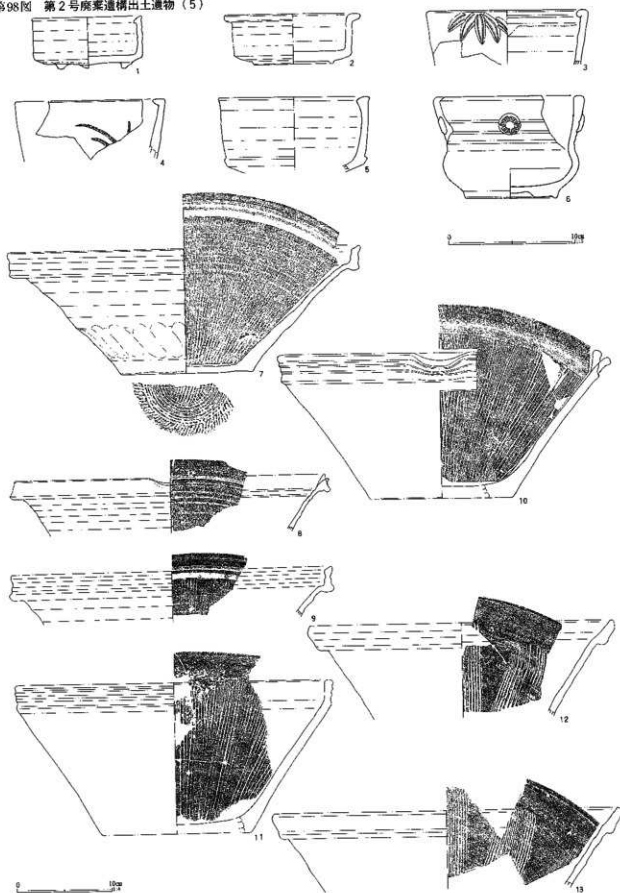
第96図 第2号廃棄遺構出土遺物 (3)



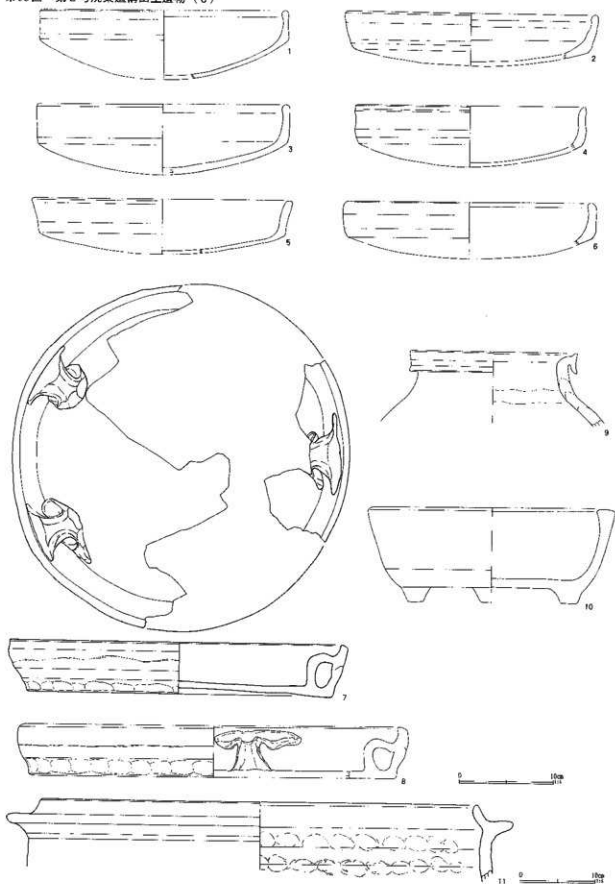
第97図 第2号廃棄遺構出土遺物(4)



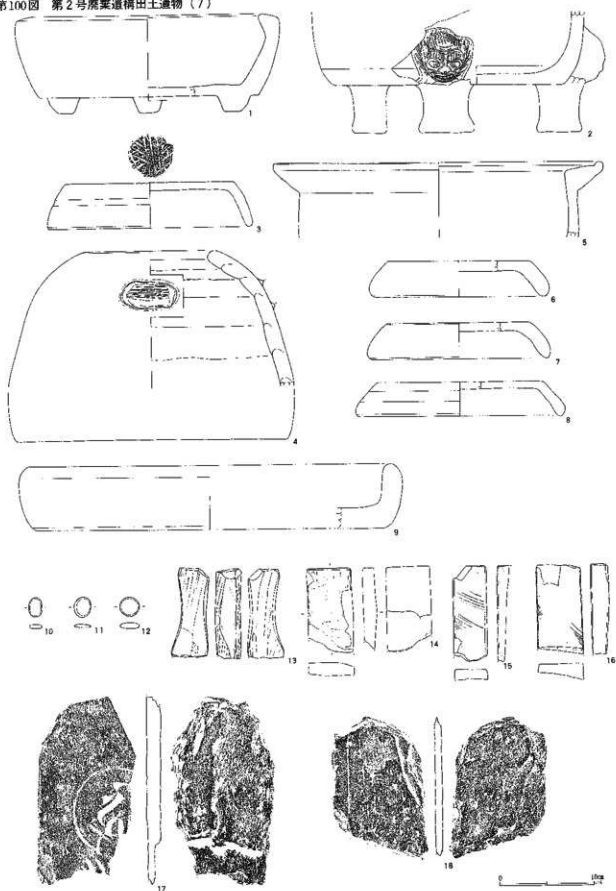
第98図 第2号廃棄遺構出土遺物 (5)



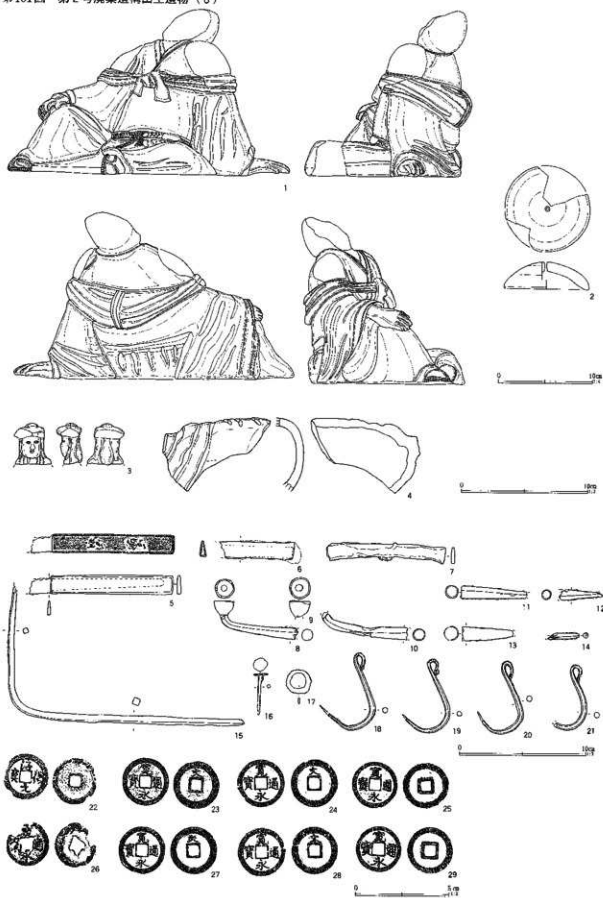
第99图 第2号底变遗物出土文物(6)



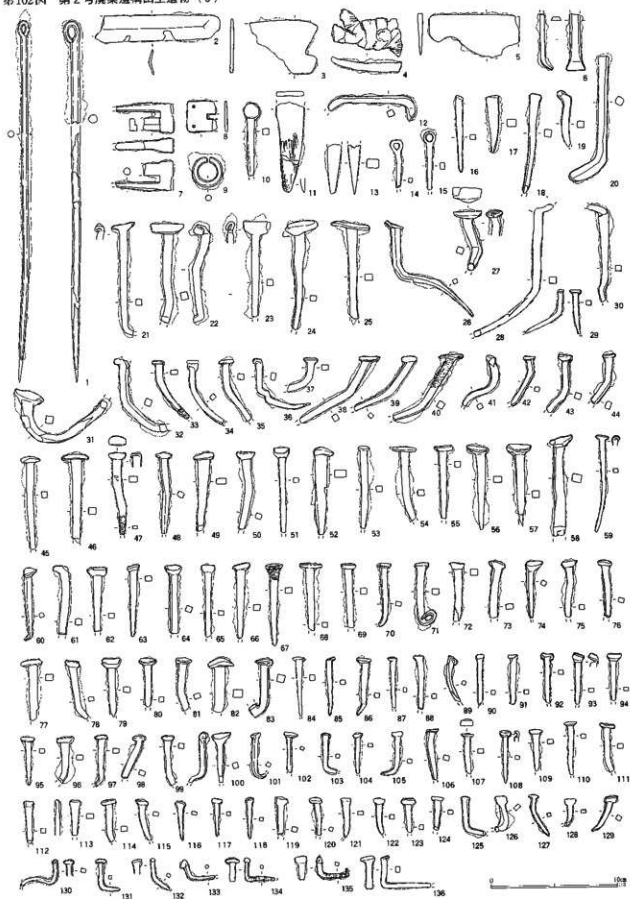
第100図 第2号廃棄遺構出土遺物(7)



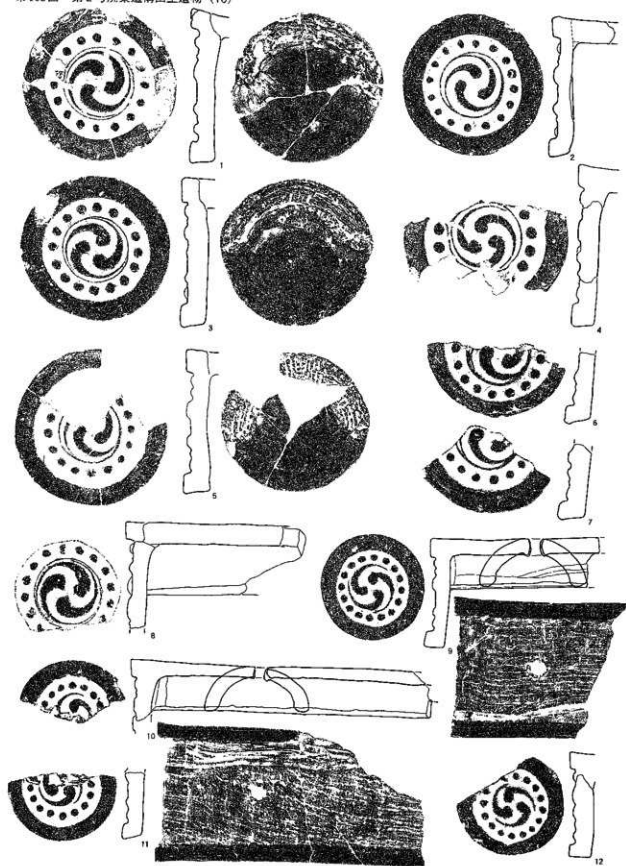
第101图 第2号灰聚遗址出土文物(8)



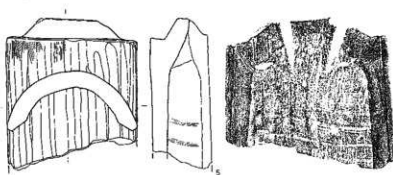
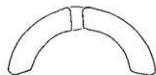
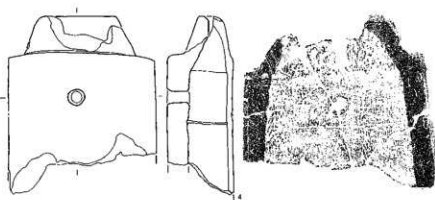
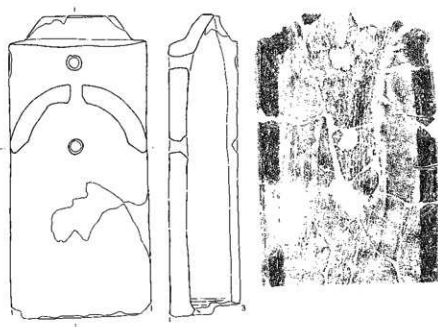
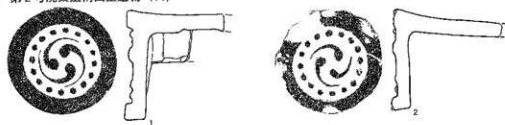
第102図 第2号廃棄遺構出土遺物(9)



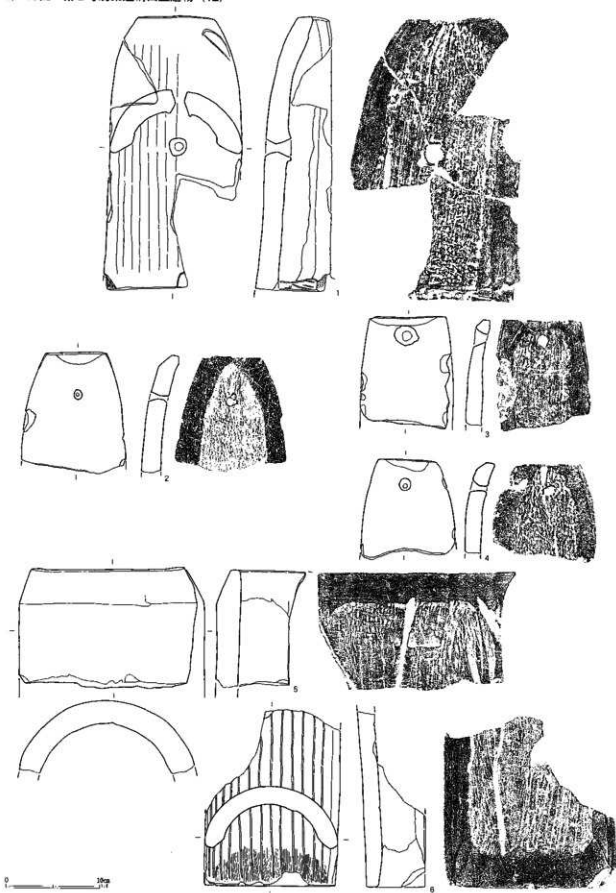
第103図 第2号廃棄遺構出土遺物 (10)



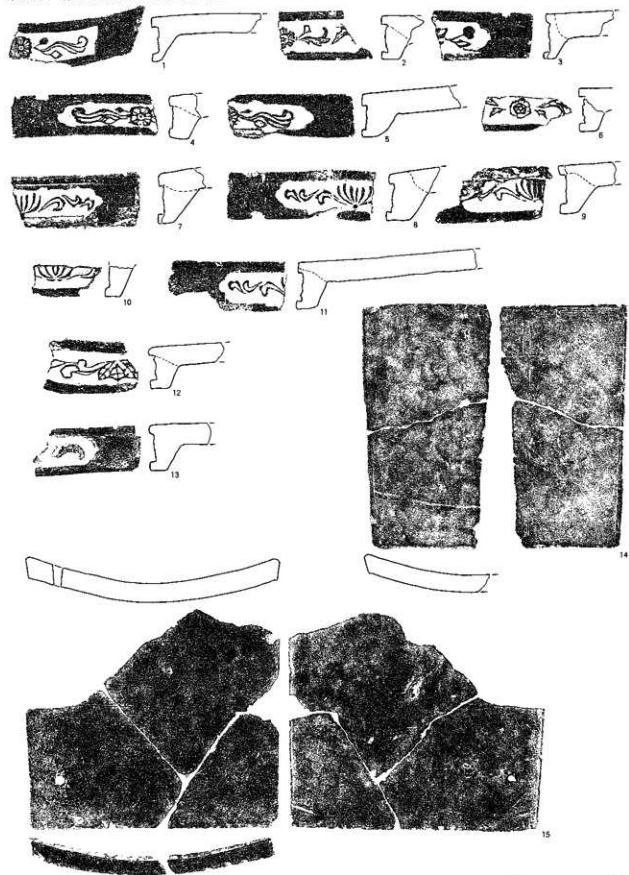
第104図 第2号虎聚遺構出土遺物(11)



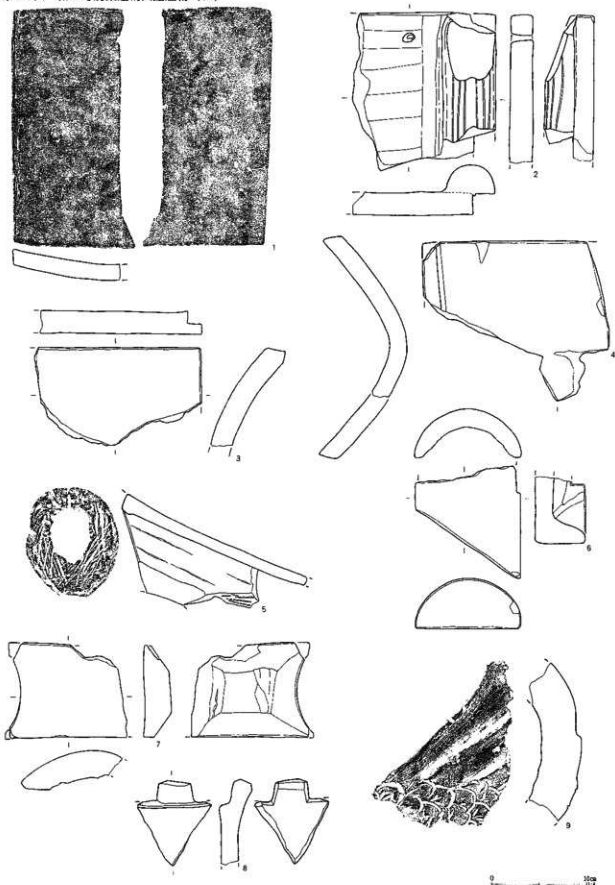
第105图 第2号房寨遺構出土遺物 (12)



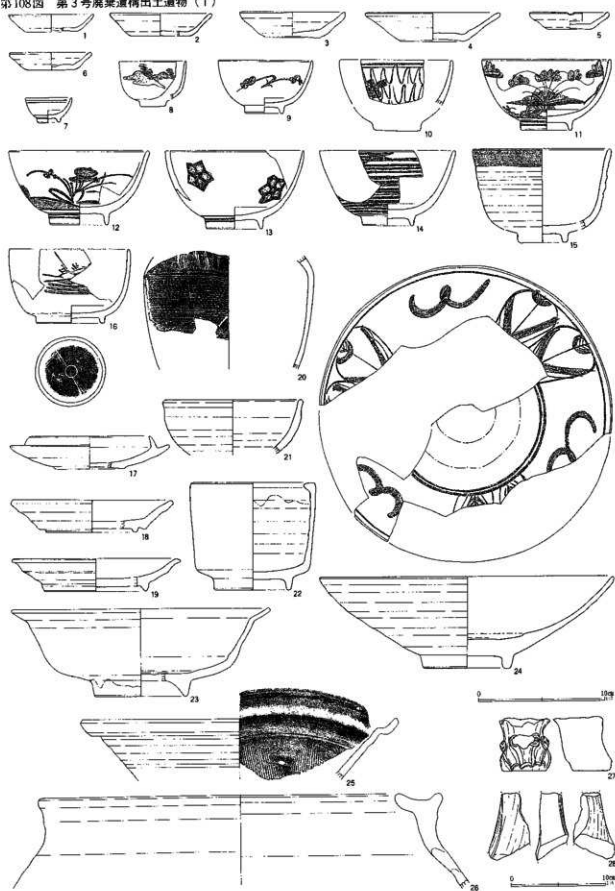
第106図 第2号廃棄遺構出土遺物 (13)



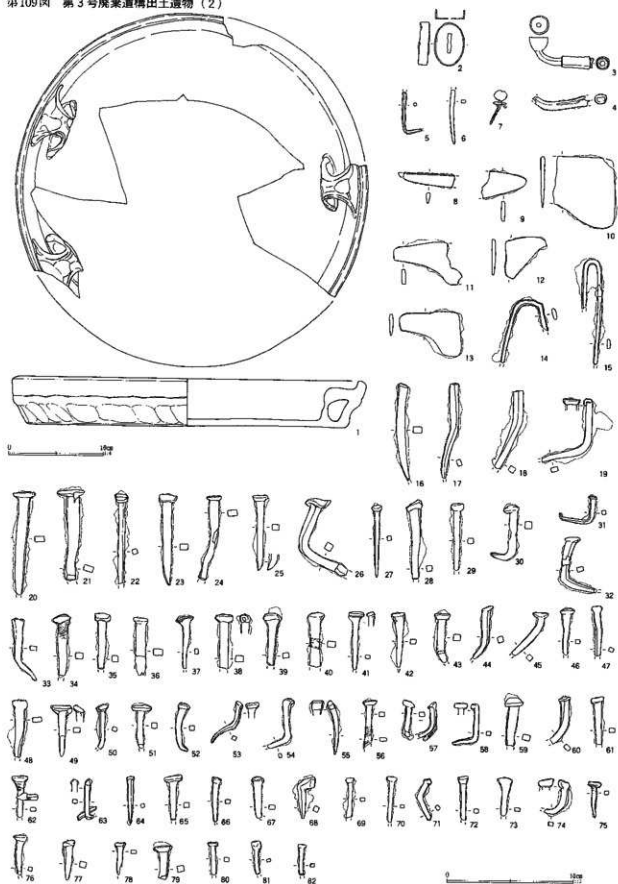
第107图 第2号灰寨遺構出土遺物 (14)



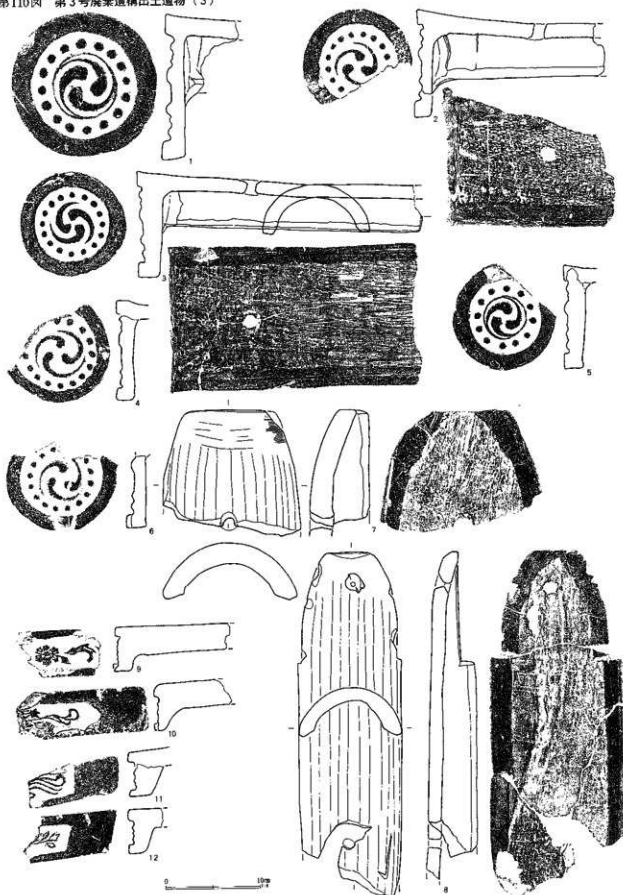
第108図 第3号亮妻遺構出土遺物(1)



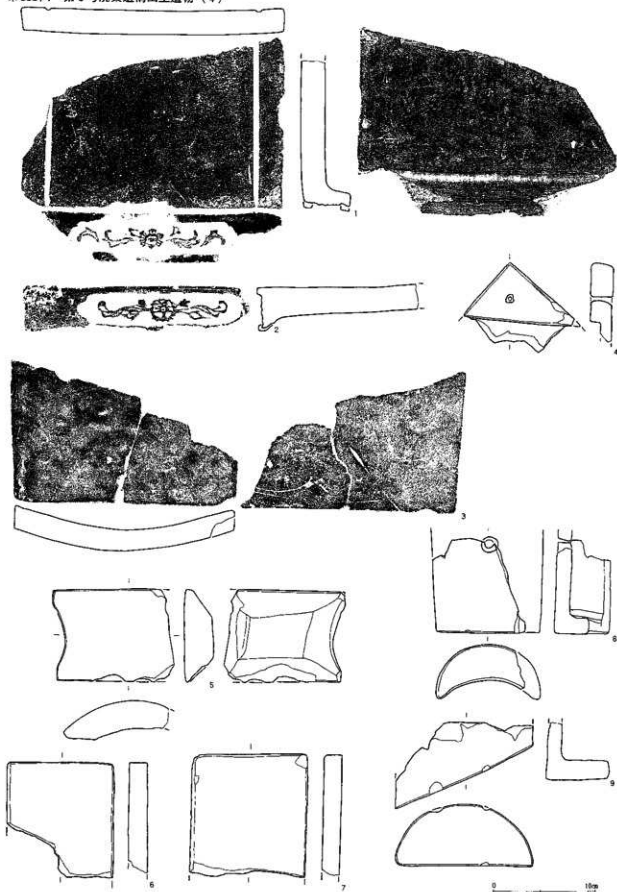
第109图 第3号废冢遺構出土遺物(2)



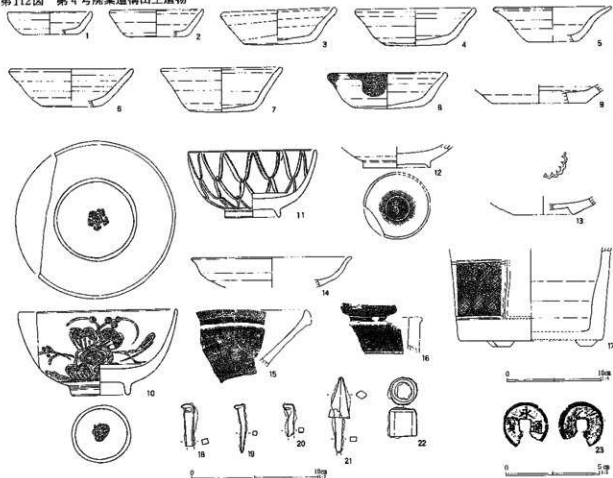
第110図 第3号廃棄遺構出土遺物 (3)



第111图 第3号灰寨遗址出土文物(4)



第112図 第4号廃棄遺構出土遺物



第3号廃棄遺構（第90図、第108～111図）

E-6区に位置し、第2号廃棄遺構と南側で重複する。新旧関係というよりも、一連の遺構の可能性が高い。長径4.70m、短径1.80m、深さ0.70mを測る。遺物も第2号廃棄遺構とはほぼ同様なものが出土している。

第4号廃棄遺構（第90図、第112図）

D-10区に位置し、第1号堀と重複するが、本遺構の方が新しい。本遺構は第1号堀を東西にまたがる形で構築されており、その形状も変形している。覆土には焼土と灰層などが互層を成して堆積しており、一時期の埋土であることを物語っていた。遺物はかわらけ、磁器茶碗、陶器皿、播鉢、焔炉、鉄釘、鉄鏝、朱鉄等であった。第4号廃棄遺構から出土したかわらけは、器高が高く、外反気味の器形で、やや厚身の成形であ

り、いわゆる近世のかわらけと異なる。第1号堀と重複していることから、遺物が混入している可能性もある。これ等が中世段階であるとすれば、第112図13、15、16と伴う可能性が高い。従って、本廃棄遺構は近世段階の18世紀後半段階の所産と思われる。

第5号廃棄遺構（第90図）

D-10区に位置する。第1号堀と重複し、第4号廃棄遺構と隣接する。長径2.58m、短径1.35m、深さ0.37mを測る。覆土は第4号廃棄遺構と同様に、焼土と灰層で充填されていたが、図示し得るような遺物は出土していない。第4号廃棄遺構と隣接すること、覆土の状態が類似することから、遺構の構築時期を18世紀の後半段階と推定した。

廃棄遺構出土遺物観察表 (第91図～第112図)

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SX1												
91	1	土 器	かわらけ	(7.8)	1.6	(4.2)					在地系	
	2	土 器	かわらけ	(8.3)	1.5	4.7					在地系	
	3	土 器	かわらけ	11.0	2.1	5.7					在地系	
	4	土 器	かわらけ	(10.2)	3.6	(4.8)					在地系	
	5	土 器	かわらけ	10.4	2.1	5.4					在地系	
	6	土 器	かわらけ		(1.0)	(4.8)					在地系	底部穿孔・ヘラ書き
	7	土 器	泥 面 子	(3.0)	(2.6)	(1.6)					在地系	
	8	磁 器	缸 猪 口	4.4	1.6	1.8		菊 花 形				19c初
	9	磁 器	合 子・蓋	4.4	1.0				沙 織 形		肥前系	
	10	陶 器	小 皿	(12.6)	3.3	7.0		菊 花 形	しのぎなし	緑釉流し	瀬戸系	17c後
	11	陶 器	小 皿	(13.0)	3.5	(7.4)		菊 花 形	しのぎなし	緑釉流し	瀬戸系	17c後
	12	陶 器	小 皿	(13.2)	3.6	(5.1)		丸 形			肥前系	17c後 見込蛇の目輪割ぎ
	13	陶 器	五 寸 皿	15.5	3.6	4.0		丸 形 底 狭			志戸系	17c初
	14	土 器	描 鉢		(6.0)							瀬戸系
15	石	砥 石	砥 石	長さ11.3、幅5.1、厚さ1.2cm								
16	石	砥 石	砥 石	長さ7.5、幅2.7、厚さ2.4cm								
17	石	石 臼	石 臼	残存長19.5、高10.2、孔2.6cm								
18	銅	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅2.1、現存長4.0cm								
19	鉄	煙管吸口	煙管吸口	径1.0、長さ5.7cm								
20	鉄	小 明	小 明	幅1.4、現存長6.3cm								
21	鉄	鑊	鑊	長さ4.2、幅2.2cm								
22	鉄	不 明	不 明	幅3.9、現存長5.3cm								
23	鉄	折 釘	折 釘	長さ7.0cm								
24	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.9、長さ6.3cm								
25	鉄	謎	謎	現存長7.2cm								
26	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.2、現存長6.0cm								
27	鉄	切 釘	切 釘	現存長7.0cm								
28	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.8、現存長6.7cm								
29	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.8、現存長4.9cm								
30	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.2、現存長4.8cm								
31	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.3、現存長4.8cm								
32	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.2、現存長4.7cm								
33	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.2、現存長4.7cm								
34	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅0.8、現存長4.5cm								
35	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.2、現存長4.9cm								
36	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅0.8、現存長13.5cm								
37	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.1、現存長3.9cm								
38	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.5、現存長4.2cm								
39	鉄	切 釘	切 釘	頭幅0.8、現存長3.7cm								
40	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅0.9、現存長4.3cm								
41	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅0.7、長さ3.6cm								
42	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅0.8、現存長3.5cm								
43	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.2、現存長3.7cm								
44	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.3、現存長3.4cm								
45	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅0.9、現存長3.4cm								
46	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.0、現存長3.1cm								
47	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.2、現存長3.4cm								
48	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.3、現存長3.0cm								
49	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.0、現存長3.0cm								
50	鉄	頭 巻 釘	頭 巻 釘	頭幅1.2、現存長2.8cm								

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
91	51	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、現存長 2.9cm								
	52	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm								
	53	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.6、長さ 2.8cm								
	54	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.9、現存長 3.2cm								
	55	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、現存長 2.6cm								
SX2												
94	1	土 器	かわらけ	(6.3)	1.4	(3.6)					在地系	
	2	土 器	かわらけ	(6.4)	1.4	(3.8)					在地系	
	3	土 器	かわらけ	(6.8)	1.2	(4.0)					在地系	
	4	土 器	かわらけ	8.4	1.6	4.3					在地系	
	5	土 器	かわらけ	8.3	1.9	4.9					在地系	
	6	土 器	かわらけ	(7.2)	2.1	4.4					在地系	
	7	土 器	かわらけ	8.2	1.7	4.4					在地系	
	8	土 器	かわらけ	(8.3)	1.3	(4.6)					在地系	
	9	土 器	かわらけ	(8.6)	1.6	(4.4)					在地系	
	10	土 器	かわらけ	(8.5)	1.7	(4.8)					在地系	
	11	土 器	かわらけ	8.5	1.9	5.0					在地系	
	12	土 器	かわらけ	8.8	1.7	5.0					在地系	
	13	土 器	かわらけ	9.2	1.5	5.1					在地系	
	14	土 器	かわらけ	8.5	1.7	4.8					在地系	
	15	土 器	かわらけ	(10.0)	2.1	(5.4)					在地系	
	16	土 器	かわらけ	(10.4)	2.2	(5.4)					在地系	
	17	土 器	かわらけ	(10.2)	2.3	(5.6)					在地系	
	18	土 器	かわらけ	(10.6)	2.1	(6.4)					在地系	
	19	土 器	かわらけ	(10.5)	2.1	(5.6)					在地系	
	20	土 器	かわらけ	(10.8)	2.1	(5.8)					在地系	
	21	土 器	かわらけ	11.2	1.9	6.6					在地系	
	22	土 器	かわらけ	10.8	2.0	5.6					在地系	
	23	土 器	かわらけ	(11.8)	2.3	(6.4)					在地系	
	24	土 器	かわらけ	11.1	2.4	6.0					在地系	
	25	土 器	かわらけ	(11.0)	2.4	(6.0)					在地系	
	26	土 器	灯 明 皿	6.1	2.8	3.3					在地系	
	27	土 器	灯 明 皿	7.8	1.8	4.3					在地系	
	28	土 器	灯 明 皿	8.2	1.8	4.4					在地系	
	29	土 器	灯 明 皿	(8.5)	1.5	(5.1)					在地系	
	30	土 器	灯 明 皿	8.6	1.7	5.1					在地系	
	31	土 器	灯 明 皿	(8.2)	1.6	(4.6)					在地系	
	32	土 器	灯 明 皿	8.8	1.5	4.5					在地系	
	33	土 器	灯 明 皿	(8.7)	2.1	(4.8)					在地系	
	34	土 器	灯 明 皿	9.0	1.7	4.9					在地系	
	35	土 器	灯 明 皿	9.1	1.8	4.1					在地系	
	36	土 器	灯 明 皿	(11.6)	1.5	(6.8)					在地系	
	37	土 器	灯 明 皿	(10.4)	2.1	(5.6)					在地系	
	38	土 器	灯 明 皿	11.2	2.1	6.4					在地系	
	39	土 器	灯 明 皿	10.8	2.1	5.4					在地系	
	40	磁 器	小 杯	4.8	3.5	3.0		桶 形	横文		肥前系	18c後 LI紅
	41	磁 器	小 碗	(5.9)	3.6	(2.7)		端 反 形	牡丹文		肥前系	
	42	磁 器	小 碗	(5.6)	4.1	(2.6)		端 反 形				
	43	磁 器	小 碗	(6.7)	(5.0)	(2.4)		端 反 形	折梅文			
	44	磁 器	小 碗	7.0	3.1	3.0		浅 丸 形	雨降り文		肥前系	18c初
	45	磁 器	小 碗	7.7	4.4	3.3						18c初

図版	番号	材質	器種	法量 (cm)				形状	文様		産地	備考
				a	b	c	d		外面	内面		
94	46	磁器	小碗	8.5	(5.0)			丸形	雄文		肥前系	17c後 色絵
	47	磁器	小碗	(8.6)	(4.1)			丸形	雄文		肥前系	17c後 色絵
	48	磁器	小碗	7.5	4.3	3.2		丸形	雄文		肥前系	18c初
	49	磁器	小碗	8.7	4.6	3.4		丸形	草花文		肥前系	18c初
	50	磁器	小碗	8.4	5.1	3.4		丸形	竹文		肥前系	18c初
	51	磁器	小碗	(8.7)	(3.3)			丸形	草花文		肥前系	18c初
	52	磁器	中碗	(10.0)	5.6	4.2		丸形	花文		肥前系	18c初「太明年製」
	53	磁器	中碗	10.0	5.8	4.2		丸形	草花文		肥前系	18c初「太明年製」
	54	磁器	中碗	10.8	6.3	4.6		丸形	草花文		肥前系	18c初「太明年製」
	1	磁器	中碗	11.6	6.6	4.6		丸形	扇文		肥前系	18c初
	2	磁器	中碗	(10.4)	6.4	4.6		丸形	草花文		肥前系	18c初
	3	磁器	中碗	10.0	5.7	4.3		丸形	七宝文		肥前系	18c初「太明年製」
	4	磁器	中碗	(11.6)	6.3	4.7		丸形			肥前系	18c初
	5	磁器	中碗	(11.3)	6.4	4.2		丸形	山水文		肥前系	18c初
95	6	磁器	大碗	(12.3)	(4.3)			丸形	山水文	肥前系	肥前系	16c前
	7	磁器	小碗	9.3	5.0	3.7		端反形	横線	肥前系	肥前系	19c前
	8	磁器	小碗	8.5	6.8	4.7		筒形	横線	肥前系	肥前系	18c後
	9	磁器	中碗	11.0	6.5	4.2		丸形	刷毛目	肥前系	肥前系	17c後
	10	磁器	中碗		(3.5)	(4.0)		丸形	刷毛目	肥前系	肥前系	17c後
	11	磁器	小碗	9.5	6.7	4.5		丸形		肥前系	肥前系	17c後
	12	磁器	小碗	(11.0)	7.5	(5.0)		丸形		肥前系	肥前系	17c後
	13	磁器	小碗		(6.0)	4.4		丸形		肥前系	肥前系	17c後
	14	磁器	中碗		(2.5)	3.2		平碗		京焼風	京焼風	17c後
	15	陶器	中碗	9.4	6.3	5.6		腰張形	草文	京焼風	京焼風	17c後 刷印
	16	陶器	中碗	9.5	6.5	5.0		腰張形	草文	京焼風	京焼風	17c後 刷印「雲」
	17	陶器	中碗		(5.2)	(5.0)		腰張形	草文	京焼風	京焼風	17c後 刷印
	18	陶器	中碗	(9.5)	5.6	(5.1)		腰張形	草文	京焼風	京焼風	17c後
96	19	陶器	中碗	8.8	6.1	5.5		腰張形	草文	京焼風	京焼風	17c後
	20	陶器	中碗	10.4	6.3	4.6		腰張形		京焼風	京焼風	17c後 灰釉
	21	陶器	中碗	11.0	7.0	5.6		腰張形		京焼風	京焼風	17c後 灰釉
	22	陶器	中碗	11.0	6.4	5.0		腰張形		京焼風	京焼風	17c後 灰釉
	23	陶器	中碗	10.8	6.9	5.6		腰張形		京焼風	京焼風	17c後 灰釉
	24	陶器	中碗	(12.0)	(6.9)			腰張形		京焼風	京焼風	17c後 灰釉
	25	陶器	中碗		(2.5)	5.6		平碗		京焼風	京焼風	17c後
	26	陶器	中碗	(11.7)	(3.2)			天目形		京焼風	京焼風	17c前 鉄釉
	1	陶器	緑釉皿	(10.6)	1.8	(5.0)		端反形		京焼風	京焼風	15c後 灰釉
	2	陶器	緑釉皿	(12.2)	(2.0)			端反形		京焼風	京焼風	15c後 灰釉
	3	陶器	中皿	(12.8)	3.0	(6.8)		丸形		肥前系	肥前系	18c初 鍋島風
	4	磁器	中皿	13.1	4.2	7.6		丸形		肥前系	肥前系	17c初
	5	磁器	中皿		(1.8)	7.1				肥前系	肥前系	17c初
	6	磁器	小皿	12.7	3.3	4.0		丸形底狭		伊万里	伊万里	17c後 見込蛇の日割ぎ
	7	陶器	小皿	12.5	4.0	4.6		丸形底狭		伊万里	伊万里	17c後 見込蛇の日割ぎ
	8	磁器	中皿	(18.5)	3.7	(12.0)		丸形		肥前系	肥前系	18c初 口紅
	9	磁器	小皿	(13.3)	2.7	(8.0)		梅花藻反形	菊花文	肥前系	肥前系	17c後
	10	陶器	小鉢	12.6	3.0	7.3		菊花形	見込草文	瀬戸美濃	瀬戸美濃	17c後 緑釉流し
	11	陶器	小鉢	12.3	4.7	5.0		浅丸形底狭	肥前山水文	京焼風	京焼風	17c後
	12	陶器	小鉢		(1.6)	4.5		浅丸形底狭	肥前山水文	京焼風	京焼風	17c後 刷印「新」
	13	陶器	小鉢	(13.0)	4.7	(5.0)		浅丸形底狭	肥前山水文	京焼風	京焼風	17c後
	14	磁器	大鉢	(23.4)	8.8	10.0		丸形	見込草文	肥前系	肥前系	蛇の日高台 17c後

国版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産地	備 考
				a	b	c	d		外面	内面		
97	1	陶器	大鉢	(30.9)	(5.7)			腰折形		三島手	唐津	17c後
	2	陶器	大鉢	(14.7)	(7.0)			鉢太形			瀬戸美濃	17c前 長石軸
	3	陶器	大鉢	(20.6)	12.1	(9.2)		丸形			唐津	17c後 緑釉
	4	陶器	大鉢	13.2	8.5	6.8	15.6	丸形			瀬戸美濃	17c前 口縁切込 長石軸
	5	陶器	片口	(23.0)	(11.0)	(10.0)	(25.0)	丸形	刷毛目	刷毛目	唐津	17c後 1線帯下注1
	6	陶器	蓋	5.0	1.4	3.6					瀬戸美濃	蓋の蓋
	7	磁器	壺	7.6	2.8	1.2	6.0				肥前系	17c 中蓋の蓋
	8	磁器	小瓶	2.9	(3.5)							
	9	磁器	小瓶		(11.0)	4.7						17c後 色絵
	10	陶器	中瓶		(11.7)	8.4					瀬戸美濃	18c初 鉄軸 舟徳利
	11	陶器	中瓶		(5.3)	(7.4)					瀬戸美濃	18c初 鉄軸 舟徳利
	12	磁器	仏飯器	8.3	6.0	4.3					肥前系	18c後
	13	磁器	仏飯器	8.5	6.4	4.3			草文	草文	肥前系	18c後
	14	磁器	仏飯器	9.0	6.4	4.4					肥前系	18c後
	15	陶器	灯明皿	11.0	1.7	5.6	(11.7)				志戸呂	17c後 揃み付 鉄軸
	16	陶器	灯明受皿	11.1	(2.2)		8.4				志戸呂	17c後 鉄軸
	17	土器	蓋	8.0	1.7	7.6					在地系	塩焼蓋
	18	土器	塩焼壺	5.4	9.6	4.8	7.6				泉州系	泉州系 板作成形
	19	土器	塩焼壺	(6.4)	(11.0)	(4.6)					泉州系	泉州系 板作成形
	20	土器	小壺	4.6	(3.0)						在地系	
	21	陶器	中壺	(7.4)	(5.8)						瀬戸美濃	18c初
	22	陶器	中壺	(6.4)	(9.6)			瀬戸壺形			瀬戸美濃	18c初 耳付
	23	陶器	中壺	(12.7)	(3.8)						瀬戸美濃	18c初
98	1	陶器	香炉	8.7	4.1	5.4		手筒形				18c?
	2	陶器	香炉	(10.8)	4.0	(6.3)		無三足			瀬戸美濃	17c前 鉄軸
	3	磁器	香炉	(13.0)	(4.2)				竹文	竹文	肥前系	17c前 青磁軸
	4	磁器	香炉	(12.0)	(4.7)						肥前系	17c後 染付
	5	陶器	香炉	(12.1)	6.0						瀬戸美濃	17c前 鉄軸
	6	磁器	香炉	12.0	8.2	7.3					肥前系	17c前 青磁軸
	7	垢器	播鉢	(37.4)	13.2	(14.4)					丹波	17c後
	8	垢器	播鉢	(33.4)	(6.0)						丹波	17c後
	9	垢器	播鉢	(34.6)	(5.5)						丹波	17c後
	10	垢器	播鉢	(34.0)	15.4	(15.2)	(35.8)					
	11	垢器	播鉢	(32.0)	(16.0)							
	12	垢器	播鉢	(32.4)	(10.0)						瀬戸美濃	17c後 鉄軸
99	13	垢器	播鉢	(37.0)	(8.5)						瀬戸美濃	17c後 鉄軸
	1	土器	焙烙	26.4	(7.3)						在地系	
	2	土器	焙烙	(27.2)	(5.6)						在地系	
	3	土器	焙烙	26.8	(7.5)						在地系	
	4	土器	焙烙	(24.6)	(6.5)						在地系	
	5	土器	焙烙	(28.0)	(5.8)						在地系	
	6	土器	焙烙	(26.8)	(6.0)						在地系	
	7	土器	焙烙	(35.6)	5.5	(32.5)					在地系	
	8	土器	焙烙	(39.8)	5.5	(39.0)					在地系	
	9	垢器	蓋	(18.0)	(7.5)						常滑	14c前
100	10	土器	火鉢	26.0	10.0	18.2					在地系	
	11	垢器	大壺	(58.3)	(9.0)		(67.6)				常滑	
	1	土器	火鉢	28.0	10.3	19.6					在地系	
	2	土器	火鉢		(7.8)						在地系	
	3	土器	蓋	(21.8)	4.8	18.0					在地系	火消煮蓋
	4	土器	火消煮	(14.0)	(14.5)						在地系	

圖版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
100	5	土器	積木鉢	(35.2)	(8.0)						在地系	
	6	土器	蓋	(18.6)	3.8	(15.2)					在地系	火消燬蓋
	7	土器	蓋	(19.8)	3.8	(15.6)					在地系	火消燬蓋
	8	土器	蓋	(22.3)	3.6	(17.8)					在地系	火消燬蓋
	9	土器	鉢	(39.0)	5.7	(38.0)					在地系	
	10	石	碁石	長径 21、短径 15、厚さ 0.5cm								
	11	石	碁石	長径 21、短径 18、厚さ 0.3cm								
	12	石	碁石	直径 21、厚さ 0.6cm								
	13	石	碁石	残存長 9.5、幅 3.9、厚さ 2.8cm								
	14	石	碁石	残存長 8.9、幅 4.9、厚さ 1.5cm								
	15	石	碁石	残存長 10.1、幅 3.6、厚さ 1.3cm								
	16	石	碁石	残存長 9.6、幅 4.9、厚さ 2.0cm								
	17	石	板碑	残存長 19.6、幅 10.3、厚さ 1.5cm								
	18	石	板碑	残存長 14.6、幅 10.0、厚さ 0.8cm								
101	1	土器	西行法師	残存高 17.6、幅 30.2、厚さ 17.9cm							在地系	
	2	土器	等	直径 9.2、高さ 3.9cm							在地系	
	3	土器	人形	残存長 3.3、幅 3.0、厚さ 2.1cm							在地系	
	4	土器	犬 ?	残存長 6.0、幅 8.5、厚さ 2.2cm							在地系	
	5	銅・鉄	小柄	現存長 11.6、幅 1.5、厚さ 0.3cm								
	6	銅・鉄	小柄	現存長 6.0、幅 1.4、厚さ 0.5cm								
	7	銅	小柄	長さ 9.5、幅 1.6、厚さ 0.3cm								
	8	銅	煙管雁首	火皿径 1.5、現存長 6.8cm								
	9	銅	煙管雁首	火皿径 1.7、現存長 1.3cm								
	10	銅	煙管雁首	現存長 6.9cm								
	11	銅	煙管吸口	径 1.0、現存長 5.3cm								
	12	銅	煙管吸口	径 0.8、現存長 3.6cm								
	13	銅	煙管吸口	径 1.1、現存長 4.1cm								
	14	銅	煙管吸口	径 0.4、現存長 2.6cm								
	15	銅	不明	幅 10.5、現存長 19.0cm								
	16	銅	釘	頭幅 1.2、長さ 3.3cm								
	17	銅	不明	径 2.0cm								
	18	銅	吊手金具	断面径 0.4、長さ 6.2cm								
	19	銅	吊手金具	断面径 0.4、長さ 5.9cm								
	20	銅	吊手金具	断面径 0.4、長さ 5.9cm								
	21	銅	吊手金具	断面径 0.4、長さ 5.3cm								
	22	古銭	淳化元宝	銭径 24.7、内径 18.6、銭厚 1.5mm、景目 1.84g							北宋 990年	
	23	古銭	寛永通寶	銭径 24.4、内径 20.0、銭厚 1.30mm、景目 2.77g							古 1636~1656年	
	24	古銭	寛永通寶	銭径 24.6、内径 19.8、銭厚 1.40mm、景目 2.94g							古 1636~1656年	
	25	古銭	寛永通寶	銭径 22.7、内径 19.5、銭厚 1.20mm、景目 1.54g							古 1636~1656年	
	26	古銭	寛永通寶	銭径 25.3、内径 20.9、銭厚 1.30mm、景目 2.63g							文銭 1668年	
	27	古銭	寛永通寶	銭径 25.2、内径 20.9、銭厚 1.20mm、景目 2.95g							文銭 1668年	
	28	古銭	寛永通寶	銭径 25.3、内径 20.1、銭厚 1.28mm、景目 2.62g							文銭 1668年	
	29	古銭	寛永通寶	銭径 25.1、内径 20.0、銭厚 1.10mm、景目 2.12g							文銭 1668年	
102	1	鉄	火 箸	右:現存長 27.6、断面径 0.7cm 左:現存長 26.9、断面径 0.5cm								
	2	鉄	不明	幅 10.0、現存長 2.2cm								
	3	鉄	不明	幅 3.4、現存長 4.2cm								
	4	鉄	不明	幅 3.7、長さ 5.7cm								
	5	鉄	刃物 ?	幅 7.2、現存長 3.4cm								
	6	鉄	毛拔き	幅 1.6、現存長 4.5cm								
	7	鉄	鋸 齒	幅 2.3、現存長 4.6cm								
	8	鉄	不明	幅 2.5、現存長 2.4cm								

図版	番号	材質	器種	法 差 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
102	9	鉄	鉄 環	長径 2.4、断面径 0.5cm								
	10	鉄	不 明	端部幅 1.3、現存長 5.9cm								
	11	鉄	楔 ?	幅 2.7、現存長 7.1cm								
	12	鉄	鋸 ?	現存長 7.0cm								
	13	鉄	楔	幅 1.1、現存長 4.0、厚さ 0.7cm								
	14	鉄	不 明	端部幅 1.0、現存長 3.8cm								
	15	鉄	不 明	端部幅 1.0、現存長 4.6cm								
	16	鉄	角 釘	長さ 6.1cm								
	17	鉄	切 釘	長さ 4.6cm								
	18	鉄	角 釘	現存長 7.9cm								
	19	鉄	角 釘	現存長 4.5cm								
	20	鉄	不 明	頭幅 0.8、長さ 10.0cm								
	21	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.9、現存長 9.0cm								
	22	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.7、現存長 7.9cm								
	23	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.2、現存長 7.5cm								
	24	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.6、現存長 8.6cm								
	25	鉄	頭 卷 釘	頭幅 3.1、現存長 8.2cm								
	26	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、長さ 7.8cm								
	27	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.3、現存長 4.7cm								
	28	鉄	頭 卷 釘	現存長 10.6cm								
	29	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.5cm								
	30	鉄	折 釘	現存長 7.8cm								
	31	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.5、現存長 7.4cm								
	32	鉄	頭 卷 釘	現存長 6.6cm								
	33	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.7cm								
	34	鉄	頭 卷 釘	現存長 5.4cm								
	35	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.8cm								
	36	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 4.6cm								
	37	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 2.7cm								
	38	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 7.8cm								
	39	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 6.4cm								
	40	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 7.3cm								
	41	鉄	頭 卷 釘	現存長 3.3cm								
	42	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 4.2cm								
	43	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.8cm								
	44	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.0cm								
	45	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 7.3cm								
	46	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.1、現存長 7.0cm								
	47	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 6.5cm								
	48	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 6.4cm								
	49	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 6.2cm								
	50	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 6.1cm								
	51	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 6.7cm								
	52	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 6.9cm								
	53	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 6.5cm								
	54	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 6.0cm								
	55	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 5.8cm								
	56	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.8、長さ 6.7cm								
	57	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 6.6cm								
	58	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.9、現存長 8.0cm								
	59	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 7.7cm								

国版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
102	60	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、長さ 5.8cm								
	61	鉄	折 釘	現存長 5.5cm								
	62	鉄	頭巻釘	頭幅 1.5、現存長 5.1cm								
	63	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、長さ 5.7cm								
	64	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 5.5cm								
	65	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 5.7cm								
	66	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、現存長 6.1cm								
	67	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、長さ 6.6cm								
	68	鉄	頭巻釘	頭幅 1.7、現存長 5.4cm								
	69	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 5.1cm								
	70	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 5.0cm								
	71	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、長さ 5.0cm								
	72	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 4.7cm								
	73	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、現存長 4.6cm								
	74	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 4.6cm								
	75	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 4.5cm								
	76	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 4.6cm								
	77	鉄	頭巻釘	頭幅 1.7、現存長 4.8cm								
	78	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 4.8cm								
	79	鉄	頭巻釘	頭幅 1.5、現存長 4.7cm								
	80	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 3.8cm								
	81	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 4.3cm								
	82	鉄	頭巻釘	頭幅 2.0、現存長 4.3cm								
	83	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、現存長 4.6cm								
	84	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 4.7cm								
	85	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 4.7cm								
	86	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、長さ 4.6cm								
	87	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 4.1cm								
	88	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 4.2cm								
	89	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 3.7cm								
	90	鉄	頭巻釘	頭幅 0.7、現存長 4.0cm								
	91	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 3.9cm								
	92	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 4.0cm								
	93	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 4.1cm								
	94	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 3.7cm								
	95	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、長さ 3.9cm								
	96	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、現存長 3.7cm								
	97	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 4.1cm								
	98	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 3.7cm								
	99	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 4.0cm								
	100	鉄	頭巻釘	頭幅 1.5、現存長 4.0cm								
	101	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 3.6cm								
	102	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 3.3cm								
	103	鉄	頭巻釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm								
	104	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 3.2cm								
	105	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 3.5cm								
	106	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 4.1cm								
	107	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 3.2cm								
	108	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 4.2cm								
	109	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 3.3cm								
	110	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 4.2cm								

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
102	111	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 40cm								
	112	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 34cm								
	113	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 28cm								
	114	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 34cm								
	115	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 33cm								
	116	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 32cm								
	117	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、長さ 30cm								
	118	鉄	頭巻釘	頭幅 0.6、長さ 33cm								
	119	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 30cm								
	120	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 30cm								
	121	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 31cm								
	122	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 29cm								
	123	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 27cm								
	124	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 26cm								
	125	鉄	頭巻釘	頭幅 0.7、現存長 32cm								
	126	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 27cm								
	127	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、長さ 36cm								
128	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 22cm									
129	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、長さ 33cm									
130	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 13cm									
131	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 25cm									
132	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 26cm									
133	鉄	頭巻釘	頭幅 0.6、現存長 23cm									
134	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 19cm									
135	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 23cm									
136	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 26cm									
SX3												
108	1	土	器	かわらけ	(6.7)	1.4	(40)					在地系
	2	土	器	かわらけ	(8.2)	1.8	(5.0)					在地系
	3	土	器	かわらけ	8.4	2.0	4.4					在地系
	4	土	器	かわらけ	(10.8)	2.3	(5.0)					在地系
	5	土	器	灯明皿	6.0	1.4	3.4					在地系
	6	土	器	灯明皿	6.5	1.4	4.0					在地系
	7	磁	器	ミニチュア	3.6	2.0	1.8	丸	形	横 線		
	8	磁	器	小 碗	(5.4)	(3.0)		腰	張	形		小坏
	9	磁	器	小 碗	7.4	4.2	3.1	丸	形	散紙目文	肥前系	18c後半
	10	磁	器	小 碗	(8.8)	(3.5)		丸	形	一重目文	肥前系	18c初
	11	磁	器	中 碗	10.2	5.6	4.0	丸	形	草花文	肥前系	18c初
	12	磁	器	中 碗	11.0	5.9	4.6	丸	形	草花文	肥前系	18c後
	13	磁	器	中 碗	11.0	6.2	4.4	丸	形	花 文	肥前系	18c後 菊菊印判
	14	陶	器	中 碗	(10.8)	6.0	4.0	丸	形	刷毛目	刷毛目	唐津
	15	陶	器	中 碗	(11.0)		(4.0)	腰	張	形	瀬戸美濃	17c後 腰箱茶碗
	16	陶	器	中 碗	(9.4)	5.9	5.4	腰	張	形	京焼風	17c後 刻印「森」
	17	上	土	器	灯明受皿	(12.8)	2.7	(9.6)				在地系
	18	陶	器	小 皿	(13.0)	2.6	(7.3)	端	反	形	肥前系	17c後 灰釉
	19	陶	器	小 皿	(13.6)	2.6	(8.2)	端	反	形	肥前系	17c後 灰釉
	20	陶	器	大 瓶								瀬戸美濃
	21	陶	器	中 碗	11.3	(5.7)		天	目	形	志戸呂	17c後
	22	陶	器	香 炉	9.8	8.5	6.0	平	筒	形	肥前系	17c後 灰釉
	23	磁	器	中 鉢	23.8	7.2	7.0	浅	丸	形	肥前系	17c後 緑釉
	24	磁	器	中 鉢	(28.0)	7.0	(7.5)	腰	折	形	矢羽模文	肥前系

國版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
108	25	垢 器	掃 鉢	(33.6)	(6.5)						瀬戸美濃 常 滑 在地系	17c後 18c	
	26	垢 器	大 甕	(42.4)	(9.5)								
	27	土 器	足	(3.7)									
109	28	石	砥 石	残存長 72、幅 43、厚さ 3.6cm									
	1	垢 器	焙 烙	38.2	5.3	34.4					在地系		
	2	銅	柄線金具	幅 2.3、長さ 3.4cm									
	3	銅	煙管壓首	火皿径 1.5、長さ 4.9cm									
	4	銅	煙管壓首	現存長 3.9cm									
	5	銅	釘	現存長 3.3cm									
	6	銅	釘	現存長 4.3cm									
	7	銅	鉋	頭幅 1.1、長さ 1.8cm									
	8	鉄	刀 子	現存長 4.1、刀幅 1.0、背幅 0.3cm									
	9	鉄	不 明	幅 2.1、現存長 4.1cm									
	10	鉄	鑊	幅 5.0、現存長 5.8cm									
	11	鉄	不 明	幅 4.3、現存長 3.5cm									
	12	鉄	不 明	幅 3.3、長さ 3.3cm									
	13	鉄	不 明	幅 3.5、長さ 4.8cm									
	14	鉄	毛抜き?	幅 3.6、現存長 5.1cm									
	15	鉄	毛抜き?	幅 1.6、現存長 8.3cm									
	16	鉄	角 釘	長さ 7.8cm									
	17	鉄	角 釘	現存長 7.6cm									
	18	鉄	角 釘	現存長 6.2cm									
	19	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 5.0cm									
	20	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.7、現存長 8.2cm									
	21	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.2、現存長 7.2cm									
	22	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 7.2cm									
	23	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.4、長さ 7.2cm									
	24	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 16.7cm									
	25	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、長さ 6.0cm									
	26	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.0、現存長 5.9cm									
	27	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、長さ 5.7cm									
	28	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 6.3cm									
	29	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 5.3cm									
	30	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、長さ 4.4cm									
	31	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、長さ 2.2cm									
	32	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 4.4cm									
	33	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、長さ 5.1cm									
	34	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 4.9cm									
	35	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 4.4cm									
	36	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 4.6cm									
	37	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.4、現存長 4.2cm									
	38	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.4、現存長 4.3cm									
	39	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.5、現存長 4.1cm									
	40	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 4.2cm									
	41	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 4.6cm									
	42	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 4.4cm									
	43	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 3.9cm									
	44	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.0、現存長 4.3cm									
	45	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.2、現存長 3.6cm									
	46	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.1、現存長 3.7cm									
	47	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.8、現存長 3.9cm									

国版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
109	48	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 4.6cm								
	49	鉄	頭巻釘	頭幅 1.6、現存長 4.1cm								
	50	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 3.6cm								
	51	鉄	頭巻釘	頭幅 1.6、現存長 3.1cm								
	52	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 3.8cm								
	53	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、長さ 3.3cm								
	54	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 4.0cm								
	55	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 4.2cm								
	56	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 3.8cm								
	57	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 2.9cm								
	58	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、長さ 3.3cm								
	59	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、現存長 3.9cm								
	60	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 3.8cm								
	61	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 3.8cm								
	62	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 3.3cm								
	63	鉄	頭巻釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm								
	64	鉄	頭巻釘	頭幅 0.6、長さ 3.8cm								
	65	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、現存長 3.6cm								
	66	鉄	頭巻釘	頭幅 0.7、現存長 3.6cm								
	67	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、長さ 3.3cm								
	68	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 3.4cm								
	69	鉄	頭巻釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm								
	70	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 3.7cm								
	71	鉄	頭巻釘	頭幅 0.7、現存長 3.3cm								
	72	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 3.5cm								
	73	鉄	頭巻釘	頭幅 1.3、現存長 3.0cm								
	74	鉄	頭巻釘	頭幅 1.2、現存長 2.7cm								
	75	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、長さ 2.9cm								
	76	鉄	頭巻釘	頭幅 1.1、現存長 3.2cm								
	77	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、長さ 3.2cm								
	78	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 2.6cm								
	79	鉄	頭巻釘	頭幅 1.4、現存長 2.7cm								
	80	鉄	頭巻釘	頭幅 0.8、現存長 2.6cm								
	81	鉄	頭巻釘	頭幅 0.7、現存長 2.7cm								
	82	鉄	頭巻釘	頭幅 0.6、現存長 2.5cm								
SX4												
112	1	土器	かわらけ	(6.6)	1.8	(4.4)						在地系
	2	土器	かわらけ	(7.4)	2.1	(4.8)						在地系
	3	土器	かわらけ	9.0	2.8	5.4						在地系
	4	土器	かわらけ	(9.4)	2.9	(5.0)						在地系
	5	土器	かわらけ	(9.3)	1.7	(4.2)						在地系
	6	土器	かわらけ	(9.7)	3.0	(4.9)						在地系
	7	土器	かわらけ	(9.4)	3.5	(5.4)						在地系
	8	土器	灯明皿	(9.2)	2.9	(5.8)						在地系
	9	土器	かわらけ		(1.5)	(7.6)						在地系
	10	磁器	大 碗	12.5	6.7	4.5		丸 形		見込五等文		18c後 両扉印判 刷し濃縮
	11	磁器	中 碗	10.0	5.3	4.3		丸 形	二重圓目文			18c後
	12	陶器	中 碗		(1.7)	5.3		丸 形				17c前 刷印「清水」
	13	陶器	皿		(1.4)	(4.8)				見込印文		16c前 底面刷り出輪高台
	14	陶器	小 皿	(12.2)	(2.4)			端反形				瀬戸焼、17c前

図版	番号	材質	器種	法量 (cm)				形状	文様		産地	備考
				a	b	c	d		外面	内面		
112	15	土器	細鉢		(6.0)						瀬戸黄瀬	16c前 鉄軸
	16	土器	横木鉢		(3.8)						在地系	16c
	17	土器	横木鉢		(10.5)	(15.0)					在地系	
	18	鉄	頭巻釘	頭幅 1.0、現存長 3.3cm								
	19	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、長さ 3.9cm								
	20	鉄	頭巻釘	頭幅 0.9、現存長 2.6cm								
	21	鉄	鉄線	現存長 5.9、幅 1.6、厚さ 0.6cm								
	22	鉄	不明	幅 2.1、長さ 2.2cm								
	23	占鉄	水案通寶	銭径 24.2、内径 21.0、銭厚 1.31mm、量目 1.30g								明 1408年

病案遺構出土瓦観察表

図版	番号	種類	瓦当径	瓦当厚	全長	全幅	高さ	厚み	胎土	色調	備考
SX1											
92	1	軒丸瓦	11.0	2.2	-	11.4	5.1	1.7	精良	暗灰	透珠三巴右巻16珠/釘孔
	2	軒丸瓦	10.5	(2.1)	-	-	-	(2.2)	やや砂質	暗灰	透珠三巴右巻16珠/接合部小目・割み目
	3	軒丸瓦	(10.9)	2.4	-	-	-	-	砂質	黄褐灰	透珠三巴右巻16珠
	4	軒丸瓦	15.5	-	-	-	-	2.0	やや砂質	灰	透珠三巴右巻/巴尾長い/唐文大紋
	5	丸瓦	-	-	-	10.6	-	1.8	精良	灰～黒灰	玉縁なし/釘孔
	6	丸瓦	-	-	-	11.0	-	1.5	精良	黄褐灰	玉縁なし/釘孔
	7	丸瓦	-	-	-	14.1	6.9	2.1	精良	黒灰	凸面などで/木口面取り/圓縁面取り
	8	隅軒平瓦	-	4.6	-	-	-	2.2	精良	灰	接合部割み目
	9	隅軒平瓦	-	4.3	-	-	-	1.8	砂質	黄褐灰	接合部刻み目
	10	軒平瓦	-	4.1	-	-	-	1.8	精良	黒灰	離れ砂付着
93	1	塀丸瓦	-	5.4	-	27.7	-	2.5	精良	暗灰	阿辺水切り溝
	2	伏間瓦	-	-	-	24.3	7.9	2.0	やや砂質	暗灰	接合部刻み目
	3	製斗瓦	-	-	24.7	11.9	-	1.5	やや砂質	黄褐灰	離れ砂付着
	4	製斗瓦	-	-	-	12.1	-	1.8	やや砂質	黄褐灰	離れ砂付着
	5	道具瓦	-	-	9.7	-	-	2.8	やや砂質	暗灰	二角形平面/端部段
	6	道具瓦	-	-	-	-	-	2.4	やや砂質	灰	三角形平面/端部段/釘孔
	7	塀丸瓦	-	-	-	-	-	1.6	精良	暗灰(糊状)	瓦当部/裏面造し字割離度
SX2											
103	1	軒丸瓦	(16.3)	2.7	-	-	-	(2.2)	やや砂質	黄灰	透珠三巴右巻16珠/圓縁明瞭/接合部小目
	2	軒丸瓦	14.9	2.4	-	-	-	2.4	やや砂質	黄灰	透珠三巴右巻16珠/圓縁明瞭
	3	軒丸瓦	15.9	2.8	-	-	-	(3.0)	やや砂質	暗灰	透珠三巴右巻16珠/圓縁明瞭/接合部小目
	4	軒丸瓦	(17.2)	2.4	-	-	-	-	やや砂質	灰白	透珠三巴右巻/圓縁明瞭/唐文大紋
	5	軒丸瓦	13.2	2.8	-	-	-	(2.3)	精良	灰白	透珠三巴右巻16珠/圓縁明瞭/接合部小目
	6	軒丸瓦	14.7	2.8	-	-	-	-	やや砂質	暗灰	透珠三巴右巻/圓縁明瞭
	7	軒丸瓦	-	2.9	-	-	-	-	砂質	灰白	透珠三巴右巻/圓縁明瞭
	8	軒丸瓦	-	-	-	15.0	7.5	2.2	やや砂質	暗灰	透珠三巴右巻16珠/圓縁明瞭/凸面などで
	9	軒丸瓦	11.6	2.2	-	11.4	5.2	1.6	精良	灰～黒灰	透珠三巴左巻16珠/釘穴
	10	軒丸瓦	(11.6)	-	(32.5)	11.1	4.9	1.2	やや砂質	暗灰～黒灰	透珠三巴左巻/釘穴
	11	軒丸瓦	11.5	-	-	-	-	2.1	精良	黄灰	透珠三巴左巻/瓦当面離れ砂付着
	12	軒丸瓦	(11.0)	-	-	-	-	2.4	やや砂質	黒灰	透珠三巴左巻16珠/瓦当面離れ砂付着
104	1	軒丸瓦	11.5	2.2	-	11.4	5.0	1.6	精良	黒灰	透珠三巴左巻16珠/釘穴
	2	軒丸瓦	10.7	2.0	-	(10.7)	-	1.6	やや砂質	灰白	透珠三巴左巻16珠/瓦当面離れ砂付着
	3	軒丸瓦	-	-	(32.0)	15.0	7.2	2.0	やや砂質	黒灰	瓦当面大段/釘穴2ヶ所/下縁長25cm
	4	丸瓦	-	-	-	15.7	7.2	2.3	精良	暗灰	玉縁長3.6cm/凸面などで/釘孔
	5	丸瓦	-	-	-	13.9	6.2	1.8	精良	黄灰	玉縁長21cm/凸面はけ目後、墨などで/墨化
105	1	軒丸瓦	-	-	(29.1)	14.0	7.7	2.3	精良	灰～暗灰	瓦当面大段/玉縁なし/修部へ勾配/釘穴
	2	丸瓦	-	-	-	11.1	-	2.0	やや砂質	灰白	玉縁なし/凸面などで/釘孔
	3	丸瓦	-	-	-	(9.8)	-	1.7	精良	暗灰	玉縁なし/凸面などで/釘孔

国版	番号	種類	瓦当径	瓦当厚	全長	全幅	高さ	厚み	胎土	色調	備考
105	4	丸瓦	-	-	-	(10.1)	-	1.7	砂質	黒	玉縁なし／凸面凹面で／釘孔
	5	伏間瓦	-	-	-	(19.8)	-	2.4	精良	暗灰	玉縁なし／面取り
	6	丸瓦	-	-	-	14.0	6.6	1.9	精良	黒	凸面はけ日後、見みがき／鍍化
	1	軒平瓦	-	4.7	-	-	-	2.0	精良	暗灰	雲下縁の小さい／瓦当離れ砂付着
	2	塀瓦	-	4.7	-	-	-	-	精良	黒	瓦当面に木目の圧痕
	3	塀瓦	-	4.8	-	-	-	2.6	精良	灰～黒	側面水切り溝、側縁割り込み
	4	塀瓦	-	4.7	-	-	-	2.6	砂質	灰	側面水切り溝
	5	塀瓦	-	4.6	-	-	-	2.4	砂質	暗橙	側面水切り溝、断面縁、装飾による着色
	6	塀瓦	-	(4.6)	-	-	-	-	精良	黒	新離面刻み目
	7	塀瓦	-	5.4	-	-	-	2.2	精良	暗灰	側面水切り溝、離れ砂付着
106	8	塀瓦	-	5.2	-	-	-	2.5	やや砂質	灰白～灰	側面水切り溝
	9	塀瓦	-	5.1	-	-	-	2.4	やや砂質	灰	離れ砂付着
	10	塀瓦	-	-	-	-	-	-	精良	黒	接合部刻み目
	11	塀瓦	-	5.0	-	-	-	2.2	砂質	灰～暗灰	側面水切り溝、側縁割り込み
	12	軒平瓦	-	4.5	-	-	-	2.1	精良	暗灰	離れ砂付着
	13	塀瓦	-	4.9	-	-	-	2.2	精良	暗灰	側面水切り溝、側縁割り込み
	14	平瓦	-	-	26.0	-	-	1.8	精良	暗灰	谷深さ22cm／凸面離れ砂付着
	15	平瓦	-	-	-	27.1	-	2.0	精良	暗灰	谷深さ22cm／装飾による着色／釘孔
	1	平瓦	-	-	25.4	-	-	1.7	精良	暗灰	谷深さ23cm／凸面離れ砂付着
	2	塀瓦	-	-	-	-	5.3	2.4	精良	灰	釘孔／内側部貼付／下面離れ砂付着
107	3	伏間瓦	-	-	-	-	-	2.3	精良	灰	端部段差／凹面離れ砂付着
	4	伏間瓦	-	-	-	(23.5)	8.1	1.9	精良	暗青	端部水切り溝、凹面離れ砂付着
	5	鳥伏間瓦	-	-	-	7.8	-	2.4	砂質	灰白(縹灰)	瓦当面欠損／装合部刻み目／凹面
	6	谷丸瓦	-	-	-	11.2	5.3	1.8	砂質	灰	凹面布袋痕刺し縫い
	7	面戸瓦	-	-	10.0	-	4.2	2.9	やや砂質	黒	凹面
	8	道具瓦	-	-	-	-	-	1.7	やや砂質	灰	ホノ状突起／凹面離れ砂付着
	9	鯉	-	-	-	-	-	4.2	精良	暗灰	編織刻表現／凹面滑り
SX3											
110	1	軒丸瓦	15.5	2.5	-	14.8	7.9	1.9	精良	黄	透珠三巴右巻16珠／断面明瞭／離れ砂付着
	2	軒丸瓦	(11.5)	-	-	-	6.7	1.5	精良	暗灰	透珠三巴右巻16珠／離れ砂付着
	3	軒丸瓦	11.2	2.4	(30.5)	11.4	5.3	1.5	やや砂質	暗灰	透珠三巴右巻16珠／凹面縁状圧痕
	4	軒丸瓦	(10.6)	2.0	-	-	-	-	砂質	灰	透珠三巴右巻16珠／離れ砂付着
	5	軒丸瓦	(11.0)	2.0	-	-	-	-	精良	黄	透珠三巴右巻12珠／断面明瞭／離れ砂付着
	6	軒丸瓦	11.3	(2.1)	-	-	-	-	やや砂質	暗灰(縹灰)	透珠三巴右巻16珠／離れ砂付着
	7	丸瓦	-	-	-	14.3	6.0	2.4	やや砂質	黄灰～黒灰	玉縁なし／凸面凹面で／釘孔
	8	丸瓦	-	-	(36.7)	11.0	5.2	1.5	精良	灰～黒	玉縁なし／凸面凹面で／釘孔2ヶ所
	9	塀瓦	-	4.7	-	-	-	2.9	精良	灰	側面水切り溝
	10	塀瓦	-	4.8	-	-	-	2.8	やや砂質	黄	側面水切り溝、側縁割り込み
111	11	軒平瓦	-	(4.8)	-	-	-	-	砂質	暗灰(縹灰)	接合部刻み目
	12	軒平瓦	-	4.7	-	-	-	2.0	精良	黒	灰
	1	塀瓦	-	5.0	-	28.0	-	2.6	精良	暗灰	側面水切り溝、側縁割り込み
	2	塀瓦	-	(4.6)	-	(27.8)	-	2.6	精良	黄	側面水切り溝、側縁割り込み
	3	平瓦	-	-	-	23.5	2.3	2.2	やや砂質	暗橙	被熱痕／凸面、ホノ状圧痕
	4	道具瓦	-	-	-	-	-	2.3	やや砂質	暗灰	三角形平面、端部段差／釘孔
	5	面戸瓦	-	-	9.7	-	4.2	3.0	砂質	黒	凹面
	6	甕斗瓦	-	-	-	11.4	-	2.0	砂質	黒	離れ砂付着
	7	甕斗瓦	-	-	-	12.3	-	1.8	精良	灰	離れ砂付着
	8	谷丸瓦	-	-	-	(11.6)	5.8	1.6	精良	灰	凹面布袋痕刺し縫い／釘孔
	9	谷丸瓦	-	-	-	14.6	6.5	1.5	精良	黄灰～灰	凹面布袋痕刺し縫い

(15) グリッド出土遺物

調査区内からは、中・近世の遺物が大量に出土しており、その大半が近世の瓦であった。また、古代以前の遺物も少なからず出土しており、ここではそれ等を中心に説明を加えることにする。中・近世の遺物についての詳細は、視察表に譲りたい。

旧石器時代の遺物 (第113図1、2)

1、2は旧石器時代後期のナイフ形石器である。両者とも黒曜石製で、1はほぼ完形品である。基部と両側縁に、細かな調整剥離を施している。縦3.9cm、横1.5cm、厚さ0.6cmを測る。2は先端部を欠損するナイフ形石器であるが、欠損面に表裏面からの調整剥離を施している。縦1.8cm、横1.5cm、厚さ0.4cmを測る。

縄文時代の遺物 (第113図3～15)

3は黒曜石製の石鎌である。若干先端部を欠損するが、ほぼ完形品である。

4～15は縄文土器の破片である。4～9は縄文時代早期後葉の条痕文系土器群である。4は口縁部破片で、角頭状を呈する口縁部が緩く開く器形を呈し、内外面に条痕整形を施している。5～9は胴部破片で、5～8は細かな擦痕状整形の上に、粗い条痕文を施文する。9は外面に粗い条痕文、内面に擦痕整形を施す。

10、11は前期の繊維土器である黒浜式土器である。10は斜縄文のみ施されるもので、11は半截竹管による細い平行沈線でモチーフを描くもので、底部付近に縦位の文様を描いている。肋骨文系のモチーフと思われる。

12～15は中期末葉の加曾利E式土器で、口縁部破片と、胴部破片である。12は肥厚する口縁部が緩く開くキャリパー系土器の口縁部破片で、口縁部凹線区画内に縄文施文が僅かに認められる。13は地文縄文に3本位沈線懸垂文が垂下するもので、14は無地文上に浅い擦痕状の沈線文が施文される。これらの土器群は加曾利EⅢ式に比定されよう。

古墳時代前期の遺物 (第113図16～20、第114図14)

古墳時代前期の五領式土器が出土している。調査区の比較的西側に寄った部分から纏まって出土している。奈良・平安時代の住居跡内からも出土していることから、台地の縁辺部に遺構があった可能性がある。16は内彎する口縁部を持つ瓠形の甕と思われる。東海系統の土器と思われ、比較的器肉が厚く、ナデ整形もやや荒い。17～20は細かなハケ目を施す甕の破片で、17には中央部の窪む底部が付く。

第114図14は管玉である。非常に精巧な造りの管玉で、碧玉製である。径1mm以下の孔が穿たれる。古墳時代前期に位置付けておきたい。

古墳時代後期の遺物 (第113図21～36)

21～23は古墳時代後期の土師器模倣坏である。21は蓋、22、23は身の模倣坏であるが、いずれも内外面とも赤彩されている。24は土師器高坏で、かなり寸詰まりの器形となっている。いずれも6世紀の前半に位置付けられよう。

25～36は円筒埴輪の破片である。25は口縁部破片で、口縁部は面取りが施される。27、28、31の凸帯は比較的低く、凸帯のなぞり整形もややだれている。色調は白っぽいものが多く、赤褐色のものは少ない。遺跡全体に亘って散布しており、周辺に古墳址のあった可能性も否定できない。

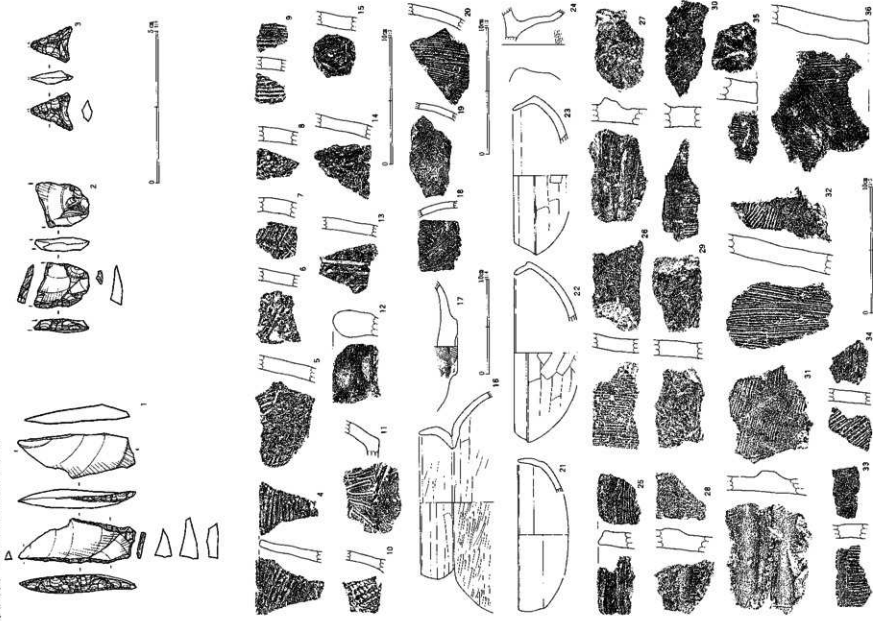
奈良・平安時代の遺物 (第114図1～13、15、16)

1、2は土師器坏、10は土師器甕、3は灰釉陶器皿、4は底部全面回転ヘラ削りの須恵器坏、5は底部周辺ヘラ削りの須恵器坏、6～8は回転糸切後未調整の須恵器坏、9は高台付の甕である。15、16は布目瓦、11～13は土師である。

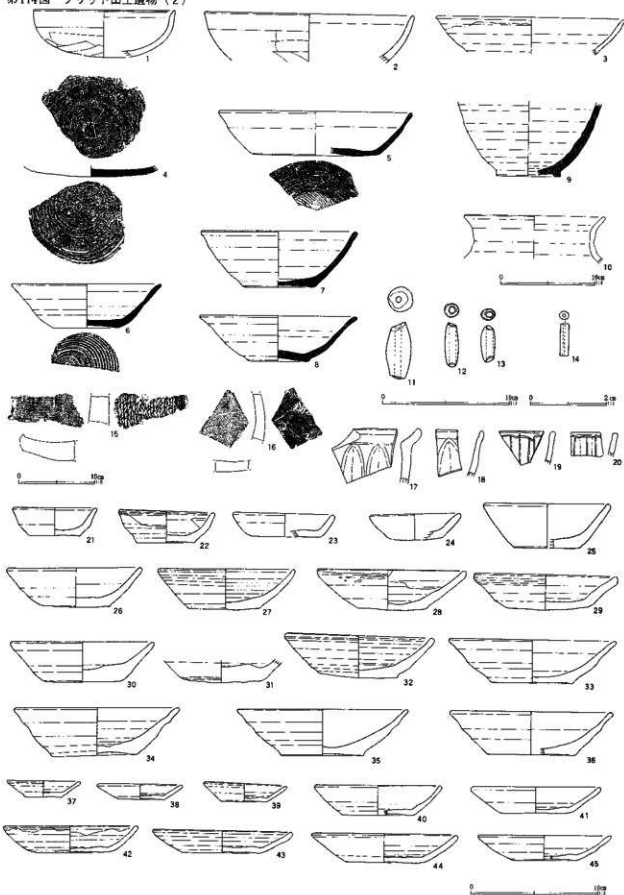
中・近世の遺物 (第114図17～45、第115～125図)

かわらけ 第114図21～45はかわらけで、21～36は中世、37～45は近世の所産で、近世のかわらけは、大きさが4段階に分類できる。中世のかわらけは底部およ

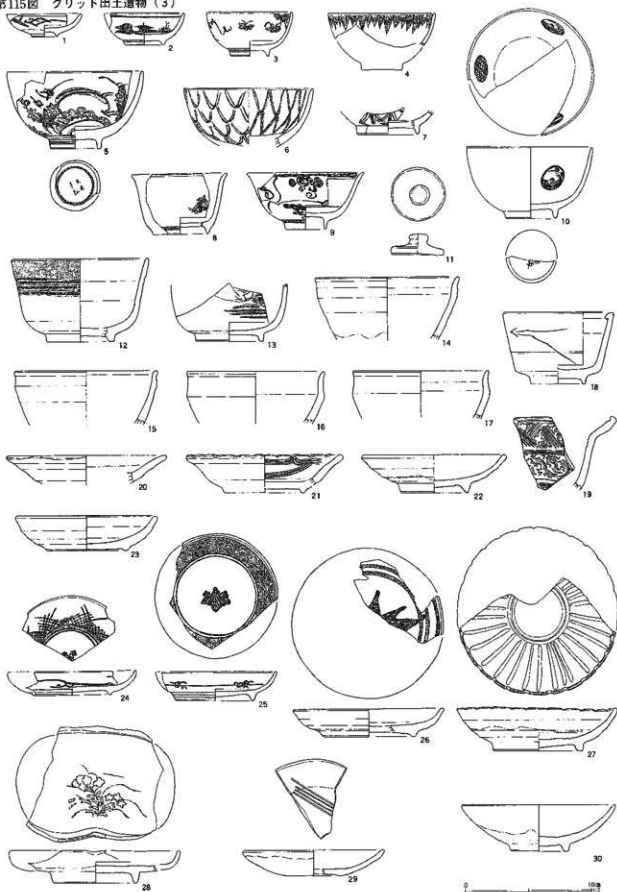
第113図 グリッド出土遺物(1)



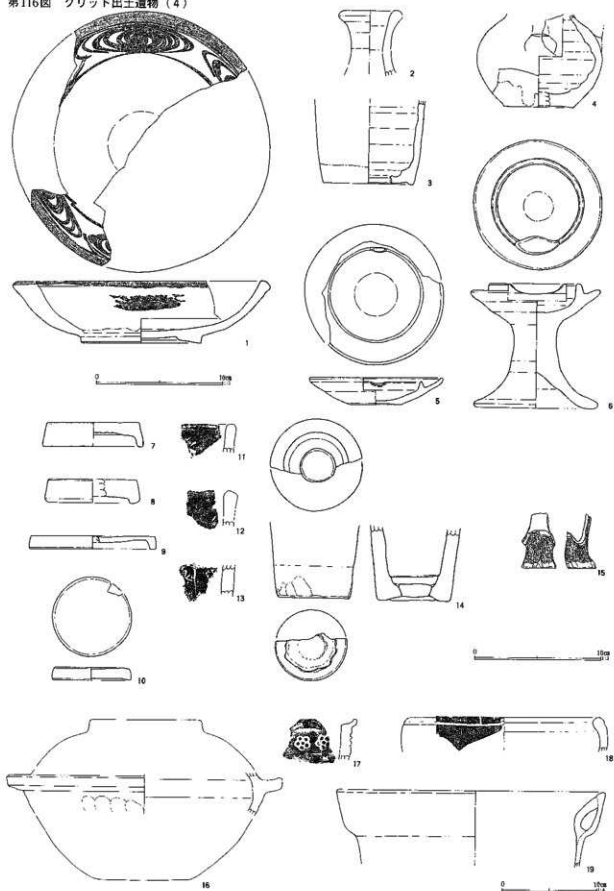
第114図 グリッド出土遺物(2)



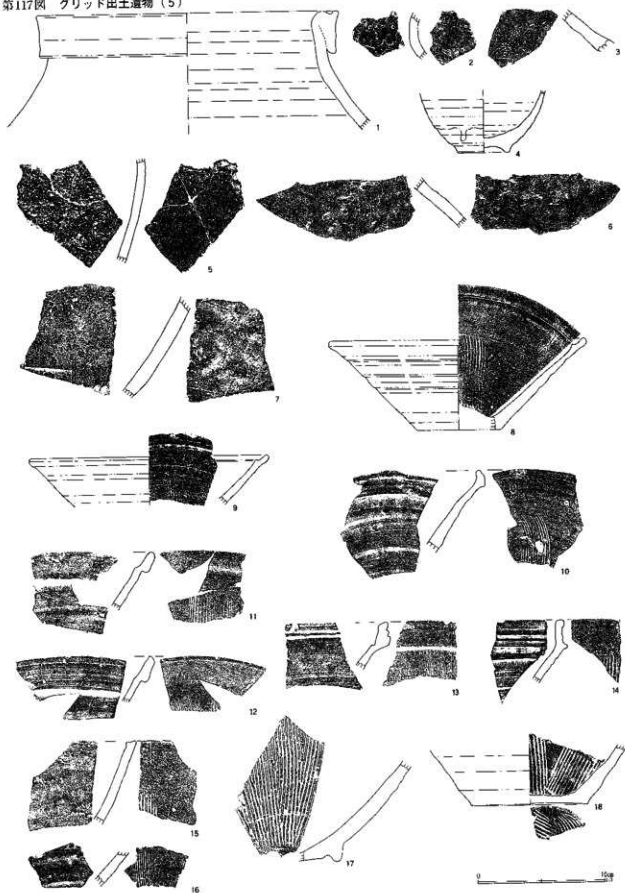
第115図 グリッド出土遺物(3)



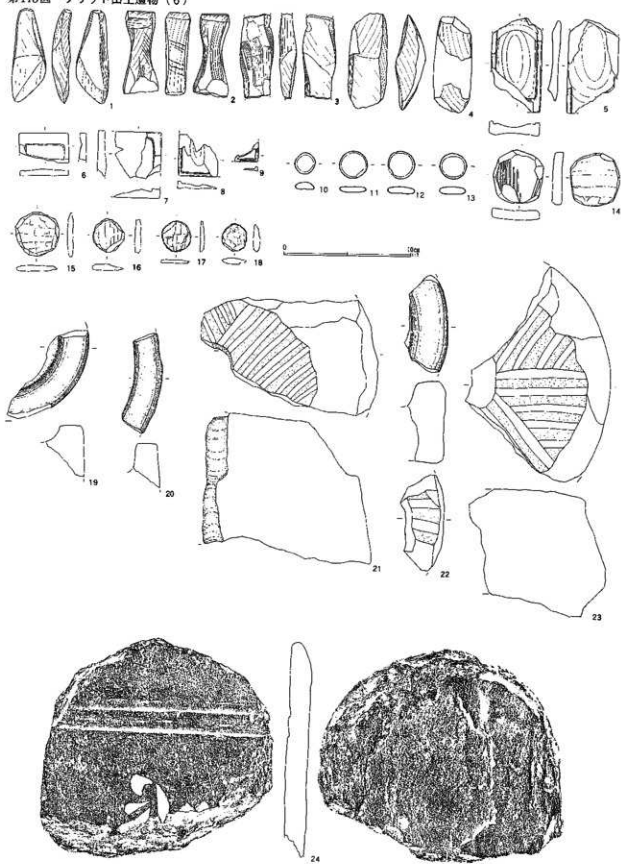
第116図 グリッド出土遺物（4）



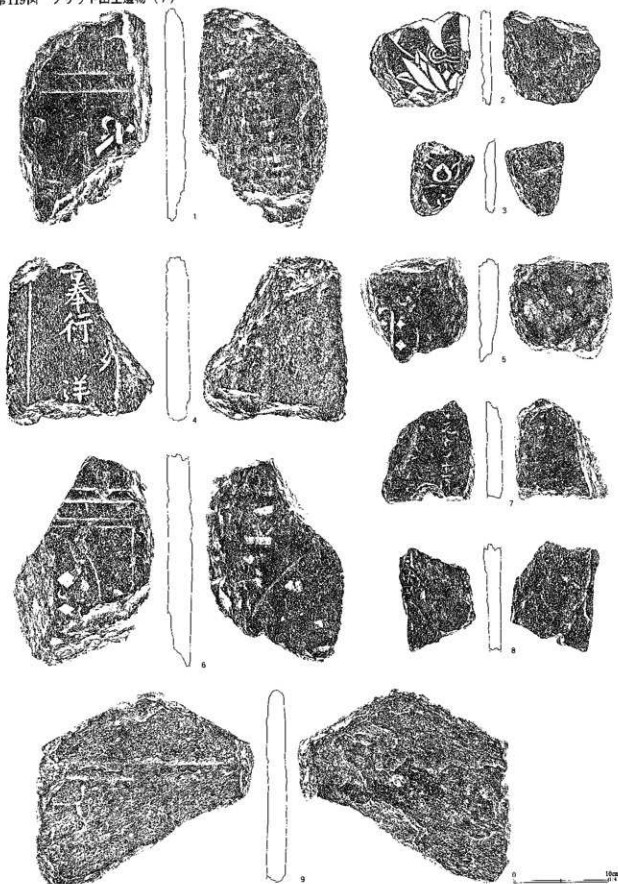
第117図 グリッド出土遺物 (5)



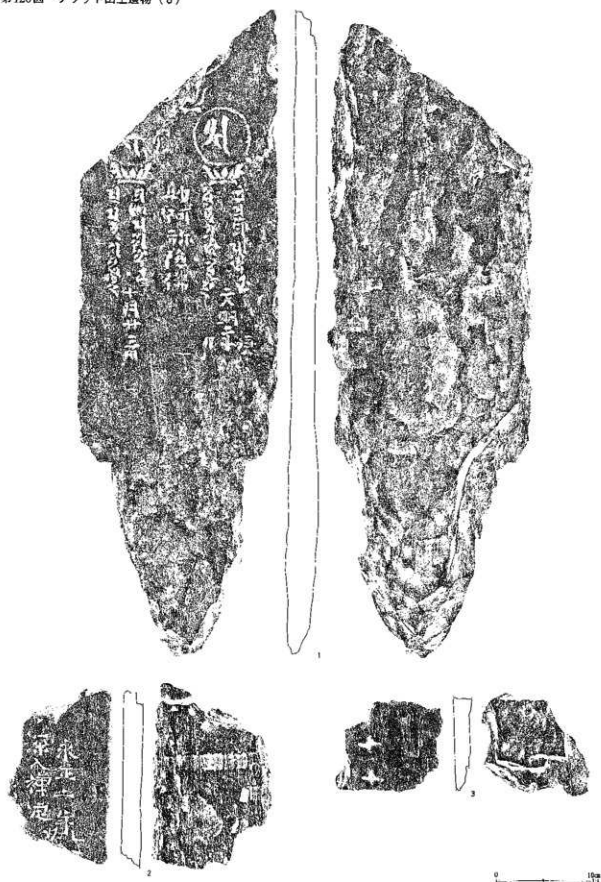
第118図 グリッド出土遺物 (6)



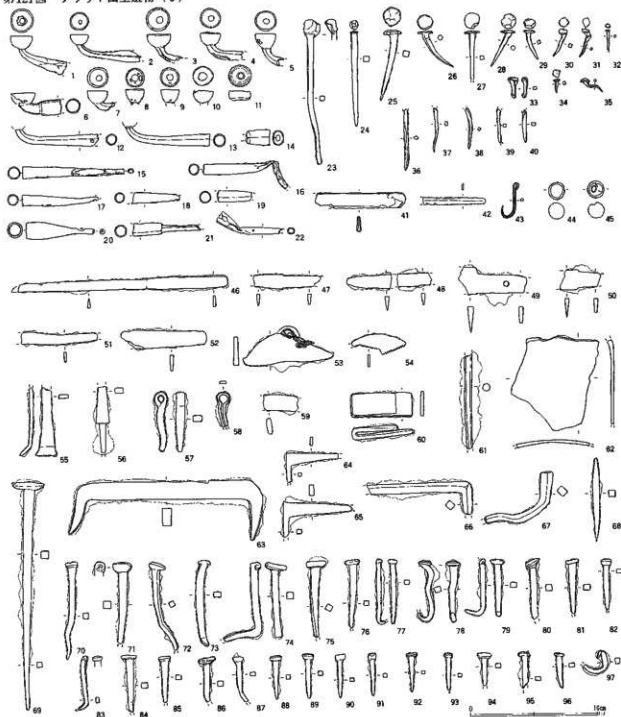
第119図 グリッド出土遺物 (7)



第120図 グリッド出土遺物（8）



第121図 グリッド出土遺物(9)



び体部の造りが厚く、器高が高く、底部内面を削り出したり、轆轤成形痕を強く残す特徴がある。これに対して、近世のかわりけは皿状のものが多く、薄くて、底部が上げ底状を呈するものが多い。

青磁 第114図17～20は青磁焼で、中世の遺物である。

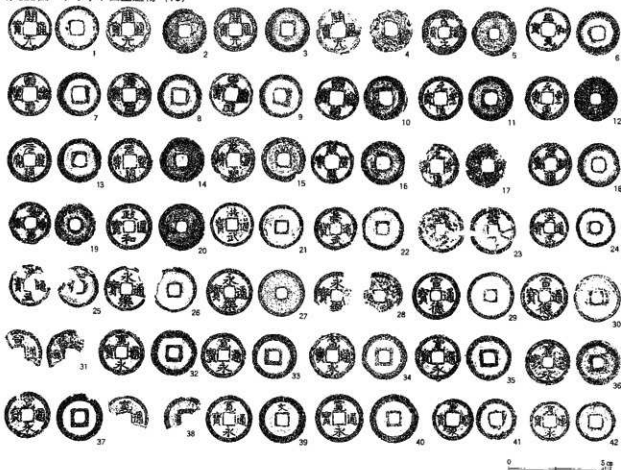
19、20は、第2号地下式墳出土第37図14と同一固体と

思われる。

陶磁器 第115図、第116図1～6、15である。近世に関する出土遺物の内容は、第1～3号廃棄遺構の内容とはほぼ一致する。第116図6は土製の台付灯明受皿である。第116図15は磁器の小人形である。

焼塩釜 第116図7・8・10～14は焼塩釜の部品で、

第122図 グリッド出土遺物 (10)



7・8・10は蓋である。かえしの深いもの、浅いもの、ないもの等バラエティーがある。14は底部の造りが良く分かるものである。

瓦質器 第116図16～19、17、18は火鉢と思われ、16は土釜、19は土鍋の破片である。中世段階のものが多し。第117図1～3、5～7はいずれも常滑の甕の破片である。第117図9～18は播鉢で、8～10、15は中世段階の、他は近世の播鉢である。

石器 第118図1～4は砥石である。5～9は硯で、5は両面を使用している。10～13は基石である。14～18は石製円盤で、14は播鉢の破片を代用している。他は結泥片岩の破片(板碑)を使用している。19から23は石臼である。

板石塔婆 第118図24、第119～120図。完形品はなく、

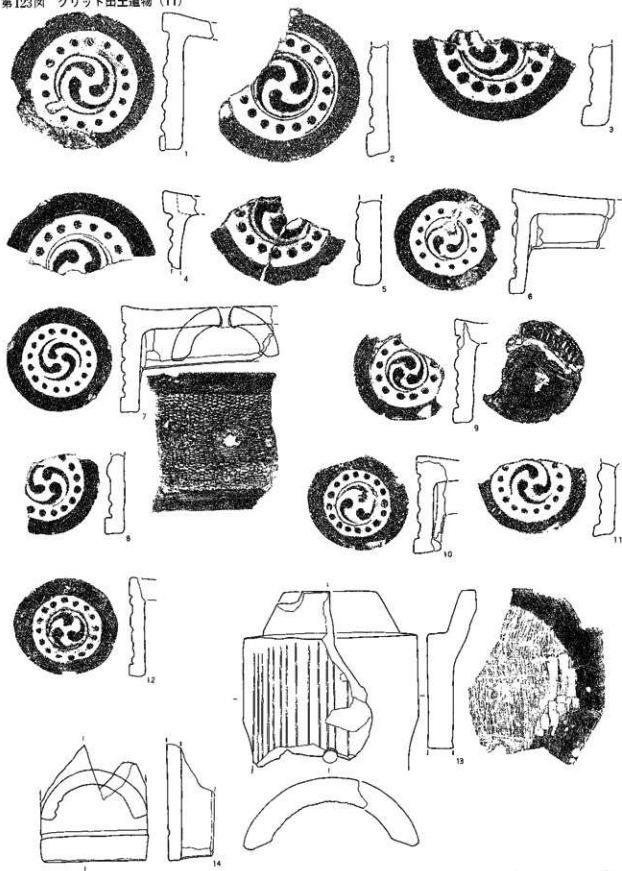
殆どが細かな破片であったが、中でも比較的大きなものを図示した。銘文が読めるものは殆どなく、第120図1は頭部を欠損するが、基部まで残っている。

青銅・鉄製品 第121図。青銅製品はキセル、簀釘などが多し。第121図43は小形の吊金具、44、45は鉄砲の弾である。鉄製品は刀子や鉄釘が日立つが各種のものが存在し、55は毛抜き、63は鋸である。

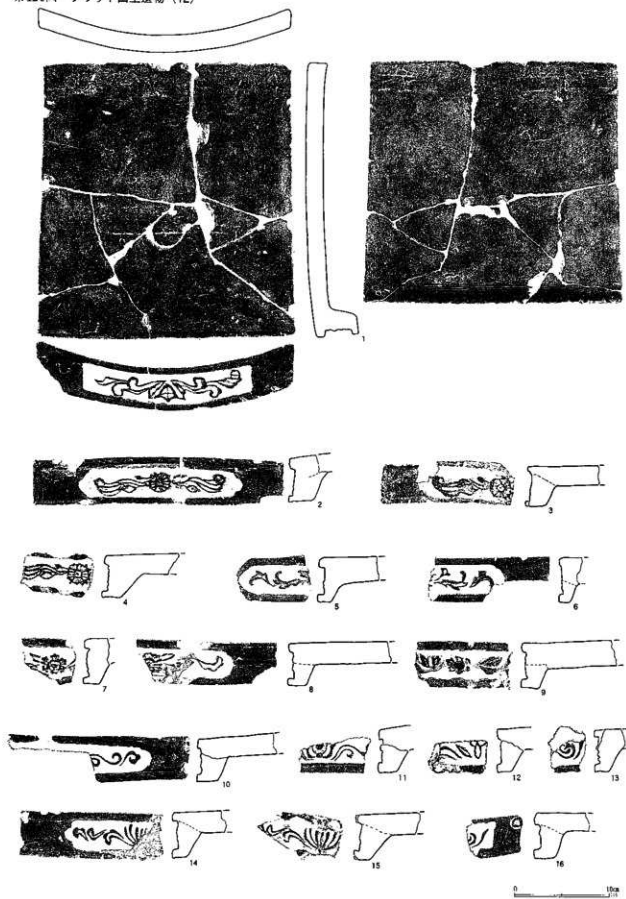
古銭 調査区内からは第Ⅵ層以下から多くの古銭が出土したが、種類は判断されるものを図示した。また、グリッドからは多量の古銭が、火を受けて融着したものも出土している。

瓦 調査区内から多量の瓦が出土している。大半は平瓦の破片であるが、軒丸瓦、丸瓦、軒平瓦、平瓦、鬘平瓦、道具瓦、鮎瓦の破片等が出土している。

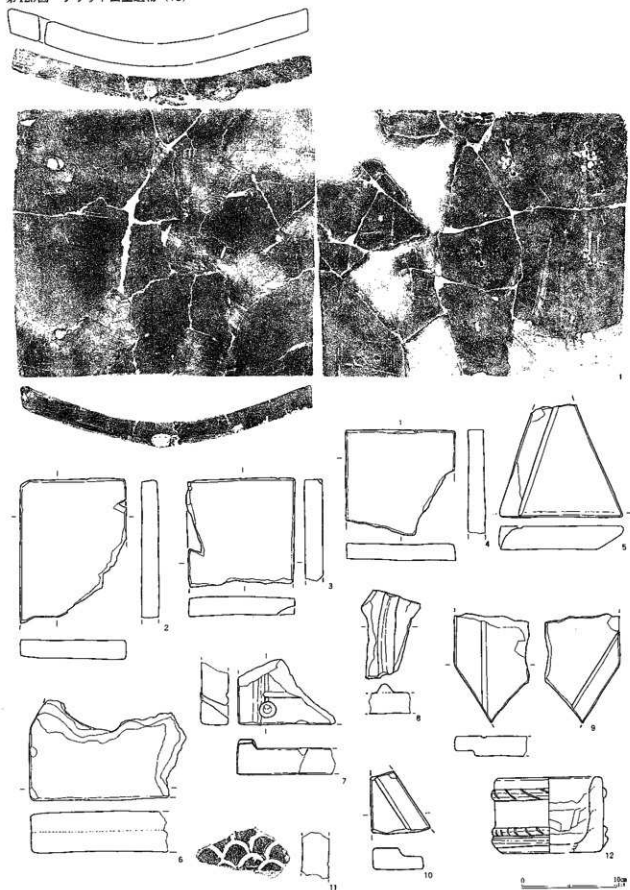
第123図 グリッド出土遺物 (11)



第124図 グリッド出土遺物 (12)



第125図 グリッド出土遺物 (13)



グリッド出土遺物観察表 (第 113 図～第 122 図)

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
113	1	石器	縦 3.9、横 1.5、厚さ 0.6cm、重さ 2.79g							ナイフ形 黒曜石製
	2	石器	縦 1.8、横 1.5、厚さ 0.4cm、重さ 1.18g							ナイフ形 黒曜石製
	3	石器	縦 1.4、横 1.3、厚さ 0.4cm、重さ 0.43g							石鏃 黒曜石製
	4	縄文土器								縄文早期後葉 条痕文系土器
	5	縄文土器								縄文早期後葉 条痕文系土器
	6	縄文土器								縄文早期後葉 条痕文系土器
	7	縄文土器								縄文早期後葉 条痕文系土器
	8	縄文土器								縄文早期後葉 条痕文系土器
	9	縄文土器								縄文早期後葉 条痕文系土器
	10	縄文土器								縄文早期後葉 条痕文系土器
	11	縄文土器								縄文前期 黒浜式土器
	12	縄文土器								縄文前期 黒浜式土器
	13	縄文土器								縄文中期末葉 加曾利 E 式土器
	14	縄文土器								縄文中期末葉 加曾利 E 式土器
	15	縄文土器								縄文中期末葉 加曾利 E 式土器
	16	土器	(15.2)	(7.9)		BCF	良好	浅黄褐色	20	SX4 古墳時代前期
	17	土器		(1.8)	4.4	ACE	普通	暗褐色	破	SJ1 古墳時代前期
	18	土器								古墳時代前期
	19	土器								古墳時代前期
	20	土器								古墳時代前期
	21	土器	(11.8)	(3.5)		ABC	普通	赤褐色	破	SJ5 全面赤彩 古墳時代後期
	22	土器	(12.6)	(4.9)		ABC	良好	赤褐色	20	ES6 全面赤彩 古墳時代後期
	23	土器	(10.5)	(4.3)		AB針	良好	赤褐色	20	E7G 全面赤彩 古墳時代後期
	24	土器		(6.7)		ABCE	普通	赤褐色	40	SJ4 埴内面・外面赤彩 古墳時代後期
	25	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	26	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	27	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	28	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	29	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	30	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	31	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	32	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	33	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	34	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	35	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	36	埴輪								円筒埴輪 古墳時代後期
114	1	土器	11.3	3.7		AC	普通	にぶい赤褐色	50	瓦葺上遺構
	2	土器	(16.5)	(3.8)		ABCD	普通	明赤褐色	破	SK113
	3	土器	(15.0)	(2.8)		A	良好	灰色	破	ESG 灰輪陶器
	4	土器		(0.8)	(9.0)	ABCE針	普通	青灰色	破	SJ5 須恵器 南北企壺 内面にへら書きあり
	5	土器	(15.2)	3.5	(10.0)	ABCE	普通	灰白色	20	G5・P1 須恵器 南北企壺
	6	土器	(11.9)	3.5	(5.3)	AE	良好	青灰色	30	SK113 須恵器
	7	土器	11.3	4.5	5.7	ACE	良好	灰色	70	SZ1 須恵器
	8	土器	(12.3)	3.6	4.8	AE	良好	灰色	30	SX2 須恵器
	9	土器		(8.0)	(7.0)	ABC	良好	灰白色	破	SZ1 須恵器
	10	土器	(15.0)	(4.7)		ABCE針	普通	赤褐色	破	SZ1
	11	土器	残存長 4.5、幅 2.0、孔径 0.5cm							SE3
	12	土器	残存長 3.5、幅 1.2、孔径 0.5cm							SD5
	13	土器	残存長 3.0、幅 1.2、孔径 0.6cm							SD5
	14	土器	残存長 0.85、幅 0.25、孔径 0.10cm							ESG
	15	土器								表面採集 平瓦
	16	土器								F3G

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
114	17	磁器	青磁碗		(4.4)						龍泉窯	B6G 13c後~14c前
	18	磁器	青磁碗		(3.6)						龍泉窯	D5G B2類 14c
	19	磁器	青磁碗		(2.6)						B区17a B4類 16c前	
	20	磁器	青磁碗		(1.9)						龍泉窯	B区17b B4類 16c前
	21	土器	かわらけ	(6.5)	2.2	(4.1)					在地系	F4G
	22	土器	かわらけ	7.7	3.0	4.5					在地系	E5G
	23	土器	かわらけ	(7.7)	1.9	5.6					在地系	G3G
	24	土器	かわらけ	(6.9)	2.1	(4.3)					在地系	F4G
	25	土器	かわらけ	(9.6)	3.5	(5.2)					在地系	F4G
	26	土器	かわらけ	(10.5)	3.2	5.4					在地系	F4G
	27	土器	かわらけ	(10.9)	3.2	5.7					在地系	E7G
	28	土器	かわらけ	(11.9)	3.2	(5.3)					在地系	D6G
	29	土器	かわらけ	(11.4)	2.8	6.3					在地系	E7G
	30	土器	かわらけ	(11.2)	3.2	6.2					在地系	D7G
	31	土器	かわらけ		(1.7)	6.3					在地系	E6G
	32	土器	かわらけ	(11.9)	3.4	6.3					在地系	E5G
	33	土器	かわらけ	(13.0)	3.4	(6.4)					在地系	F3G
	34	土器	かわらけ	12.9	3.9	6.8					在地系	SJ2-5
	35	土器	かわらけ	(13.4)	3.6	6.4					在地系	F3G
	36	土器	かわらけ	(12.6)	3.4	(7.0)					在地系	SJ5
	37	土器	かわらけ	(5.9)	1.3	2.9					在地系	E6G
	38	土器	かわらけ	6.9	1.2	3.7					在地系	E6G
	39	土器	かわらけ	(6.7)	1.4	(3.4)					在地系	E6G
	40	土器	かわらけ	(9.8)	2.3	(5.6)					在地系	E5G
	41	土器	かわらけ	(10.1)	2.1	5.8					在地系	E5G
	42	土器	かわらけ	10.8	2.1	5.9					在地系	E6G
	43	土器	かわらけ	11.1	1.8	6.1					在地系	E5G
	44	土器	かわらけ	(11.6)	2.3	(6.3)					在地系	E6G
	45	土器	かわらけ	(10.5)	2.0	(5.0)					在地系	表面採集
115	1	磁器	紅猪口	5.8	1.8	2.0		浅丸形	草花文			E6G 1780~
	2	磁器	紅猪口	6.4	2.6	3.2		浅丸形	龍山山水文			E6G
	3	磁器	小碗	6.5	3.5	3.0		丸形	龍山山水文			肥前系 表面採集
	4	磁器	小碗	(8.4)	(2.6)			丸形	雨降り文			肥前系 表面採集
	5	磁器	中碗	10.6	6.1	4.0		丸形	草花文			E6G
	6	磁器	中碗	(10.0)	(4.6)			丸形	二重割目文	二重割目文	肥前系	E6G 18c後
	7	磁器	中碗	(2.1)	(4.7)							E6G 色絵
	8	磁器	猪口	(7.6)	4.8	(4.4)		腰張形			肥前系	E6G
	9	磁器	中碗	(9.4)	4.5	(3.2)		端反形	仙芝観音文			E7G
	10	磁器	中碗	10.0	5.7	(4.0)		丸形		丸文	肥前系	E5G 18c「太明年製」紅
	11	陶器	蓋	4.0	1.6	1.5					B区No9	
	12	陶器	中碗	(11.6)	6.6	(5.2)		腰張形			瀬戸美濃	E6G 17c後 腰緒茶碗
	13	陶器	中碗	(4.6)	5.3			腰張形			京焼風	E6G 17c後
	14	陶器	中碗	(11.4)	(5.0)			天目形			瀬戸美濃	表面採集 17c前
	15	陶器	中碗	(11.2)	(4.3)			天目形			瀬戸美濃	C区No5 17c前
	16	陶器	中碗	(10.8)	(4.2)			天目形			瀬戸美濃	表面採集 17c前
	17	陶器	中碗	(10.7)	(3.8)			天目形			瀬戸美濃	E6G 17c前
	18	陶器	香炉・火入れ	8.7	5.8	4.4		半筒形	折板垂文		瀬戸美濃	E6G 19c
	19	陶器	鉢	(5.8)				腰折形			唐 津	表面採集
	20	陶器	緑釉皿	(12.4)	(2.2)			端反形			瀬 戸	E9G 15c後 灰釉
	21	磁器	小皿	(12.1)	3.0	(6.4)		端反輪花形			中 国	E5G 15c後 青磁釉
	22	陶器	小皿	(11.2)	3.0	(5.4)		丸形				E6G

国版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
115	23	陶器	小皿	(11.0)	3.0	(6.4)		丸形			瀬戸美濃	E6G 長石釉
	24	磁器	小皿	(10.0)	1.9	(6.0)		丸形底広	唐草文	見込玉草花	肥前	E6G
	25	磁器	小皿	9.6	2.3	6.3		丸形底広	唐草文	見込玉草花		E5G
	26	陶器	小皿	(10.8)	2.2	(7.2)		丸形			瀬戸美濃	E7G 志野織部 鉄絵文里
	27	陶器	小皿	(12.8)	3.3	7.2		菊形			瀬戸美濃	E5G 17c後
	28	陶器	中皿		2.6	6.6		変形		草花文	瀬戸美濃	E5G 捺絵 御深井釉
	29	陶器	小皿	(11.0)	2.0	(4.4)		丸形			保楽	E7G 19c前 見込鶴目
	30	陶器	小皿	(10.2)	3.7	(4.7)		丸形底狭			唐津	C区 見込蛇の目釉割き
116	1	陶器	中皿	20.4	4.9	(9.6)					瀬戸美濃	E7G 18c後 蛇の目高台
	2	陶器	大瓶	4.0	(5.0)						瀬戸美濃	E6G
	3	陶器	中瓶		(6.7)	(7.1)					瀬戸美濃	E7G
	4	陶器	小壺		(7.3)	(5.4)						D5G
	5	陶器	灯明受皿	(10.6)	2.2	4.2		油漬半月状				表面採集
	6	土器	灯明受皿	10.3	9.9	9.9	7.1				在地系	B区VI層上 白付
	7	土器	蓋	7.9	2.0	7.2					在地系	E6G
	8	土器	蓋	(7.6)	1.9	(6.9)					在地系	E6G
	9	陶器	蓋	(10.1)	1.0	(9.8)					在地系	E7G
	10	土器	蓋	6.2	1.0	5.9					在地系	表面採集
117	11	土器	塩焼壺		(3.0)						在地系	表面採集
	12	土器	塩焼壺		(3.8)						在地系	表面採集
	13	土器	塩焼壺								在地系	B区
	14	土器	塩焼壺		(5.8)						在地系	D5G
	15	磁器	人形	(2.6)	(4.3)	(2.5)		割丸形			在地系	E6G
	16	土器	釜		(4.6)						在地系	E5G
	17	土器	火鉢鉢		(4.3)						在地系	E6G
	18	土器	火鉢鉢	(20.2)	(3.5)						在地系	B区
	19	土器	土鍋	(27.0)	(8.0)						在地系	F4G・P222
	1	磁器	大壺	(32.0)	(12.5)						常滑	G3G
118	2	磁器	壺								常滑	SJ2北西上層 灰釉
	3	磁器	壺								常滑	表面採集 押印帯
	4	陶器	小壺		(5.0)	4.0						E6G 灰釉
	5	磁器	壺								常滑	SJ2北西上層
	6	磁器	壺								常滑	SJ2
	7	磁器	壺								常滑	SJ2北西上層
	8	磁器	鉢鉢	(26.8)	9.6	(9.0)					瀬戸美濃	G5G・P2
	9	磁器	鉢鉢	(23.2)	(5.2)						瀬戸美濃	SJ2北西
	10	磁器	鉢鉢		(8.6)						瀬戸美濃	E7G
	11	磁器	鉢鉢		(6.0)						瀬戸美濃	E7G
119	12	磁器	鉢鉢		(4.9)						瀬戸美濃	E6G
	13	磁器	鉢鉢		(5.0)						瀬戸美濃	E6G
	14	磁器	鉢鉢		(6.7)							表面採集
	15	磁器	鉢鉢		(9.0)						在地系	表面採集
	16	磁器	鉢鉢								瀬戸美濃	SJ2
	17	磁器	鉢鉢	(10.5)							瀬戸美濃	表面採集
	18	磁器	鉢鉢	(6.0)	(12.4)						瀬戸美濃	表面採集
118	1	石	砥石	残存長 10.0、幅 3.5、厚さ 2.0cm								E5G
	2	石	砥石	残存長 9.9、幅 3.8、厚さ 2.5cm								E6G
	3	石	砥石	残存長 9.0、幅 3.5、厚さ 1.9cm								表面採集
	4	石	砥石	残存長 10.2、幅 4.1、厚さ 3.1cm								D5G

国版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産地	備 考
				a	b	c	d		外面	内面		
118	5	石	硯	残存長 10.0、幅 5.4、厚さ 1.4cm								E7G
	6	石	硯	残存長 3.2、幅 5.3、厚さ 0.6cm								ESG
	7	石	硯	残存長 4.9、幅 4.9、厚さ 1.0cm								E6G
	8	石	硯	残存長 4.4、幅 4.2、厚さ 0.8cm								E7G
	9	石	硯	残存長 2.1、幅 2.6、厚さ 0.3cm								E7G
	10	石	白 芥 石	直径 1.7、厚さ 0.5cm								E6G
	11	石	黒 芥 石	直径 2.2、厚さ 0.4cm								ESG
	12	石	黒 芥 石	直径 2.2、厚さ 0.5cm								BK西
	13	石	黒 芥 石	直径 2.2、短径 2.0、厚さ 0.7cm								
	14	陶 器	指鉢裏内盤	直径 5.6、短径 5.3、厚さ 1.2cm								E6G
	15	石	石製内盤	直径 4.7、厚さ 0.7cm								表面採集
	16	石	石製内盤	直径 4.7、短径 4.4、厚さ 0.9cm								瓦散下遺構
	17	石	石製内盤	直径 3.3、短径 3.0、厚さ 0.5cm								E6G
	18	石	石製内盤	直径 3.0、短径 2.7、厚さ 0.8cm								ESG
	19	石	石 臼	残存長 12.5、高 5.5cm								ESG
	20	石	石 臼	残存長 10.7、高 5.3cm								E6G
	21	石	石 臼	残存長 12.3、高 15.1cm								CK
	22	石	石 臼	残存長 10.2、高 8.8cm								ESG
	23	石	石 臼	残存長 22.8、高 13.5cm								ESG
	24	石	板 碑	残存長 22.9、幅 24.0、厚さ 2.3cm								
119	1	石	板 碑	残存長 22.4、幅 12.0、厚さ 2.1cm								
	2	石	板 碑	残存長 10.0、幅 8.1、厚さ 1.0cm								
	3	石	板 碑	残存長 7.6、幅 5.0、厚さ 1.1cm								
	4	石	板 碑	残存長 17.3、幅 15.5、厚さ 2.5cm								「奉行 洋」
	5	石	板 碑	残存長 10.3、幅 9.5、厚さ 2.1cm								
	6	石	板 碑	残存長 22.5、幅 10.9、厚さ 2.6cm								
	7	石	板 碑	残存長 10.2、幅 9.1、厚さ 1.7cm								
	8	石	板 碑	残存長 11.4、幅 7.2、厚さ 1.8cm								
	9	石	板 碑	残存長 20.5、幅 21.5、厚さ 2.0cm								
120	1	石	板 碑	残存長 68.3、幅 21.0、厚さ 3.3cm								「妙阿弥陀佛 文明二年 (1470) 十月廿三日」
	2	石	板 碑	残存長 18.5、幅 10.3、厚さ 2.1cm								「漢入神定 永正二年(1505)」
121	3	石	板 碑	残存長 9.8、幅 10.0、厚さ 2.0cm								
	1	銅	煙管雁首	火皿径 1.8、現存長 4.5cm								
	2	銅	煙管雁首	火皿径 1.5、現存長 5.7cm								
	3	銅	煙管雁首	火皿径 1.9、現存長 2.9cm								
	4	銅	煙管雁首	火皿径 1.6、現存長 3.4cm								
	5	銅	煙管雁首	火皿径 1.7、現存長 2.3cm								
	6	銅	煙管雁首	現存長 4.0cm								
	7	銅	煙管雁首	火皿径 1.6、現存長 2.2cm								
	8	銅	煙管雁首	火皿径 1.5cm								
	9	銅	煙管雁首	火皿径 1.5cm								
	10	銅	煙管雁首	火皿径 1.7cm								
	11	銅	煙管雁首	火皿径 1.8、厚さ 0.7cm								
	12	銅	煙管雁首	径 0.9、現存長 6.6cm								
	13	銅	煙管雁首	径 0.9、現存長 6.8cm								
	14	銅	煙管雁首	径 1.2cm、現存長 1.9cm								
	15	銅	煙管吸口	径 0.9、長さ 8.1cm								
	16	銅	煙管吸口	径 0.8、現存長 6.7cm								
	17	銅	煙管吸口	径 0.9、現存長 6.1cm								

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産地	備 考
				a	b	c	d		外面	内面		
121	18	銅	煙管吸口	径 0.8、現存長 3.9cm								
	19	銅	煙管吸口	径 0.9、現存長 2.8cm								
	20	銅	煙管吸口	径 1.2、長さ 5.4cm								
	21	銅	煙管吸口	径 1.0、現存長 5.5cm								
	22	銅	煙管吸口	径 0.5、現存長 5.3cm								
	23	銅	頭 巻 釘	頭幅 1.3、現存長 11.4cm								
	24	銅	釘	頭幅 0.6、長さ 7.5cm								
	25	銅	釘	頭幅 1.4、現存長 5.3cm								
	26	銅	釘	頭幅 1.2、長さ 2.7cm								
	27	銅	釘	頭幅 1.3、現存長 3.8cm								
	28	銅	釘	頭幅 1.2、長さ 3.3cm								
	29	銅	釘	頭幅 0.9、長さ 2.3cm								
	30	銅	釘	頭幅 0.6、長さ 2.4cm								
	31	銅	釘	頭幅 0.6、長さ 2.3cm								
	32	銅	釘	頭幅 0.4、長さ 1.6cm								
	33	銅	釘	頭幅 0.9、現存長 1.6cm								
	34	銅	釘	頭幅 0.6、長さ 1.1cm								
	35	銅	釘	頭幅 0.7、長さ 2.0cm								
	36	銅	釘	現存長 4.9cm								脚部
	37	銅	釘	現存長 3.5cm								脚部
	38	銅	釘	現存長 3.3cm								脚部
	39	銅	釘	現存長 2.7cm								脚部
	40	銅	釘	現存長 2.6cm								脚部
	41	鉄	小 柄	幅 1.3、現存長 7.3、厚さ 0.4cm								
	42	鉄	斧	幅 0.6、現存長 5.0cm								
	43	鉄	吊 金 具	断面径 0.2、現存長 2.9cm								
	44	不 明	鉄 砲 玉	径 1.2cm								
	45	不 明	鉄 砲 玉	径 1.3cm								
	46	鉄	小 柄	現存長 17.2、幅 0.9、厚さ 0.2cm								
	47	鉄	刀 子	現存長 5.4、刀幅 1.2、背幅 0.3cm								
	48	鉄	刀 子	現存長 6.7、刀幅 1.1、背幅 0.3cm								
	49	鉄	短 刀	現存長 5.5、刀幅 2.1、背幅 4.0cm								
	50	鉄	刀 子	現存長 3.2、刀幅 1.6、背幅 0.3cm								
	51	鉄	不 明	幅 1.1、現存長 6.1cm								刀子茎か？
	52	鉄	不 明	現存長 6.8、刀幅 1.5、背幅 0.3cm								刀子茎か？
	53	銅・鉄	火 打 金	幅 7.2、長さ 3.6cm								銅線の吊子付
	54	鉄	不 明	幅 0.9、現存長 1.7cm								刃が鋸上の工具
	55	鉄	毛 抜 き	幅 1.3、現存長 5.3cm								
	56	鉄	鉄 鋸	幅 1.1、現存長 5.3cm								
	57	鉄	不 明	端部幅 1.0、長さ 4.8cm								
	58	鉄	不 明	端部幅 1.0、長さ 2.7cm								
	59	鉄	不 明	幅 1.3、現存長 2.7cm								
	60	鉄	不 明	幅 2.1、長さ 4.9cm								
	61	鉄	不 明	幅 0.6、現存長 7.5cm								
	62	鉄	不 明	幅 5.8、現存長 6.6cm								
	63	鉄	鋸	長さ 15.4、幅 4.8cm								
	64	鉄	不 明	幅 2.3、長さ 4.1cm								
	65	鉄	不 明	幅 2.8、現存長 5.4cm								
	66	鉄	鋸 ?	幅 2.6、現存長 8.4cm								
	67	鉄	角 釘	現存長 4.3cm								
	68	鉄	合 釘	長さ 6.3cm								

図版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
121	69	鉄	瓦 釘	頭幅 2.5、長さ 18.0cm								
	70	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 7.7cm								
	71	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 6.4cm								
	72	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 7.1cm								
	73	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 6.8cm								
	74	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 6.0cm								
	75	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 6.1cm								
	76	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 5.4cm								
	77	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 5.1cm								
	78	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.8cm								
	79	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 4.5cm								
	80	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.8cm								
	81	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.3cm								
	82	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 4.0cm								
	83	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 4.2cm								
	84	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.5cm								
	85	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.7cm								
	86	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.6cm								
	87	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.5cm								
	88	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.5cm								
	89	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.6cm								
	90	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 3.5cm								
	91	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 3.4cm								
	92	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.2cm								
	93	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 2.9cm								
	94	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 2.6cm								
	95	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.9cm								
	96	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 2.9cm								
	97	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、現存長 1.8cm								

グリッド出土古銭観察表

国版	番号	材質	器種	法 量 (cm)				形状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
122	1	古 銭	開元通寶	錢径 23.8、	内径 20.1、	錢厚 1.12mm、	景目 2.12g				唐 621年	
	2	古 銭	開元通寶	錢径 24.2、	内径 20.5、	錢厚 1.23mm、	景目 1.57g				唐 621年	
	3	古 銭	開元通寶	錢径 23.8、	内径 18.9、	錢厚 1.45mm、	景目 3.06g				唐 621年	
	4	古 銭	開元通寶	錢径 24.5、	内径 20.4、	景目 1.96g					唐 621年	
	5	古 銭	至道通寶	錢径 24.0、	内径 16.3、	錢厚 1.51mm、	景目 2.70g				北宋 995年	
	6	古 銭	至和元寶	錢径 23.7、	内径 19.7、	錢厚 1.31mm、	景目 2.17g				北宋 1054年	
	7	古 銭	熙寧元寶	錢径 23.8、	内径 20.0、	錢厚 1.12mm、	景目 2.43g				北宋 1068年	
	8	古 銭	熙寧元寶	錢径 23.9、	内径 19.9、	錢厚 1.40mm、	景目 2.25g				北宋 1068年	
	9	古 銭	熙寧元寶	錢径 23.8、	内径 20.7、	錢厚 1.70mm、	景目 2.80g				北宋 1068年	蒙古
	10	古 銭	熙寧元寶	錢径 23.9、	内径 20.8、	錢厚 1.21mm、	景目 2.41g				北宋 1068年	蒙古
	11	古 銭	元豐通寶	錢径 23.8、	内径 19.0、	錢厚 1.35mm、	景目 2.93g				北宋 1072年	
	12	古 銭	元豐通寶	錢径 23.7、	内径 18.2、	錢厚 1.50mm、	景目 2.97g				北宋 1072年	
	13	古 銭	元豐通寶	錢径 23.9、	内径 18.7、	錢厚 1.25mm、	景目 2.56g				北宋 1072年	
	14	古 銭	元豐通寶	錢径 24.3、	内径 19.0、	錢厚 1.08mm、	景目 2.01g				北宋 1072年	
	15	古 銭	元豐通寶	錢径 24.3、	内径 19.4、	錢厚 1.20mm、	景目 2.38g				北宋 1072年	
	16	古 銭	元豐通寶	錢径 23.5、	内径 19.6、	錢厚 1.60mm、	景目 1.80g				北宋 1072年	
	17	古 銭	元豐通寶	錢径 23.8、	内径 18.4、	景目 1.16g					北宋 1072年	
	18	古 銭	元?通寶	錢径 23.7、	内径 19.0、	錢厚 1.45mm、	景目 2.08g				北宋 1086年	
	19	古 銭	元符通寶	錢径 22.9、	内径 18.3、	錢厚 1.49mm、	景目 2.57g				北宋 1098年	
	20	古 銭	政和通寶	錢径 24.9、	内径 19.9、	錢厚 1.45mm、	景目 2.85g				北宋 1111年	
	21	古 銭	洪武通寶	錢径 23.4、	内径 20.0、	錢厚 1.99mm、	景目 2.08g				明 1368年	
	22	古 銭	洪武通寶	錢径 23.0、	内径 19.0、	錢厚 1.85mm、	景目 1.99g				明 1368年	
	23	古 銭	洪武通寶	錢径 25.2、	内径 20.6、	錢厚 1.90mm、	景目 1.54g				明 1368年	
	24	古 銭	洪武通寶	錢径 21.2、	内径 17.3、	錢厚 1.55mm、	景目 2.04g				明 1368年	
	25	古 銭	洪武通寶	錢径 22.2、	内径 19.2、	錢厚 1.59mm、	景目 1.11g				明 1368年	
	26	古 銭	永樂通寶	錢径 24.2、	内径 21.3、	錢厚 1.40mm、	景目 1.74g				明 1408年	
	27	古 銭	永樂通寶	錢径 24.9、	内径 21.1、	錢厚 1.30mm、	景目 2.10g				明 1408年	
	28	古 銭	永樂通寶	錢厚 1.80mm、	景目 1.33g						明 1408年	
	29	古 銭	宣德通寶	錢径 25.3、	内径 21.0、	錢厚 1.40mm、	景目 2.35g				明 1433年	
	30	古 銭	宣德通寶	錢径 25.4、	内径 21.8、	錢厚 1.30mm、	景目 2.33g				明 1433年	
	31	古 銭	宣德通寶	錢厚 1.60mm、	景目 1.08g						明 1433年	
	32	古 銭	宣德通寶	錢径 24.9、	内径 20.2、	錢厚 1.15mm、	景目 2.71g				古 1636~1656年	
	33	古 銭	宣德通寶	錢径 24.2、	内径 19.9、	錢厚 1.35mm、	景目 3.01g				古 1636~1656年	
	34	古 銭	宣德通寶	錢径 24.7、	内径 20.3、	錢厚 1.10mm、	景目 1.96g				古 1636~1656年	
	35	古 銭	宣德通寶	錢径 24.1、	内径 19.9、	錢厚 1.10mm、	景目 1.73g				古 1636~1656年	
	36	古 銭	宣德通寶	錢径 24.3、	内径 20.0、	錢厚 1.70mm、	景目 2.43g				古 1636~1656年	
	37	古 銭	宣德通寶	錢径 25.1、	内径 20.3、	錢厚 1.29mm、	景目 2.79g				古 1636~1656年	
	38	古 銭	宣德通寶	錢径 22.2、	内径 20.0、	景目 1.03g						
	39	古 銭	宣德通寶	錢径 25.2、	内径 20.0、	錢厚 1.40mm、	景目 2.86g				文銭 1668年	
	40	古 銭	宣德通寶	錢径 25.9、	内径 20.7、	錢厚 1.25mm、	景目 3.15g				新 1673~1741年	
	41	古 銭	宣德通寶	錢径 22.0、	内径 18.1、	錢厚 1.40mm、	景目 1.87g				新 1673~1741年	
	42	古 銭	宣德通寶	錢径 21.8、	内径 18.2、	錢厚 0.85mm、	景目 1.28g				新 1673~1741年	

グリッド出土瓦観察表

図版	番号	遺構	種類	瓦当径	瓦当厚	全長	全幅	高さ	厚み	胎土	色調	備考
123	1	F6	軒丸瓦	14.5	(2.5)	-	-	-	1.7	やや砂質	暗灰	通珠三巴右巻16珠/雨線明瞭
	2	E6	軒丸瓦	15.8	2.5	-	-	-	-	精良	黒灰	通珠三巴右巻16珠/雨線明瞭/磨れ砂付着
	3	E6	軒丸瓦	(17.5)	2.9	-	-	-	-	やや砂質	暗灰	通珠三巴右巻/雨線明瞭
	4	E6	軒丸瓦	-	-	-	-	-	1.9	精良	灰	通珠三巴右巻/雨線明瞭/瓦当部に木目
	5	SD7	軒丸瓦	(15.0)	2.9	-	-	-	-	砂質	暗灰	通珠三巴右巻/雨線明瞭
	6	E6	軒丸瓦	11.0	1.7	-	-	5.4	1.7	やや砂質	灰	通珠三巴右巻12珠/雨線明瞭/釘孔
	7	F5	軒丸瓦	11.3	2.0	-	11.4	5.8	1.9	やや砂質	暗灰	通珠三巴右巻16珠/釘孔
	8	E6	軒丸瓦	-	2.1	-	-	-	-	砂質	黒灰	通珠三巴左巻/断面黄灰
	9	E6	軒丸瓦	(11.0)	2.0	-	-	-	-	やや砂質	暗灰	通珠三巴右巻(12珠)/雨線明瞭/接合部割み目
	10	SD6	隅軒丸瓦	(10.3)	(2.9)	-	-	-	(2.4)	やや砂質	黄灰	通珠三巴右巻16珠/雨線明瞭/磨れ砂付着
	11	E6	軒丸瓦	10.8	2.2	-	-	-	-	やや砂質	黄灰	通珠三巴右巻/被熱により一部焼灰
	12	SB6-P2	軒丸瓦	10.5	1.8	-	-	-	(2.0)	やや砂質	暗灰	通珠三巴右巻16珠/雨線明瞭/接合部かき目
	13	F6	丸瓦	-	-	(18.6)	7.5	2.6	-	精良	暗灰	玉縁長15cm/割線斜り込み/四面押状圧痕
	14	E6	丸瓦	-	-	-	11.4	5.0	1.5	精良	暗灰	凸面端部水切り溝/凹面布袋痕斜し織い
124	1	SK51	軒平瓦	-	4.6	20.3	27.0	-	1.8	やや砂質	黄灰	谷溝さ3.8cm/定形
	2	E6	塀瓦	-	4.7	-	-	-	2.0	やや砂質	暗灰	側面水切り溝
	3	SD5	塀瓦	-	4.3	-	-	-	2.1	やや砂質	灰	側面水切り溝
	4	E6	塀瓦	-	4.5	-	-	-	2.2	砂質	灰白	-
	5	E6	塀瓦	-	4.8	-	-	-	2.6	やや砂質	黒灰	-
	6	表様	塀瓦	-	4.8	-	-	-	2.7	精良	暗灰	側面水切り溝
	7	F6	塀瓦	-	4.8	-	-	-	-	精良	暗灰	接合部割み目
	8	F6	塀瓦	-	4.5	-	-	-	2.2	やや砂質	黒灰	側面水切り溝
	9	F6	塀瓦	-	4.8	-	-	-	2.7	精良	暗灰	-
	10	SK4	塀瓦	-	4.5	(26.3)	-	-	2.2	精良	黒灰	側面水切り溝/割線斜り込み/接合部割み目
	11	E6	塀瓦	-	(4.7)	-	-	-	-	やや砂質	黄灰	接合部割み目/キラコ付着
	12	E6	塀瓦	-	(4.6)	-	-	-	-	やや砂質	暗灰	接合部割み目
	13	表様	軒平瓦	-	4.5	-	-	-	2.2	やや砂質	黄灰	江戸式
	14	E6	塀瓦	-	4.8	-	-	-	2.3	精良	暗灰	側面水切り溝
	15	F6	塀瓦	-	4.8	-	-	-	2.2	やや砂質	灰白	-
	16	F6	軒平瓦	-	4.8	-	-	-	1.8	やや砂質	黒灰	江戸式/瓦当面刻印「九に三角」
125	1	ER-P74	平瓦	-	-	28.9	32.2	-	2.5	やや砂質	黒灰	谷溝さ3.8cm/釘穴2ヶ所
	2	E6	契斗瓦	-	-	-	11.3	-	2.0	やや砂質	黒灰	磨れ砂付着
	3	E6	契斗瓦	-	-	-	11.3	-	2.0	精良	黄灰	磨れ砂付着
	4	E6	契斗瓦	-	-	-	11.6	-	1.7	精良	暗灰	磨れ砂付着
	5	E6	追分瓦	-	-	(17.5)	13.1	-	2.5	砂質	暗灰	三角形平面/木切り溝/端部斜め切り溝とし
	6	F6	塀	-	-	-	-	-	4.2	やや砂質	暗灰	割線斜り込み
	7	E6	谷平瓦	-	-	-	-	-	2.9	精良	暗灰	垂れを接合/木切り溝/釘孔斜め
	8	D7	谷平瓦	-	-	-	-	-	2.2	やや砂質	暗灰	垂れを接合
	9	E6	追分瓦	-	-	-	-	-	2.2	やや砂質	暗灰	木切り溝/端部段
	10	D6	追分瓦	-	-	-	-	-	2.3	やや砂質	灰白	三角形平面/端部段
	11	E5	焼瓦	-	-	-	-	-	2.8	やや砂質	暗灰	割線斜り表面/内面滑りなど
	12	E5	化粧瓦?	-	-	-	-	-	1.5	やや砂質	暗灰	瓦質容器/底元口径11.4cm/器高8.0cm

第2表 川越城跡 新旧対照表

SD-1	SD-1
SD-2	SD-2
SD-3	SD-1 1層
SD-4	SD-19
SD-5	SD-8
SD-6	SD-9・18
SD-7	SD-20
SD-8	SD-21
SD-9	SD-3
SD-10	SD-7
SD-11	D・E区 SD-4
SD-12	SD-5
SD-13	SD-6
SD-14	SD-16
SD-15	SD-14
SD-16	SD-15
SD-17	SD-22
SD-18	SD-17
SD-19	A・B区 SD-4
SD-20	SD-23
SD-21	12次 SD-1
SD-22	12次 SD-2
SD-23	12次 SD-3
SD-24	12次 SD-4
SD-25	12次 SD-5
SD-26	12次 SD-6

新番	旧番
SL-1	SX-2
SL-2	B区 SK-1・3・SX-1
SL-3	A区 SX-1
SL-4	12次地下式坑

新番	旧番
SZ-1	SD-5
SZ-2	SD-9
SZ-3	12次 堀
SZ-4	

SE-1	SE1-1 D-5・SK-5
SE-2	SE1-2
SE-3	B区 SE-2
SE-4	B区 SE-3
SE-5	SE1-3
SE-6	A区 SE-3
SE-7	SE2-2 E-6・SK-22
SE-8	SE-4
SE-9	SE-5
SE-10	12次 SE-1
SE-11	12次 SE-2
SE-12	12次 SK-15

新番	旧番
SX-1	E区 SK-8
SX-2	E区 SK-9
SX-3	E区 SK-10・11
SX-4	E区 SK-61・62
SX-5	E区 SK-63

新番	旧番
SI-1	D区
SI-2	SX-1
SI-3	SX-1
SI-4	E区
SI-5	SX-3

新番	旧番
SA-6	SD-10
SA-7	SD-13

第3表 川越城跡 土壇新旧対照表

新番	旧番
SK-1	D-5 SK-1
SK-2	D-5 SK-2
SK-3	D-5
SK-4	D-5 SK-4
SK-5	D-5 SK-6
SK-6	D-5
SK-7	D-5
SK-8	D-5 SK-7
SK-9	D-5 SK-8
SK-10	D-5 SK-9
SK-11	D-5 SK-10
SK-12	D-5 SK-11
SK-13	E-5 SK-1
SK-14	E-5 SK-2
SK-15	E-5 SK-3
SK-16	E-5 SK-4
SK-17	E-5 SK-5
SK-18	E-5 SK-6
SK-19	E-5 SK-7
SK-20	E-5 SK-15
SK-21	E-5 SK-16
SK-22	E-5 SK-17
SK-23	E-5 SK-18
SK-24	E-5 SK-58
SK-25	E-5 SK-60
SK-26	E-5
SK-27	E-5
SK-28	E-5
SK-29	E-5
SK-30	E-5
SK-31	E-5
SK-32	E-6 SK-12
SK-33	E-6 SK-19
SK-34	E-6 SK-20
SK-35	E-6 SK-23
SK-36	E-6 SK-24
SK-37	E-6 SK-25
SK-38	E-6 SK-26
SK-39	E-6 SK-48
SK-40	E-6 SK-50
SK-41	E-6 SK-52
SK-42	E-6 SK-53
SK-43	E-6 SK-54
SK-44	E-6

新番	旧番
SK-45	E-5・6
SK-46	F-6 SK-49
SK-47	D-7 SK-5
SK-48	D-7 SK-45
SK-49	D-7 SK-47
SK-50	E-7 SK-13
SK-51	E-7 SK-14
SK-52	E-7 SK-29
SK-53	E-7 SK-30
SK-54	E-7 SK-31
SK-55	E-7 SK-35
SK-56	E-7 SK-36
SK-57	E-7 SK-37
SK-58	E-7 SK-38
SK-59	E-7 SK-44
SK-60	E-7 SK-41
SK-61	E-7 SK-40
SK-62	E-7 SK-42
SK-63	E-7 SK-43
SK-64	D-8 SK-89
SK-65	D-8
SK-66	E-8 SK-32
SK-67	E-8 SK-33
SK-68	E-8 SK-34
SK-69	E-8 SK-55
SK-70	E-8 SK-59
SK-71	E-8 SK-62
SK-72	F-8 SK-64
SK-73	E-8 SK-65
SK-74	E-8 SK-66
SK-75	E-8 SK-67
SK-76	E-8 SK-68
SK-77	E-8 SK-81
SK-78	E-8 SK-82
SK-79	E-8 SK-83
SK-80	E-8
SK-81	D-9 SK-87
SK-82	E-9 SK-45
SK-83	E-8・9 SK-56
SK-84	E-9 SK-57
SK-85	E-8・9 SK-69
SK-86	E-9 SK-70
SK-87	E-9 SK-71
SK-88	E-9 SK-72

新番	旧番
SK-89	E-9 SK-73
SK-90	E-9 SK-74
SK-91	E-9 SK-75
SK-92	E-9 SK-76
SK-93	E-9 SK-77
SK-94	E-9 SK-79
SK-95	E-9 SK-80
SK-96	A-10 SK-6
SK-97	A-10 SK-7
SK-98	B-10 SK-8
SK-99	B-10 SK-9
SK-100	B-10
SK-101	E-10 SK-88
SK-102	E-7 SK-27
	E-8 SK-28
	E-7・8 SK-84
SK-103	12次 SK-1
SK-104	12次 SK-2
SK-105	12次 SK-3
SK-106	12次 SK-4
SK-107	12次 SK-5
SK-108	12次 SK-6
SK-109	12次 SK-7
SK-110	12次 SK-8
SK-111	12次 SK-9
SK-112	12次 SK-10
SK-113	12次 SK-28
SK-114	12次 SK-12
SK-115	12次 SK-13
SK-116	12次 SK-14
SK-118	12次 SK-16
SK-119	12次 SK-17
SK-120	12次 SK-18
SK-121	12次 SK-19
SK-122	12次 SK-20
SK-123	12次 SK-21
SK-124	12次 SK-22
SK-125	12次 SK-23
SK-126	12次 SK-24
SK-127	12次 SK-25
SK-128	12次 SK-26
SK-129	12次 SK-27
SK-130	E・F-6

第4表 川越城跡住居跡一覧表

番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(cm)	カマド	主軸方向	備考
1	H・I-4	4.50	0.98	25	-	-	SK105
2	G-3	5.18	5.18	17	北壁中央部やや東	N-6°-W	SJ4-5-6 SK111・112・129 SE3
3	G-4・5	5.48	(3.00)	6	北壁	N-10°-W	
4	G-3	(2.26)	(1.18)	37	東壁2基	-	SJ2-9 SZ3
5	F・G-3	(3.55)	3.10	53	北壁中央部やや東	N-8°-E	SJ2-6・8・9 SZ3
6	F・G-3	3.40	2.50	43	北壁東コーナー寄り	N-20°-E	SJ2-5 SK116・117
7	F-3	(4.00)	(1.10)	35	-	-	SD25
8	F・G-3	4.25	(1.40)	29	東壁	N-87°-E	SJ5 SD26
9	G-3	(0.90)	(0.70)	18	-	-	SJ4-5 SZ3

第5表 川越城跡掘立柱建物跡一覧表

番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SB-1 P-1	E-6	0.42	0.40	0.21	SB-3 P-8	E-6	0.58	0.54	0.49
SB-1 P-2	E-6	0.36	0.31	0.22	SB-3 P-9	E-6	0.60	0.53	0.95
SB-1 P-3	E-5	0.42	0.36	0.67	SB-3 P-10	E-6	0.47	0.41	0.18
SB-1 P-4	E-5	0.38	0.36	0.17	SB-3 P-11	E-6	0.53	0.53	0.57
SB-1 P-5	E-5	0.29	0.29	0.65	SB-3 P-12	E-6	0.58	(0.24)	0.55
SB-1 P-6	E-5	0.50	0.46	0.73	SB-3 P-13	E-6	0.78	0.51	0.76
SB-1 P-7	D・E-5	0.50	0.36	0.31	SB-3 P-14	E-6	0.58	(0.48)	0.81
SB-1 P-8	D-5	0.44	0.40	0.76	SB-3 P-15	E-7	(0.52)	0.50	0.55
SB-1 P-9	E-5	0.21	0.17	0.19	SB-3 P-16	D・E-7	0.58	0.48	0.46
SB-1 P-10	E-5	0.28	0.23	0.55	SB-3 P-17	D-7	0.76	0.58	0.81
SB-2 P-1	E-7	0.46	0.46	0.56	SB-3 P-18	E-7	0.45	0.38	0.15
SB-2 P-2	E-7	0.51	0.47	0.71	SB-4 P-1	D-7	0.56	0.53	0.60
SB-2 P-3	E-7	(0.48)	0.50	0.49	SB-4 P-2	E-7	(0.57)	(0.52)	0.53
SB-2 P-4	E-6	0.70	0.42	0.88	SB-4 P-3	E-7	0.67	0.55	0.50
SB-2 P-5	E-6	0.56	0.46	1.02	SB-4 P-4	E-7	0.51	(0.46)	0.33
SB-2 P-6	E-6	0.48	(0.44)	0.71	SB-4 P-5	E-7・8	0.57	0.53	0.34
SB-2 P-7	E-6	0.48	0.48	0.64	SB-4 P-6	E-7	0.48	0.38	0.72
SB-2 P-8	E-6	0.60	0.48	0.45	SB-4 P-7	E-7	0.86	0.77	0.34
SB-2 P-9	E-6	0.54	0.46	0.44	SB-4 P-8	E-7	0.49	0.43	0.23
SB-2 P-10	E-6	0.66	0.64	0.87	SB-4 P-9	E-7	0.75	(0.62)	0.24
SB-2 P-11	E-6	0.48	0.45	0.51	SB-4 P-10	E-7	0.49	(0.30)	0.42
SB-2 P-12	E-6	0.45	0.37	0.09	SB-4 P-11	E-7	0.49	(0.46)	0.22
SB-2 P-13	E-6	0.94	0.74	0.58	SB-4 P-12	E-7	0.43	0.40	0.44
SB-2 P-14	E-6	0.59	(0.48)	0.47	SB-4 P-13	D-7	(0.46)	(0.28)	0.45
SB-2 P-15	E-6	0.48	0.43	0.76	SB-4 P-14	D-7	(0.50)	(0.36)	0.59
SB-2 P-16	D・E-7	0.42	(0.30)	0.62	SB-5 P-1	C・D-8	0.40	0.35	0.16
SB-2 P-17	D-7	0.45	0.40	0.59	SB-5 P-2	D-8	0.60	0.35	0.26
SB-2 P-18	D-7	0.50	0.45	0.84	SB-5 P-3	D-8	0.38	0.31	0.10
SB-2 P-19	E-7	0.40	0.35	0.37	SB-5 P-4	D-8	0.59	0.52	0.52
SB-2 P-20	E-7	0.60	0.58	0.99	SB-5 P-5	D-8	0.52	0.44	0.51
SB-2 P-21	E-6	0.90	0.46	0.75	SB-5 P-6	D-8	0.44	0.42	0.49
SB-2 P-22	E-6	0.74	0.49	0.50	SB-5 P-7	E-8	0.48	0.47	0.57
SB-3 P-1	E-7	0.70	0.54	0.61	SB-5 P-8	E-8	(0.53)	0.48	0.51
SB-3 P-2	E-7	0.58	0.41	0.65	SB-5 P-9	E-8	(0.73)	(0.23)	0.43
SB-3 P-3	E-7	0.61	0.57	0.64	SB-5 P-10	E-8	(0.47)	(0.31)	0.72
SB-3 P-4	E-6	0.68	0.49	0.88	SB-5 P-11	E-8	0.46	0.41	0.41
SB-3 P-5	E-6	(0.57)	0.55	0.85	SB-5 P-12	E-8	0.58	0.48	0.59
SB-3 P-6	E-6	0.64	0.49	0.81	SB-5 P-13	E-8	0.52	0.49	0.53
SB-3 P-7	E-6	0.53	0.52	0.53	SB-5 P-14	E-8	0.53	0.44	0.53

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SB-5 P-15	E-8	0.63	0.48	0.64
SB-5 P-16	D-8	0.64	0.58	0.53
SB-5 P-17	D-8	0.54	0.54	0.52
SB-5 P-18	D-8	0.54	0.49	0.53
SB-5 P-19	D-8	0.41	0.37	0.63
SB-5 P-20	D-8	0.47	0.42	0.26
SB-5 P-21	D-8	0.60	0.43	0.24
SB-6 P-1	E-9	0.39	0.35	0.23
SB-6 P-2	E-9	0.74	0.50	0.36
SB-6 P-3	E-9	0.43	0.42	0.40
SB-6 P-4	E-9	0.62	0.53	0.21
SB-6 P-5	E-9	0.54	0.45	0.29
SB-6 P-6	E-9	0.38	0.26	0.26
SB-7 P-1	E-9	0.51	0.42	0.16
SB-7 P-2	E-9	0.38	0.32	0.06
SB-7 P-3	E-9	0.37	0.35	0.16
SB-7 P-4	E-9	0.33	0.31	0.04
SB-7 P-5	E-9	0.49	0.44	0.31
SB-7 P-6	E-9	0.48	0.48	0.21
SB-7 P-7	E-9	0.48	0.46	0.14

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SB-7 P-8	E-9	0.48	0.37	0.34
SB-7 P-9	E-9	0.60	0.41	0.14
SB-7 P-10	E-9	0.72	0.46	0.38
SB-7 P-11	E-9	0.37	0.33	0.34
SB-7 P-12	E-9	0.48	0.44	0.25
SB-8 P-1	C-8	0.50	(0.33)	0.41
SB-8 P-2	D-8	0.49	0.42	0.46
SB-8 P-3	D-8	0.52	0.52	0.18
SB-8 P-4	D-8	0.38	0.36	0.15
SB-8 P-5	D-8	0.49	0.36	0.26
SB-8 P-6	D-8	0.50	0.49	0.31
SB-8 P-7	D-8	0.44	0.41	0.30
SB-8 P-8	D-8	0.38	0.38	0.02
SB-8 P-9	D-8	0.44	0.40	0.19
SB-9 P-1	B-10・11	(0.70)	0.56	0.78
SB-9 P-2	B-10	0.56	0.48	0.80
SB-9 P-3	B-10	(0.63)	(0.28)	0.62
SB-9 P-4	B-10	(0.64)	0.46	0.68
SB-9 P-5	A-10	0.46	0.43	0.65

第6表 川越城跡櫓列跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SA-1 P-1	E-5	0.37	(0.36)	0.42
SA-1 P-2	E-5	0.68	0.35	0.29
SA-1 P-3	E-5	0.38	0.31	0.21
SA-1 P-4	E-5	0.38	(0.31)	0.26
SA-1 P-5	E-6	0.56	(0.39)	0.38
SA-1 P-6	E-6	0.43	0.33	0.55
SA-1 P-7	E-6	0.21	0.21	0.53
SA-2 P-1	D-8	0.53	0.46	0.56
SA-2 P-2	D-8	0.61	0.52	0.44
SA-2 P-3	D-8	0.55	0.50	0.39
SA-2 P-4	D-8	0.52	0.51	0.54
SA-2 P-5	D-9	0.70	0.62	0.65
SA-2 P-6	D-9	0.80	0.80	0.54
SA-2 P-7	D-9	0.55	0.54	0.76
SA-2 P-8	D-9	0.69	0.56	0.85
SA-3 P-1	E-7	0.45	0.40	0.65
SA-3 P-2	E-7	(0.32)	0.24	0.34
SA-3 P-3	E-7	0.25	(0.14)	0.37
SA-3 P-4	E-7	0.54	(0.48)	0.70
SA-3 P-5	D-7	0.50	(0.37)	0.68
SA-4 P-1	E-8	0.46	(0.35)	0.38
SA-4 P-2	E-8	0.55	0.41	0.43
SA-4 P-3	E-8	0.35	0.30	0.58
SA-4 P-4	E-8	0.38	0.37	0.30
SA-4 P-5	D-8	0.34	0.32	0.39
SA-4 P-6	D-8	0.34	0.33	0.38
SA-4 P-7	D-8	0.46	0.36	0.23
SA-5 P-1	E-8	0.66	0.54	0.40

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SA-5 P-2	E-8	(0.54)	(0.38)	0.12
SA-5 P-3	E-8	0.84	0.43	0.55
SA-5 P-4	E-8	(0.80)	0.57	0.68
SA-5 P-5	E-8	0.63	0.52	0.74
SA-6 P-1	E-8	0.28	0.24	0.19
SA-6 P-2	E-8	0.39	0.39	0.32
SA-6 P-3	D・E-8	0.46	0.40	0.08
SA-6 P-4	D-8	0.30	(0.26)	0.21
SA-7 P-1	E-9	(0.24)	(0.12)	0.03
SA-7 P-2	E-9	0.62	0.50	0.65
SA-7 P-3	E-9	0.40	0.28	0.31
SA-7 P-4	E-9	0.48	0.39	0.56
SA-7 P-5	E-9	0.46	0.42	0.33
SA-7 P-6	E-9	0.74	0.68	0.66
SA-7 P-7	D-9	0.72	0.66	0.44
SA-7 P-8	D-9	0.50	0.46	0.23
SA-7 P-9	D-9	0.64	0.63	0.80
SA-7 P-10	C-9	0.60	0.44	0.56
SA-8 P-1	E-9	0.44	0.42	0.17
SA-8 P-2	E-9	0.64	0.40	0.13
SA-8 P-3	E-9	0.38	(0.24)	0.04
SA-8 P-4	E-9	0.35	0.34	0.08
SA-8 P-5	E-9	0.52	(0.31)	0.17
SA-11 P-1	H-4	0.20	0.19	0.08
SA-11 P-2	H-4	0.19	0.19	0.15
SA-11 P-3	H-5	0.38	0.35	0.32
SA-11 P-4	H-4	0.25	0.21	0.18
SA-11 P-5	H-4	0.14	0.11	0.08

第7表 川越城跡竪穴状遺構一覽表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S I - 1	D-5	(0.70)	(0.53)	0.79
S I - 2	D-5	(0.82)	(0.78)	0.31
S I - 3	D-5	(2.02)	(0.66)	0.48
S I - 4	E-6	(1.92)	(1.18)	0.29
S I - 5	B-10	2.66	(1.72)	0.64

第8表 川越城跡地下式壕跡一覽表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S L - 1	D-7・8	4.00	1.70	2.07
S L - 2	D-7	3.20	2.56	0.77
S L - 3	F-7	(0.80)	(0.73)	1.27
S L - 4	F・G-4	2.30	1.87	1.21

第9表 川越城跡土堀一覽表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S K - 1	D-5	(0.41)	(0.22)	0.45
S K - 2	D-5	(0.44)	(0.37)	0.22
S K - 3	D-5	(0.54)	(0.40)	0.30
S K - 4	D-5	(0.42)	(0.38)	0.18
S K - 5	D-5	0.78	0.57	0.44
S K - 6	D-5	(0.63)	0.46	0.08
S K - 7	D-5	0.64	0.42	0.53
S K - 8	D-5	0.48	0.42	0.30
S K - 9	D-5	(0.54)	0.56	0.07
S K - 10	D-5	1.01	0.90	0.20
S K - 11	D-5	1.00	(0.58)	0.15
S K - 12	D-5	0.43	(0.35)	0.28
S K - 13	E-5	0.64	0.52	0.35
S K - 14	E-5	(0.60)	(0.28)	0.70
S K - 15	E-5	0.65	0.56	0.26
S K - 16	E-5	0.40	0.29	0.08
S K - 17	E-5	(0.48)	0.30	0.16
S K - 18	E-5	0.98	0.83	0.28
S K - 19	E-5	1.15	0.68	0.14
S K - 20	E-5	0.78	(0.60)	0.28
S K - 21	E-5	0.59	(0.57)	0.07
S K - 22	E-5	0.65	0.45	0.18
S K - 23	E-5	0.59	0.35	0.39
S K - 24	E-5	0.92	0.68	0.31
S K - 25	E-5	(1.06)	(0.66)	0.26
S K - 26	E-5	1.16	0.94	0.38
S K - 27	E-5	2.52	1.77	0.43
S K - 28	E-5	0.97	(0.51)	0.38
S K - 29	E-5	(2.18)	(1.02)	0.26
S K - 30	E-5	1.26	0.95	0.17
S K - 31	E-5	1.88	1.59	0.40
S K - 32	E-6	1.42	1.05	0.32
S K - 33	E-6	1.68	1.66	0.61
S K - 34	E-6	1.05	0.94	0.23
S K - 35	E-6	(1.29)	(0.42)	0.48
S K - 36	E-6	(0.79)	0.68	0.10
S K - 37	E-6	(0.92)	0.87	0.32

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S K - 38	E-6	0.88	0.78	1.22
S K - 39	E-6	0.70	0.57	0.16
S K - 40	E-6	0.97	0.93	0.34
S K - 41	E-6	(1.05)	0.79	0.24
S K - 42	E-6	(0.92)	(0.64)	0.24
S K - 43	E-6	(0.48)	0.45	0.10
S K - 44	E-6	0.94	0.83	0.18
S K - 45	E-5・6	1.02	0.78	0.55
S K - 46	F-6	0.62	0.48	0.18
S K - 47	D-7	0.60	(0.36)	0.17
S K - 48	D-7	1.33	(0.92)	0.28
S K - 49	D-7	(1.60)	0.65	0.33
S K - 50	E-7	2.56	(2.08)	0.15
S K - 51	E-7・8	3.58	2.12	0.65
S K - 52	E-7	0.91	0.76	0.55
S K - 53	E-7	4.15	1.61	0.30
S K - 54	E-7	3.10	(2.64)	0.18
S K - 55	E-7	1.90	1.09	0.22
S K - 56	E-7	1.32	0.66	0.32
S K - 57	E-7	2.15	1.43	0.20
S K - 58	E-7	0.78	0.53	0.14
S K - 59	E-7	0.42	0.38	0.26
S K - 60	E-7	0.54	(0.36)	0.05
S K - 61	E-7	(0.95)	(0.46)	0.14
S K - 62	E-7	0.72	(0.62)	0.17
S K - 63	E-7	(1.58)	1.23	0.17
S K - 64	D-8	0.82	0.66	0.58
S K - 65	D-8	(1.60)	(1.30)	0.18
S K - 66	E-8	(1.97)	1.18	0.15
S K - 67	E-8	1.92	1.37	0.76
S K - 68	E-8	0.70	0.65	0.90
S K - 69	E-8	1.20	1.03	1.04
S K - 70	E-7・8	1.54	1.37	0.16
S K - 71	E-8	1.08	0.80	0.59
S K - 72	E-8	(1.50)	(1.00)	0.12
S K - 73	E-8	1.70	0.68	0.46
S K - 74	E-8	(1.03)	0.90	0.14
S K - 75	E-8	(1.05)	(0.87)	0.30
S K - 76	E-8	1.24	(0.48)	0.17
S K - 77	E-8	1.08	0.78	0.28
S K - 78	E-8	0.83	0.50	0.27
S K - 79	E-8	(0.65)	(0.20)	0.15
S K - 80	E-8	1.60	(0.73)	0.18
S K - 81	D-9	2.16	1.95	0.76
S K - 82	E-9	3.50	2.32	0.32
S K - 83	E-8・9	1.81	(1.38)	1.60
S K - 84	E-9	1.38	1.10	1.08
S K - 85	E-8・9	(0.88)	0.43	0.18
S K - 86	E-9	0.87	0.61	0.20
S K - 87	E-9	0.66	0.44	0.14
S K - 88	E-9	0.78	0.72	0.80
S K - 89	E-9	(1.37)	(1.00)	0.08

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SK-90	E-9	(287)	(091)	0.17
SK-91	E-9	(155)	1.02	0.20
SK-92	E-9	0.82	0.57	0.14
SK-93	E-9	1.33	0.83	0.34
SK-94	E-9	1.06	0.82	0.17
SK-95	E-9	0.61	0.52	0.20
SK-96	A-10	(0.88)	(0.62)	0.39
SK-97	A-10	(0.98)	0.93	0.34
SK-98	B-10	(0.69)	0.48	0.17
SK-99	B-10	(0.55)	(0.52)	0.15
SK-100	B-10	1.09	0.95	0.28
SK-101	E-10	0.80	(0.56)	0.18
SK-103	H・I-4	(1.03)	0.84	0.14
SK-104	H・I-4	1.18	0.58	0.17
SK-105	H-4	(0.96)	(0.62)	0.13
SK-106	I-5	(0.70)	(0.21)	0.13
SK-107	G-4	0.86	0.82	0.59
SK-108	G-4	1.12	(1.10)	0.25
SK-109	G-3・4	1.04	(0.62)	0.10
SK-110	G-3	(0.92)	(0.40)	0.20
SK-111	G-3	1.10	(0.59)	0.33
SK-112	G-3	1.09	(0.76)	0.24
SK-113	H-4	0.50	(0.40)	0.14
SK-114	G-4	0.78	0.56	0.38
SK-115	F・G-4	1.38	1.35	0.24
SK-116	F-3	0.96	0.75	0.20
SK-117	F-3	0.91	0.89	0.36
SK-118	F-4	1.16	0.76	0.52
SK-119	F-4	0.84	(0.76)	0.48
SK-120	F-3	(0.49)	(0.37)	0.21
SK-121	F-4	1.93	1.02	0.44
SK-122	F-4	1.28	1.02	0.09
SK-123	F-4	(0.52)	(0.16)	0.23
SK-124	F-4	1.06	(0.63)	0.19
SK-125	F-4	(2.35)	(1.14)	0.46
SK-126	F-4	(0.76)	0.68	0.20
SK-127	F-3	(0.74)	0.71	0.34
SK-128	F-3	1.00	0.66	0.10
SK-129	G-3	0.81	0.79	0.18
SK-130	E・F-6	1.20	(0.85)	0.16

第13表 川越城跡廃棄遺構一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SX-1	E-5・6	(7.25)	(2.15)	0.68
SX-2	E・F-5・6	(7.30)	6.50	0.90
SX-3	E-6	(4.70)	1.80	0.70
SX-4	D-10	(7.00)	(2.95)	0.88
SX-5	D-10	(2.58)	(1.35)	0.37

第10表 川越城跡井戸跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SE-1	D-5	1.06	(0.51)	(0.48)
SE-2	E-6	0.75	0.70	(1.85)
SE-3	D-7	1.26	(0.69)	(1.43)
SE-4	D-7	(1.49)	(0.80)	(1.15)
SE-5	D-8	1.14	1.10	(2.40)
SE-6	D-8	1.52	(0.81)	(1.40)
SE-7	E-6	2.48	(1.77)	(2.56)
SE-8	C-10	1.25	(0.96)	(2.53)
SE-9	C-10	(1.35)	(0.83)	0.92
SE-10	F-4	1.52	1.47	2.90
SE-11	F-4	(1.14)	(0.67)	0.92
SE-12	G-3	1.60	1.48	1.64

第11表 川越城跡堀跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	幅(m)
SZ-1	B~F-10	10.59	1.11
SZ-2	D・E-10・11		
SZ-3	J-7・8		
SZ-4	F~J-10		

第12表 川越城跡溝跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	幅(m)
SD-1	D-5	(1.00)	0.56
SD-2	E-5	6.60	0.55
SD-3	E-5・6	10.15	0.57
SD-4	E-5	(5.70)	0.48
SD-5	E-5・6・F-6・7	24.00	1.92
SD-6	E-6・7	5.60	0.40
SD-7	F-6	(1.34)	0.80
SD-8	F-6・7	8.70	0.32
SD-9	D・E-7	15.20	1.04
SD-10	E・F-7	(5.40)	0.72
SD-11	D・E-7	(4.30)	0.36
SD-12	E-7	(4.36)	0.56
SD-13	D・E-7	(3.38)	0.40
SD-14	C・D・E-9	8.00	0.72
SD-15	D・E-9	(4.20)	0.48
SD-16	D・E-9	(9.60)	0.32
SD-17	E-9	(8.30)	0.56
SD-18	E-9	(2.10)	0.72
SD-19	A・B-10	(9.40)	0.50
SD-20	F-10	(1.77)	0.92
SD-21	F-4	(3.09)	0.76
SD-22	F-3・4	(1.70)	0.40
SD-23	F-3・4	(5.05)	0.24
SD-24	F-3	(3.18)	0.44
SD-25	F-3	(2.16)	0.45
SD-26	F-3	(2.10)	0.25

第14表 川越城跡ピット一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
A10-P1	A-10	(0.66)	(0.34)	0.13
A10-P2	A-10	(0.28)	(0.19)	0.08
A10-P3	A-10	0.55	(0.49)	0.06
A10-P4	A-10	0.36	0.36	0.32
A10-P5	A-10	0.11	(0.08)	0.02
A10-P6	A-10	(0.13)	(0.09)	0.06
A10-P7	A-10	0.17	0.14	0.08
A10-P8	A-10	(0.11)	0.10	0.07
A10-P9	A-10	0.25	0.16	0.08
A10-P10	A-10	0.28	0.26	0.08
A10-P11	A-10	0.63	(0.49)	0.11
A10-P12	A-10	0.29	0.25	0.21
A10-P13	A-10	0.26	0.21	0.03
A10-P14	A-10	0.27	0.19	0.09
A10-P15	A-10	0.20	0.18	0.15
A10-P16	A-10	0.55	0.47	0.10
A10-P17	A-10	(0.15)	0.12	0.07
A10-P18	A-10	0.24	0.22	0.07
A10-P19	A-10	(0.17)	0.13	0.09
A10-P20	A-10	0.31	0.16	0.05
A10-P21	A-10	(0.16)	0.13	0.04
A10-P22	A-10	(0.17)	(0.15)	0.09
A10-P23	A-10	(0.34)	(0.15)	0.31

B10-P1	B-10	(0.23)	(0.13)	0.16
B10-P2	B-10	0.31	(0.27)	0.64
B10-P3	B-10	0.34	0.32	0.17
B10-P4	B-10	0.68	0.53	0.64
B10-P5	B-10	0.54	(0.39)	0.12
B10-P6	B-10	0.48	0.42	0.51
B10-P7	B-10	(0.39)	0.24	0.19
B10-P8	B-10	0.48	(0.18)	0.27
B10-P9	B-10	0.37	0.35	0.17
B10-P10	B-10	0.32	0.30	0.34
B10-P11	B-10	0.26	0.26	0.21
B10-P12	B-10	0.41	0.33	0.29
B10-P13	B-10	0.24	(0.17)	0.63
B10-P14	B-10	0.25	0.22	0.22
B10-P15	B-10	0.34	0.33	0.34
B10-P16	B-10	0.71	0.32	0.22
B10-P17	B-10	(0.12)	0.10	0.10
B10-P18	B-10	0.16	0.13	0.09
B10-P19	B-10	0.34	0.33	0.10
B10-P20	B-10	0.51	0.51	0.05
B10-P21	B-10	(0.41)	0.34	0.30
B10-P22	B-10	0.10	0.08	0.25
B10-P23	B-10	0.17	0.13	0.09
B10-P24	B-10	0.12	0.11	0.05
B10-P25	B-10	(0.18)	(0.10)	0.09

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
B10-P26	B-10	0.13	0.13	0.08
C8-P1	C-8	(0.36)	(0.20)	0.02
C8-P2	C-8	0.28	0.27	0.04
C8-P3	C-8	0.34	0.30	0.10
C8-P4	C-8	0.40	0.24	0.04
C9-P1	C-9	0.40	0.22	0.10
C9-P2	C-9	0.16	0.15	0.05
C9-P3	C-9	(0.45)	(0.21)	0.57
C9-P4	C・D-9	0.30	0.29	0.27
C9-P5	C-9	0.31	0.25	0.41
C9-P6	C-9	0.26	0.22	0.16
C9-P7	C-9	0.60	0.40	0.11
C9-P8	C-9	0.37	(0.26)	0.07
C9-P9	C・D-9	0.22	0.21	0.58
C9-P10	C-9	0.24	0.24	0.09
C9-P11	C-9	0.32	0.30	0.52
C9-P12	C-9	(0.80)	0.22	0.09
C9-P13	C-9	0.23	0.22	0.07
C9-P14	C-9	0.39	0.17	0.08
C9-P15	C-9	0.36	0.28	0.12
C9-P16	C・D-9	0.52	0.47	0.73
C9-P17	C-9	0.45	0.44	0.36
C9-P18	C-9	0.67	0.54	0.13
C9-P19	C-9	0.35	0.23	0.13
C9-P20	C-9	(0.26)	0.17	0.11
C9-P21	C-9	0.30	0.27	0.17
C9-P22	C・D-9	0.36	(0.17)	0.12

C10-P1	C-10	0.33	(0.25)	0.10
C10-P2	C-10	(0.64)	0.44	0.10
C10-P3	C-10	0.16	0.13	0.08
C10-P4	C-10	0.14	0.12	0.08
C10-P5	C-10	0.16	0.15	0.03
C10-P6	C-10	0.11	0.09	0.05
C10-P7	C-10	0.28	0.24	0.11
C10-P8	C-10	0.22	0.16	0.08
C10-P9	C-10	0.12	(0.08)	0.16
C10-P10	C-10	(0.51)	(0.19)	0.15
C10-P11	C-10	0.37	0.24	0.13
C10-P12	C-10	0.28	0.27	0.42
C10-P13	C-10	0.34	(0.09)	0.06
C10-P14	C-10	0.29	0.26	0.07
C10-P15	C-10	0.33	0.32	0.16
C10-P16	C-10	(0.47)	0.23	0.08
C10-P17	C-10	0.46	0.35	0.09
C10-P18	C-10	0.22	0.11	0.16
C10-P19	C-10	0.27	0.24	0.14

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
C10-P20	C-10	(0.19)	(0.17)	0.06
C10-P21	C-10	0.26	0.25	0.16
C10-P22	C-10	0.20	0.16	0.04

D5-P1	D-5	0.24	0.20	0.32
D5-P2	D-5	0.30	0.26	0.71
D5-P3	D-5	0.41	(0.30)	0.61
D5-P4	D-5	(0.40)	0.34	0.53
D5-P5	D-5	0.26	0.21	0.44
D5-P6	D-5	0.35	0.31	0.32
D5-P7	D-5	0.36	0.23	0.21
D5-P8	D-5	0.30	(0.29)	0.35
D5-P9	D-5	0.23	(0.17)	0.19
D5-P10	D-5	0.31	0.25	0.59
D5-P11	D-5	0.26	0.22	0.25
D5-P12	D-5	0.27	(0.18)	0.51
D5-P13	D-5	0.42	0.29	-
D5-P14	D-5	0.37	0.34	0.93
D5-P15	D-5	0.22	0.21	0.32
D5-P16	D-5	0.23	0.21	0.15
D5-P17	D-5	0.15	0.12	0.14
D5-P18	D-5	0.09	0.09	0.12
D5-P19	D-5	(0.27)	(0.22)	0.26
D5-P20	D-5	0.32	0.21	0.27
D5-P21	D-5	0.38	0.25	0.69
D5-P22	D-5	(0.22)	(0.09)	-
D5-P23	D-5	0.28	(0.24)	0.05
D5-P24	D-5	0.42	0.28	0.05
D5-P25	D-5	0.25	(0.22)	0.14
D5-P26	D-5	0.32	0.22	0.28
D5-P27	D-5	0.24	0.22	0.27
D5-P28	D-5	0.30	(0.27)	0.16
D5-P29	D-5	0.35	0.30	0.13
D5-P30	D-5	0.24	(0.12)	0.41
D5-P31	D-5	0.30	0.29	0.77
D5-P32	D-5	(0.44)	(0.08)	0.07
D5-P33	D-5	0.28	(0.22)	0.52
D5-P34	D-5	0.24	(0.17)	0.39
D5-P35	D-5	0.16	0.14	0.27
D5-P36	D-5	0.14	0.13	0.16
D5-P37	D-5	0.16	0.16	0.16
D5-P38	D-5	0.26	(0.20)	-
D5-P39	D-5	0.27	0.22	0.09
D5-P40	D-5	(0.23)	(0.18)	0.21
D5-P41	D-5	0.30	0.19	0.26
D5-P42	D-5	0.26	0.26	0.27
D5-P43	D-5	0.35	0.34	0.47
D5-P44	D-5	0.22	0.22	0.37

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
D7-P1	D-7	0.37	0.25	0.13
D7-P2	D-7	0.43	0.28	0.31
D7-P3	D-7	0.32	0.25	0.30
D7-P4	D-7	0.50	0.45	0.08
D7-P5	D-7	0.28	0.23	0.05
D7-P6	D-7	0.24	0.22	0.10
D7-P7	D-7	0.17	0.16	0.08
D7-P8	D-7	0.32	0.22	0.08
D7-P9	D-7	(0.24)	(0.16)	0.11
D7-P10	D-7	0.40	(0.34)	0.20
D7-P11	D-7	(0.24)	0.24	0.09
D7-P12	D-7	(0.33)	(0.18)	0.15
D7-P13	D-7	0.65	0.58	0.72
D7-P14	D-7	0.34	0.20	0.07
D7-P15	D-7	(0.12)	(0.07)	0.04
D7-P16	D-7	0.34	0.32	0.18
D7-P17	D-7	0.24	0.20	0.38
D7-P18	D-7	0.26	0.25	0.35
D7-P19	D-7	0.34	(0.22)	0.31
D7-P20	D-7	0.41	0.34	0.19
D7-P21	D-7	0.22	0.21	0.16
D7-P22	D-7	0.20	0.18	0.34
D7-P23	D-7	(0.41)	(0.27)	0.21
D7-P24	D-7	0.35	0.32	0.56
D7-P25	D-7	(0.23)	0.19	0.04
D7-P26	D-7	(0.38)	(0.20)	0.68
D7-P27	D-7	0.16	0.16	0.29
D7-P28	D-7	0.28	0.23	0.02
D7-P29	D-7	0.23	0.22	0.19
D7-P30	D・E-7	0.25	0.23	0.12
D7-P31	D-7	0.36	0.30	0.40
D7-P32	D-7	0.40	0.34	0.35
D7-P33	D-7	(0.26)	(0.23)	0.14
D7-P34	D-7	(0.28)	0.20	0.11
D7-P35	D-7	0.18	0.15	0.39
D7-P36	D・E-7	0.24	0.19	0.16
D7-P37	D-7	0.20	0.20	0.10
D7-P38	D-7	0.22	(0.16)	0.23
D7-P39	D-7	(0.34)	(0.16)	0.04
D7-P40	D-7	0.24	(0.18)	0.18
D7-P41	D-7	0.45	(0.28)	0.10
D7-P42	D-7	(0.55)	0.46	0.09
D7-P43	D-7	0.20	0.18	0.07
D7-P44	D-7・8	0.37	(0.29)	0.07
D7-P45	D-7	0.20	0.18	0.18
D7-P46	D-7	(0.19)	0.18	0.09
D7-P47	D-7	0.40	0.22	0.07
D7-P48	D-7	0.47	0.35	0.21
D7-P49	D-7	0.20	0.15	0.08

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
D7-P50	D-7	0.32	0.26	0.12
D7-P51	D-7	0.24	0.22	0.15
D7-P52	D-7	0.43	0.28	0.36
D7-P53	D-7	0.26	0.18	0.18
D7-P54	D-7	0.30	0.28	0.19
D7-P55	D-7	0.30	0.25	0.13
D7-P56	D-7	0.59	(0.39)	0.12
D7-P57	D・E-7	0.50	0.35	0.09
D7-P58	D・E-7	0.39	0.30	0.23
D7-P59	D-7	0.24	0.24	0.08

D8-P1	D-8	0.40	0.37	0.05
D8-P2	D-8	0.45	0.23	0.07
D8-P3	D-8	0.36	0.23	0.10
D8-P4	D-8	0.20	0.18	0.22
D8-P5	D-8	0.23	0.21	0.04
D8-P6	D-8	(0.19)	0.19	0.27
D8-P7	D-8	0.38	0.29	0.29
D8-P8	D-8	0.23	0.21	0.12
D8-P9	D-8	0.22	0.20	0.03
D8-P10	D-8	0.30	0.26	0.08
D8-P11	D-8	0.23	(0.14)	0.04
D8-P12	D-8	0.23	0.16	0.05
D8-P13	D-8	0.26	0.17	0.10
D8-P14	D-8	(0.79)	(0.43)	0.07
D8-P15	D-8	0.50	0.40	0.19
D8-P16	D-8	0.24	0.22	0.09
D8-P17	D-8	0.21	0.16	0.12
D8-P18	D-8	0.22	0.19	0.05
D8-P19	D-8	(0.30)	0.18	0.07
D8-P20	D-8	0.17	0.15	0.32
D8-P21	D-8	0.38	0.35	0.10
D8-P22	D-8	0.19	0.18	0.12
D8-P23	D-8	0.37	0.22	0.06
D8-P24	D-8	0.25	0.23	0.05
D8-P25	D-8	0.32	(0.19)	0.19
D8-P26	D-8	(0.23)	(0.26)	0.21
D8-P27	D-8	0.44	0.40	0.45
D8-P28	D-8	0.38	0.33	0.19
D8-P29	D-8	0.38	0.32	0.51
D8-P30	D-8	(0.28)	(0.18)	0.33
D8-P31	D-8	0.54	(0.34)	0.13
D8-P32	D-8	0.20	0.20	0.11
D8-P33	D-8	0.75	(0.48)	0.55
D8-P34	D-8	0.89	0.61	0.64
D8-P35	D-8	0.42	0.40	0.72
D8-P36	D-8	0.22	0.20	0.36
D8-P37	D-7・8	0.18	0.17	0.15

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
D9-P1	D-9	0.52	0.48	0.34
D9-P2	D-9	0.25	0.23	0.38
D9-P3	C・D-9	(0.30)	0.31	0.30
D9-P4	D-9	0.32	0.22	0.41
D9-P5	D-9	0.64	(0.62)	0.43
D9-P6	D-9	0.26	0.24	0.53
D9-P7	D-9	0.36	0.26	0.63
D9-P8	D-9	0.37	0.32	0.46
D9-P9	D-9	0.44	0.32	0.29
D9-P10	D-9	0.15	0.15	0.14
D9-P11	D-9	0.18	0.16	0.14
D9-P12	D-9	0.18	0.16	0.17
D9-P13	D-9	0.46	0.42	0.48
D9-P14	D-9	0.88	0.42	0.03
D9-P15	D-9	0.42	0.42	0.35
D9-P16	D-9	0.40	0.38	0.64
D9-P17	D-9	0.39	0.34	0.24
D9-P18	D-9	0.11	0.10	0.07
D9-P19	C・D-9	(0.22)	0.08	0.04
D9-P20	D-9	(0.20)	0.14	0.04
D9-P21	D-9	(0.28)	0.16	0.17
D9-P22	D-9	0.25	0.18	0.17
D9-P23	D-9	0.23	0.19	0.25
D9-P24	D-9	0.34	0.31	0.08
D9-P25	D-9	0.42	0.27	0.09
D9-P26	D-9	0.27	0.24	0.27
D9-P27	D・E-9	(0.40)	(0.38)	0.11
D9-P28	D-9	0.24	0.23	-
D9-P29	D・E-9	(0.66)	0.53	0.28

D10-P1	D-10	0.27	0.23	0.14
D10-P2	D-10	0.32	0.22	0.29
D10-P3	D-10	0.36	(0.23)	0.36
D10-P4	D-10	0.33	0.27	0.31
D10-P5	D-10	0.23	0.18	0.06
D10-P6	D-10	0.39	0.36	0.24
D10-P7	D-10	0.27	0.18	0.09

E5-P1	E-5	(0.34)	0.32	0.44
E5-P2	E-5	0.55	0.49	0.41
E5-P3	E-5	0.19	(0.16)	0.57
E5-P4	E-5	0.35	0.24	0.31
E5-P5	E-5	0.31	0.25	0.39
E5-P6	E-5	0.36	0.34	0.54
E5-P7	E-5	0.22	0.20	0.45
E5-P8	E-5	0.22	0.22	0.29
E5-P9	E-5	0.41	0.37	0.41
E5-P10	E-5	0.26	0.25	0.54
E5-P11	E-5	0.40	0.22	0.37

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P12	E-5	0.41	0.32	0.20
E5-P13	E-5	0.51	0.46	0.49
E5-P14	E-5	(0.23)	0.23	0.11
E5-P15	E-5	0.36	0.18	0.39
E5-P16	E-5	0.40	0.25	0.39
E5-P17	E-5	0.26	(0.23)	0.59
E5-P18	E-5	0.30	0.30	0.49
E5-P19	E-5	0.20	0.20	0.22
E5-P20	E-5	0.43	0.36	0.20
E5-P21	E-5	(0.23)	(0.14)	0.22
E5-P22	E-5	0.42	0.38	0.37
E5-P23	E-5	0.24	0.24	0.64
E5-P24	E-5	0.26	0.22	0.39
E5-P25	E-5	0.34	0.27	0.35
E5-P26	E-5	0.63	0.55	0.16
E5-P27	E-5	0.31	0.30	0.75
E5-P28	E-5	(0.30)	0.13	0.38
E5-P29	E-5	0.35	(0.24)	0.31
E5-P30	E-5	0.32	0.26	0.39
E5-P31	E-5	(0.48)	0.26	0.32
E5-P32	E-5	(0.44)	(0.22)	0.11
E5-P33	E-5	0.27	0.18	0.42
E5-P34	E-5	0.26	0.22	0.33
E5-P35	E-5	0.20	(0.17)	0.24
E5-P36	E-5	0.43	0.42	0.50
E5-P37	E-5	0.40	0.35	0.18
E5-P38	E-5	0.10	0.09	0.47
E5-P39	E-5	0.30	(0.21)	0.60
E5-P40	E-5	(0.40)	(0.20)	0.15
E5-P41	E-5	0.41	0.40	0.61
E5-P42	E-5	0.28	0.25	0.06
E5-P43	E-5	0.18	0.17	0.11
E5-P44	E-5	0.21	0.19	0.32
E5-P45	E-5	0.20	0.18	0.31
E5-P46	E-5	0.27	0.25	0.31
E5-P47	E-5	0.38	0.35	0.35
E5-P48	E-5	0.38	0.35	0.43
E5-P49	E-5	0.25	0.22	0.05
E5-P50	E-5	0.23	0.21	-
E5-P51	E-5	0.46	0.28	0.33
E5-P52	E-5	0.32	0.26	0.07
E5-P53	E-5	0.47	0.33	0.40
E5-P54	E-5	0.31	0.21	0.80
E5-P55	E-5	0.28	0.24	0.34
E5-P56	E-5	0.19	0.18	0.58
E5-P57	E-5	0.38	(0.28)	0.12
E5-P58	E-5	0.38	0.27	0.12
E5-P59	E-5	0.24	0.22	0.16
E5-P60	E-5	0.26	0.22	0.31

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P61	E-5	0.56	0.35	0.20
E5-P62	E-5	0.19	0.12	0.30
E5-P63	E-5	0.40	0.38	0.27
E5-P64	E-5	0.34	0.23	0.35
E5-P65	E-5	0.39	0.39	0.32
E5-P66	E-5	0.23	0.21	0.24
E5-P67	E-5	(0.50)	(0.45)	0.12
E5-P68	E-5	0.38	(0.37)	0.25
E5-P69	E-5	0.34	0.28	0.60
E5-P70	E-5	0.16	0.15	0.24
E5-P71	E-5	0.25	0.23	0.15
E5-P72	E-5	0.25	0.23	0.20
E5-P73	E-5	0.22	0.16	0.24
E5-P74	E-5	0.30	0.26	0.17
E5-P75	E-5	0.34	0.30	0.15
E5-P76	E-5	0.15	0.12	0.08
E5-P77	E-5	0.31	0.24	0.15
E5-P78	E-5	0.24	0.17	0.13
E5-P79	E-5	0.38	0.34	0.58
E5-P80	E-5	0.56	(0.35)	0.45
E5-P81	E-5	0.25	0.23	0.13
E5-P82	E-5	(0.35)	0.16	0.19
E5-P83	E-5	0.18	0.18	0.33
E5-P84	E-5	0.34	0.32	0.42
E5-P85	E-5	0.29	0.28	0.36
E5-P86	E-5	0.28	0.24	0.43
E5-P87	E-5	0.30	0.29	0.52
E5-P88	E-5	0.29	0.28	0.57
E5-P89	E-5	0.29	0.29	0.15
E5-P90	E-5	0.45	0.23	0.32
E5-P91	E-5	0.30	0.18	0.13
E5-P92	E-5	0.25	0.22	0.35
E5-P93	E-5	0.25	0.16	0.21
E5-P94	E-5	0.42	0.33	0.16
E5-P95	E-5	0.33	(0.20)	0.38
E5-P96	E-5	(0.19)	(0.12)	0.17
E5-P97	E-5	(0.35)	(0.09)	0.21
E5-P98	E-5	0.45	(0.36)	0.49
E5-P99	E-5	0.30	0.25	0.19
E5-P100	E-5	0.39	0.36	0.71
E5-P101	E-5	0.40	0.31	0.59
E5-P102	E-5	0.34	0.30	0.13
E5-P103	E-5	0.33	0.26	0.32
E5-P104	E-5	0.23	(0.18)	0.37
E5-P105	E-5	0.33	0.24	0.45
E5-P106	E-5	(0.40)	(0.17)	0.21
E5-P107	E-5	0.10	(0.08)	0.07
E5-P108	E-5	0.27	(0.17)	0.21
E5-P109	E-5	0.42	(0.29)	0.41

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P110	E-5	0.25	0.24	0.06
E5-P111	E-5	0.15	0.10	0.21
E5-P112	E-5	0.24	0.18	0.31
E5-P113	E-5	0.40	0.33	0.50
E5-P114	E-5	0.36	(0.32)	0.23
E5-P115	E-5	0.24	0.20	0.38
E5-P116	E-5	0.39	0.34	0.30
E5-P117	E-5	0.36	0.27	0.38
E5-P118	E-5	0.30	(0.16)	0.14
E5-P119	E-5	0.45	0.45	0.55
E5-P120	E-5	0.57	0.34	0.16
E5-P121	E-5	0.33	(0.30)	0.60
E5-P122	E-5	0.27	0.22	0.36
E5-P123	E-5	(0.24)	(0.16)	0.29
E5-P124	E-5	0.37	0.35	0.29
E5-P125	E-5	0.21	0.21	0.50
E5-P126	E-5	0.18	0.14	0.12
E5-P127	E-5	0.28	0.19	0.21
E5-P128	E-5	0.26	(0.13)	0.19
E5-P129	E-5	0.24	0.24	0.16
E5-P130	E-5	0.27	0.24	0.16
E5-P131	E-5	0.38	0.32	0.42
E5-P132	E-5	0.31	(0.23)	0.22
E5-P133	E-5	0.31	0.30	0.57
E5-P134	E-5	0.35	(0.28)	0.20
E5-P135	E-5	0.32	0.28	0.66
E5-P136	E-5	(0.21)	0.20	0.76
E5-P137	E-5	0.21	0.19	0.15
E5-P138	E-5	0.27	0.27	0.45
E5-P139	E-5	0.37	(0.14)	0.17
E5-P140	E-5	0.26	0.24	0.55
E5-P141	E-5	0.27	0.26	0.32
E5-P142	E-5	(0.27)	(0.15)	0.58
E5-P143	E-5	0.35	(0.23)	0.37
E5-P144	E-5	0.40	0.39	0.58
E5-P145	E-5	0.28	0.20	0.28
E5-P146	E-5	0.52	(0.28)	0.16
E5-P147	E-5	0.40	0.38	0.12
E5-P148	E-5	0.24	0.19	0.12
E5-P149	E-5	0.22	0.19	0.33
E5-P150	E-5	0.48	0.45	0.44
E5-P151	E-5	(0.22)	0.26	0.16
E5-P152	E-5	0.24	0.23	0.48
E5-P153	E-5	0.36	0.29	0.58
E5-P154	E-5	0.44	(0.34)	0.52
E5-P155	E-5	0.15	(0.10)	0.08
E5-P156	E-5	0.22	0.22	0.53
E5-P157	E-5	0.15	(0.10)	0.11
E5-P158	E-5	0.25	0.25	0.07

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P159	E-5	0.20	0.20	0.40
E5-P160	E-5	0.21	0.20	0.13
E5-P161	E-5	0.20	0.18	0.27
E5-P162	E-5	0.19	0.19	0.43
E5-P163	E-5	0.26	0.22	0.63
E5-P164	E-5	(0.31)	0.25	0.53
E5-P165	E-5	0.23	0.16	0.44
E5-P166	E-5	0.22	0.20	0.54
E5-P167	E-5	0.23	0.21	0.41
E5-P168	E-5	0.37	0.36	0.45
E5-P169	E-5	0.20	0.17	0.40
E5-P170	E-5	0.26	0.20	0.13
E5-P171	E-5	0.18	0.17	0.14
E5-P172	E-5	0.27	0.20	0.07
E5-P173	E-5	0.30	0.23	0.17
E5-P174	E-5	0.21	0.17	0.13
E5-P175	E-5	0.26	0.20	0.06
E5-P176	E-5	0.25	0.18	0.42
E5-P177	E-5	0.36	0.34	0.36
E5-P178	E-5	0.24	0.21	0.47
E5-P179	E-5	0.64	0.32	0.14
E5-P180	E-5	0.54	0.28	0.11
E5-P181	E-5	0.23	0.23	0.51
E5-P182	E-5	0.17	0.15	0.49
E5-P183	E-5	0.36	0.32	0.66
E5-P184	E-5	(0.27)	(0.10)	0.09
E5-P185	E-5	0.40	0.36	0.39
E5-P186	E-5	(0.19)	0.27	0.22
E5-P187	E-5	0.34	0.19	0.17
E5-P188	E-5	0.20	0.15	0.35
E5-P189	E-5	0.24	(0.15)	0.28
E5-P190	E-5	0.37	0.35	0.31
E5-P191	E-5	0.21	0.15	0.57
E5-P192	E-5	0.40	0.30	0.17
E5-P193	E-5	0.17	(0.12)	0.10
E5-P194	E-5	(0.18)	0.17	0.07
E5-P195	E-5	0.34	0.28	0.16
E5-P196	E-5	0.22	0.15	0.31
E5-P197	E-5	0.23	(0.14)	0.46
E5-P198	E-5	0.25	0.20	0.49
E5-P199	E-5	0.27	(0.21)	0.27
E5-P200	E-5	(0.44)	0.36	0.18
E5-P201	E-5	0.32	0.27	0.37
E5-P202	E-5	0.23	0.21	0.42
E5-P203	E-5	0.26	0.22	0.48
E5-P204	E-5	0.23	0.15	0.14
E5-P205	E-5	(0.26)	(0.15)	0.13
E5-P206	E-5	0.33	0.32	0.38
E5-P207	E-5	0.20	0.20	0.38

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P208	E-5	0.22	(0.19)	0.11
E5-P209	E-5	(0.30)	0.25	0.14
E5-P210	E-5	0.28	(0.20)	0.46
E5-P211	E-5	0.37	0.34	0.73
E5-P212	E-5	0.30	0.29	0.25
E5-P213	E-5	0.25	0.22	0.18
E5-P214	E-5	0.51	0.46	0.22
E5-P215	E-5	0.33	0.25	0.57
E5-P216	E-5	0.17	0.14	0.21
E5-P217	E-5	0.30	0.30	0.10
E5-P218	E-5	0.36	0.35	0.45
E5-P219	E-5	0.28	0.14	0.30
E5-P220	E-5	0.50	0.46	0.60
E5-P221	E-5	0.34	0.32	0.43
E5-P222	E-5	(0.20)	(0.12)	0.19
E5-P223	E-5	0.22	0.19	0.08
E5-P224	E-5	1.00	0.56	0.09
E5-P225	E-5	0.28	0.28	0.30

E6-P1	E-6	(0.48)	(0.16)	-
E6-P2	E-6	0.26	0.16	0.31
E6-P3	E-6	0.55	(0.48)	0.18
E6-P4	E-6	0.46	0.30	0.11
E6-P5	E-5・6	0.50	0.50	-
E6-P6	E-6	0.27	0.24	0.35
E6-P7	E-6	(0.56)	0.53	0.19
E6-P8	E-6	0.27	(0.20)	0.14
E6-P9	E-6	0.28	(0.23)	0.06
E6-P10	E-6	0.58	0.27	0.55
E6-P11	E-6	0.54	(0.28)	0.25
E6-P12	E-6	(0.49)	0.46	0.15
E6-P13	E-6	0.52	0.42	0.27
E6-P14	E-6	0.32	0.28	0.45
E6-P15	E-6	0.25	0.22	0.29
E6-P16	E-6	0.22	0.19	0.17
E6-P17	E-6	0.19	0.18	0.11
E6-P18	E-6	0.26	0.24	0.23
E6-P19	E-6	0.27	0.27	0.12
E6-P20	E-6	0.31	0.27	0.47
E6-P21	E-6	0.26	0.22	0.18
E6-P22	E-6	0.51	(0.43)	0.10
E6-P23	E-6	0.27	(0.17)	0.06
E6-P24	E-6	0.28	0.22	0.12
E6-P25	E-6	0.36	0.24	0.17
E6-P26	E-6	0.34	0.31	0.33
E6-P27	E-6	0.44	0.34	0.21
E6-P28	E-6	0.38	(0.25)	0.28
E6-P29	E-6	0.30	0.24	0.18

E6-P31	E-6	0.46	0.44	0.94
E6-P32	E-6	0.40	0.40	0.19
E6-P33	E-6	0.51	0.33	0.12
E6-P34	E-6	0.22	0.20	0.18
E6-P35	E-6	0.44	0.35	0.29
E6-P36	E-6	0.37	0.36	0.17
E6-P37	E-6	0.32	0.30	0.11
E6-P38	E-6	0.42	0.36	0.36
E6-P39	E-6	0.36	0.32	0.38
E6-P40	E-6	0.38	(0.35)	0.28
E6-P41	E-6	0.26	(0.20)	0.92
E6-P42	E-6	0.31	(0.09)	0.23
E6-P43	E-6	0.32	(0.16)	0.38
E6-P44	E-6	0.42	0.31	0.48
E6-P45	E-6	0.29	(0.19)	0.48
E6-P46	E-6	0.39	0.31	0.10
E6-P47	E-6	0.20	0.20	0.16
E6-P48	E-6	(0.52)	(0.22)	0.57
E6-P49	E-6	0.28	0.25	0.33
E6-P50	E-6	0.38	0.34	0.20
E6-P51	E-6	(0.34)	0.38	0.27
E6-P52	E-6	0.21	0.20	0.36
E6-P53	E-6	0.13	0.12	0.09
E6-P54	E-6	0.23	0.21	0.11
E6-P55	E-6	0.31	(0.26)	0.05
E6-P56	E-6	0.23	0.18	0.22
E6-P57	E-6	0.30	0.26	0.27
E6-P58	E-6	0.20	0.19	0.21
E6-P59	E-6	(0.18)	0.21	0.08
E6-P60	E-6	0.32	0.21	0.09
E6-P61	E-6	(0.52)	0.33	0.08
E6-P62	E-6	0.33	0.33	0.58
E6-P63	E-6	0.26	0.26	0.29
E6-P64	E-6	0.50	0.46	0.60
E6-P65	E-6	0.45	(0.32)	0.15
E6-P66	E-6	0.33	0.29	0.22
E6-P67	E-6	0.45	0.33	0.28
E6-P68	E-6	(0.43)	(0.27)	0.13
E6-P69	E-6	(0.27)	0.23	0.27
E6-P70	E-6	(0.33)	0.37	0.32
E6-P71	E-6	0.49	0.42	0.25
E6-P72	E-6	(0.19)	(0.10)	0.10
E6-P73	E-6	(0.35)	0.34	0.42
E6-P74	E-6	0.30	0.30	0.11
E6-P75	E-6	(0.33)	(0.18)	0.22
E6-P76	E-6	0.31	0.27	0.24
E6-P77	E-6	(0.16)	0.19	0.20
E6-P78	E-6	0.34	0.29	0.57
E6-P79	E-6	0.19	0.18	0.06

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E6-P80	E-6	0.21	0.20	0.28
E6-P81	E-6	0.26	0.26	0.06
E6-P82	E-6	0.29	0.24	0.51
E6-P83	E-6	0.27	0.22	0.17
E6-P84	E-6	0.17	0.16	0.23
E6-P85	E-6	0.33	0.28	0.23
E6-P86	E-6	0.38	0.25	0.48
E6-P87	E-6	0.19	0.18	0.27
E6-P88	E-6	(0.55)	0.42	0.14
E6-P89	E-6	0.30	0.26	0.43
E6-P90	E-6	0.30	0.27	0.33
E6-P91	E-6	0.30	0.24	0.77
E6-P92	E-6	0.64	0.47	0.28
E6-P93	E-6	0.22	0.22	0.54
E6-P94	E-6	0.19	0.18	0.18
E6-P95	E-6	0.50	0.47	0.25
E6-P96	E-6	0.25	0.22	0.70
E6-P97	E-6	0.28	0.24	0.47
E6-P98	E-6	0.26	0.25	0.22
E6-P99	E-6	0.30	(0.20)	0.22
E6-P100	E-6	0.26	0.24	0.15
E6-P101	E-6	0.25	0.25	0.19
E6-P102	E-6	(0.34)	0.34	0.27
E6-P103	E-6	0.19	0.18	0.07
E6-P104	E-6	0.27	0.20	0.23
E6-P105	E-6	(0.23)	0.25	0.55
E6-P106	E-6	0.40	0.28	0.54
E6-P107	E-6	0.42	(0.25)	0.15
E6-P108	E-5・6	0.24	0.17	0.27
E6-P109	E-6	0.18	0.13	0.13
E6-P110	E-6	0.27	0.26	0.17
E6-P111	E-6	0.16	0.15	0.05
E6-P112	E-6	0.34	0.34	0.25
E6-P113	E-6	0.23	0.21	0.15
E6-P114	E-6	0.24	0.22	0.22
E6-P115	E-6	(0.20)	0.22	0.07
E6-P116	E-6	0.30	0.23	0.07
E6-P117	E-6	0.34	0.30	0.57
E6-P118	E-6	(0.28)	(0.25)	0.10
E6-P119	E-6	0.30	(0.27)	0.09
E6-P120	E-6	0.26	0.26	0.31
E6-P121	E-6	0.13	0.13	0.27
E6-P122	E-6	0.49	0.48	0.54
E6-P123	E-6	0.14	0.12	0.09
E6-P124	E-6	0.45	(0.34)	0.12
E6-P125	E-6	0.20	0.17	0.13
E6-P126	E-6	0.42	(0.28)	0.06
E6-P127	E-6	0.14	0.11	0.09
E6-P128	E-6	0.42	(0.28)	0.32

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E6-P129	E-6	0.33	0.27	0.25
E6-P130	E-6	0.18	0.17	0.09
E6-P131	E-6	0.45	0.36	0.28
E6-P132	E-6	0.70	(0.65)	0.10
E6-P133	E-6	0.38	(0.20)	0.39
E6-P134	E-6	0.38	0.31	0.52
E6-P135	E-6	0.41	(0.34)	0.26
E6-P136	E-6	0.40	0.24	0.37
E6-P137	E-6	0.40	0.36	0.17
E6-P138	E-6	0.28	0.27	0.32
E6-P139	E-6	0.22	0.19	0.16
E6-P140	E-6	0.35	(0.18)	0.10
E6-P141	E-6	0.52	0.42	0.49
E6-P142	E-6	0.29	0.25	0.33
E6-P143	E-6	0.33	0.24	0.21
E6-P144	E-6	0.21	0.20	0.11
E6-P145	E-6	0.31	0.21	0.04
E6-P146	E-6	0.29	(0.18)	0.02
E6-P147	E-6	0.28	0.19	0.47
E6-P148	E-6	0.34	0.28	0.46
E6-P149	E-6	0.31	(0.11)	0.34
E6-P150	E-6	0.31	(0.15)	0.20
E6-P151	E-6	0.58	0.47	0.70
E6-P152	E-6・7	(0.37)	0.37	0.15
E6-P153	E-6	0.36	0.36	0.08
E6-P154	E-6	(0.62)	(0.36)	0.06
E6-P155	E-6	0.38	0.36	0.17
E6-P156	E-6	0.19	0.19	0.11
E6-P157	E-6	0.28	0.23	0.23
E6-P158	E-6	0.38	0.34	0.25
E6-P159	E-6	0.28	0.26	0.25
E6-P160	E-6	0.30	0.24	0.19
E6-P161	E-6	(0.25)	(0.14)	0.06
E6-P162	E-6	(0.24)	0.23	0.20
E6-P163	E-6	0.42	0.39	0.26
E6-P164	E-6	(0.47)	(0.42)	0.16
E6-P165	E-6	(0.30)	(0.14)	0.17
E6-P166	E-6	(0.36)	0.27	0.12
E6-P167	E-6	0.23	0.16	0.30
E6-P168	E-6	0.50	(0.40)	0.72
E6-P169	E-6	0.54	(0.40)	0.36
E6-P170	E-6	0.19	0.18	0.20
E6-P171	E-6	0.24	0.21	0.37
E6-P172	E-6	0.50	0.48	0.26
E6-P173	E-6	0.44	(0.38)	0.25
E6-P174	E-6	0.13	0.13	0.08
E6-P175	E-6	0.40	0.39	0.30
E6-P176	E-6・7	0.41	0.35	0.47
E6-P177	E-6	0.36	0.28	0.40

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E6-P178	E-6・7	0.33	(0.16)	0.29
E6-P179	E-6	0.17	0.17	0.07

E7-P1	E-7	0.36	0.22	0.19
E7-P2	E-7	0.33	0.20	0.27
E7-P3	E-7	0.33	0.28	0.15
E7-P4	E-7	0.21	(0.13)	0.05
E7-P5	E-7	0.30	0.24	0.14
E7-P6	E-7	0.36	0.29	0.17
E7-P7	E-7	0.34	0.25	0.17
E7-P8	E-7	0.27	0.24	0.22
E7-P9	E-7	0.12	0.08	0.04
E7-P10	E-7	0.20	0.16	0.08
E7-P11	E-7	0.54	0.48	0.25
E7-P12	E-7	0.33	0.24	0.32
E7-P13	E-7	0.54	0.37	0.40
E7-P14	D・E-7	0.19	0.18	0.29
E7-P15	E-7	0.26	0.21	0.30
E7-P16	E-7	(0.56)	0.45	0.35
E7-P17	E-7	0.39	0.32	0.58
E7-P18	E-7	0.49	0.38	0.24
E7-P19	E-7	0.46	0.46	0.46
E7-P20	E-7	0.26	0.23	0.10
E7-P21	E-7	0.16	(0.11)	0.09
E7-P22	E-7	0.34	0.34	0.40
E7-P23	E-7	0.23	0.21	0.08
E7-P24	E-7	0.29	0.26	0.10
E7-P25	E-7	0.40	0.23	0.11
E7-P26	E-7	0.22	0.19	0.07
E7-P27	E-7	0.16	(0.12)	0.07
E7-P28	E-7	0.22	0.19	0.08
E7-P29	E-7	0.27	0.22	0.12
E7-P30	E-7	0.44	0.31	0.68
E7-P31	E-7	0.63	0.39	0.46
E7-P32	E-7	0.40	0.31	0.22
E7-P33	E-7	(0.29)	(0.28)	0.11
E7-P34	E-7	0.27	0.24	0.30
E7-P35	E-7	0.21	0.18	0.15
E7-P36	E-7	0.22	(0.15)	-
E7-P37	E-7	0.20	0.30	0.23
E7-P38	E-7	0.53	0.51	0.08
E7-P39	E-7	0.24	0.23	0.13
E7-P40	E-7	0.25	0.25	0.10
E7-P41	E-7	0.37	0.21	0.04
E7-P42	E-7	0.51	0.34	0.17
E7-P43	E-7	0.34	(0.22)	0.12
E7-P44	E-7	0.36	0.25	0.59
E7-P45	E-7	0.32	0.23	0.17
E7-P46	E-7	0.12	0.12	0.21

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E7-P47	E-7	0.40	0.32	0.11
E7-P48	E-7	0.35	(0.27)	0.06
E7-P49	E-7	0.30	0.24	0.27
E7-P50	E-7	(0.48)	0.35	0.22
E7-P51	E-7	0.23	0.23	0.38
E7-P52	E-7	0.23	(0.14)	0.26
E7-P53	E-7	0.36	0.34	0.15
E7-P54	E-7	0.30	(0.26)	0.13
E7-P55	E-7	0.33	0.28	0.29
E7-P56	E-7	(0.30)	0.29	0.18
E7-P57	E-7	0.37	0.30	0.26
E7-P58	E-7	0.33	0.26	0.05
E7-P59	E-7	(0.26)	0.24	0.04
E7-P60	E-7	0.25	0.18	0.14
E7-P61	E-7	0.28	0.21	0.11
E7-P62	E-7	(0.36)	(0.25)	0.12
E7-P63	E-7	(0.25)	(0.11)	0.12
E7-P64	E-7	0.25	(0.17)	0.05
E7-P65	E-7	0.42	(0.26)	0.07
E7-P66	E-7	(0.36)	(0.16)	0.19
E7-P67	E-7	0.42	0.25	0.06
E7-P68	E-7	0.36	0.31	0.17
E7-P69	E-6・7	0.38	0.29	0.19
E7-P70	E-7	0.25	0.20	0.14
E7-P71	E-7	0.23	0.16	0.13
E7-P72	E-7	0.34	0.30	0.29
E7-P73	E-7	0.36	0.32	0.16
E7-P74	E-7	0.37	0.36	0.16
E7-P75	E-7	0.30	0.25	0.19
E7-P76	E-7	(0.37)	(0.16)	0.09
E7-P77	E-7	0.40	0.34	0.17
E7-P78	E-7	0.24	0.14	0.07
E7-P79	E-7	0.39	0.20	0.09
E7-P80	E-7	0.28	(0.18)	0.31
E7-P81	E-7	0.49	(0.39)	0.03
E7-P82	E-7	0.36	0.27	0.62
E7-P83	E-7	0.44	0.40	0.35
E7-P84	E-7	0.23	0.16	0.31
E7-P85	E-7	0.22	0.22	0.13
E7-P86	E-7	0.52	0.44	0.10
E7-P87	E-7	0.20	0.18	0.26
E7-P88	E-7	0.31	0.18	0.09
E7-P89	E-7	0.34	0.20	0.10
E7-P90	E-7	0.38	0.33	0.10
E7-P91	E-7	0.42	0.39	0.60
E7-P92	E-7	0.39	0.29	0.42
E7-P93	E-7	(0.30)	(0.22)	0.23
E7-P94	E-7	0.35	0.35	0.24
E7-P95	E-7	0.14	0.12	0.07

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E7-P96	E-7	0.19	0.18	0.07
E7-P97	E-7	(0.38)	0.32	0.64
E7-P98	E-7	0.24	(0.16)	0.24
E7-P99	E-7	0.46	(0.34)	0.34
E7-P100	E-7	(0.27)	0.23	0.13
E7-P101	E-7	0.36	0.23	0.33
E7-P102	E-7	0.27	0.26	0.11
E7-P103	E-7	(0.36)	0.38	0.18
E7-P104	E-7	0.29	0.22	0.22
E7-P105	E-7	0.44	(0.35)	0.52
E7-P106	E-7・8	0.56	0.41	0.33
E7-P107	E-7	0.57	0.48	0.41
E7-P108	E-7	0.46	0.42	0.42
E7-P109	E-7	0.23	(0.15)	0.22
E7-P110	E-7	0.30	0.27	0.25
E7-P111	E-7	0.18	0.16	0.05
E7-P112	E-7	0.22	0.21	0.07
E7-P113	E-7	0.40	0.36	0.31
E7-P114	E-7	0.27	0.24	0.10
E7-P115	E-7	(0.30)	(0.26)	0.21
E7-P116	E-7	(0.38)	0.38	0.30
E7-P117	E-7	0.25	0.24	0.18
E7-P118	E-7	0.20	0.17	0.10
E7-P119	E-7	0.19	0.17	0.13
E7-P120	E-7	0.29	0.21	0.12
E7-P121	E-7	(0.24)	0.23	0.46
E7-P122	E-7	0.22	0.21	0.43
E7-P123	E-7	0.58	(0.45)	0.18
E7-P124	E-7	0.46	0.34	0.21
E7-P125	E-7	0.29	0.25	0.38
E7-P126	E-7	0.34	0.33	0.18
E7-P127	E-7	0.25	0.19	0.08
E7-P128	E-7	0.41	0.40	0.38
E7-P129	E-7	0.27	0.14	0.07
E7-P130	E-7	0.55	0.42	0.47
E7-P131	E-7	0.22	0.20	0.25
E7-P132	E-7	0.18	0.12	0.07
E7-P133	E-7	0.25	0.23	0.05
E7-P134	E-7	0.35	0.25	0.17
E7-P135	E-7	(0.27)	0.23	0.40
E7-P136	E-7	0.34	0.28	0.19
E7-P137	E-7	0.30	0.22	0.11
E7-P138	E-7	0.27	0.20	0.12
E7-P139	E-7	0.23	0.22	0.29
E7-P140	E-7	(0.26)	(0.08)	0.11
E7-P141	E-7	0.42	0.30	0.39
E7-P142	E-7	(0.12)	0.08	0.24
E7-P143	E-7	0.26	0.22	0.48
E7-P144	E-7	0.38	0.27	0.08

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E7-P145	E-7	0.14	0.13	0.09
E7-P146	E-7	0.51	0.45	0.39
E7-P147	E-7	0.60	0.57	0.10
E7-P148	E-7	0.24	0.16	0.05
E7-P149	E-7	0.25	0.23	0.06
E7-P150	E-7	0.16	0.16	0.11
E7-P151	E-7	0.20	(0.11)	0.10
E7-P152	E-7	0.18	0.17	0.01
E7-P153	E-7	0.43	0.28	0.10
E7-P154	E-7	0.25	0.23	0.04
E7-P155	E-7	0.08	0.05	0.04
E7-P156	E-7	0.07	0.06	0.04
E7-P157	E-7	0.28	0.22	0.04
E7-P158	E-7	0.26	0.18	0.20
E7-P159	E-7	(0.32)	0.31	0.11
E7-P160	E-7	0.11	0.09	0.07
E7-P161	E-7	0.38	(0.34)	0.24
E7-P162	E-7	0.30	0.25	0.33
E7-P163	E-7	0.28	(0.26)	0.37
E7-P164	E-7	0.19	0.18	0.08
E7-P165	E-7	0.33	0.27	0.26
E7-P166	E-7	(0.27)	(0.19)	0.17
E7-P167	E-7	0.21	0.16	0.22
E7-P168	E-7	0.26	0.22	0.31
E7-P169	E-7	(0.22)	(0.07)	0.11
E7-P170	E-7	0.13	0.13	0.05
E7-P171	E-7	(0.36)	(0.31)	0.20

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E8-P1	E-8	0.27	0.26	0.10
E8-P2	E-8	0.16	0.15	0.16
E8-P3	E-8	0.28	0.21	0.17
E8-P4	E-8	0.35	0.31	0.17
E8-P5	E-8	(0.74)	(0.32)	0.13
E8-P6	E-8	0.28	0.21	0.01
E8-P7	E-8	0.40	0.32	0.06
E8-P8	E-8	0.23	0.23	0.02
E8-P9	E-8	0.31	(0.22)	0.05
E8-P10	E-8	0.24	0.21	0.19
E8-P11	E-8	0.32	0.28	0.34
E8-P12	E-8	0.20	0.18	0.42
E8-P13	E-8	(0.34)	0.34	0.26
E8-P14	E-8	0.26	0.25	0.30
E8-P15	E-8	0.25	0.15	0.17
E8-P16	E-8	0.28	(0.12)	0.06
E8-P17	E-8	0.38	(0.30)	0.45
E8-P18	E-8	0.22	0.16	0.11
E8-P19	E-8	0.19	0.18	0.09
E8-P20	E-8	0.55	0.38	0.76
E8-P21	E-8	0.28	(0.18)	0.28

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E8-P22	E-8	0.32	0.30	0.46
E8-P23	E-8	0.35	(0.28)	0.32
E8-P24	E-8	0.28	0.23	0.40
E8-P25	E-8	0.30	(0.14)	0.26
E8-P26	E-8	0.29	(0.26)	0.25
E8-P27	E-8	(0.24)	(0.14)	0.16
E8-P28	E-8	0.32	(0.24)	0.41
E8-P29	E-8	0.20	(0.17)	0.29
E8-P30	E-8	0.30	0.24	0.41
E8-P31	E-8	0.35	(0.25)	0.50
E8-P32	E-8	(0.40)	(0.24)	0.21
E8-P33	E-8	0.32	0.26	0.40
E8-P34	E-8	0.24	0.24	0.11
E8-P35	E-8	0.25	0.17	0.22
E8-P36	E-8	0.30	0.19	0.11
E8-P37	E-8・9	0.38	0.25	0.29
E8-P38	E-8・9	0.58	0.48	0.16
E8-P39	E-8	0.26	(0.14)	0.28
E8-P40	E-8	0.26	0.21	0.40
E8-P41	E-8・9	0.35	0.29	0.49
E8-P42	E-8	0.21	(0.18)	0.13
E8-P43	E-8	0.22	0.22	0.23
E8-P44	E-8	0.24	0.20	0.33
E8-P45	E-8	0.24	(0.15)	0.21
E8-P46	E-8	0.39	0.30	0.42
E8-P47	E-8	0.52	(0.26)	0.20
E8-P48	E-8	0.28	0.23	0.33
E8-P49	E-8	(0.43)	0.27	0.08
E8-P50	E-8	0.52	0.41	0.82
E8-P51	E-8	(0.20)	(0.08)	0.14
E8-P52	E-8	0.20	0.15	0.15
E8-P53	E-8	0.27	0.18	0.14
E8-P54	E-8	(0.35)	(0.20)	0.37
E8-P55	E-8	0.41	0.36	0.59
E8-P56	E-8	0.24	0.18	0.14
E8-P57	E-8	0.23	0.21	0.11
E8-P58	E-8	0.26	0.21	0.12
E8-P59	E-8	0.44	(0.24)	0.38
E8-P60	E-8	0.40	0.22	0.45
E8-P61	E-8	0.15	0.11	0.04
E8-P62	E-8	0.26	0.15	0.06
E8-P63	E-8	0.18	0.14	0.11
E8-P64	E-8	0.21	0.18	0.12
E8-P65	E-8	0.17	0.14	0.21
E8-P66	E-8	0.18	(0.06)	0.12
E8-P67	E-8	0.30	0.28	0.23
E8-P68	E-8	0.55	0.50	0.15
E8-P69	E-8	0.33	0.32	0.16
E8-P70	E-8	0.32	0.25	0.25

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E8-P71	E-8	(0.32)	0.31	0.46
E8-P72	E-8	0.27	0.21	0.06
E8-P73	E-8	0.43	0.38	0.10
E8-P74	E-8	(0.48)	0.40	0.47
E8-P75	E-8	0.41	0.30	0.25
E8-P76	E-8	0.28	0.25	0.19
E8-P77	E-8	0.30	0.22	0.23
E8-P78	E-7・8	0.44	0.38	0.22
E8-P79	E-7・8	0.16	0.12	0.09
E8-P80	E-8	0.45	0.35	0.37
E8-P81	E-8	(0.32)	(0.18)	0.23
E8-P82	E-8	0.33	0.21	0.10
E8-P83	E-8	0.28	0.22	0.09
E8-P84	E-8	0.28	0.25	0.15
E8-P85	E-8	0.31	0.31	0.10
E8-P86	E-8	0.27	0.24	0.28
E8-P87	E-8	0.41	0.37	0.16
E8-P88	E-8	0.50	0.43	0.13
E8-P89	E-8	0.33	(0.18)	0.31
E8-P90	E-8	(0.40)	(0.14)	0.37
E8-P91	E-8	0.22	0.19	0.22
E8-P92	E-8	0.23	0.17	0.22
E8-P93	E-8	0.26	0.16	0.29
E8-P94	E-8	0.12	0.10	0.14
E8-P95	E-8	0.44	0.41	0.07
E8-P96	E-8	0.34	0.33	0.22
E8-P97	E-8	(0.30)	(0.12)	0.08
E8-P98	E-8	0.30	0.30	0.07
E8-P99	E-8・9	0.16	0.16	0.05
E8-P100	E-8・9	0.31	0.24	0.53
E8-P101	E-8	(0.30)	(0.11)	0.32
E8-P102	E-8	0.32	0.26	0.55
E8-P103	E-8	(0.28)	(0.24)	0.26
E8-P104	E-8	(0.48)	0.37	0.30
E8-P105	E-8	0.36	0.33	0.33
E8-P106	E-8	0.23	0.21	0.33
E8-P107	E-8	0.18	0.18	0.21
E8-P108	E-8	0.58	(0.28)	0.23
E8-P109	E-8	0.45	(0.22)	0.37
E8-P110	E-8	(0.32)	(0.16)	0.52
E8-P111	E-8	0.18	0.16	0.18
E8-P112	E-8	0.18	0.16	0.17
E8-P113	E-8	(0.60)	(0.34)	0.13
E8-P114	E-8	0.34	(0.19)	0.17
E8-P115	E-8	(0.42)	(0.20)	0.28
E8-P116	E-8	0.55	(0.50)	0.33
E8-P117	E-8	(0.36)	(0.33)	0.36
E8-P118	E-8	0.39	0.34	0.19
E8-P119	E-8	0.47	0.35	0.47

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E8-P120	E-8	0.40	0.33	0.27
E8-P121	E-8	0.45	0.31	0.45
E8-P122	E-8	0.33	0.28	0.10
E8-P123	E-8	0.39	0.29	0.35
E8-P124	E-8	0.33	0.27	0.35

E9-P1	E-9	0.23	0.16	0.13
E9-P2	E-9	0.24	(0.21)	0.24
E9-P3	E-9	0.25	0.24	0.50
E9-P4	E-9	0.42	0.35	0.23
E9-P5	E-9	0.25	0.20	0.24
E9-P6	E-9	0.10	0.08	0.37
E9-P7	E-9	0.28	0.26	0.30
E9-P8	E-9	0.22	0.20	0.21
E9-P9	E-9	(0.24)	0.22	0.47
E9-P10	E-9	0.30	0.20	0.04
E9-P11	E-9	0.33	0.18	0.11
E9-P12	E-9	(0.24)	0.24	0.13
E9-P13	E-9	0.36	0.32	0.52
E9-P14	E-9	(0.40)	0.25	0.14
E9-P15	E-9	(0.64)	0.55	0.10
E9-P16	E-9	0.48	(0.36)	0.27
E9-P17	E-9	0.17	0.12	0.09
E9-P18	E-9	0.31	0.30	0.50
E9-P19	E-9	(0.54)	0.54	0.29
E9-P20	E-9	(0.43)	(0.25)	0.25
E9-P21	E-9	(0.41)	(0.34)	0.31
E9-P22	E-9	0.18	0.16	0.26
E9-P23	E-9	0.19	0.18	0.17
E9-P24	E-9	0.36	0.30	0.30
E9-P25	E-9	0.29	0.24	0.18
E9-P26	E-9	0.13	0.12	0.06
E9-P27	E-9	0.27	(0.25)	0.29
E9-P28	E-9	0.44	0.33	0.41
E9-P29	E-8・9	0.24	0.21	0.16
E9-P30	E-9	0.24	0.23	0.13
E9-P31	E-9	0.12	0.11	0.14
E9-P32	E-9	(0.20)	(0.17)	0.09
E9-P33	E-9	(0.26)	0.24	0.10
E9-P34	E-9	0.30	0.24	0.28
E9-P35	E-9	0.29	0.27	0.09
E9-P36	E-9	(0.55)	(0.32)	0.10
E9-P37	E-9	0.62	0.48	0.21
E9-P38	E-9	0.24	0.20	0.22
E9-P39	E-9	(0.20)	0.18	0.06
E9-P40	E-9	0.37	(0.20)	0.11
E9-P41	E-9	(0.38)	(0.26)	0.53
E9-P42	E-9	0.34	(0.25)	0.35
E9-P43	E-9	(0.29)	(0.21)	0.35

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E9-P44	E-9	(0.36)	(0.35)	0.31
E9-P45	E-9	0.42	(0.11)	0.16
E9-P46	E-9	0.62	0.38	0.40
E9-P47	E-9	0.24	0.24	0.20
E9-P48	E-9	0.59	(0.13)	0.26
E9-P49	E-9	0.64	0.46	0.37
E9-P50	E-9	0.53	(0.33)	0.16
E9-P51	E-9	0.28	0.25	0.10
E9-P52	E-9	0.37	0.29	0.07
E9-P53	E-9	0.46	0.40	0.16
E9-P54	E-9	0.32	(0.30)	0.15
E9-P55	E-9	0.35	0.25	0.12
E9-P56	E-9	0.29	0.25	0.08
E9-P57	E-9	0.46	0.39	0.37
E9-P58	E-9	0.45	0.34	0.17
E9-P59	E-9	0.55	0.26	0.10
E9-P60	E-9	0.64	0.29	0.06
E9-P61	E-9	0.28	0.27	0.09
E9-P62	E-9	0.24	0.21	0.03
E9-P63	E-9	0.46	0.32	0.06
E9-P64	E-9	(0.46)	0.37	0.16
E9-P65	E-9	0.47	(0.34)	0.37
E9-P66	E-9	0.48	0.40	0.46
E9-P67	E-9	0.35	0.30	0.47
E9-P68	E-9	0.64	0.59	0.18
E9-P69	E-9・10	0.44	0.40	0.63
E9-P70	E-9	0.17	0.16	0.11
E9-P71	E-9	0.70	0.50	0.42
E9-P72	E-9	0.28	0.24	0.05
E9-P73	E-9	0.28	0.26	0.06
E9-P74	E-9	(0.23)	0.27	0.05
E9-P75	E-9	0.42	0.35	0.18
E9-P76	E-9	0.27	0.25	0.07
E9-P77	E-9	0.50	0.49	0.44
E9-P78	E-9	0.64	0.58	0.27
E9-P79	E-9	0.19	0.17	0.10
E9-P80	E-9	0.37	0.29	0.08
E9-P81	E-9	0.44	0.42	0.11
E9-P82	E-8・9	(0.65)	0.42	0.19

E10-P1	E-10	0.59	0.47	0.33
E10-P2	E-10	0.32	0.26	0.23
E10-P3	E-10	0.38	0.22	0.13
E10-P4	E-10	0.27	0.24	0.31
E10-P5	E-10	0.34	0.27	0.16
E10-P6	E-10	0.35	(0.30)	0.36

F6-P1	F-6	0.24	0.22	0.41
F6-P2	F-6	0.33	0.25	0.07

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F6-P3	F-6	0.30	(0.19)	0.18
F6-P4	F-6	0.18	0.15	0.10
F6-P5	F-6	0.16	(0.10)	0.07
F6-P6	F-6	(0.21)	0.20	0.23
F6-P7	F-6	0.26	0.21	0.11
F6-P8	F-6	0.18	0.18	0.13
F6-P9	F-6	0.34	0.25	0.29
F6-P10	F-6	0.10	0.09	0.18
F6-P11	F-6	0.26	0.17	0.24
F6-P12	F-6	0.28	0.11	0.10
F6-P13	F-6	0.32	0.19	0.12
F6-P14	F-6	0.25	0.22	0.24
F6-P15	F-6	(0.34)	(0.09)	0.34
F6-P16	F-6	0.22	0.22	0.25
F6-P17	F-6	0.20	0.15	0.13
F6-P18	F-6	0.23	0.12	0.06
F6-P19	F-6	0.20	0.20	0.10
F6-P20	F-6	0.19	0.16	0.06
F6-P21	F-6	(0.33)	(0.13)	0.21
F6-P22	F-6・7	0.45	0.36	0.28
F6-P23	F-6	0.12	0.12	0.14
F6-P24	F-6	0.19	0.18	0.22
F6-P25	F-6	0.29	0.21	0.20

F7-P1	F-7	0.36	0.30	0.29
F7-P2	F-7	0.29	0.20	0.05
F7-P3	F-7	0.34	0.25	0.07
F7-P4	F-7	0.55	0.43	0.05
F7-P5	F-7	(0.20)	(0.16)	0.08
F7-P6	F-7	0.22	0.21	0.31

F3-P1	F-3	0.16	0.15	0.26
F3-P2	F-3	0.24	0.20	0.10
F3-P3	F-3	0.30	0.23	0.15
F3-P4	F-3	0.22	0.17	0.25
F3-P5	F-3	0.41	(0.28)	0.48
F3-P6	F-3	0.29	0.24	0.54
F3-P7	F-3	0.31	0.28	0.40
F3-P8	F-3	0.27	0.24	0.22
F3-P9	F-3	0.20	0.19	0.17
F3-P10	F-3	(0.23)	0.21	0.16
F3-P11	F-3	(0.30)	0.22	0.19
F3-P12	F-3	(0.18)	(0.11)	0.14
F3-P13	F-3	0.28	0.27	0.25
F3-P14	F-3	0.34	(0.28)	0.42
F3-P15	F-3	0.14	(0.11)	0.34
F3-P16	F-3	0.20	(0.19)	0.13
F3-P17	F-3	0.20	0.17	0.16
F3-P18	F-3	0.22	0.20	0.41

F3-P19	F-3	0.75	0.36	0.10
F3-P20	F-3	0.16	0.14	0.11
F3-P21	F-3	0.21	0.19	0.12
F3-P22	F-3	0.20	0.20	0.28
F3-P23	F-3	0.34	0.33	0.35
F3-P24	F-3	0.28	(0.21)	0.24
F3-P25	F-3	0.28	(0.27)	0.12
F3-P26	F-3	0.31	0.29	0.35
F3-P27	F-3	0.16	0.14	0.16
F3-P28	F-3	0.50	0.38	0.58
F3-P29	F-3	0.35	(0.21)	0.21
F3-P30	F-3	(0.34)	(0.30)	0.43
F3-P31	F-3	(0.21)	(0.10)	0.36
F3-P32	F-3	(0.38)	(0.26)	0.42
F3-P33	F-3	(0.49)	0.36	0.18
F3-P34	F-3	0.44	(0.36)	0.41
F3-P35	F-3	0.48	0.20	0.45
F3-P36	F-3	0.80	0.73	0.47
F3-P37	F-3	0.23	0.20	0.10
F3-P38	F-3	0.62	(0.23)	0.28
F3-P39	F-3	(0.42)	(0.31)	0.27
F3-P40	F-3	0.22	0.20	0.31
F3-P41	F-3	0.47	0.30	0.42
F3-P42	F-3	(0.24)	(0.15)	0.37
F3-P43	F-3	0.33	0.30	0.59
F3-P44	F-3	0.37	0.29	0.22
F3-P45	F-3	0.29	0.27	0.25
F3-P46	F-3	0.32	0.31	0.29
F3-P47	F-3	0.32	0.32	0.62
F3-P48	F-3	0.34	(0.24)	0.19
F3-P49	F-3	0.27	(0.15)	0.22
F3-P50	F-3	0.36	0.34	0.12
F3-P51	F-3	(0.30)	0.22	0.56
F3-P52	F-3	0.24	0.18	0.17
F3-P53	F-3	(0.22)	0.15	0.26
F3-P54	F-3	0.24	0.23	0.31
F3-P55	F-3	0.32	0.28	0.50
F3-P56	F-3	0.25	(0.16)	0.39
F3-P57	F-3	0.33	0.31	0.53
F3-P58	F-3	0.18	0.18	0.24
F3-P59	F-3	0.28	(0.24)	0.17
F3-P60	F-3	0.28	(0.26)	0.35
F3-P61	F-3	0.18	0.14	0.30
F3-P62	F-3	0.18	0.12	0.25
F3-P63	F-3	0.30	(0.24)	0.20
F3-P64	F-3	0.22	(0.20)	0.21
F3-P65	F-3	0.30	(0.26)	0.22
F3-P66	F-3	0.25	0.25	0.16
F3-P67	F-3	(0.38)	0.32	0.12

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F3-P68	F-3	0.45	(0.39)	0.33
F3-P69	F-3	0.44	(0.33)	0.36
F3-P70	F-3	0.36	0.18	0.23
F3-P71	F-3	0.31	0.22	0.29
F3-P72	F-3	0.31	(0.20)	0.18
F3-P73	F-3	0.22	0.15	0.21
F3-P74	F-3	(0.38)	(0.22)	0.16
F3-P75	F-3	0.34	0.26	0.43
F3-P76	F-3	0.25	(0.22)	0.10
F3-P77	F-3	0.32	0.25	0.37
F3-P78	F-3	(0.31)	0.23	0.11
F3-P79	F-3	0.35	0.32	0.21
F3-P80	F-3	0.23	0.19	0.24
F3-P81	F-3	0.20	0.20	0.18
F3-P82	F-3	0.31	0.26	0.12
F3-P83	F-3	(0.44)	0.24	0.11
F3-P84	F-3	0.27	0.22	0.25
F3-P85	F-3	(0.30)	0.33	0.07
F3-P86	F-3	0.44	0.35	0.09
F3-P87	F-3	(0.25)	(0.21)	0.18
F3-P88	F-3	0.24	0.24	0.33
F3-P89	F-3	(0.32)	0.30	0.26
F3-P90	F-3	0.37	(0.36)	0.15
F3-P91	F-3	0.30	0.25	0.30
F3-P92	F-3	0.27	0.25	0.20
F3-P93	F-3	0.24	0.24	0.12
F3-P94	F-3	0.28	0.22	0.29
F3-P95	F-3	0.42	0.38	0.52
F3-P96	F-3	(0.22)	(0.08)	0.10
F3-P97	F-3	(0.12)	0.23	0.14
F3-P98	F-3	0.39	0.32	0.29
F3-P99	F-3	0.36	0.29	0.12
F3-P100	F-3	0.66	0.41	0.10
F3-P101	F-3	0.37	0.37	0.44
F3-P102	F-3	(0.60)	0.42	0.39
F3-P103	F-3	0.32	0.26	0.52
F3-P104	F-3	(0.34)	(0.29)	0.43
F3-P105	F-3	0.22	0.14	0.47
F3-P106	F-3	0.31	0.26	0.10
F3-P107	F-3	0.24	0.16	0.28
F3-P108	F-3	0.33	0.32	0.15
F3-P109	F-3	(0.16)	0.17	0.19
F3-P110	F-3	0.50	0.44	0.39
F3-P111	F-3	0.25	(0.17)	0.15
F3-P112	F-3	0.22	0.21	0.25
F3-P113	F-3	0.38	0.34	0.37
F3-P114	F-3	0.38	0.29	0.10
F3-P115	F-3	0.23	0.22	0.14
F3-P116	F-3	(0.15)	0.17	0.14

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F3-P117	F-3	0.15	0.14	0.26
F3-P118	F-3	(0.30)	0.24	0.06
F3-P119	F-3	0.20	0.19	0.04
F3-P120	F-3	0.29	0.27	0.18
F3-P121	F-3	0.23	0.21	0.14
F3-P122	F-3	0.13	0.13	0.30
F3-P123	F-3	0.22	(0.15)	0.25
F3-P124	F-3	0.28	0.24	0.08
F3-P125	F-3	0.40	0.28	0.33
F3-P126	F-3	0.43	0.32	0.23
F3-P127	F-3	(0.25)	0.27	0.33
F3-P128	F-3	(0.44)	(0.26)	0.31
F3-P129	F-3	(0.22)	(0.17)	0.26
F3-P130	F-3	0.28	(0.21)	0.21
F3-P131	F-3	0.38	(0.23)	0.35
F3-P132	F-3	0.21	(0.20)	0.24
F3-P133	F-3	0.26	0.20	0.24
F3-P134	F-3	0.30	0.23	0.10
F3-P135	F-3	(0.20)	0.20	0.31
F3-P136	F-3	0.22	0.18	0.33
F3-P137	F-3	0.38	0.24	0.50
F3-P138	F-3	0.33	0.24	0.28
F3-P139	F-3	0.26	0.25	0.30
F3-P140	F-3	0.25	0.25	0.18
F3-P141	F-3	0.29	0.23	0.16
F3-P142	F-3	0.30	(0.20)	0.12
F3-P143	F-3	0.47	0.29	0.51
F3-P144	F-3	0.27	0.18	0.28
F3-P145	F-3	0.30	0.23	0.18
F3-P146	F-3	0.24	0.19	0.34
F3-P147	F-3	0.26	0.15	0.23
F3-P148	F-3	(0.27)	0.29	0.29

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P1	F-4	0.22	0.16	0.08
F4-P2	F-4	0.28	0.20	0.20
F4-P3	F-4	0.24	0.22	0.18
F4-P4	F-4	0.26	0.21	0.27
F4-P5	F-4	0.21	0.21	0.23
F4-P6	F-4	0.39	0.26	0.52
F4-P7	F-4	0.23	0.20	0.17
F4-P8	F-4	(0.36)	0.22	0.29
F4-P9	F-4	0.34	0.34	0.32
F4-P10	F-4	0.38	0.29	0.25
F4-P11	F-4	0.33	0.30	0.30
F4-P12	F-4	0.23	0.19	0.25
F4-P13	F-4	0.58	0.51	0.52
F4-P14	F-4	(0.44)	(0.25)	0.32
F4-P15	F-4	0.27	(0.24)	0.08
F4-P16	F-4	0.12	0.12	0.02

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P17	F-4	0.27	0.26	0.10
F4-P18	F-4	0.22	0.21	0.19
F4-P19	F-4	0.27	(0.21)	0.41
F4-P20	F-4	0.31	0.28	0.27
F4-P21	F-4	0.29	0.19	0.04
F4-P22	F-4	0.36	0.22	0.22
F4-P23	F-4	0.25	0.19	0.55
F4-P24	F-4	0.27	0.26	0.37
F4-P25	F-4	0.24	0.19	0.48
F4-P26	F-4	0.32	0.31	0.28
F4-P27	F-4	0.22	0.07	0.60
F4-P28	F-4	0.32	0.30	0.53
F4-P29	F-4	0.25	(0.10)	0.38
F4-P30	F-4	0.26	0.22	0.48
F4-P31	F-4	0.23	0.19	0.43
F4-P32	F-4	0.30	0.25	0.41
F4-P33	F-4	(0.29)	(0.11)	0.28
F4-P34	F-4	0.30	(0.23)	0.19
F4-P35	F-4	0.32	(0.16)	0.22
F4-P36	F-4	0.28	0.21	0.24
F4-P37	F-4	0.44	0.28	0.42
F4-P38	F-4	0.31	0.24	0.51
F4-P39	F-4	0.29	(0.21)	0.44
F4-P40	F-4	0.25	0.22	0.12
F4-P41	F-4	(0.31)	(0.19)	0.50
F4-P42	F-4	0.36	(0.22)	0.49
F4-P43	F-4	(0.20)	(0.19)	0.48
F4-P44	F-4	0.37	0.24	0.47
F4-P45	F-4	0.42	0.33	0.67
F4-P46	F-4	(0.35)	0.46	0.23
F4-P47	F-4	0.26	0.23	0.17
F4-P48	F-4	0.21	0.18	0.24
F4-P49	F-4	0.25	0.20	0.21
F4-P50	F-4	(0.25)	0.22	0.05
F4-P51	F-4	0.26	(0.21)	0.28
F4-P52	F-4	0.26	0.26	0.50
F4-P53	F-4	0.36	(0.23)	0.25
F4-P54	F-4	0.40	0.34	0.82
F4-P55	F-4	(0.21)	0.20	0.31
F4-P56	F-4	0.28	0.18	0.10
F4-P57	F-4	0.48	0.38	0.19
F4-P58	F-4	0.19	(0.18)	0.05
F4-P59	F-4	0.26	0.22	0.14
F4-P60	F-4	0.48	(0.37)	0.27
F4-P61	F-4	(0.36)	0.28	0.24
F4-P62	F-4	(0.46)	0.49	0.21
F4-P63	F-4	0.61	0.57	0.35
F4-P64	F-4	0.34	0.30	0.16
F4-P65	F-4	0.35	0.18	0.17

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P66	F-4	(0.23)	(0.19)	0.13
F4-P67	F-4	(0.31)	0.20	0.21
F4-P68	F-4	0.31	0.26	0.25
F4-P69	F-4	0.25	0.24	0.04
F4-P70	F-4	0.30	0.25	0.55
F4-P71	F-4	0.26	0.26	0.78
F4-P72	F-4	0.28	0.23	0.37
F4-P73	F-4	0.38	0.34	0.32
F4-P74	F-4	0.28	(0.24)	0.23
F4-P75	F-4	0.27	0.26	0.47
F4-P76	F-4	0.42	0.35	0.08
F4-P77	F-4	0.18	0.18	0.05
F4-P78	F-4	0.23	0.21	0.17
F4-P79	F-4	0.38	0.34	0.42
F4-P80	F-4	0.34	0.27	0.32
F4-P81	F-4	0.20	0.17	0.66
F4-P82	F-4	0.23	(0.18)	0.40
F4-P83	F-4	0.22	(0.14)	0.23
F4-P84	F-4	(0.31)	(0.25)	0.21
F4-P85	F-4	0.32	0.24	0.50
F4-P86	F-4	0.33	(0.23)	0.33
F4-P87	F-4	(0.19)	(0.13)	0.15
F4-P88	F-4	0.50	(0.33)	0.59
F4-P89	F-4	0.48	(0.29)	0.23
F4-P90	F-4	(0.20)	(0.20)	0.17
F4-P91	F-4	(0.28)	(0.18)	0.23
F4-P92	F-4	0.64	(0.54)	0.63
F4-P93	F-4	0.50	0.38	0.65
F4-P94	F-4	0.36	(0.26)	0.41
F4-P95	F-4	0.32	(0.30)	0.43
F4-P96	F-4	(0.26)	0.23	0.55
F4-P97	F-4	(0.43)	(0.21)	0.32
F4-P98	F-4	0.32	0.17	0.14
F4-P99	F-4	(0.84)	(0.41)	0.44
F4-P100	F-4	(0.12)	(0.09)	0.41
F4-P101	F-4	0.32	0.29	0.23
F4-P102	F-4	(0.32)	0.21	0.26
F4-P103	F-4	0.23	0.16	0.30
F4-P104	F-4	0.34	0.33	0.37
F4-P105	F-4	0.17	0.14	0.35
F4-P106	F-4	0.25	0.20	0.46
F4-P107	F-4	0.29	(0.18)	0.41
F4-P108	F-4	0.32	0.29	0.47
F4-P109	F-4	0.21	0.18	0.18
F4-P110	F-4	0.25	0.20	0.20
F4-P111	F-4	(0.17)	0.16	0.09
F4-P112	F-4	0.27	0.24	0.32
F4-P113	F-4	(0.27)	0.31	0.29
F4-P114	F-4	0.29	0.22	0.24

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P115	F-4	0.19	0.19	0.10
F4-P116	F-4	0.32	0.24	0.20
F4-P117	F-4	0.36	(0.22)	0.31
F4-P118	F-4	0.24	0.16	0.07
F4-P119	F-4	0.20	0.19	0.08
F4-P120	F-4	(0.61)	0.24	0.11
F4-P121	F-4	0.20	0.19	0.29
F4-P122	F-4	0.30	0.22	0.45
F4-P123	F-4	0.35	0.30	0.21
F4-P124	F-4	(0.23)	0.23	0.31
F4-P125	F-4	0.24	0.20	0.26
F4-P126	F-4	0.20	0.20	0.11
F4-P127	F-4	0.30	0.18	0.08
F4-P128	F-4	0.32	0.20	0.20
F4-P129	F-4	(0.28)	0.23	0.25
F4-P130	F-4	0.23	0.21	0.54
F4-P131	F-4	0.22	(0.13)	0.41
F4-P132	F-4	0.28	0.19	0.36
F4-P133	F-4	0.29	0.19	0.28
F4-P134	F-4	(0.12)	0.16	0.28
F4-P135	F-4	0.20	0.15	0.16
F4-P136	F-4	0.22	0.18	0.21
F4-P137	F-4	(0.22)	0.17	0.12
F4-P138	F-4	0.23	0.18	0.27
F4-P139	F-4	0.27	0.24	0.27
F4-P140	F-4	0.22	0.19	0.09
F4-P141	F-4	0.18	(0.16)	0.30
F4-P142	F-4	0.21	0.18	0.32
F4-P143	F-4	0.20	0.16	0.27
F4-P144	F-4	0.20	0.17	0.10
F4-P145	F-4	(0.43)	0.38	0.14
F4-P146	F-4	(0.25)	0.24	0.22
F4-P147	F-4	(0.24)	(0.14)	0.23
F4-P148	F-4	(0.28)	(0.22)	0.23 ?
F4-P149	F-4	(0.34)	0.28	0.33
F4-P150	F-4	0.21	(0.20)	0.39
F4-P151	F-4	0.26	0.20	0.40
F4-P152	F-4	(0.28)	0.27	0.23
F4-P153	F-4	0.25	0.22	0.28
F4-P154	F-4	0.24	0.21	0.19
F4-P155	F-4	0.39	0.30	0.60
F4-P156	F-4	0.32	(0.28)	0.20
F4-P157	F-4	0.21	0.20	0.61
F4-P158	F-4	0.34	(0.25)	0.22
F4-P159	F-4	0.28	0.19	0.25
F4-P160	F-4	0.32	0.26	0.11
F4-P161	F-4	0.18	0.12	0.14
F4-P162	F-4	0.17	0.13	0.16
F4-P163	F-4	(0.26)	(0.09)	0.04

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P164	F-4	0.22	0.22	0.71
F4-P165	F-4	(0.29)	0.24	0.39
F4-P166	F-4	(0.17)	0.18	0.12
F4-P167	F-4	(0.26)	0.20	0.16
F4-P168	F-4	0.16	0.12	0.30
F4-P169	F-4	0.32	0.31	0.67
F4-P170	F-4	0.30	0.19	0.14
F4-P171	F-4	0.22	0.15	0.16
F4-P172	F-4	0.28	0.28	0.53
F4-P173	F-4	(0.32)	0.27	0.07
F4-P174	F-4	0.44	(0.32)	0.17
F4-P175	F-4	0.34	0.32	0.65
F4-P176	F-4	0.21	0.18	0.53
F4-P177	F-4	0.25	(0.16)	0.13
F4-P178	F-4	0.22	(0.21)	0.18
F4-P179	F-4	0.23	0.22	0.31
F4-P180	F-4	0.24	0.22	0.46
F4-P181	F-4	0.32	0.24	0.54
F4-P182	F-4	0.30	0.29	0.14
F4-P183	F-4	0.24	(0.23)	0.16
F4-P184	F-4	0.20	0.16	0.15
F4-P185	F-4	0.20	0.20	0.16
F4-P186	F-4	0.38	0.24	0.11
F4-P187	F-4	0.41	(0.32)	0.23
F4-P188	F-4	0.22	0.20	0.30
F4-P189	F-4	0.22	0.21	0.19
F4-P190	F-4	0.22	0.20	0.17
F4-P191	F-4	(0.43)	(0.31)	0.27
F4-P192	F-4	0.20	0.15	0.11
F4-P193	F-4	0.16	0.12	0.10
F4-P194	F-4	0.36	0.29	0.21
F4-P195	F-4	0.34	0.31	0.45
F4-P196	F-4	0.23	(0.19)	0.22
F4-P197	F-4	0.64	(0.48)	0.11
F4-P198	F-4	0.50	0.32	0.49
F4-P199	F-4	0.56	(0.30)	0.53
F4-P200	F-4	(0.21)	(0.13)	0.21
F4-P201	F-4	(0.39)	(0.35)	0.30
F4-P202	F-4	0.34	0.31	0.16
F4-P203	F-4	0.31	0.31	0.11
F4-P204	F-4	0.31	0.24	0.26
F4-P205	F-4	0.26	0.23	0.36
F4-P206	F-4	(0.50)	0.30	0.07
F4-P207	F-4	0.28	0.26	0.18
F4-P208	F-4	0.21	0.18	0.24
F4-P209	F-4	0.28	0.24	0.53
F4-P210	F-4	0.26	(0.22)	0.46
F4-P211	F-4	0.29	(0.21)	0.19
F4-P212	F-4	0.34	0.31	0.57

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P213	F-4	0.29	0.21	0.06
F4-P214	F-4	(0.36)	(0.18)	0.09
F4-P215	F-4	0.44	0.32	0.58
F4-P216	F-4	(0.30)	(0.22)	0.25
F4-P217	F-4	0.43	(0.31)	0.41
F4-P218	F-4	0.45	(0.35)	0.29
F4-P219	F-4	0.42	(0.32)	0.50
F4-P220	F-4	0.45	0.30	0.75
F4-P221	F-4	0.38	(0.34)	0.29
F4-P222	F-4	(0.30)	0.21	0.23
F4-P223	F-4	(0.38)	(0.31)	0.43
F4-P224	F-4	0.46	(0.30)	0.32
F4-P225	F-4	(0.36)	(0.25)	0.38
F4-P226	F-4	0.54	0.41	0.64
F4-P227	F-4	(0.15)	(0.11)	0.40
F4-P228	F-4	0.25	(0.15)	0.39
F4-P229	F-4	0.41	0.31	0.20
F4-P230	F-4	0.32	(0.25)	0.52
F4-P231	F-4	(0.34)	(0.28)	0.47
F4-P232	F-4	0.32	(0.18)	0.34
F4-P233	F-4	0.39	0.28	0.36
F4-P234	F-4	0.19	0.15	0.05
F4-P235	F-4	0.31	0.24	0.74
F4-P236	F-4	(0.30)	0.30	0.57
F4-P237	F-4	0.43	0.28	0.27
F4-P238	F-4	(0.33)	0.32	0.27
F4-P239	F-4	0.33	0.23	0.19
F4-P240	F-4	0.29	(0.28)	0.33
F4-P241	F-4	0.28	0.26	0.43
F4-P242	F-4	(0.33)	0.22	0.38
F4-P243	F-4	(0.21)	(0.14)	0.38
F4-P244	F-4	0.29	0.23	0.54
F4-P245	F-4	0.26	0.24	0.32
F4-P246	F-4	0.41	0.30	0.65
F4-P247	F-4	0.31	(0.19)	0.45
F4-P248	F-4	0.21	0.18	0.35
F4-P249	F-4	0.56	0.54	0.10
F4-P250	F-4	0.46	0.40	0.46
F4-P251	F-4	0.33	0.21	0.18
F4-P252	F-4	0.35	(0.27)	0.76
F4-P253	F-4	0.54	0.40	0.76
F4-P254	F-4	(0.56)	0.45	0.69
F4-P255	F-4	(0.44)	0.40	1.58
F4-P256	F-4	(0.51)	(0.51)	0.31
F4-P257	F-4	0.59	0.31	0.59
F4-P258	F-4	(0.61)	(0.29)	0.60
F4-P259	F-4	0.33	0.29	0.43
F4-P260	F-4	0.44	0.41	0.73
F4-P261	F-4	0.45	0.35	0.80

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P262	F-4	(0.40)	0.36	0.67

G3-P1	G-3	0.32	0.31	0.22
G3-P2	G-3	0.29	0.26	0.15
G3-P3	G-3	0.24	0.22	0.24
G3-P4	G-3	0.24	0.22	0.23
G3-P5	G-3	0.28	0.23	0.22
G3-P6	G-3	0.31	0.26	0.26
G3-P7	G-3	0.24	0.20	0.19
G3-P8	G-3	0.22	0.22	0.17
G3-P9	G-3	0.26	0.25	0.10
G3-P10	G-3	0.37	0.29	0.12
G3-P11	G-3	(0.46)	(0.23)	0.32
G3-P12	G-3	(0.31)	0.25	0.07
G3-P13	G-3	(0.43)	0.22	0.19
G3-P14	G-3	0.45	0.41	0.20
G3-P15	G-3	0.40	0.24	0.20
G3-P16	G-3	0.26	0.18	0.06

G4-P1	G-4	0.52	0.50	0.46
G4-P2	G-4	0.61	0.52	0.46
G4-P3	G-4	0.26	(0.21)	0.08
G4-P4	G-4	(0.26)	(0.12)	0.13
G4-P5	G-4	(0.41)	0.31	0.06
G4-P6	G-4	0.28	0.23	0.48
G4-P7	G-4	0.25	0.20	0.23
G4-P8	G-4	0.25	0.20	0.24
G4-P9	G-4	0.35	0.24	0.47
G4-P10	G-4	(0.63)	0.22	0.25
G4-P11	G-4	0.33	0.30	0.46
G4-P12	G-4	0.26	0.11	0.23
G4-P13	G-4	0.21	0.16	0.29
G4-P14	G-4	0.24	0.20	0.53
G4-P15	G-4	0.34	0.25	0.25
G4-P16	G-4	(0.23)	0.23	0.11
G4-P17	G-4	0.28	0.28	0.34
G4-P18	G-4	0.28	(0.24)	0.06
G4-P19	G-4	0.16	0.15	0.32
G4-P20	G-4	0.32	0.23	0.36
G4-P21	G-4	0.18	0.17	0.07
G4-P22	G-4	0.34	0.27	0.20
G4-P23	G-4	0.41	0.33	0.56
G4-P24	G-4	0.47	(0.21)	0.14
G4-P25	G-4	0.23	0.22	0.17
G4-P26	G-4	0.26	0.25	0.20
G4-P27	G-4	0.25	0.25	0.21
G4-P28	G-4	0.31	0.28	0.28
G4-P29	G-4	0.43	0.30	0.54
G4-P30	G-4	0.30	0.21	0.44

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
G4-P31	G-4	(0.29)	(0.20)	0.32
G4-P32	G-4	0.30	(0.15)	0.18
G4-P33	G-4	0.21	(0.15)	0.16
G4-P34	G-4	0.30	0.23	0.22
G4-P35	G-4	0.25	(0.13)	0.15
G4-P36	G-4	0.20	0.20	0.13
G4-P37	G-4	(0.32)	0.30	0.09
G4-P38	G-4	0.40	0.22	0.17
G4-P39	G-4	0.30	(0.24)	0.48
G4-P40	G-4	0.30	0.26	0.45
G4-P41	G-4	0.23	0.23	0.39
G4-P42	G-4	0.32	0.31	0.47
G4-P43	G-4	0.19	0.15	0.08
G4-P44	G-4	(0.20)	0.20	0.08
G4-P45	G-4	0.27	0.27	0.18
G4-P46	G-4	0.30	(0.17)	0.13
G4-P47	G-4	0.29	0.21	0.18
G4-P48	G-4	(0.23)	(0.14)	0.14
G4-P49	G-4	(0.44)	(0.15)	0.29
G4-P50	G-4	0.52	0.48	0.57
G4-P51	G-4	0.34	0.28	0.24
G4-P52	G-4	0.35	0.29	0.52
G4-P53	G-4	0.25	0.24	0.17
G4-P54	G-4	0.18	(0.15)	0.32
G4-P55	G-4	0.25	0.21	0.49
G4-P56	G-4	(0.31)	(0.30)	0.06
G4-P57	G-4	0.25	0.23	0.19
G4-P58	G-4	0.30	0.26	0.27
G4-P59	G-4	0.41	0.38	0.51
G4-P60	G-4	0.26	0.23	0.14
G4-P61	G-4	0.24	0.20	0.20
G4-P62	G-4	0.24	0.20	0.15
G4-P63	G-4	0.50	0.39	0.13
G4-P64	G-4	0.28	0.25	0.11
G4-P65	G-4	0.22	(0.10)	0.32

G5-P1	G-5	0.60	0.58	0.25
G5-P2	G-5	0.30	(0.19)	0.11

II4-P1	H-I-4-5	0.20	0.20	0.12
II4-P2	H-I-4-5	0.20	0.19	0.14
II4-P3	H-I-4-5	0.38	0.35	0.33

II4-P4	H-I-4-5	0.26	0.21	0.18
II4-P5	H-I-4-5	0.14	0.11	0.09
II4-P6	H-I-4-5	0.53	0.52	0.62
II4-P7	H-I-4-5	0.42	0.38	0.10
II4-P8	H-I-4-5	0.38	0.22	0.31
II4-P9	H-I-4-5	0.35	0.32	0.28
II4-P10	H-I-4-5	(0.62)	(0.48)	0.53
II4-P11	H-I-4-5	(0.50)	(0.25)	0.14
II4-P12	H-I-4-5	0.32	(0.32)	0.53
II4-P13	H-I-4-5	0.41	(0.41)	0.81
II4-P14	H-I-4-5	0.55	0.48	0.72
II4-P15	H-I-4-5	(0.36)	(0.26)	0.27
II4-P16	H-I-4-5	0.32	0.28	0.52
II4-P17	H-I-4-5	0.48	(0.44)	0.33
II4-P18	H-I-4-5	0.52	0.39	0.76
II4-P19	H-I-4-5	0.50	0.42	0.55
II4-P20	H-I-4-5	0.23	0.14	0.08
II4-P21	H-I-4-5	0.56	(0.42)	0.83
II4-P22	H-I-4-5	(0.22)	(0.16)	0.17
II4-P23	H-I-4-5	0.53	(0.52)	0.71
II4-P24	H-I-4-5	(0.34)	(0.22)	0.11
II4-P25	H-I-4-5	0.34	0.28	0.46
II4-P26	H-I-4-5	(0.48)	(0.30)	0.14
II4-P27	H-I-4-5	(0.46)	(0.39)	0.40
II4-P28	H-I-4-5	(0.20)	(0.18)	-
II4-P29	H-I-4-5	0.26	0.20	0.12
II4-P30	H-I-4-5	0.44	0.32	0.19
II4-P31	H-I-4-5	0.20	0.16	0.09
II4-P32	H-I-4-5	0.30	0.29	0.26
II4-P33	H-I-4-5	0.50	0.43	0.48
II4-P34	H-I-4-5	0.42	0.36	0.29
II4-P35	H-I-4-5	0.28	0.28	0.03
II4-P36	H-I-4-5	0.35	0.26	0.15
II4-P37	H-I-4-5	0.22	0.17	0.13
II4-P38	H-I-4-5	0.13	0.13	0.06
II4-P39	H-I-4-5	0.25	0.24	0.12
II4-P40	H-I-4-5	0.22	(0.15)	0.12
II4-P41	H-I-4-5	0.46	0.28	0.23
II4-P42	H-I-4-5	0.34	0.26	0.17
II4-P43	H-I-4-5	0.56	0.47	0.56
II4-P44	H-I-4-5	0.44	0.29	0.51
II4-P45	H-I-4-5	0.28	0.20	0.16